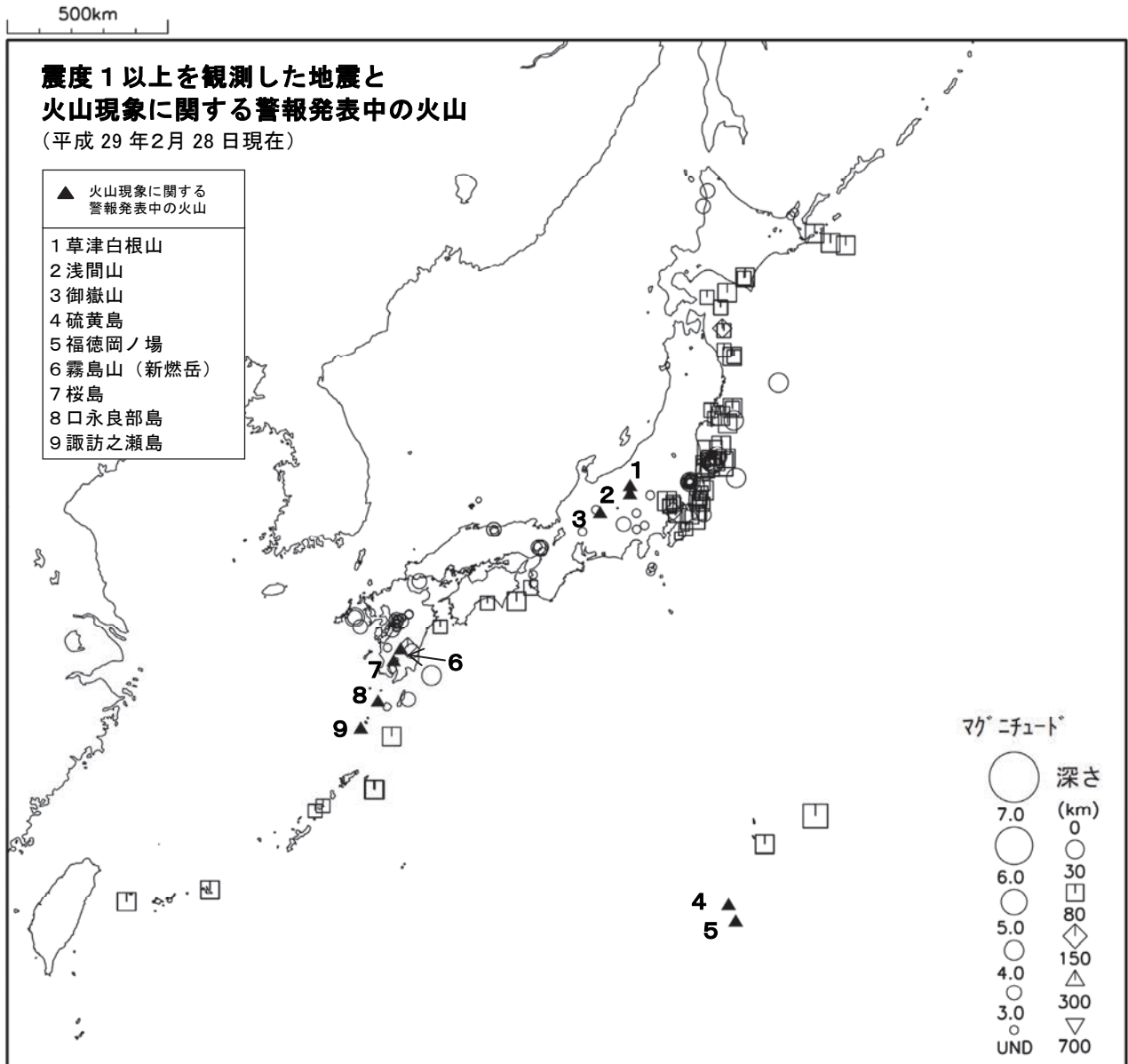


平成 29 年 2 月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

February 2017



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注* 平成29年2月28日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、8政令指定都市。

注**平成 29 年 2 月 28 日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県、神奈川県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用している。

□本書利用上の注意

・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=XX：図中表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）

・発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。

・発震機構解の図中の語句について

P：P 軸（圧力軸） T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

・Global CMT 解について

Global CMT 解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・M-T 図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1 月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016 年 4 月 1 日以降の震源では、M の小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

震源の深さを「CMT 解による」とした場合は、気象庁 CMT 解のセントロイド（破壊の重心）の深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については、地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

・本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用した（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。また、震央分布図等に表記した活断層は、地震調査研究推進本部の長期評価による。

・図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	6
東北地方の地震活動	8
関東・中部地方の地震活動	12
近畿・中国・四国地方の地震活動	15
九州地方の地震活動	16
沖縄地方の地震活動	19
その他の地域の地震活動	20
● 東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動と 地震防災対策強化地域判定会検討結果	21
● 日本の主な火山活動	40
北海道地方	43
東北地方	43
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	44
九州地方及び南西諸島	46
資料 1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ	50
資料 2 第 137 回火山噴火予知連絡会について	54
● 世界の主な地震	63
● 世界の主な火山活動	64
● 付録	
1. 震度 1 以上を観測した地震の表	65
2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	89
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数	90
4. 緊急地震速報の提供状況	91
5. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震	92
● 正誤表	95

●日本及びその周辺での主な地震活動

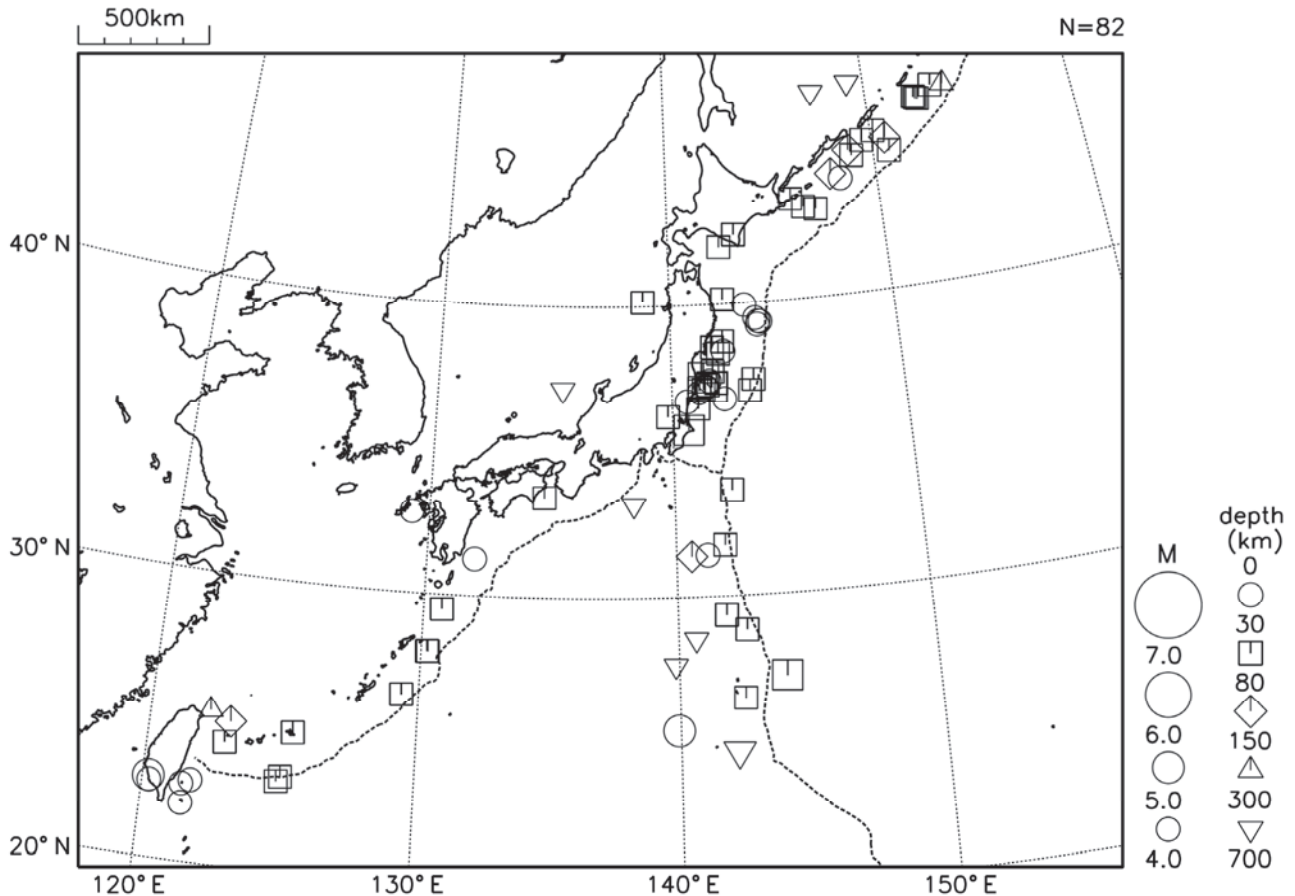


図 1 平成 29 年 2 月に日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の震央分布図

2月28日16時49分に福島県沖の深さ52kmでM5.7の地震が発生した。この地震により、宮城県、福島県で震度5弱を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度4～1を観測した。

平成29年(2017年)2月に日本国内で震度4以上を観測した地震の回数は3回(1月は4回)、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は82回(1月は76回)であった。

2月中に発生した主な地震を表1(次ページ)に示す。2月中に震度5弱以上を観測した地震は1回、津波を観測した地震はなかった(1月は震度5弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった)。

「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動は、全体として引き続き減衰傾向がみられる。今回の一連の地震活動により、死者207人、負傷者2,728人、住家全壊8,425棟などの被害が発生した(平成29年2月27日現在、総務省消防庁による)。

表 1 平成 29 年 2 月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注 1）（注 2）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M (注 3)	Mw (注 3)	M H S T (注 4)	最大震度・被害状況等（注 5）	掲載 ページ
1	4/14～					「平成 28 年（2016 年）熊本地震」 震度 1 以上を観測する地震が 18 回（震度 3：1 回、震度 2：4 回、震度 1：13 回）発生した。 被害：死者 207 人、負傷者 2,728 人、住家全壊 8,425 棟など （平成 29 年 2 月 27 日現在）	4、 17～18
2	12/28～	茨城県北部				震度 1 以上を観測する地震が 16 回（震度 3：1 回、震度 2：7 回、震度 1：8 回）発生した。 被害：軽傷 2 人、住家一部破損 5 棟など （平成 29 年 1 月 5 日現在）	4、13
3	2 11 6 5	福島県沖	5.4	5.2	・ ・ ・ ・	3：宮城県 仙台青葉区作並* 福島県 白河市新白河* など 4 県 39 地点	4、9
4	2 19 18 19	千葉県北東部 （注 6）	5.4	5.4	・ ・ S ・	4：千葉県 旭市南堀之内* など 2 県 22 地点	4、14
5	2 27 0 3	福島県沖	4.9	4.8	・ ・ S ・	4：福島県 川内村上川内早渡* など 1 県 3 地点	5、10
6	2 27 18 10	日高地方東部 （注 7）	4.7	4.7	・ ・ ・ ・	3：北海道 幕別町忠類錦町* 浦幌町桜町* など 1 道 4 地点	5、7
7	2 28 16 49	福島県沖	5.7	5.7	・ ・ S ・	5 弱：福島県 檜葉町北田* 双葉町両竹* 南相馬市原町区高見町* など 2 県 5 地点	5、11

（注 1）主な地震とは、図 1 の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度 4 以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度 3、④海域 M5.0 以上かつ震度 3、⑤その他注目した地震を指す。

（注 2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

（注 3）Mw 欄の「-」は Mw が求められていないことを示す。また、空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない。

（注 4）M H S T の各項目について、M：M6.0 以上の地震、H：被害を伴った地震、S：震度 4 以上を観測した地震、T：津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

（注 5）最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

（注 6）情報発表に用いた震央地名は「千葉県東方沖」である。

（注 7）情報発表に用いた震央地名は「十勝地方南部」である。

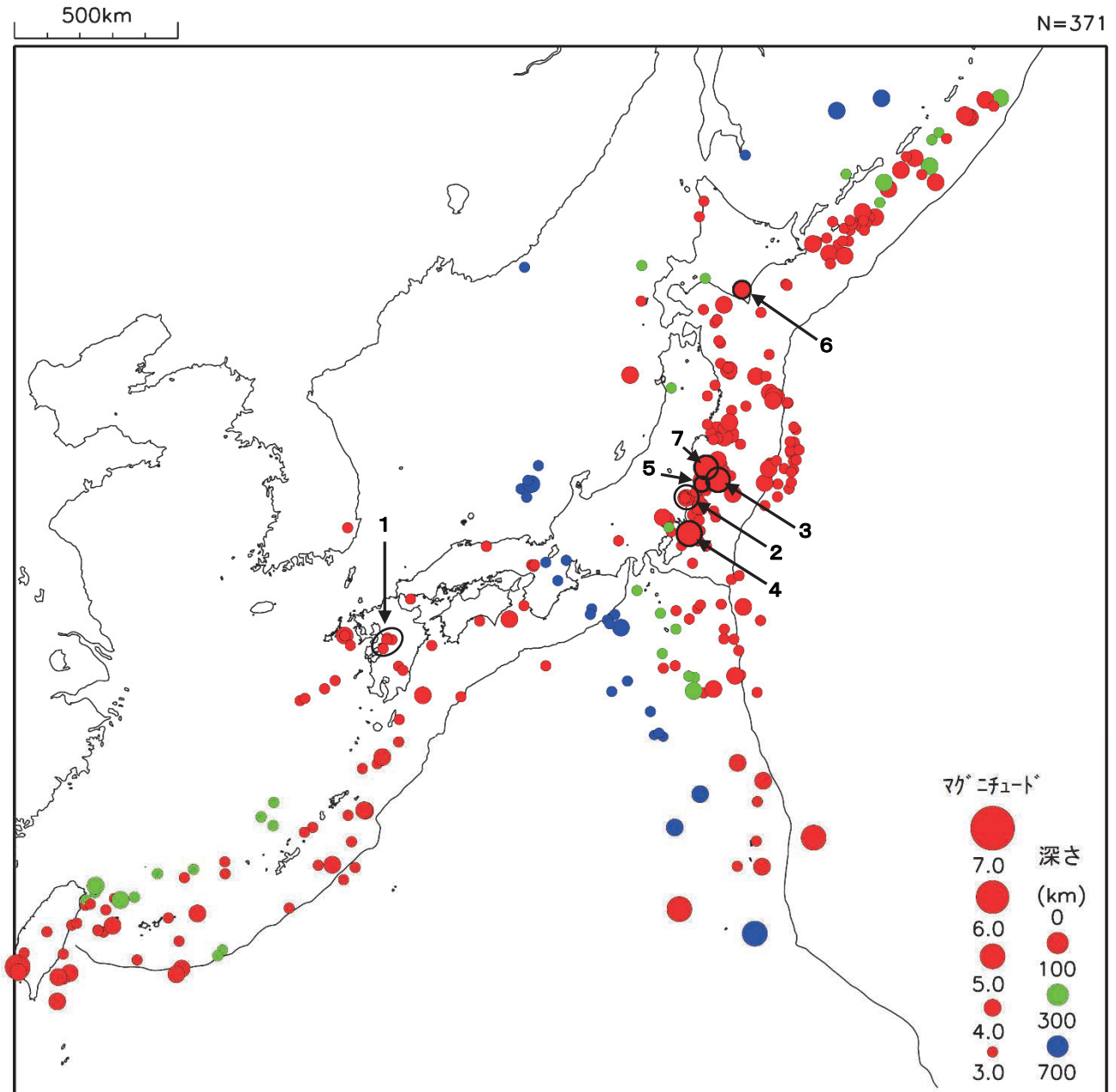
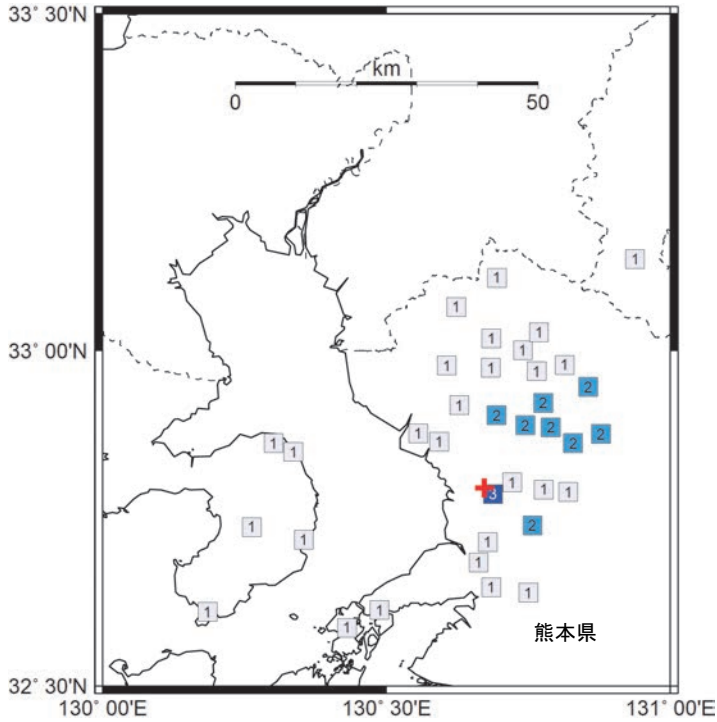
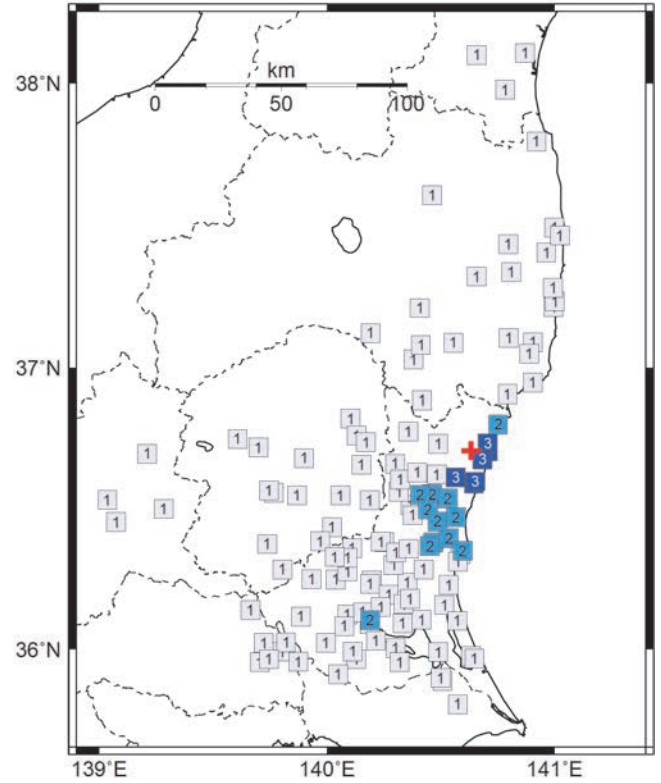


図 2 平成 29 年 2 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図
(図中の数字は表 1 の番号に対応)

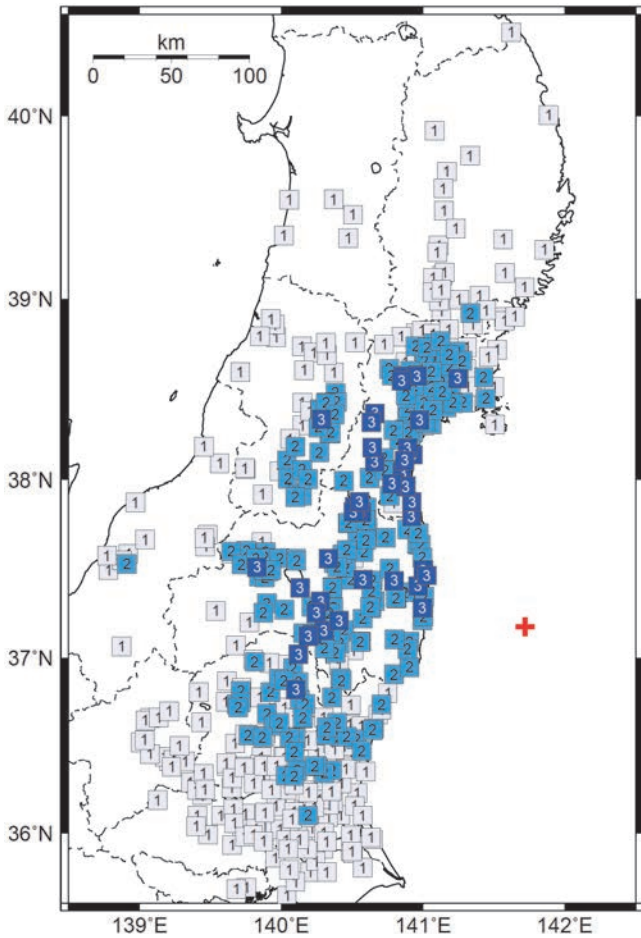
1 2月22日18時12分 熊本県熊本地方
 (M3.4、深さ10km、最大震度3)
 ※「平成28年(2016年)熊本地震」の活動のうち
 2月の最大震度を観測した地震の震度分布を表示



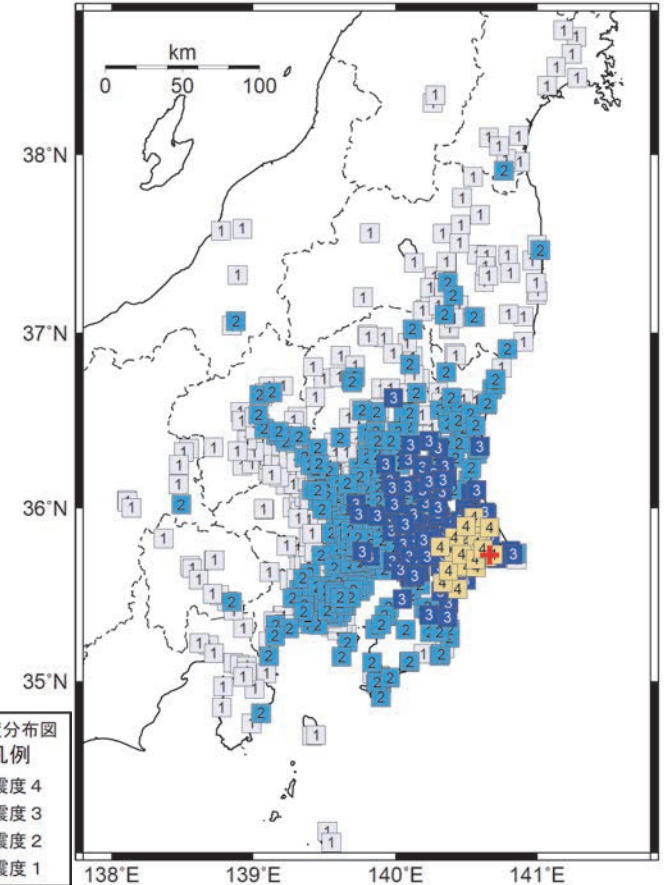
2 2月7日20時03分 茨城県北部
 (M4.4、深さ6km、最大震度3)
 ※12月28日からの茨城県北部の地震活動のうち
 2月の最大規模の地震の震度分布を表示



3 2月11日06時05分 福島県沖
 (M5.4、深さ23km注、最大震度3)



4 2月19日18時19分 千葉県北東部
 (M5.4、深さ52km、最大震度4)



震度分布図
 凡例
 4 震度4
 3 震度3
 2 震度2
 1 震度1

図3-1 震度分布図（各図の左上の数字は表1、図2の番号に対応する。+印は震央を示す。）
 注 2月11日の福島県沖の地震の深さはCMT解による

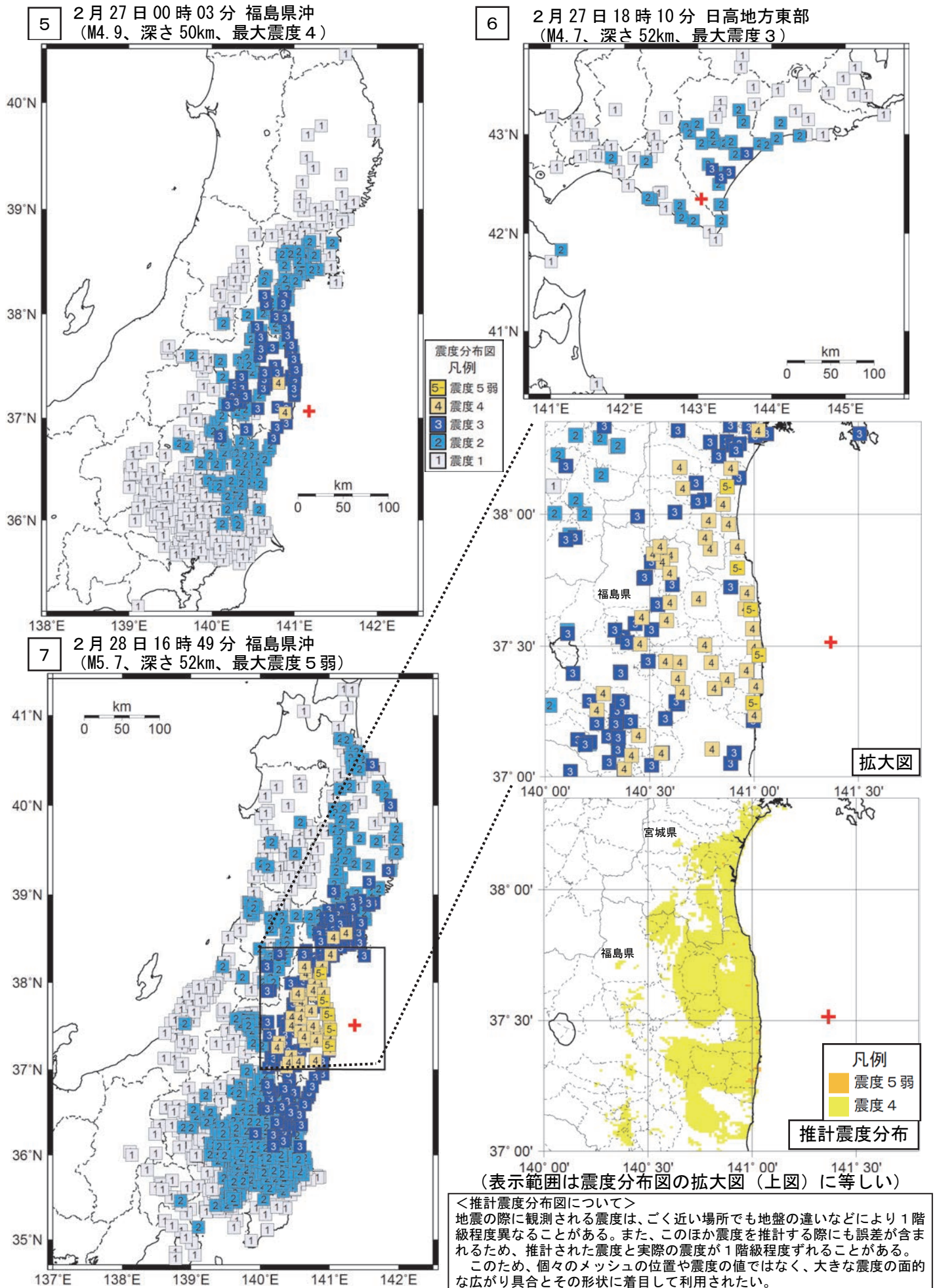


図3-2 震度分布図（各図の左上の数字は表1、図2の番号に対応する。+印は震央を示す。）

○北海道地方の地震活動

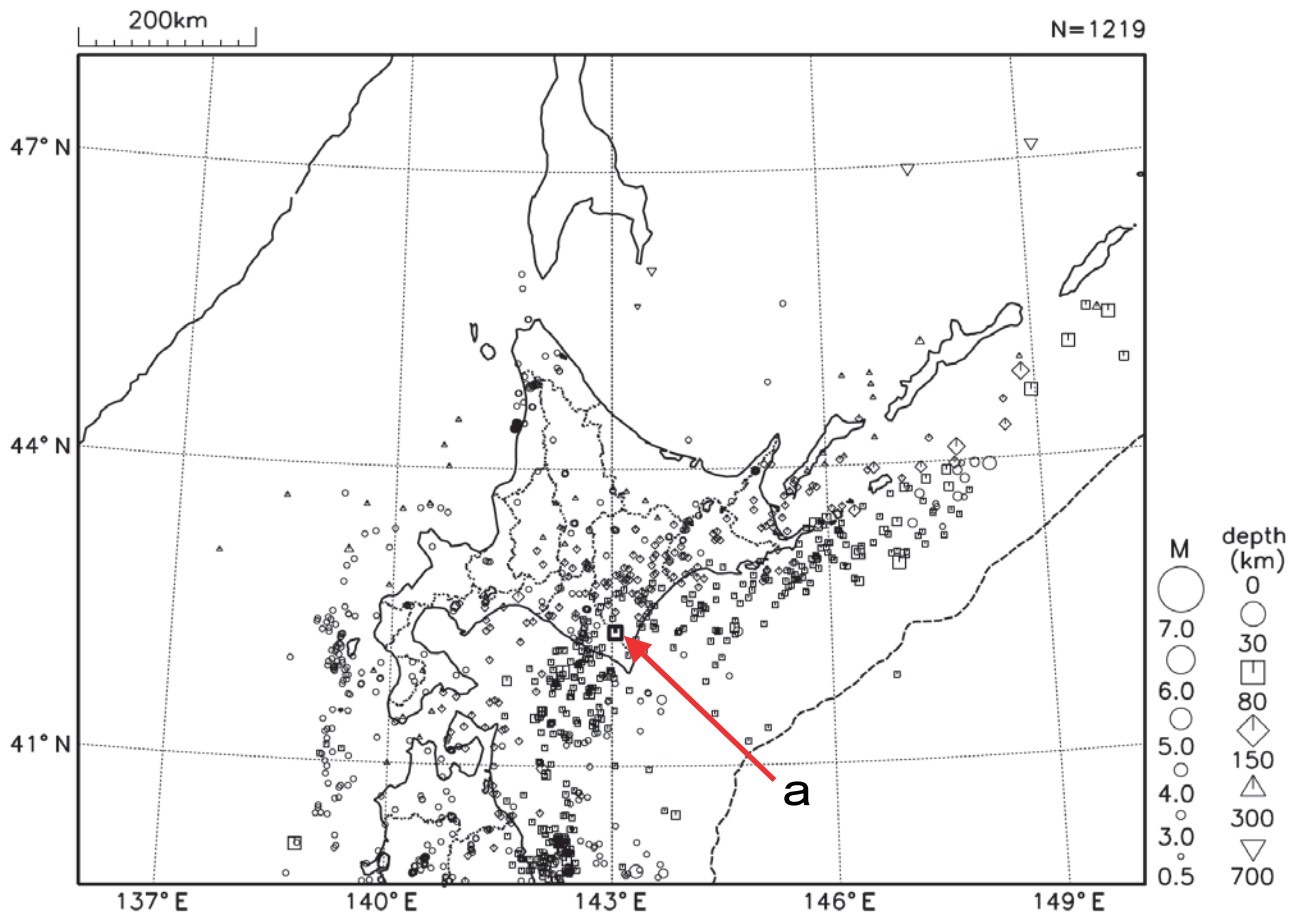


図4 北海道地方の震央分布図（2017年2月1日～2月28日、 $M \geq 0.5$ ）

〔概況〕

2月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は14回（1月は14回）であった。2月中の主な地震活動は次のとおりである。

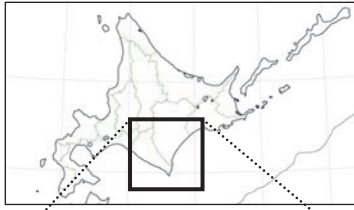
27日18時10分に日高地方東部の深さ52kmでM4.7の地震（図4中のa）が発生し、北海道幕別町、浦幌町、大樹町、更別村で震度3を観測したほか、北海道と青森県の一部で震度2～1を観測した（p5、7参照）。

この地震の情報発表に用いた震央地名は〔十勝地方南部〕である。

2月27日 日高地方東部の地震

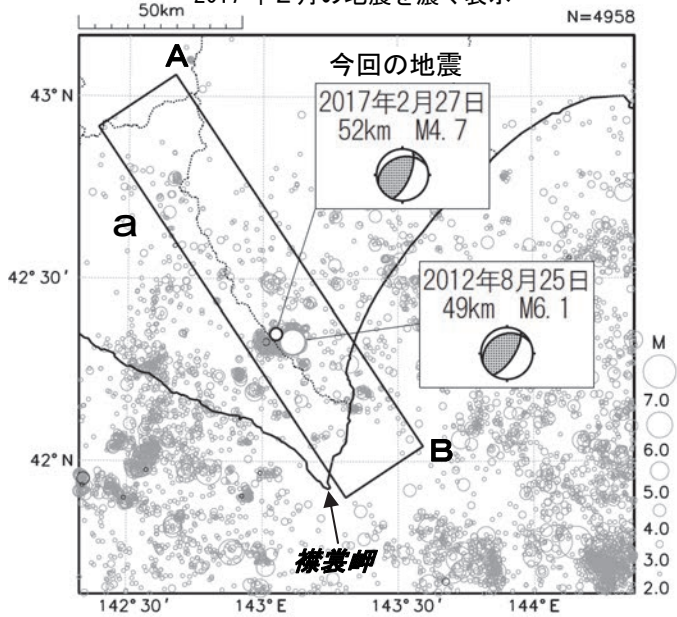
情報発表に用いた震央地名は〔十勝地方南部〕である。

北海道周辺の地図

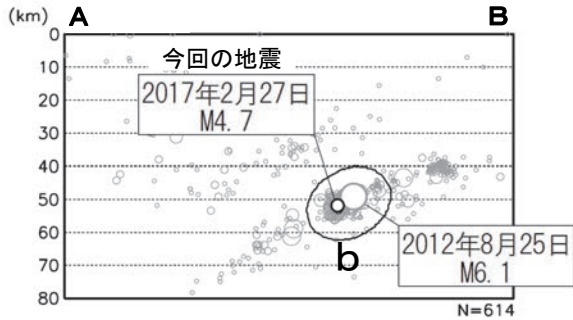


震央分布図

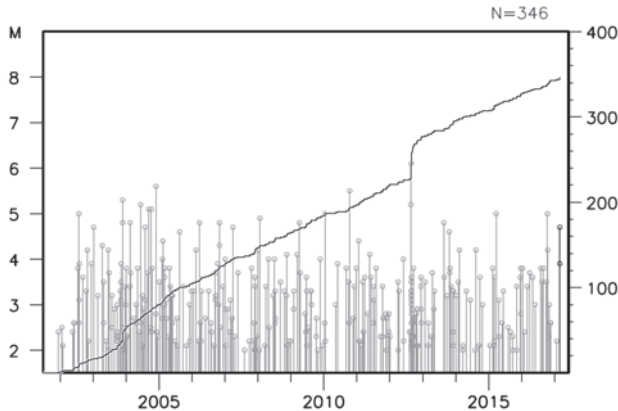
(2001年10月1日～2017年2月28日、
深さ0～80km、M≥2.0)
2017年2月の地震を濃く表示



領域 a 内の断面図（A-B 投影）

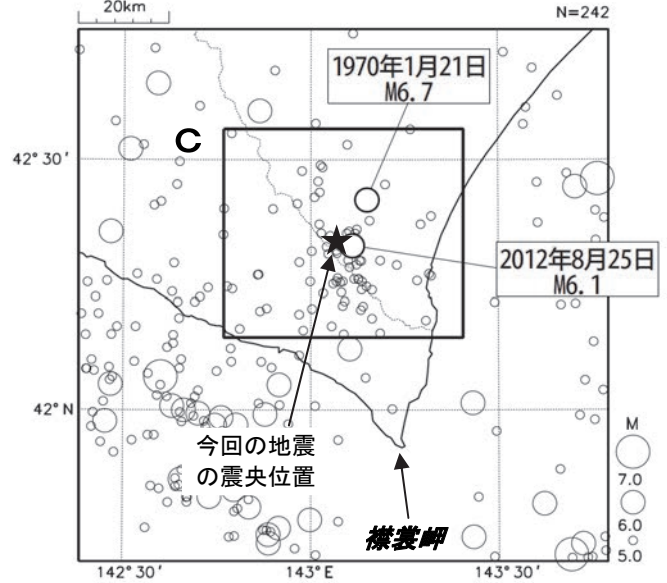


領域 b 内の M-T 図及び回数積算図

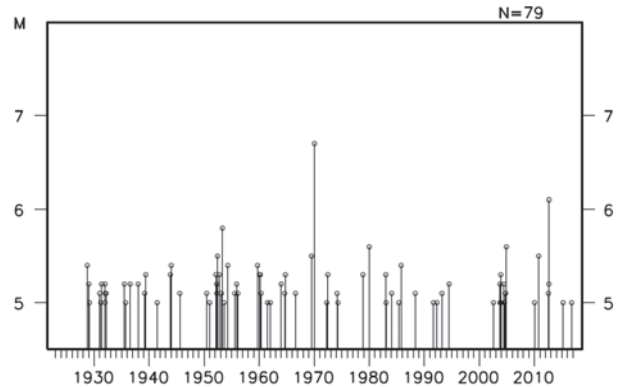


震央分布図

(1923年1月1日～2017年2月28日、
深さ0～100km、M≥5.0)



領域 c 内の M-T 図



○東北地方の地震活動

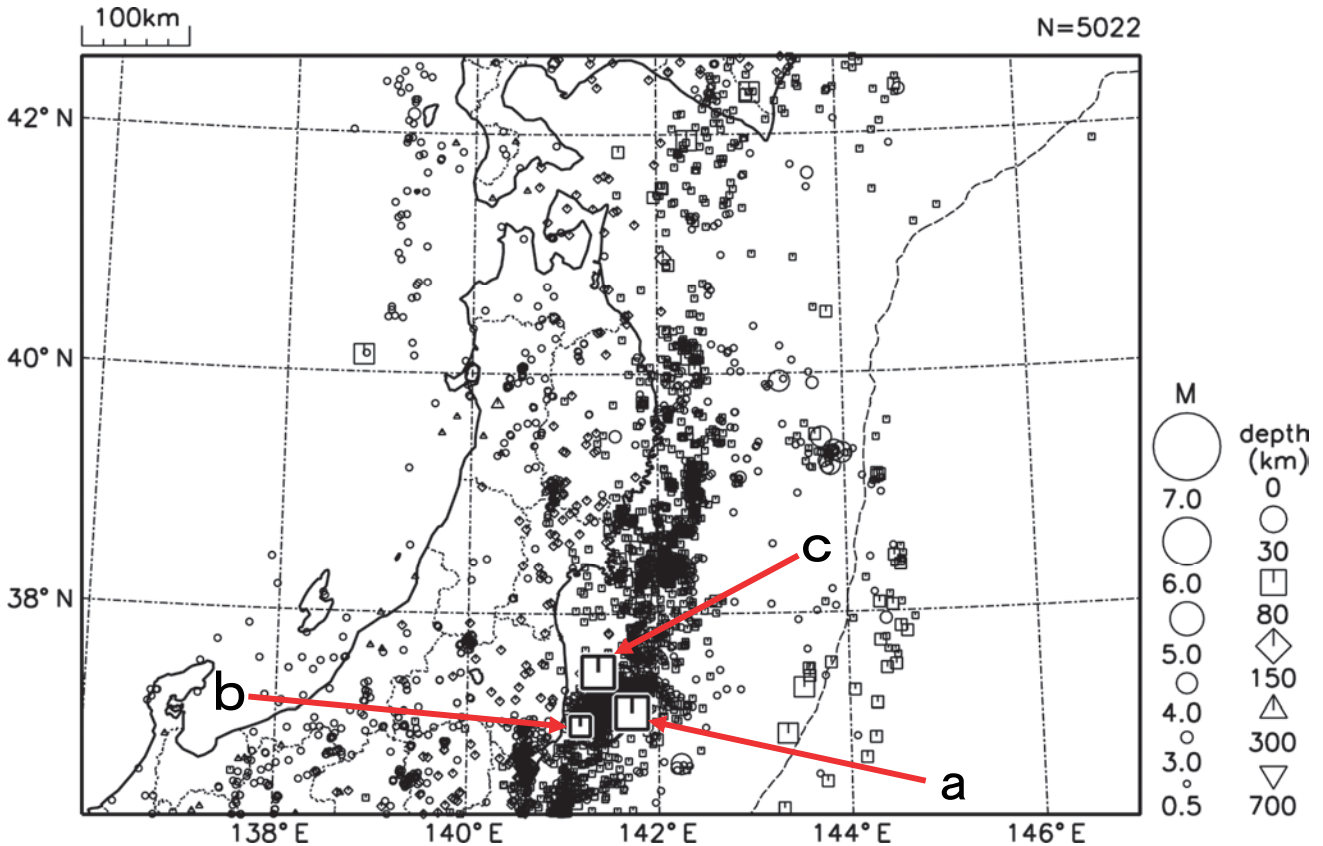


図5 東北地方の震央分布図（2017年2月1日～2月28日、M \geq 0.5）

〔概況〕

2月に東北地方で震度1以上を観測した地震は43回（1月は54回）であった。2月中の主な活動は次のとおりである。

11日06時05分に福島県沖の深さ23km（CMT解による）でM5.4の地震（図5中のa）が発生し、東北地方南部と栃木県で震度3を観測したほか、東北地方、関東地方及び新潟県で震度2～1を観測した（p. 4、9参照）。

27日00時03分に福島県沖の深さ50kmでM4.9の地震（図5中のb）が発生し、福島県で震度4を観測したほか、東北地方から関東地方及び新潟県にかけて震度3～1を観測した。（p. 5、10参照）。

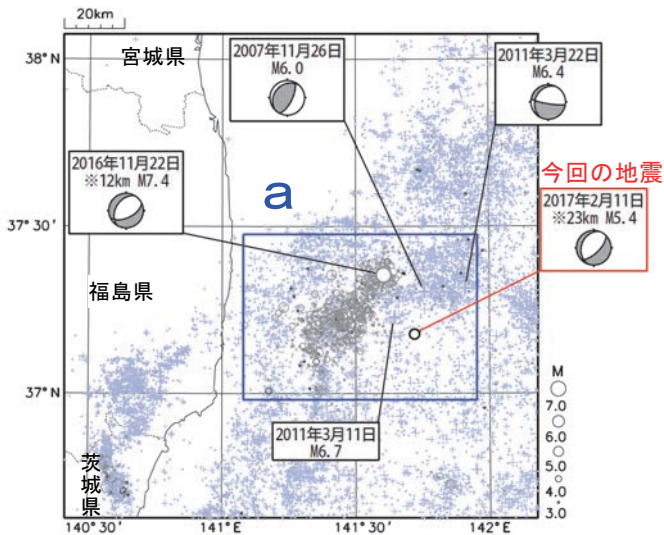
28日16時49分に福島県沖の深さ52kmでM5.7の地震（図5中のc）が発生し、宮城県、福島県で震度5弱を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度4～1を観測した。（p. 5、11参照）。

2 月 11 日 福島県沖の地震

震央分布図*

(1997 年 10 月 1 日～2017 年 2 月 28 日、
深さ 0～50km、 $M \geq 3.0$)

2016 年 11 月 21 日以前に発生した地震を+、
2016 年 11 月 22 日以降に発生した地震を薄い○、
2017 年 2 月に発生した地震を濃い○で表示
図中の発震機構は CMT 解



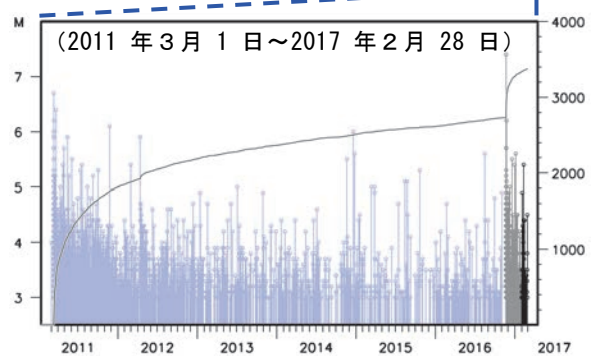
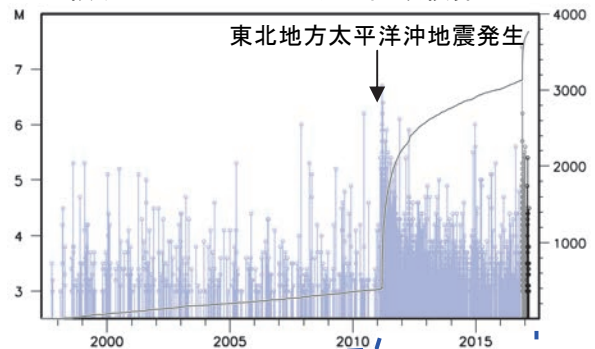
※ 2016 年 11 月 22 日の地震 (M7.4) と今回の地震の
深さは CMT 解による。

2017 年 2 月 11 日 06 時 05 分に福島県沖の深さ 23km (CMT 解による) で M5.4 の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生し、発震機構 (CMT 解) は北西-南東方向に張力軸を持つ正断層型であった。

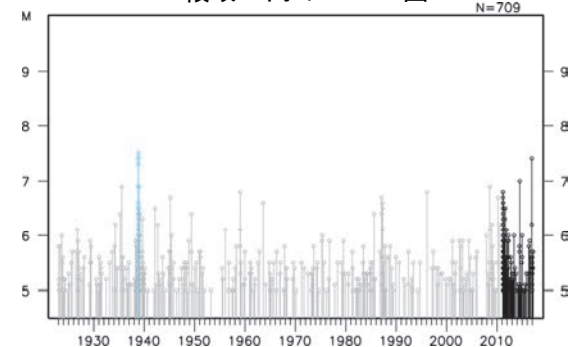
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 a) では、M5.0 を超える地震が時々発生しており、「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」 (以下、東北地方太平洋沖地震) の発生以降、地震活動が活発化した。今回の地震は、2016 年 11 月 22 日に M7.4 の地震が発生した後に地震活動が活発化している領域よりも沖合側で発生した。

1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 b) では、1938 年 11 月 5 日 17 時 43 分に M7.5 の地震が発生した。この地震により、宮城県花洲で 113cm (全振幅) の津波が観測された。この地震の発生後、地震活動が活発となり、同年 11 月 30 日までに M6.0 以上の地震が 25 回発生していた。これらの地震により、死者 1 人、負傷者 9 人、住家全壊 4 棟、半壊 29 棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図*



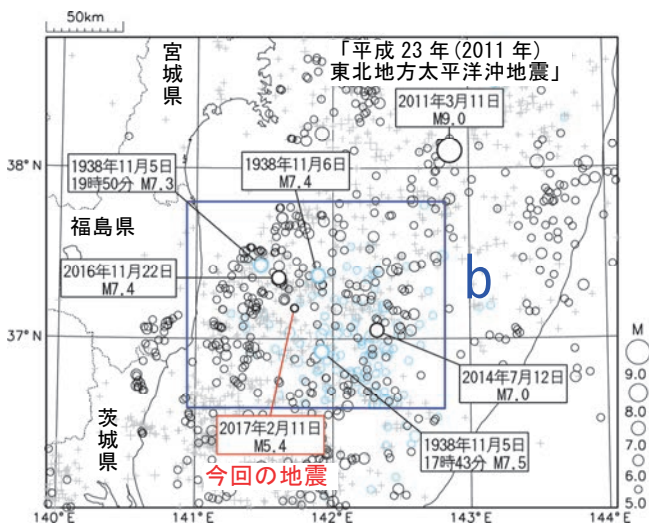
領域 b 内の M-T 図



震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2017 年 2 月 28 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 5.0$)

1938 年 11 月 1 日～12 月 31 日に発生した地震を○、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を濃い○、
それ以外を薄い+で表示



* 2016 年 11 月 22 日の地震 (M7.4) の発生直後には、
未処理のデータがある。

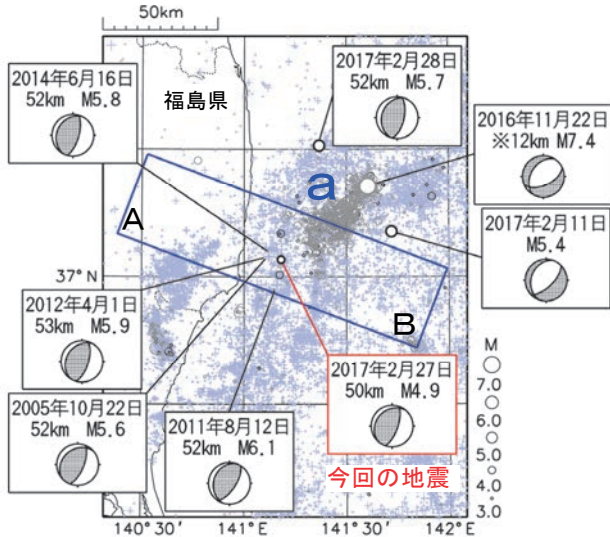
2 月 27 日 福島県沖の地震

震央分布図*

(1997 年 10 月 1 日～2017 年 2 月 28 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 3.0$)

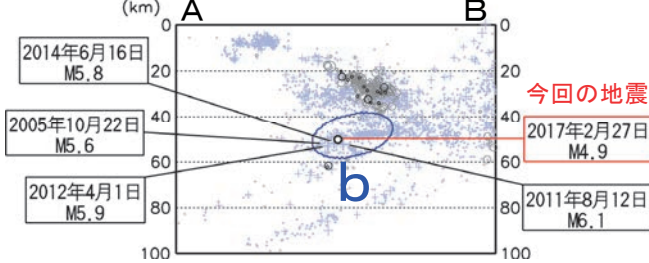
2016 年 11 月 21 日以前に発生した地震を+、
2016 年 11 月 22 日以降に発生した地震を薄い○、
2017 年 2 月に発生した地震を濃い○で表示

図中の発震機構は CMT 解



※ 2016 年 11 月 22 日の地震 ($M7.4$) の深さは CMT 解による。

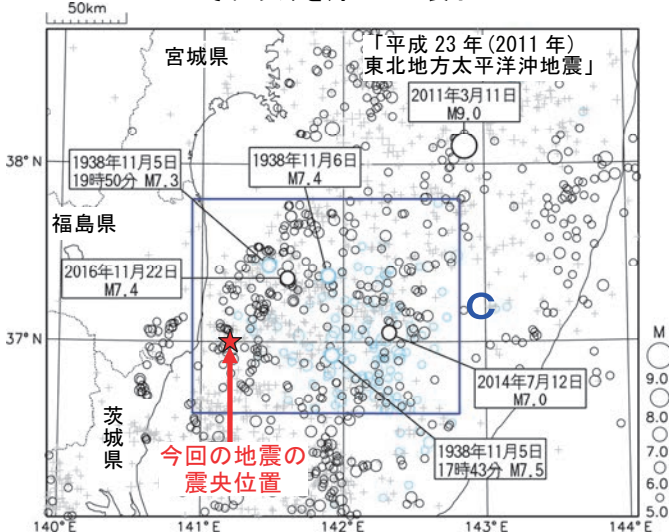
領域 a 内の断面図* (A-B 投影)



震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2017 年 2 月 28 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 5.0$)

1938 年 11 月 1 日～12 月 31 日に発生した地震を○、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を濃い○、
それ以外を薄い+で表示

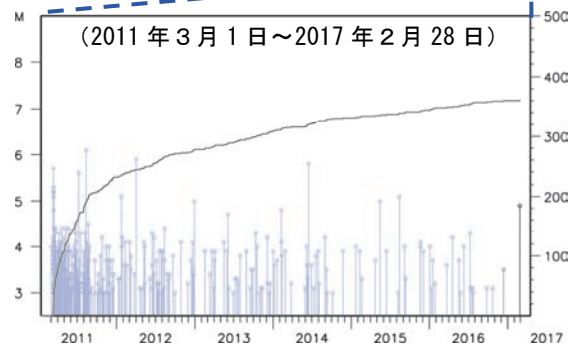
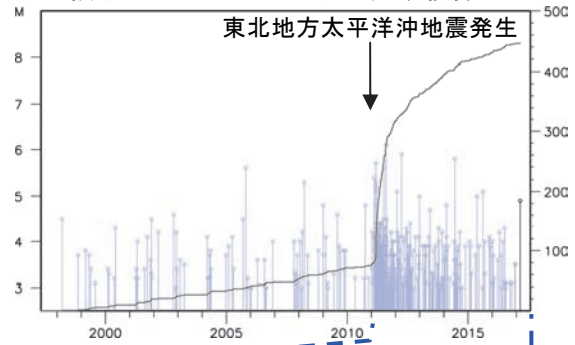


2017 年 2 月 27 日 00 時 03 分に福島県沖の深さ 50km で $M4.9$ の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は発震機構 (CMT 解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

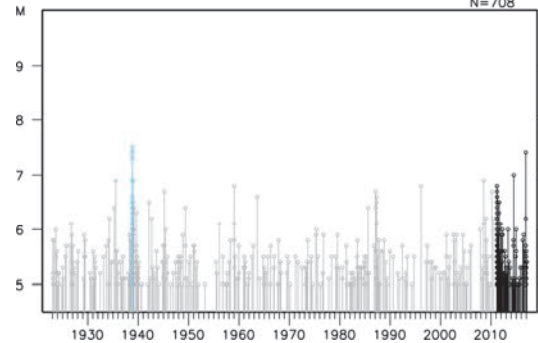
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動が活発化し、 $M6.0$ を超える地震も発生している。

1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、1938 年 11 月 5 日 17 時 43 分に $M7.5$ の地震が発生した。この地震により、宮城県花淵で 113cm (全振幅) の津波が観測された。この地震の発生後、地震活動が活発となり、同年 11 月 30 日までに $M6.0$ 以上の地震が 25 回発生していた。これらの地震により、死者 1 人、負傷者 9 人、住家全壊 4 棟、半壊 29 棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図*



領域 c 内の M-T 図



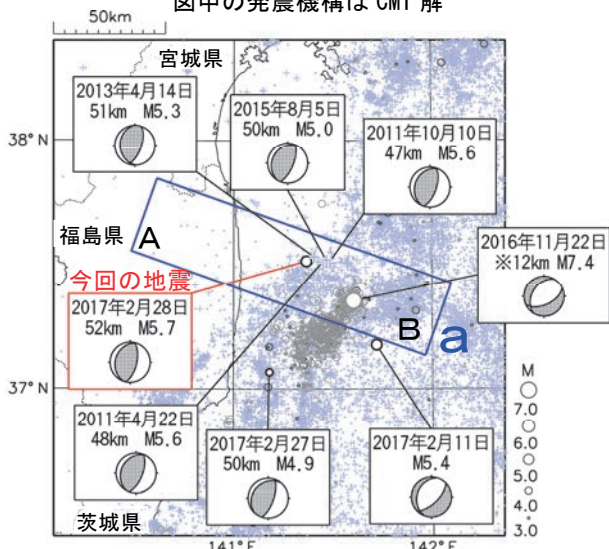
* 2016 年 11 月 22 日の地震 ($M7.4$) の発生直後には、未処理のデータがある。

2 月 28 日 福島県沖の地震

震央分布図*

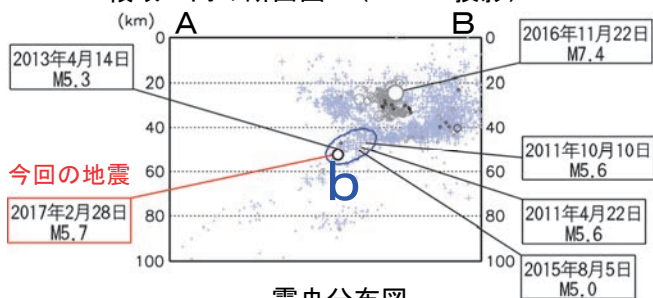
(1997 年 10 月 1 日～2017 年 2 月 28 日、
深さ 0 ～ 100km、 $M \geq 3.0$)

2016 年 11 月 21 日以前に発生した地震を +、
2016 年 11 月 22 日以降に発生した地震を薄い ○、
2017 年 2 月に発生した地震を濃い ○ で表示
図中の発震機構は CMT 解



※ 2016 年 11 月 22 日の地震 ($M7.4$) の深さは CMT 解による。

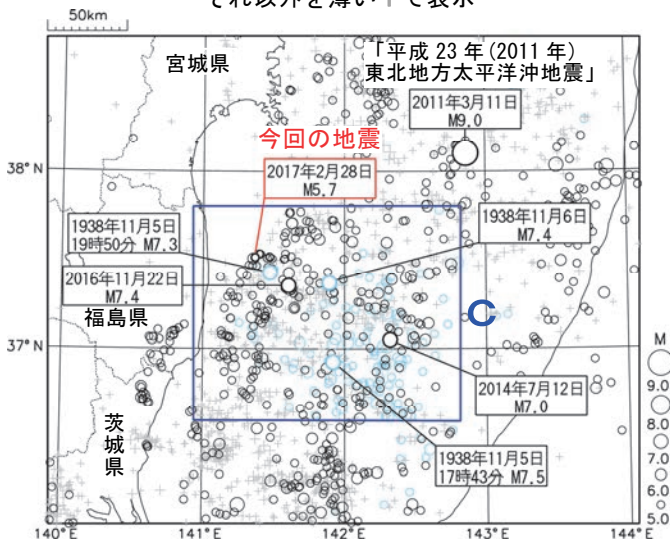
領域 a 内の断面図* (A-B 投影)



震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2017 年 2 月 28 日、
深さ 0 ～ 150km、 $M \geq 5.0$)

1938 年 11 月 1 日～12 月 31 日に発生した地震を ○、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を濃い ○、
それ以外を薄い + で表示

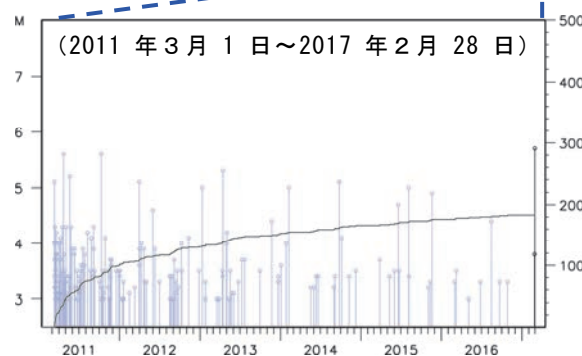
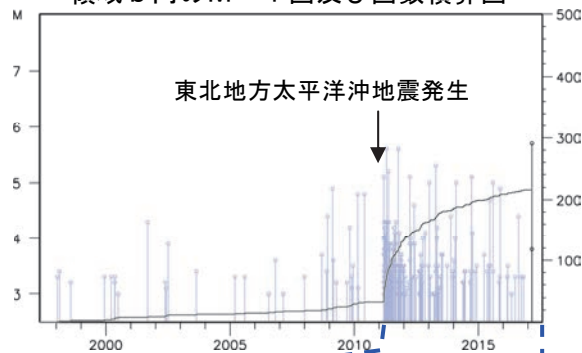


2017 年 2 月 28 日 16 時 49 分に福島県沖の深さ 52km で $M5.7$ の地震 (最大震度 5 弱) が発生した。この地震は発震機構 (CMT 解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

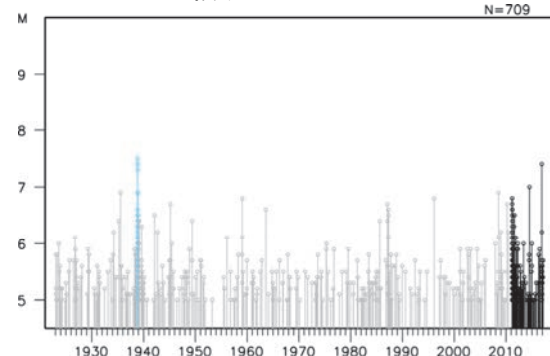
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動が活発化し、 $M5.0$ を超える地震も発生している。

1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、1938 年 11 月 5 日 17 時 43 分に $M7.5$ の地震が発生した。この地震により、宮城県花淵で 113cm (全振幅) の津波が観測された。この地震の発生後、地震活動が活発となり、同年 11 月 30 日までに $M6.0$ 以上の地震が 25 回発生していた。これらの地震により、死者 1 人、負傷者 9 人、住家全壊 4 棟、半壊 29 棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図*

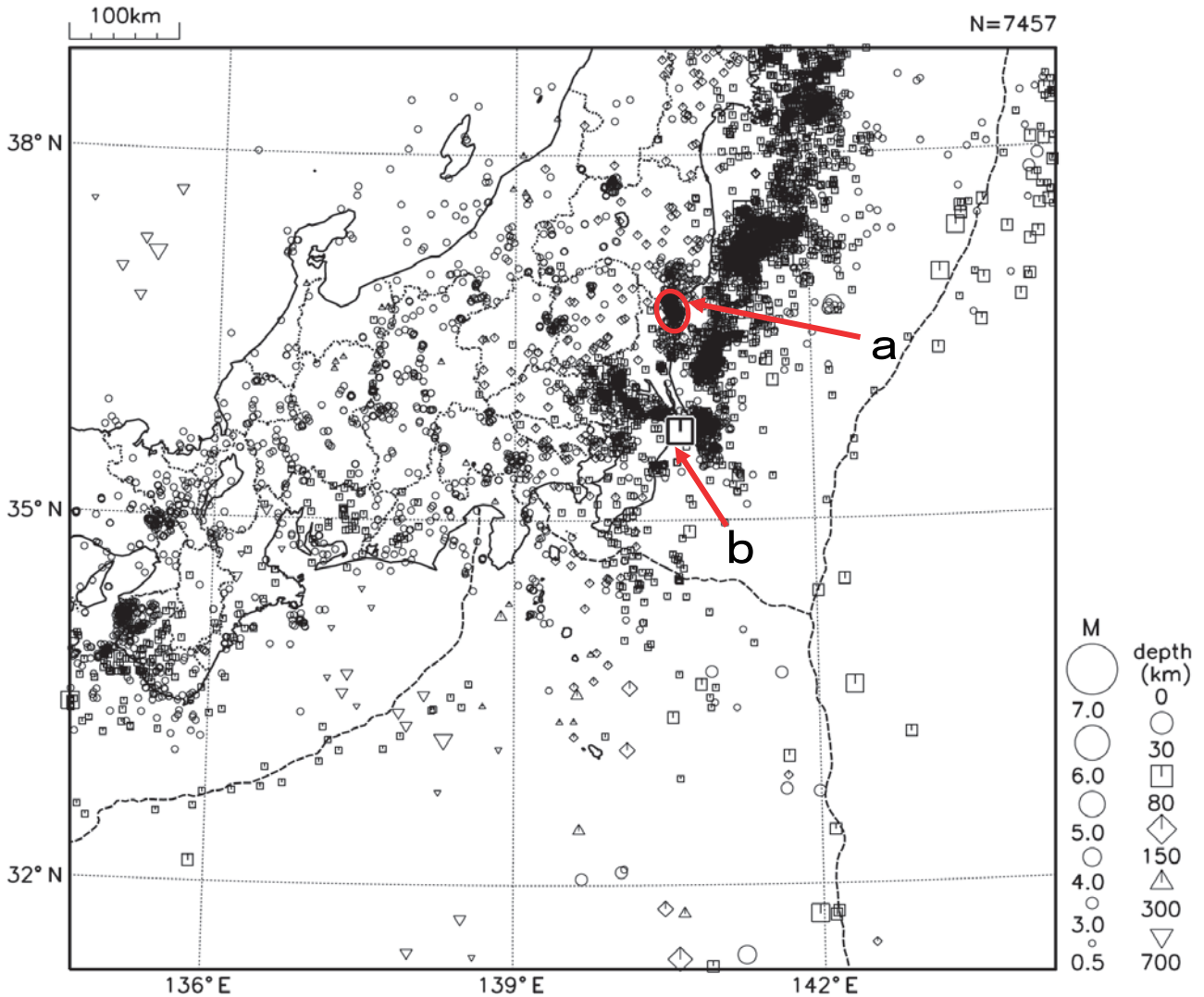


領域 c 内の M-T 図



* 2016 年 11 月 22 日の地震 ($M7.4$) の発生直後には、未処理のデータがある。

○関東・中部地方の地震活動

図6 関東・中部地方の震央分布図（2017年2月1日～2月28日、M \geq 0.5）

〔概況〕

2月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は56回（1月は43回）であった。2月中の主な地震活動は次のとおりである。

2017年2月における2016年12月28日からの茨城県北部の地震活動（図6中の領域a）は、減衰しつつも継続しており、2月28日までに震度1以上を観測する地震が16回発生した。最大規模の地震は、2月7日に発生したM4.4の地震（最大震度3、深さ6km）であった。（p. 4、13参照）

19日18時19分に千葉県北東部の深さ52kmでM5.4の地震（図6中のb）が発生し、茨城県、千葉県で震度4を観測したほか、関東地方を中心に東北地方南部から中部地方にかけて震度3～1を観測した。（p. 4、14参照）

この地震について、情報発表に用いた震央地名は〔千葉県東方沖〕である。

2016 年 12 月 28 日からの茨城県北部の地震活動

2017 年 2 月中の最大規模の地震は、2 月 7 日 20 時 03 分に発生した M4.4 の地震（最大震度 3、深さ 6 km）であった。茨城県北部の地震活動で M4.0 を超える地震を観測したのは、2016 年 12 月 28 日 21 時 48 分の M6.3 の地震（最大震度 6 弱、深さ 11km）発生直後の 21 時 53 分に発生した M4.7 の地震（最大震度 4、深さ 6 km）以来であった。2 月 7 日の地震は、2016 年 12 月 28 日 21 時 53 分の地震とほぼ同じ場所で発生した。また、2 月中に震度 1 以上を観測した地震は 16 回（最大震度 3：1 回、最大震度 2：7 回、最大震度 1：8 回）発生した。

2016 年 12 月 28 日からの茨城県北部の地震活動は減衰しつつも、北北西－南南東方向に延びる長さ約 15km の領域で継続している。

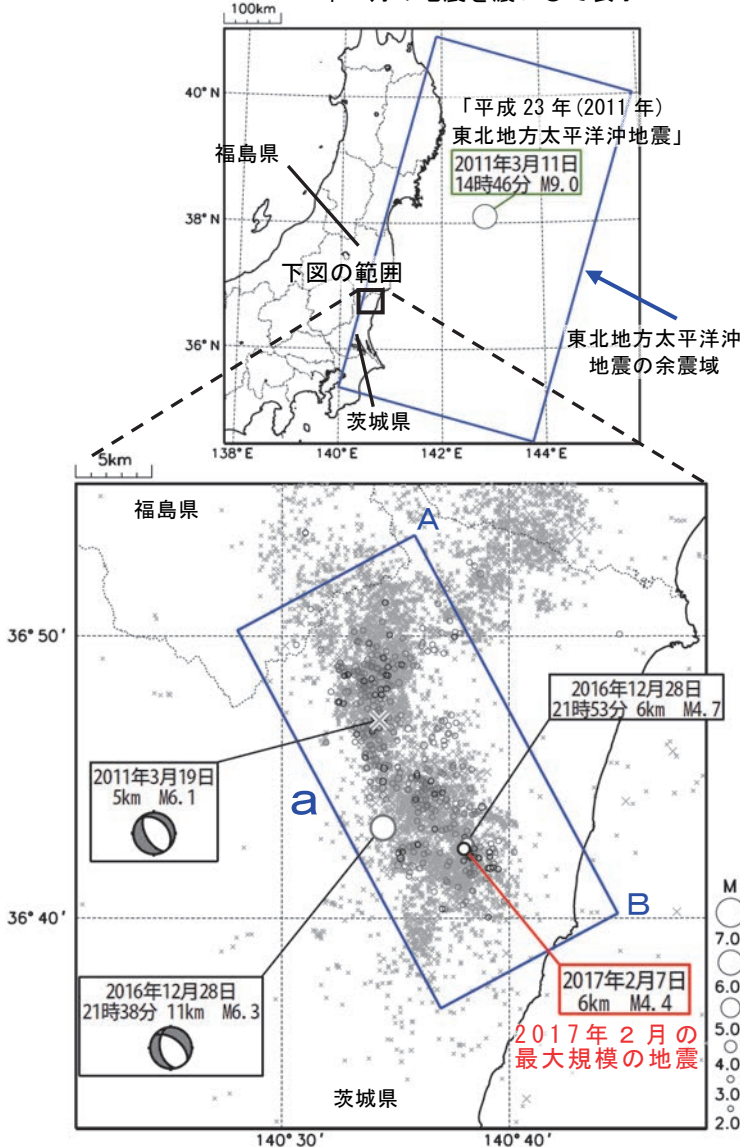
震央分布図

(2011 年 3 月 1 日～2017 年 2 月 28 日、深さ 0～20km、 $M \geq 2.0$)

2016 年 12 月 27 日までの地震を薄い×で表示

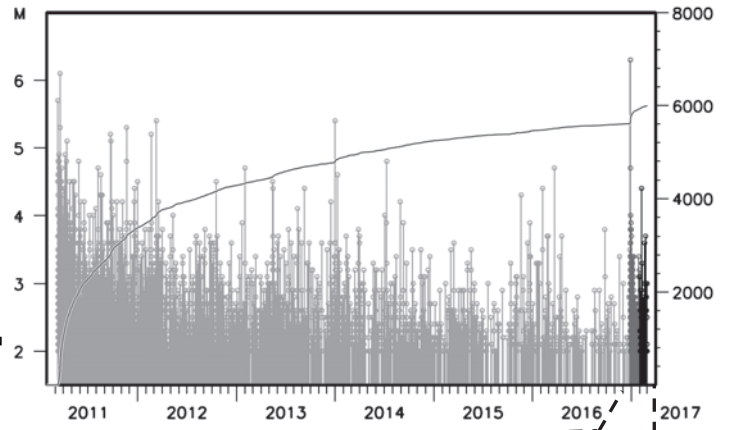
2016 年 12 月 28 日から 2017 年 1 月 31 日の地震を薄い○で表示

2017 年 2 月の地震を濃い○で表示

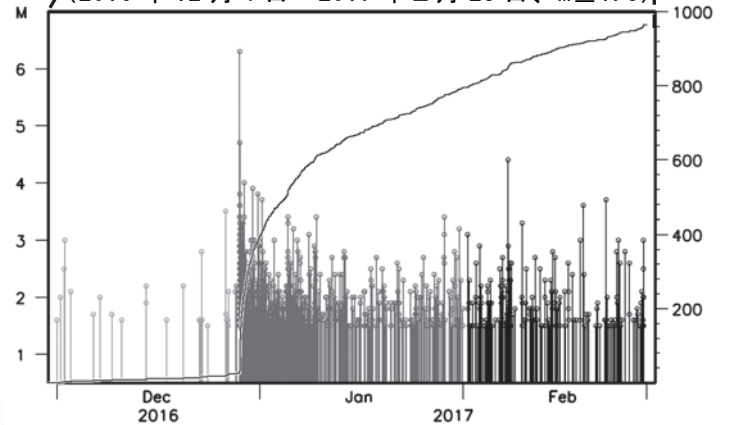


※2016 年 12 月 28 日以降は未処理のデータがある。

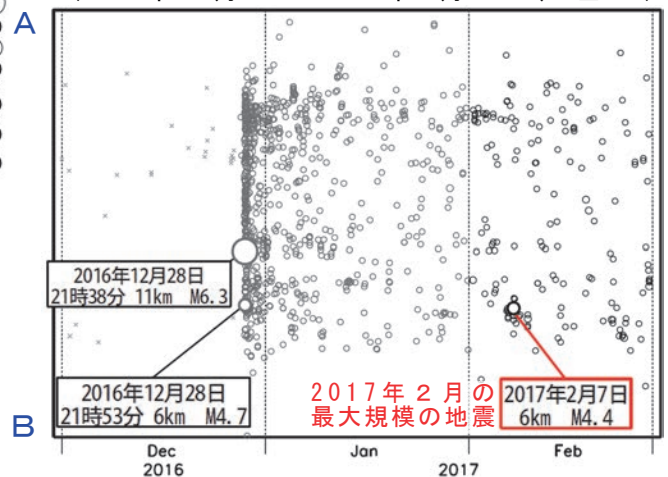
領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



(2016 年 12 月 1 日～2017 年 2 月 28 日、 $M \geq 1.5$)



領域 a 内の時空間分布図 (A-B 投影)
(2016 年 12 月 1 日～2017 年 2 月 28 日、 $M \geq 1.5$)



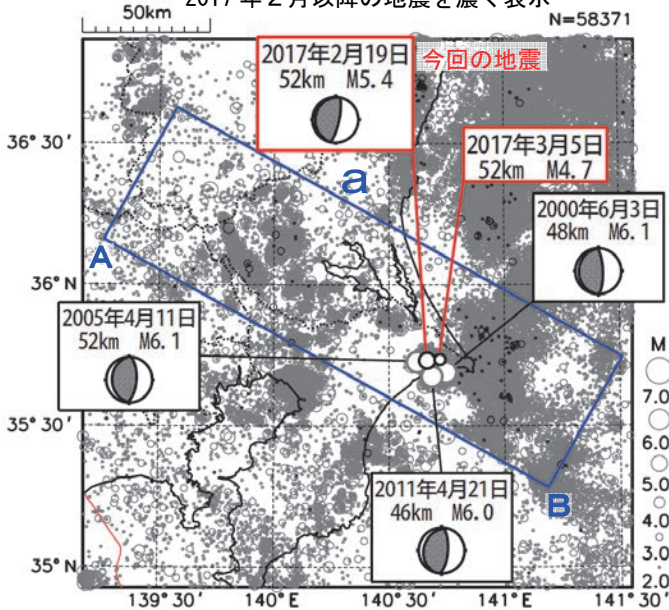
2 月 19 日 千葉県北東部の地震

情報発表に用いた震央地名は〔千葉県東方沖〕である。

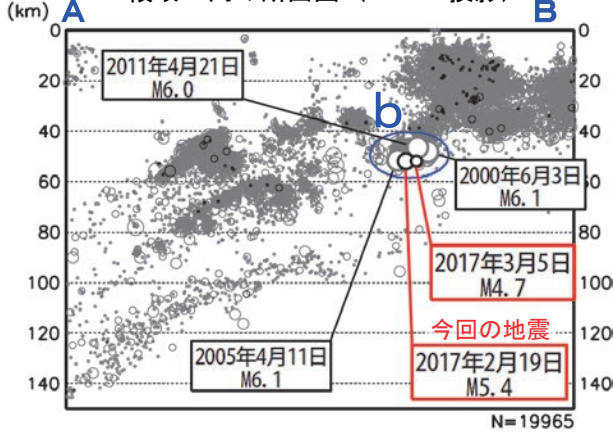
震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2017 年 3 月 5 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 2.0$)

2017 年 2 月以降の地震を濃く表示

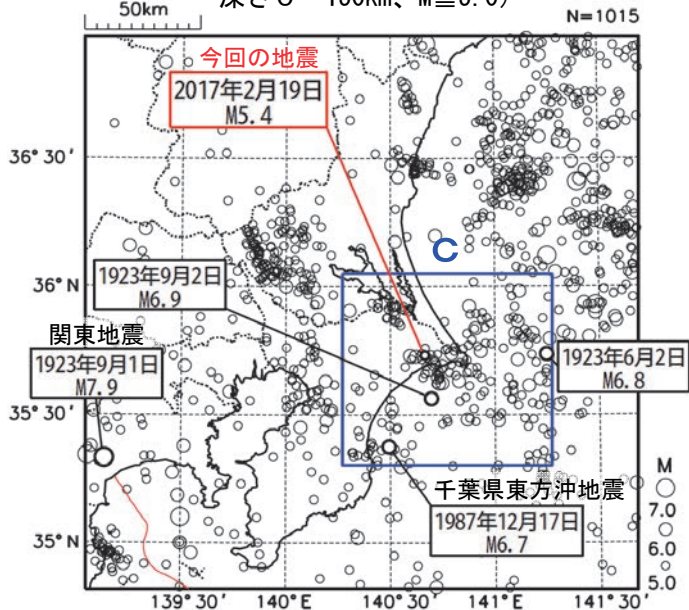


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図

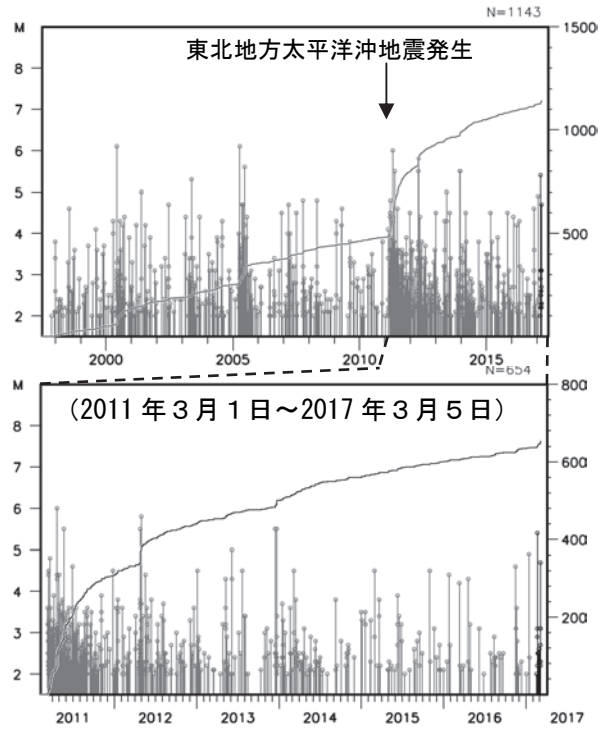
(1923 年 1 月 1 日～2017 年 3 月 5 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 5.0$)



2017 年 2 月 19 日 18 時 19 分に千葉県北東部の深さ 52km で M5.4 の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。なお、期間外の 2017 年 3 月 5 日 10 時 18 分にはほぼ同じ場所で M4.7 の地震 (最大震度 3) が発生している。

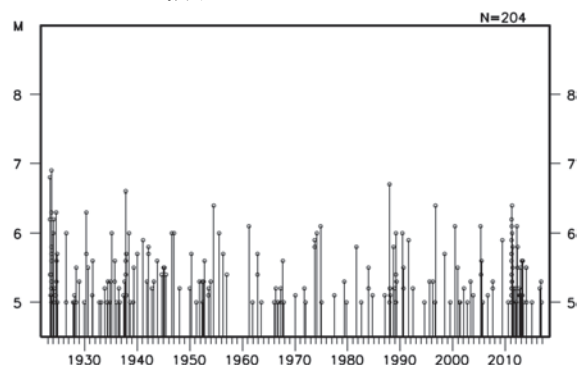
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) は、M6 程度の地震が時々発生している。「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」の発生以降、地震活動がより活発になっている。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、M6.0 程度の地震が時々発生している。1987 年 12 月 17 日にフィリピン海プレート内部で発生した千葉県東方沖地震 (M6.7、最大震度 5) では、死者 2 人、負傷者 161 人、住家全壊 16 棟、住家半壊 102 棟、住家一部破損 72,580 棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域 c 内の M-T 図



○ 近畿・中国・四国地方の地震活動

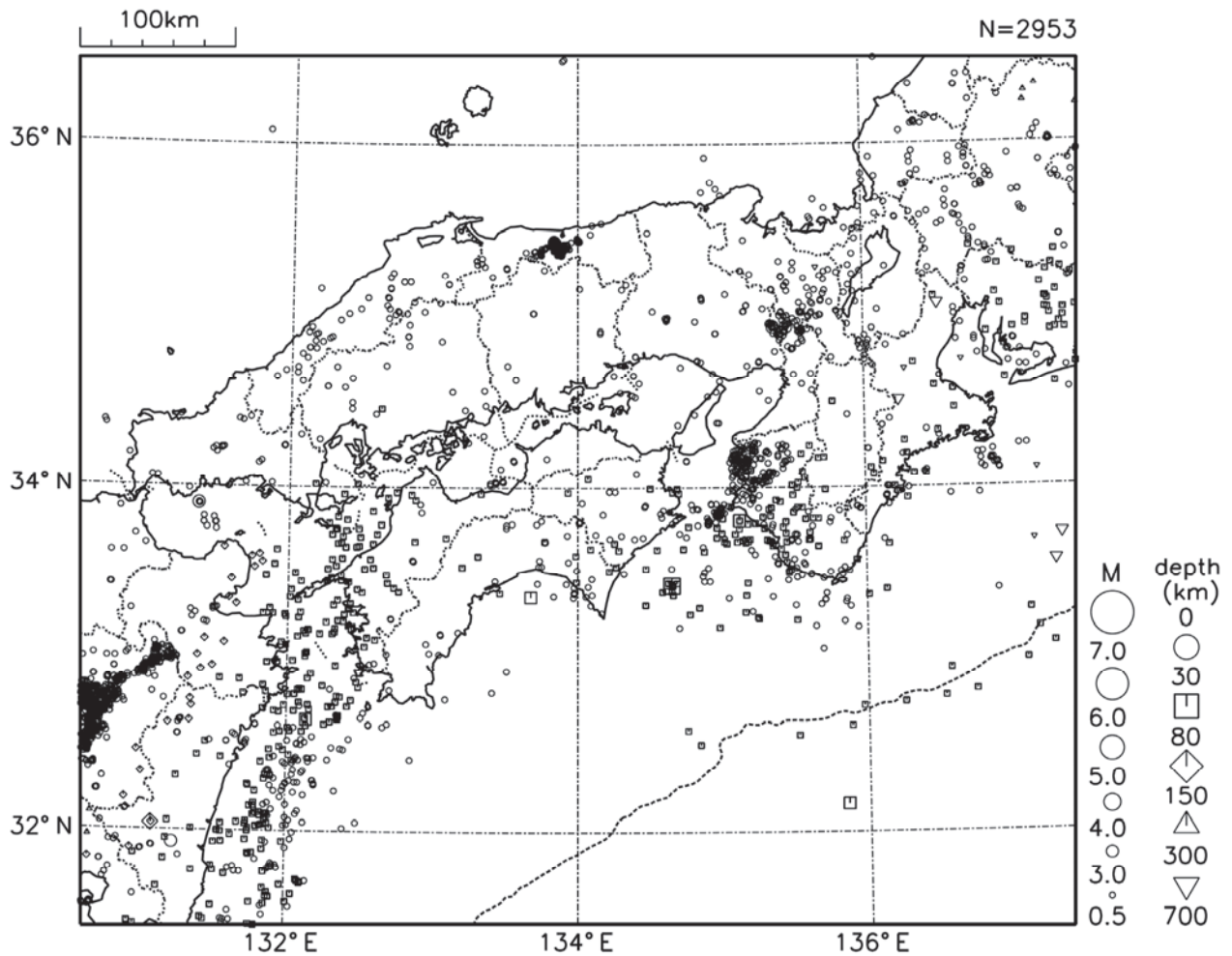


図7 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2017年2月1日～2月28日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

2月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は16回（1月は14回）であった。2月中、特に目立った活動はなかった。

○九州地方の地震活動

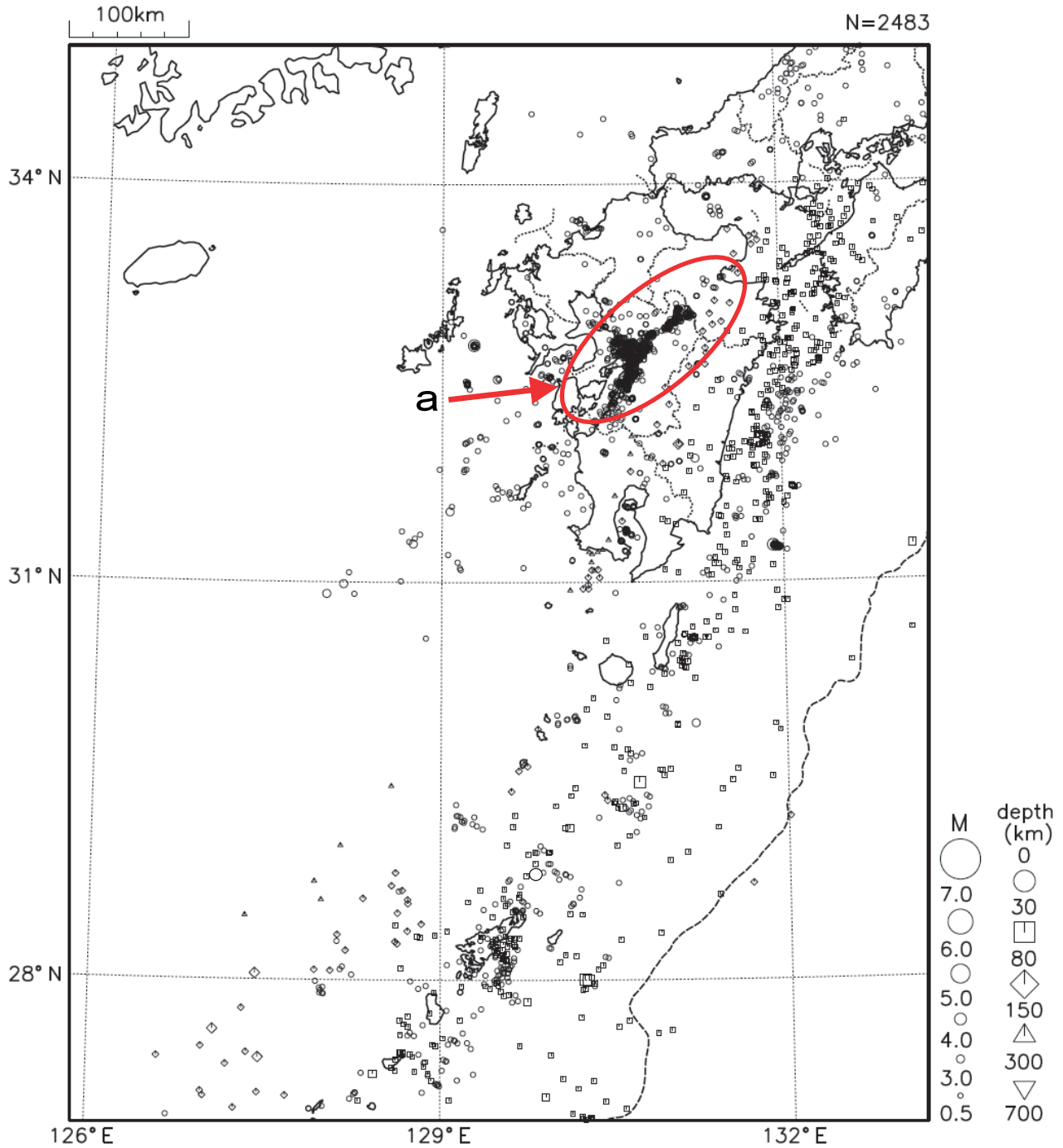


図8 九州地方の震央分布図（2017年2月1日～2月28日、M \geq 0.5）

[概況]

2月に九州地方で震度1以上を観測した地震は35回（1月は40回）であった。
2月中の主な活動は次のとおりである。

2017年2月の「平成28年（2016年）熊本地震」（図8中の領域a）は、熊本県熊本地方と阿蘇地方において、全体として引き続き減衰しつつも、活動は継続している（p. 4、17～18参照）。

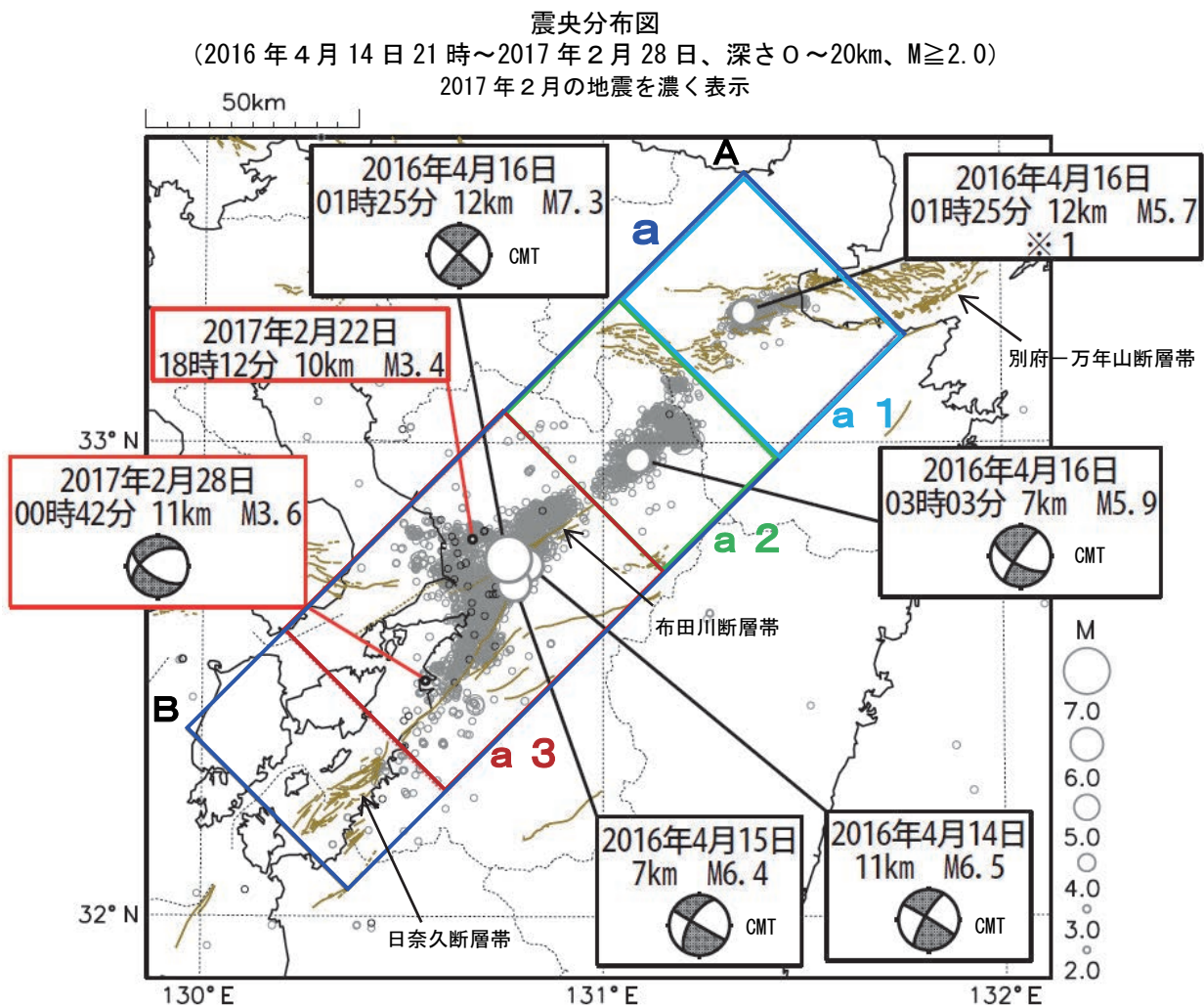
「平成 28 年（2016 年）熊本地震」

2 月 22 日 18 時 12 分に、熊本県熊本地方で M3.4 の地震（最大震度 3、深さ 10km）が発生した。2 月中の最大規模の地震は、2 月 28 日 00 時 42 分に熊本県熊本地方で発生した M3.6（最大震度 2、深さ 11km）の地震で、発震機構は、南北方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。

熊本県熊本地方（領域 a 3）及び阿蘇地方（領域 a 2）における「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の一連の地震活動は、全体として引き続き減衰しつつも、活動は継続している。大分県中部（領域 a 1）の活動は低下した。

2 月中に震度 1 以上を観測した地震は 18 回（最大震度 3：1 回、最大震度 2：4 回、最大震度 1：13 回）発生した。

今回の一連の地震活動により、死者 207 人、負傷者 2,728 人、住家全壊 8,425 棟などの被害が発生した（2 月 27 日現在、総務省消防庁による）。

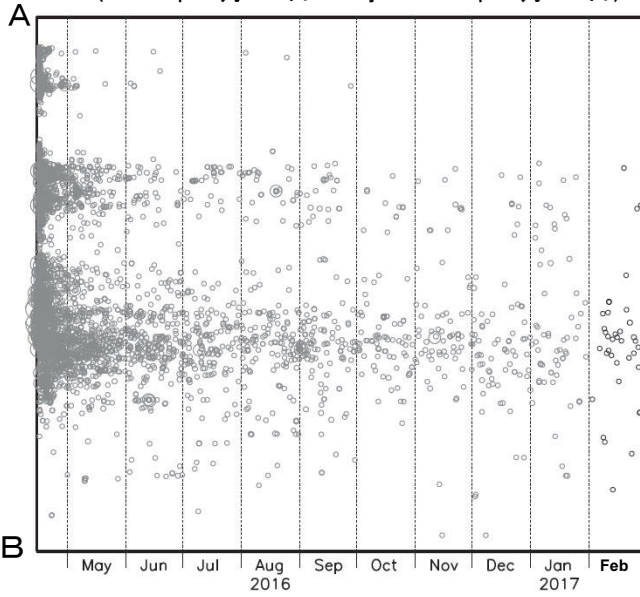


図中の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

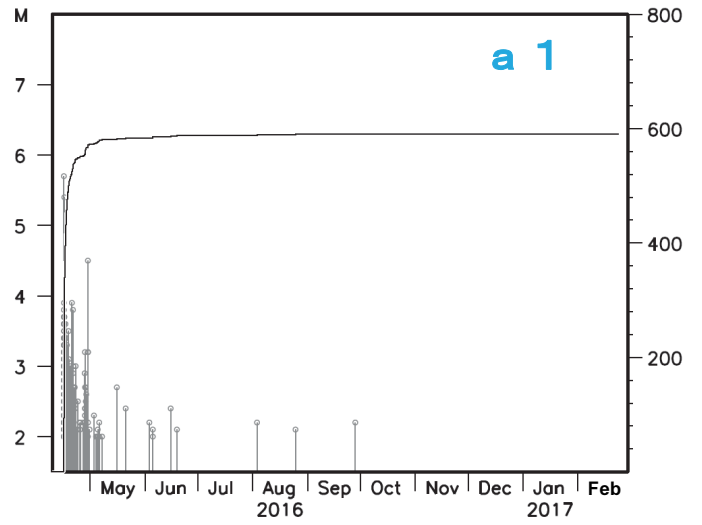
M6.0 以上の地震と各領域で最大規模の地震（2 月の地震は最大震度を観測した地震と最大規模の地震）に吹き出しをつけている。

※1 M7.3 の地震の発生直後に発生したものであり、M の値は参考値。

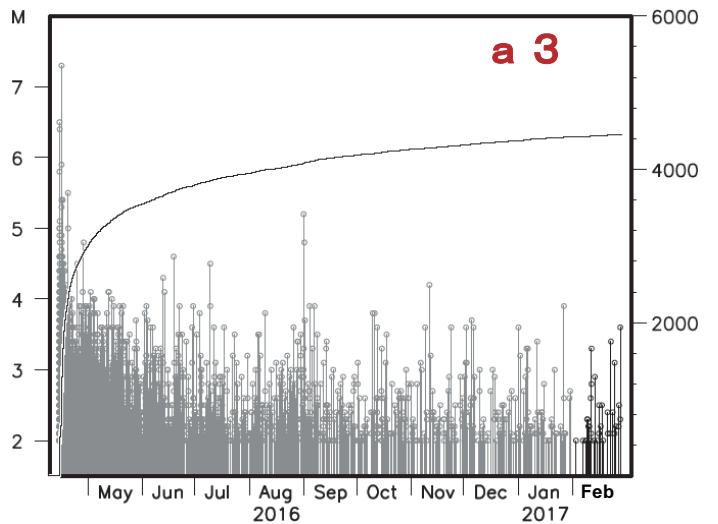
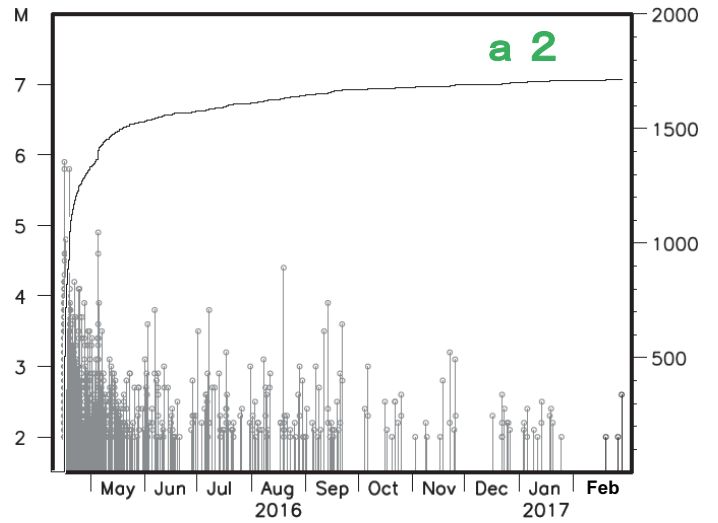
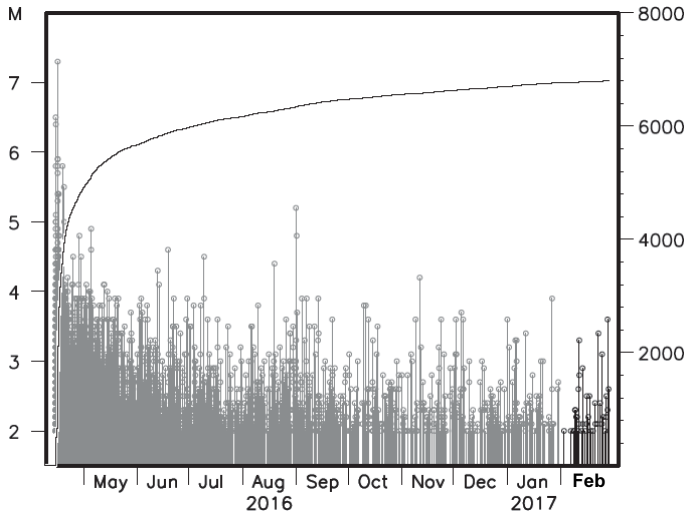
領域 a 内の時空間分布図（A-B 投影）
（2016 年 4 月 14 日 21 時～2017 年 2 月 28 日）



領域 a1, a2, a3 内の M-T 図及び回数積算図
（2016 年 4 月 14 日 21 時～2017 年 2 月 28 日）



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



○沖縄地方の地震活動

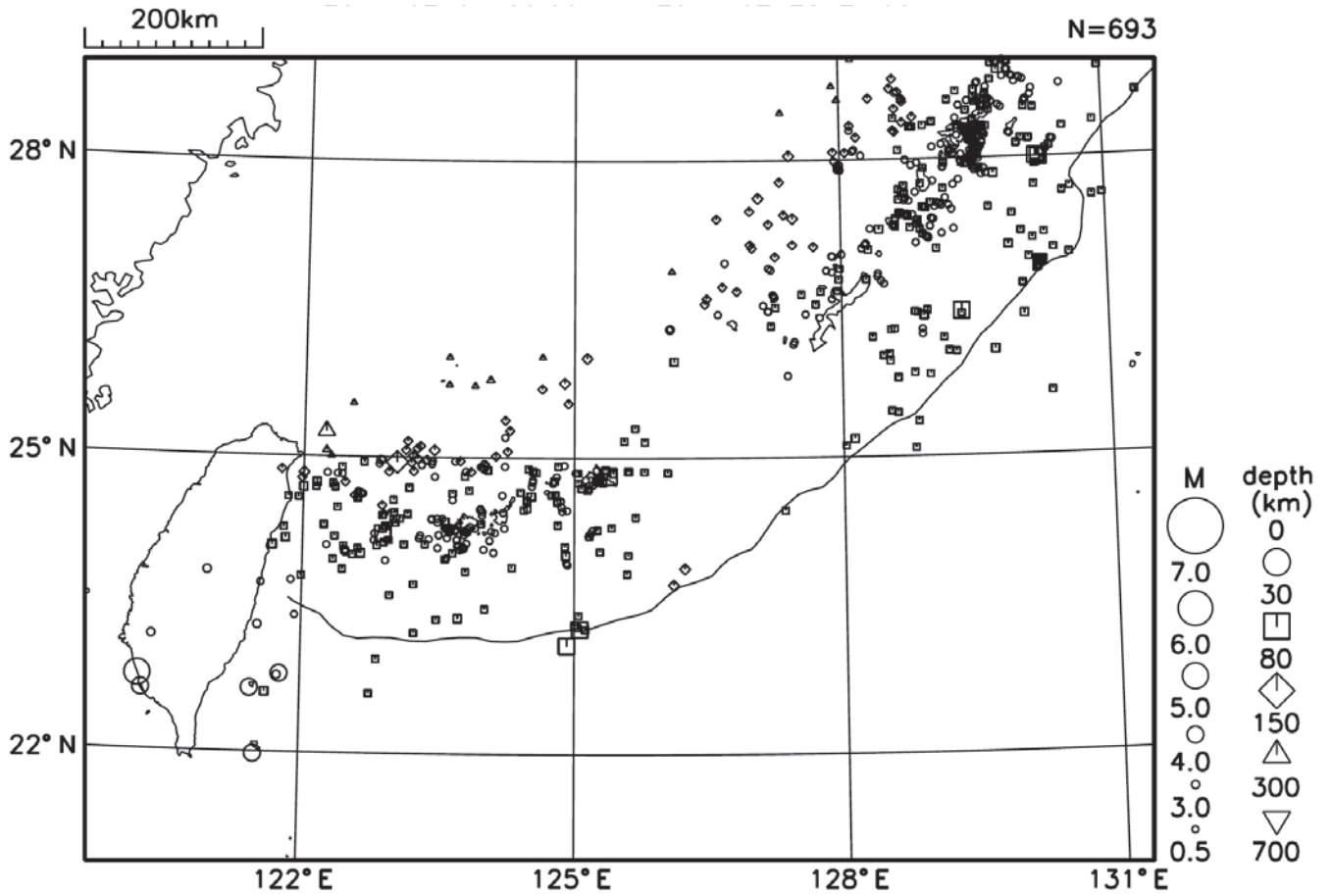


図9 沖縄地方の震央分布図（2017年2月1日～2月28日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

2月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は2回（1月は5回）であった。
2月中、特に目立った活動はなかった。

○その他の地域の地震活動

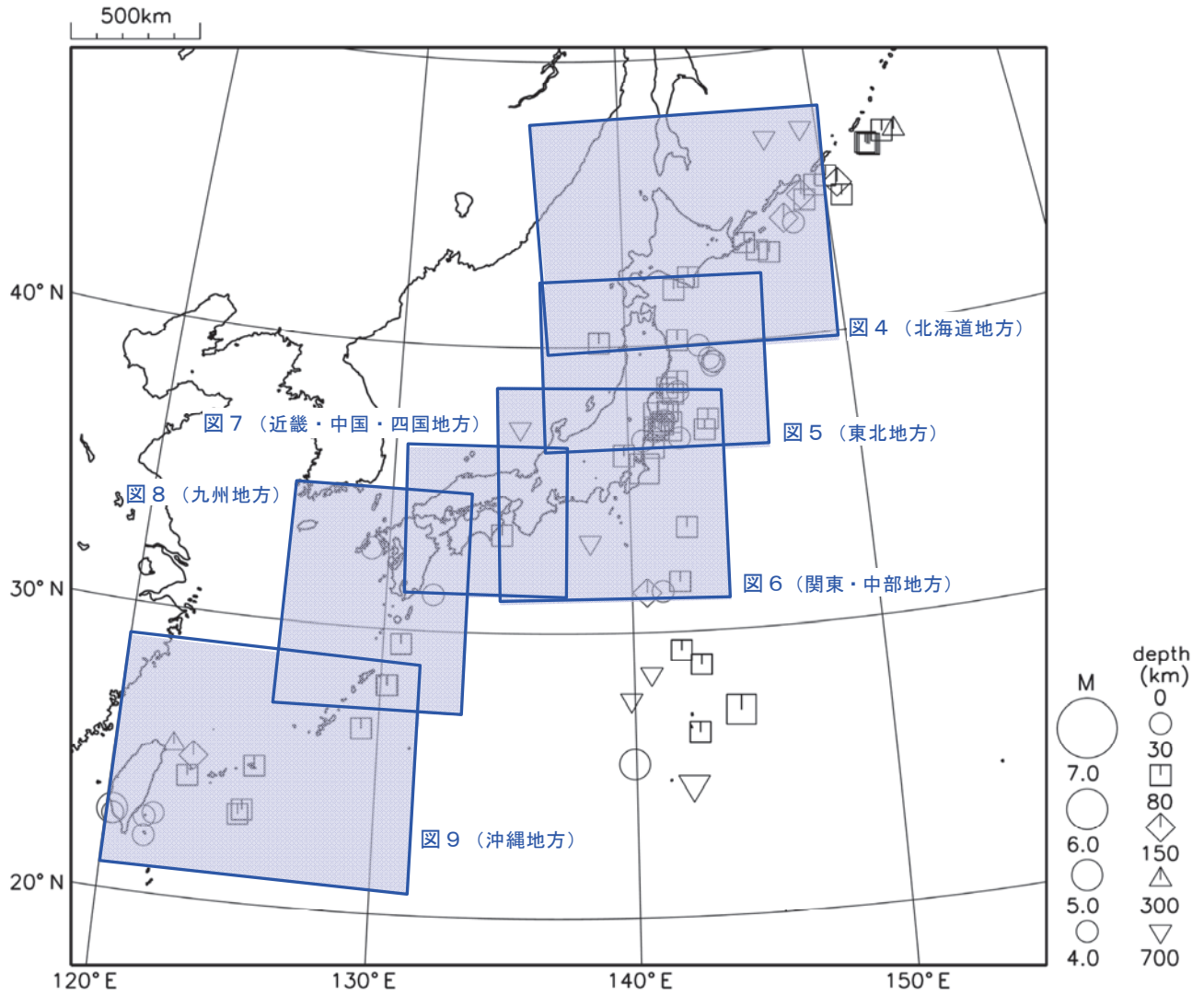


図 10 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2017年2月1日～2月28日、 $M \geq 4.0$ ）

[概況]

2月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震はなかった（1月もなかった）。
2月中、図4～9の領域外で特に目立った活動はなかった。

●東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動と 地震防災対策強化地域判定会検討結果

東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

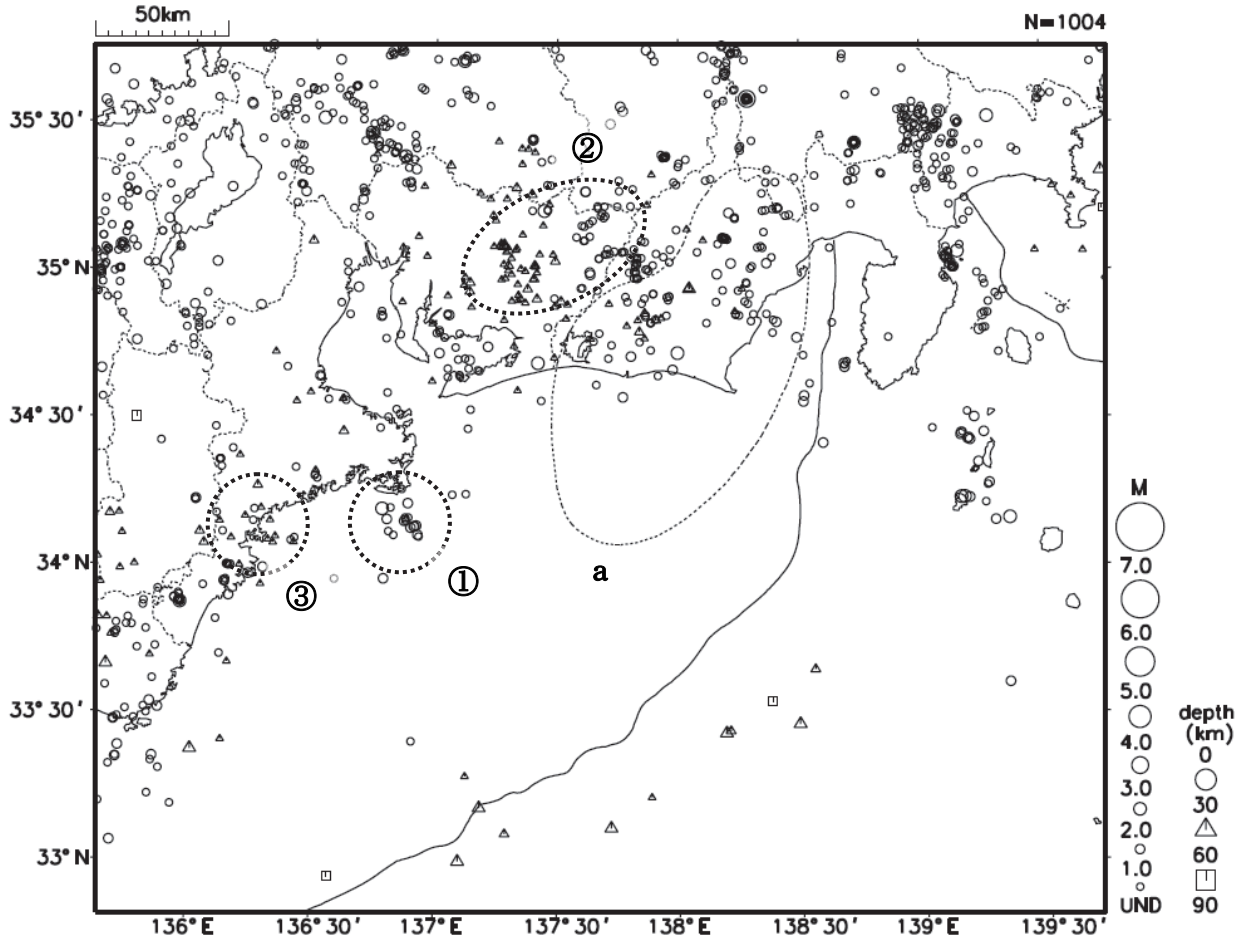


図1 震央分布図（2017年2月1日～28日：深さ0～90km、Mすべて。図中の領域aは東海地震の想定震源域。）

〔概況〕

特に目立った活動はなかった。

- ① 1月31日から2月1日にかけて、三重県南東沖の深さ約20kmで、まとまった地震活動がみられた。これらの地震は、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界付近で発生した。
- ② 2月13日から22日にかけて、愛知県から長野県を震央とする深部低周波地震を観測した。
- ③ 2月25日に三重県南部を震央とする深部低周波地震を観測した。

注 冒頭の番号は図1中の数字に対応する

地震防災対策強化地域判定会検討結果

2月27日に気象庁において第370回地震防災対策強化地域判定会(定例)を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地殻活動」として次の調査結果を発表した(図2～図16)。

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくとみられる変化は観測していません。

1. 地震の観測状況

2月13日から22日にかけて、愛知県から長野県のプレート境界付近を震源とする深部低周波地震(微動)を観測しました。

2. 地殻変動の観測状況

GNS S観測及び水準測量の結果では、御前崎の長期的な沈降傾向は継続しています。

平成25年はじめ頃から静岡県西部から愛知県東部にかけてのGNS S観測及びひずみ観測にみられている通常とは異なる変化は、小さくなっています。

また、2月13日から17日にかけて、愛知県、静岡県及び長野県の複数のひずみ観測点でわずかな地殻変動を観測しました。

3. 地殻活動の評価

平成25年はじめ頃から観測されている通常とは異なる地殻変動は、浜名湖付近のプレート境界において発生している「長期的ゆっくりすべり」に起因すると推定しており、現在は、「長期的ゆっくりすべり」は緩やかになっていると考えられます。

そのほかに東海地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは今のところ得られていません。

一方、上記の深部低周波地震(微動)及びひずみ観測点で観測した地殻変動は、想定震源域より北西側の愛知県のプレート境界深部において発生した「短期的ゆっくりすべり」に起因すると推定しています。

以上のように、現在のところ、東海地震に直ちに結びつくとみられる変化は観測していません。

なお、GNS S観測の結果によると「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」による余効変動が、小さくなりつつありますが東海地方においてもみられています。

大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和53年(1978年)12月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域を予め「地震防災対策強化地域」(以下、「強化地域」という。)として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、予め地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講じることとしている。強化地域は平成14年(2002年)4月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる157市町村(平成24年4月現在)が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード8クラスと想定されている大地震(東海地震)が起こった場合、震度6弱以上(一部地域では震度5強程度)になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。

気象庁では、いつ発生してもおかしくない状態にある「東海地震」を予知すべく、東海地域の地震活動や地殻変動等の状況を監視している。また、これらの状況を定期的に評価するため、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を取りまとめたコメント「最近の東海地域とその周辺の地殻活動」を発表している。

[地震防災対策強化地域判定会検討結果の頁で使われる用語]

・「想定震源域」と「固着域」

東海地震発生時には、「固着域」(プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域)あるいはその周辺の一部からゆっくりしたずれ(前兆すべり)が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群(クラスタ:cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。図2の静岡県中西部の場合、相互の震央間の距離が3km以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり(長期的スロースリップ)」

主に浜名湖周辺下のフィリピン海プレートと陸のプレートの境界が、数年間にかけてゆっくりとすべる現象で、十数年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられており、前回は2000年秋頃～2005年夏頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震(微動)」

深さ約30km～40kmで発生する、長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり(短期的スロースリップ)」

「短期的ゆっくりすべり」は、深部低周波地震(微動)の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり(短期的スロースリップ)」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震(微動)活動が観測されることが多い。

なお、地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)*によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

*Hirose, F., J. Nakajima, and A. Hasegawa (2008), Three-dimensional seismic velocity structure and configuration of the Philippine Sea slab in southwestern Japan estimated by double-difference tomography, J. Geophys. Res., 113, B09315, doi:10.1029/2007JB005274.

東海地域の地震活動指数

（参考）

（クラスタを除いた地震回数による） 2017 年 2 月 21 日現在

	① 静岡県中西部		② 愛知県		③ 浜名湖周辺			④ 駿河湾
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内 全域	西側	東側	全域
短期活動指数	4	4	4	4	2	4	2	5
短期地震回数 (平均)	4 (5.29)	6 (7.00)	14 (13.16)	13 (14.15)	1 (3.72)	1 (1.43)	0 (2.28)	7 (6.06)
中期活動指数	6	3	2	3	3	4	4	4
中期地震回数 (平均)	22 (15.87)	16 (21.00)	31 (39.48)	37 (42.44)	5 (7.44)	2 (2.87)	3 (4.57)	12 (12.12)

* Mしきい値： 静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺：M≥1.1、駿河湾：M≥1.4

* クラスタ除去：震央距離がΔr以内、発生時間差がΔt以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。

静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺：Δr=3km、Δt=7日

駿河湾：Δr=10km、Δt=10日

* 対象期間： 静岡県中西部、愛知県：短期30日間、中期90日間

浜名湖周辺、駿河湾：短期90日間、中期180日間

* 基準期間： おおむね長期的スロースリップ（ゆっくり滑り）発生前の地震活動を基準とする。

静岡県中西部、愛知県：1997年－2001年（5年間）、駿河湾：1991年－2000年（10年間）、

浜名湖周辺：1997年－2000年 および 2006年－2012年（11年間）

[各領域の説明]

① 静岡県中西部：プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域（固着域）。

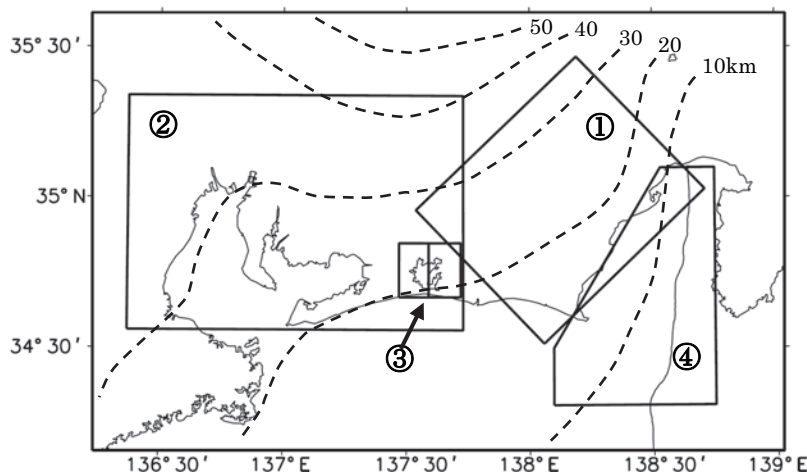
② 愛知県：フィリピン海プレートが沈み込んでいく先の領域。

③ 浜名湖周辺：固着域の縁。長期的スロースリップ（ゆっくり滑り）が発生する場所であり、同期して地震活動が変化すると考えられている領域。

④ 駿河湾：フィリピン海プレートが沈み込み始める領域。

2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震（M6.5）と 2011 年 8 月 1 日の駿河湾の地震（M6.2）

の余震域の活動を除いた場合での活動指数についても求めた（次ページ）。



* Hirose et al. (2008) によるプレート境界の等深線を破線で示す

指数	確率 (%)	地震数
8	1	多い
7	4	やや多い
6	10	
5	15	
4	40	ほぼ平常
3	15	
2	10	やや少ない
1	4	
0	1	少ない

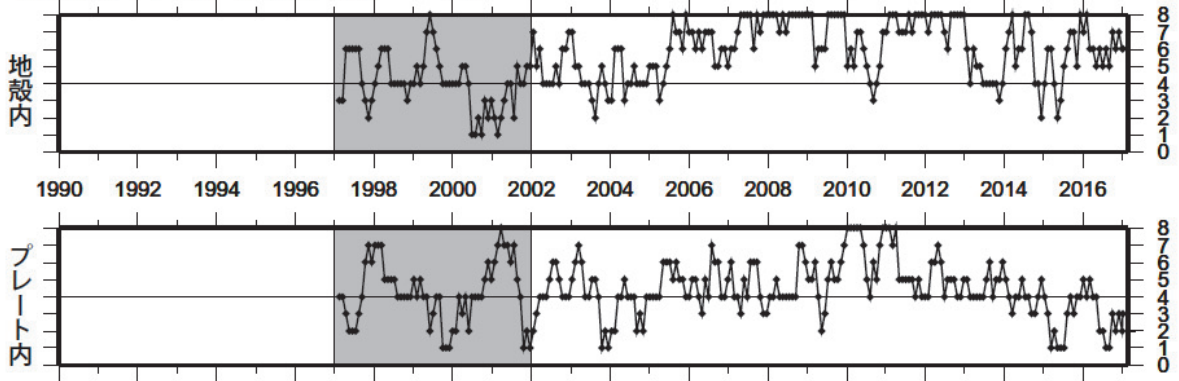
図 2 東海地域の地震活動指数

気象庁作成

地震活動指数の推移（中期活動指数）

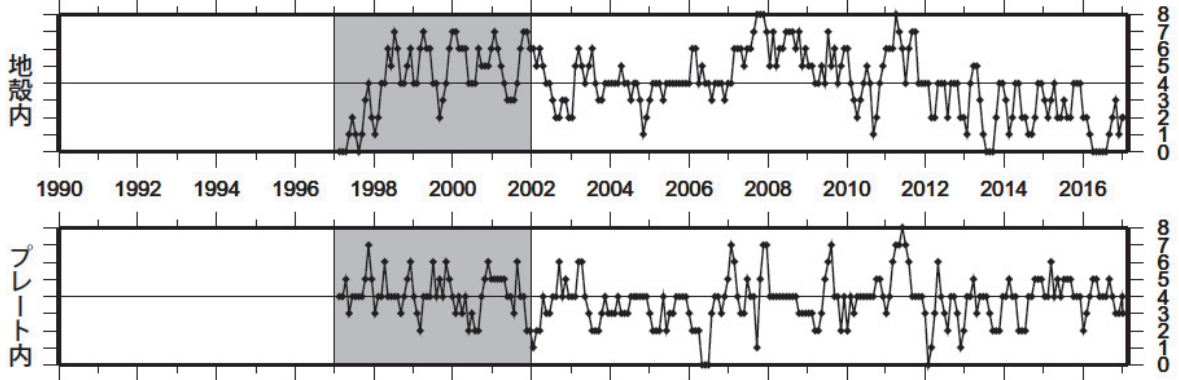
① 静岡県中西部（対象期間：90日）

1997/ 1/ 1~2017/ 2/ 21 M ≥ 1.1



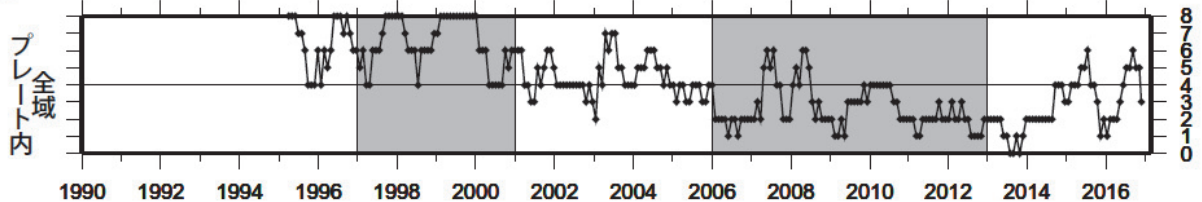
② 愛知県（対象期間：90日）

1997/ 1/ 1~2017/ 2/ 21 M ≥ 1.1



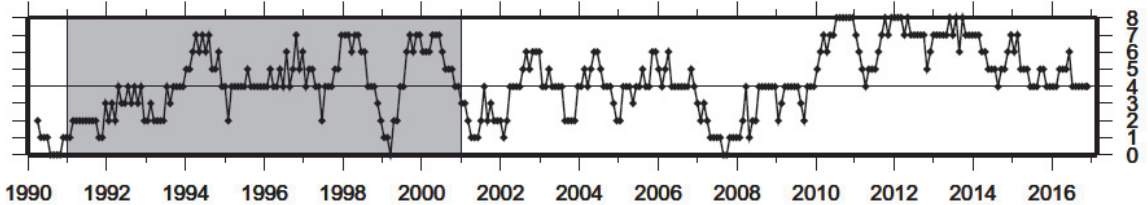
③ 浜名湖周辺（対象期間：180日）

1995/ 1/ 1~2017/ 2/ 21 M ≥ 1.1



④ 駿河湾（対象期間：180日）

1990/ 1/ 1~2017/ 2/ 21 M ≥ 1.4



2009年8月11日の駿河湾の地震（M6.5）と2011年8月1日の駿河湾の地震（M6.2）の余震域の活動を除去した場合

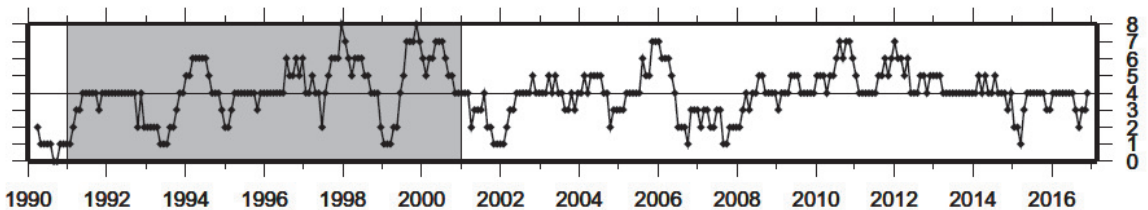


図 3 東海地域の地震活動指数の推移

■：基準期間

／：地震活動指数（0－8）

気象庁作成

深部低周波地震は、「短期的ゆっくりに密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。

深部低周波地震活動（2000年1月1日～2017年2月21日）

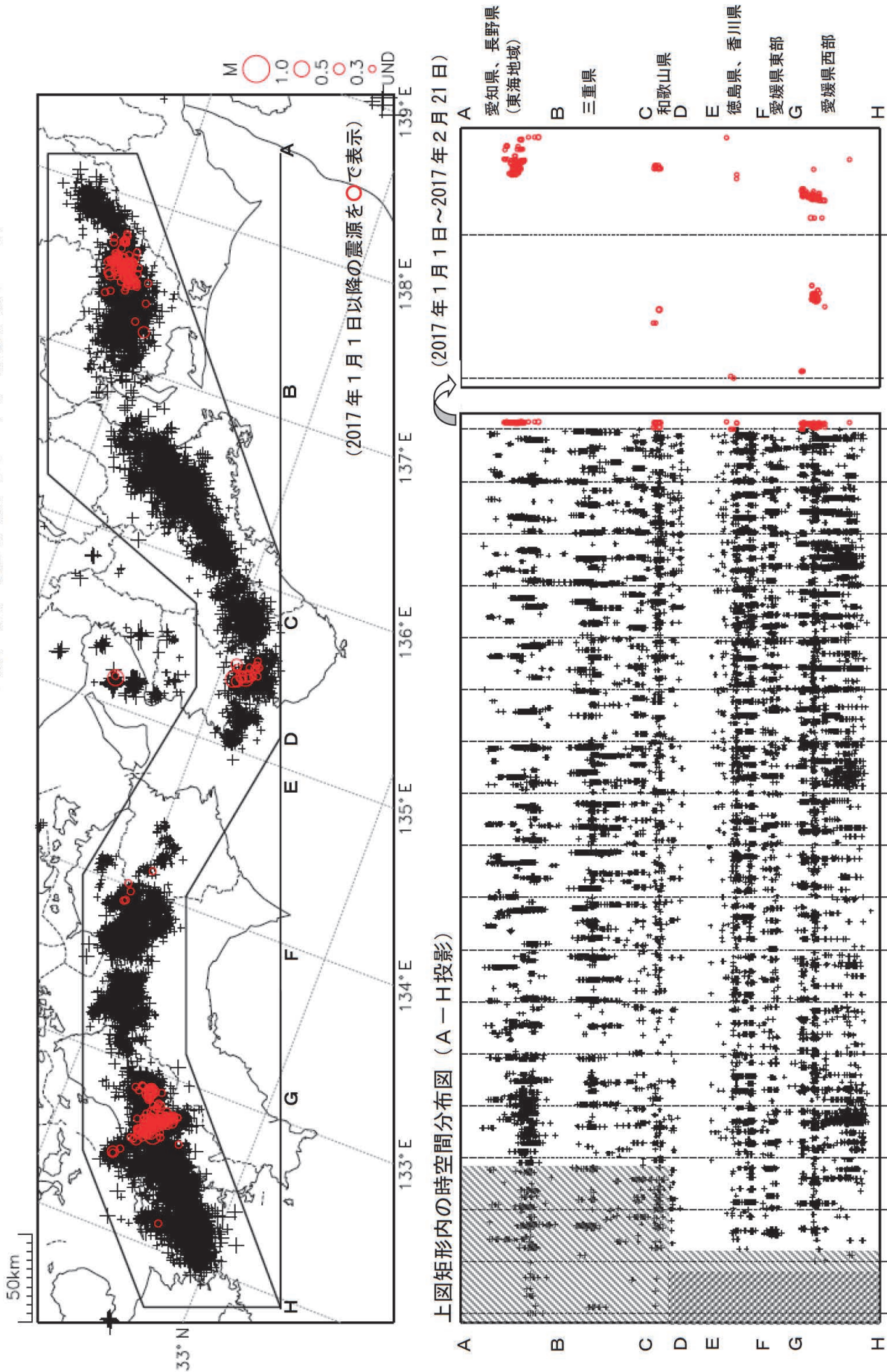
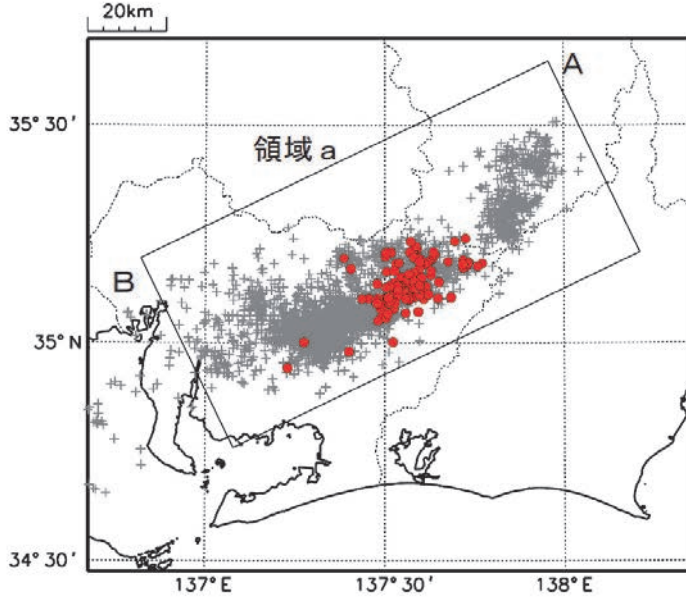


図 4 深部低周波地震活動（2000年1月1日～2017年2月21日）

気象庁作成

愛知県から長野県における深部低周波地震活動

深部低周波地震の震央分布図
(2008年1月1日～2017年2月23日24時00分、
深さ0～60km、Mすべて)
2017年2月13日以降の地震を●で表示



2017年2月13日から22日にかけて愛知県から長野県を震央とする深部低周波地震を観測した。

2008年以降の活動を見ると、今回の活動領域の周辺では、たびたび深部低周波地震のまとまった活動が発生している。領域a内のまとまった活動は、愛知県内では2016年10月の活動、長野県内では2016年11月の活動以来である。

領域 a 内の時空間分布図（A－B 投影）

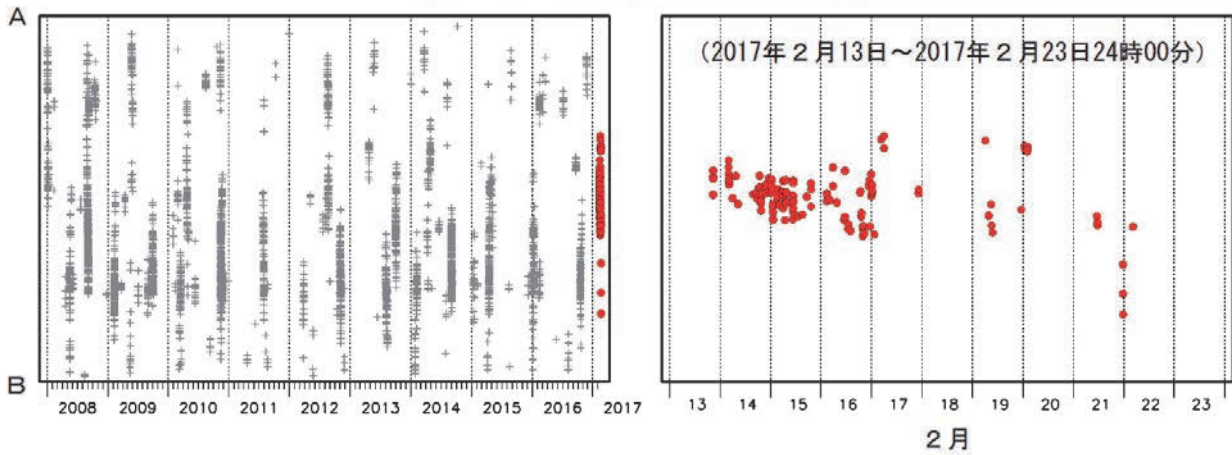


図 5 愛知県から長野県における深部低周波地震活動

気象庁作成

ひずみ変化を説明する断層モデル候補

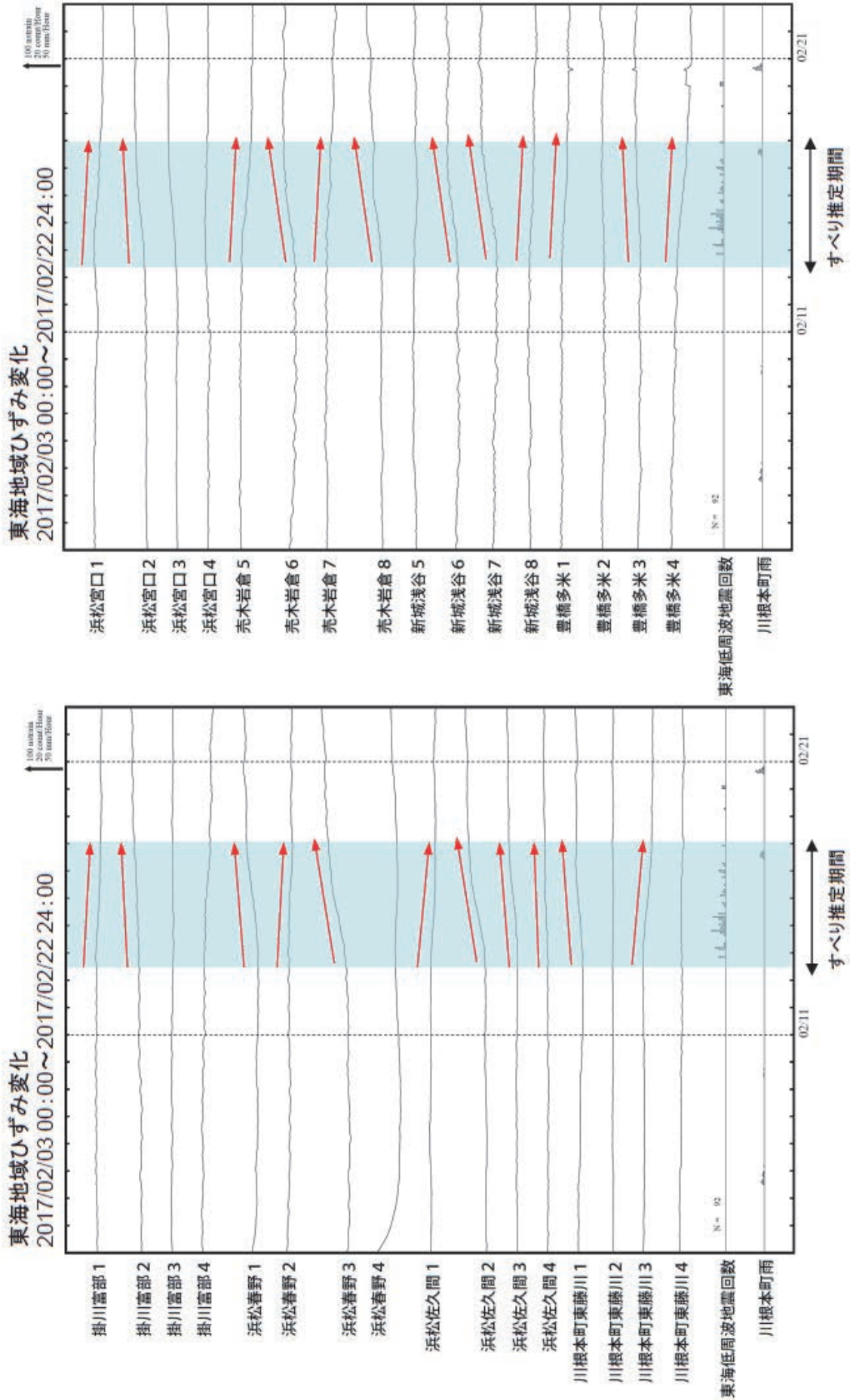
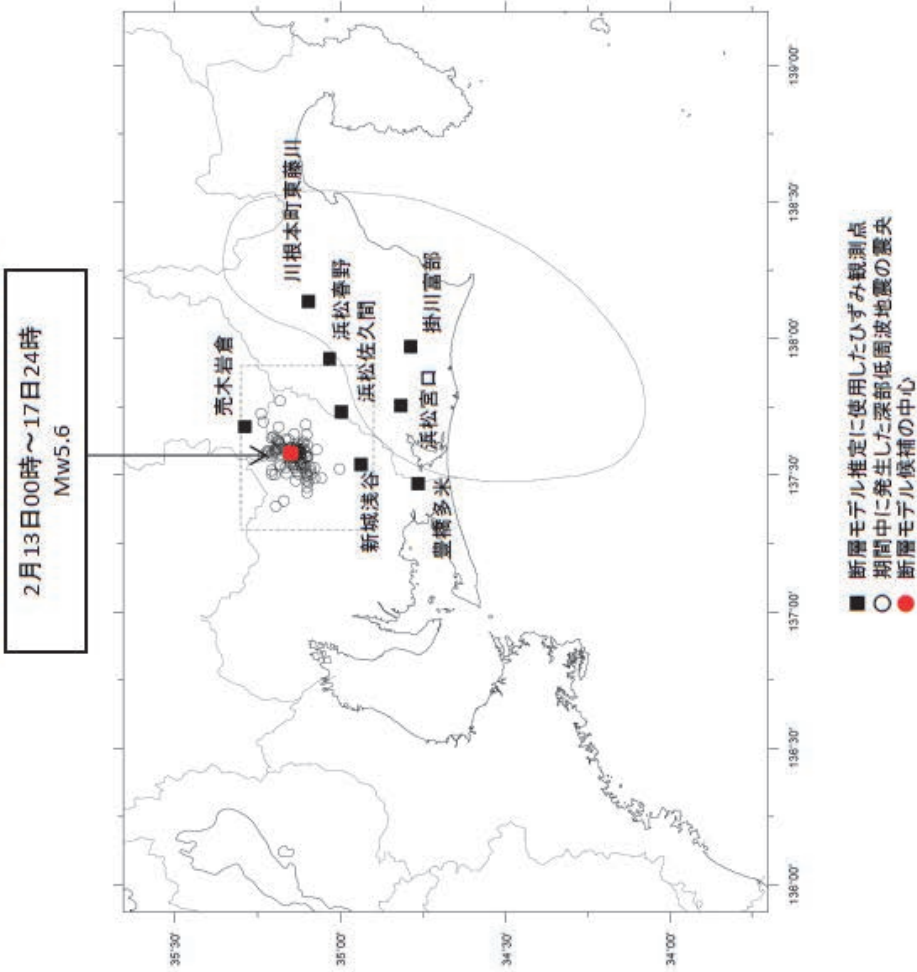


図 6-1 ひずみ変化を説明する断層モデル候補

豊橋多米は産業技術総合研究所の観測点である。浜松春野、川根本町東藤川は静岡県観測点である。

ひずみ変化を説明しうる断層モデル候補

ひずみ変化から推定されるすべり領域



すべり候補領域は、中村・竹中(2004)¹⁾によるグリッドサーチの手法^{*}により求めた。プレート境界と断層面の形状はHirose et al.(2008)²⁾による。

※ すべり候補領域の位置とその規模(Mw)を、すべりがプレート境界面上でプレートの沈み込み方向と反対に発生したと仮定し、考え得る全ての解を前提として得られる理論値と観測値を比較し、合致するものを抽出する手法

1) 中村浩二・竹中潤、東海地方のプレート間すべり推定ツールの開発、地震時報, 68, 25-35, 2004

2) Hirose F., J. Nakajima, A. Hasegawa, Three-dimensional seismic velocity structure and configuration of the Philippine Sea slab in southwestern Japan estimated by double-difference tomography, J. Geophys. Res., 113, B09315, doi:10.1029/2007JB005274, 2008

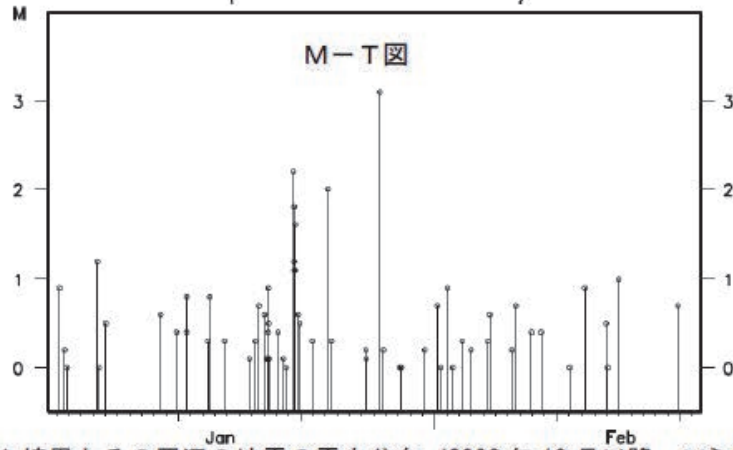
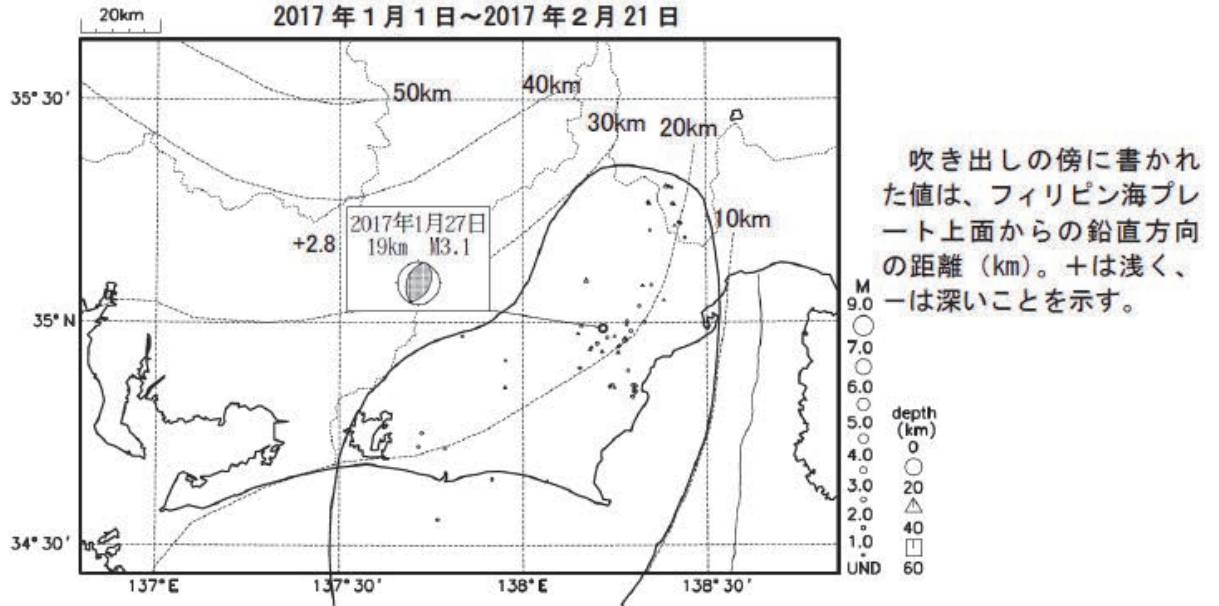
気象庁作成

図6-2 ひずみ変化を説明しうる断層モデル候補

プレート境界とその周辺の地震活動（最近の活動状況）

（Hirose et al. (2008) によるフィリピン海プレート上面深さの±3km の地震を抽出）

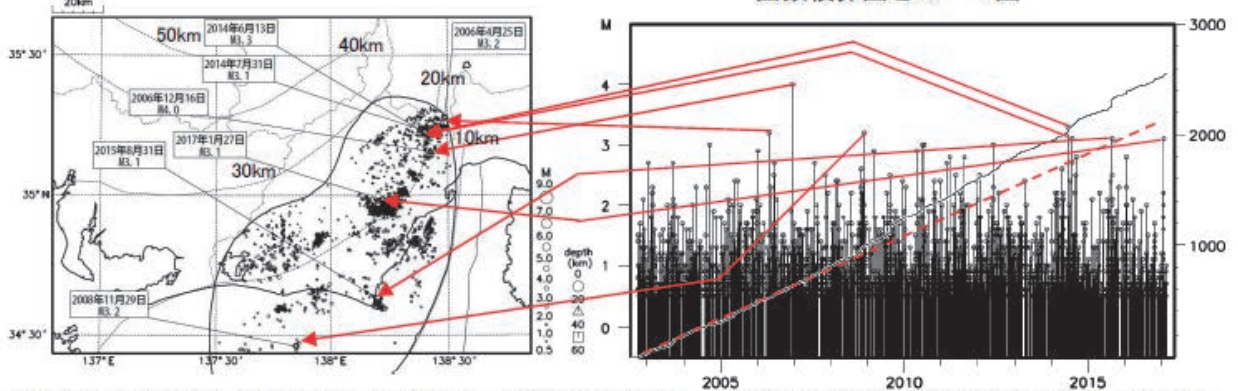
プレート境界とその周辺の地震の震央分布（最近約 1 ヶ月半、M すべて）



プレート境界とその周辺の地震の震央分布（2002 年 10 月以降、M ≥ 0.5）

2002 年 10 月 1 日～2017 年 2 月 21 日

回数積算図と M-T 図



2002 年 10 月以降 (M ≥ 0.5) で見ると、東海地域のプレート境界とその周辺の地震活動は、2007 年中頃あたりからやや活発に見える。なお、2009 年 8 月 11 日以降は、駿河湾の地震 (M6.5) の余震活動の一部を抽出している。M3 を超える地震については、その震央を矢印で示しているが、これらの地震の発震機構解のうち、想定東海地震のものと類似の型に相当したものは 2017 年 1 月 27 日の地震である。

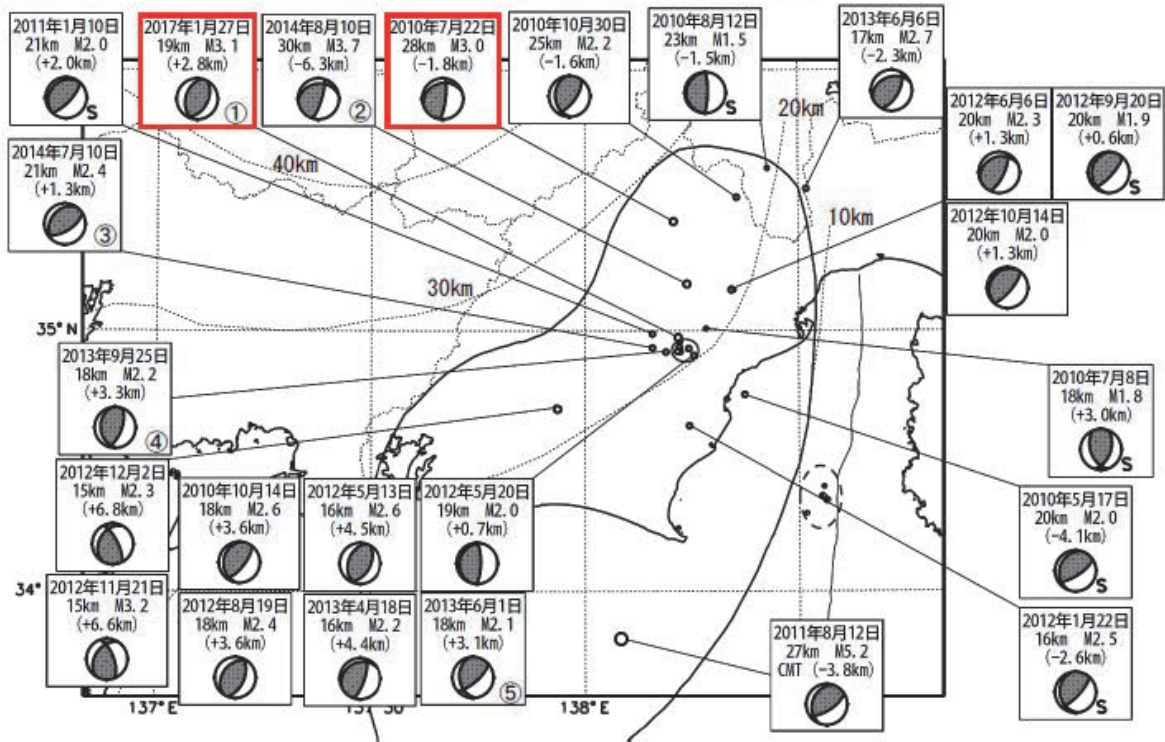
※震央分布図中の点線は、Hirose et al. (2008) によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

気象庁作成

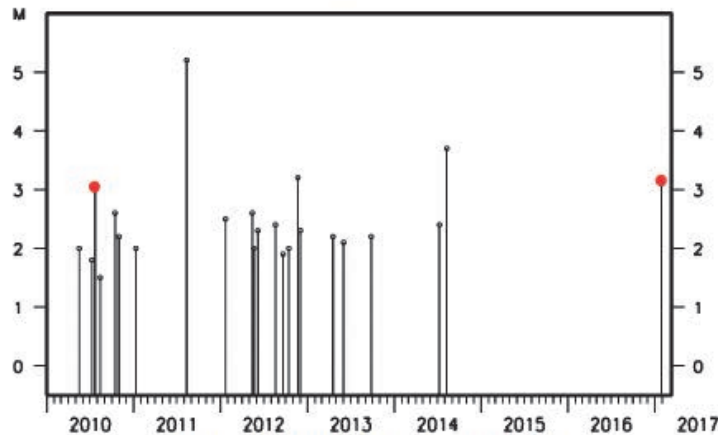
図 7 プレート境界とその周辺の地震活動（最近の活動状況）

想定東海地震の発震機構解と類似の型の地震

2010 年 1 月 1 日～2017 年 2 月 21 日



上図イベントの、想定震源域内におけるM-T図



想定震源域内で発生した地震のうち、
M3.0 以上かつプレート境界からの鉛直方向の距離が±3km 以内の地震の棒を赤く表示

吹き出し内に () で記載した値は、Hirose et al. (2008)によるプレート境界からの鉛直方向の距離。+はプレート境界より浅く、-は深いことを示す。

震央分布図中の点線は、Hirose et al. (2008)によるプレート境界を示す。

最近発生した5つの地震については、丸数字で順番を示す。

想定東海地震の発震機構解と類似の型の地震を抽出した。抽出条件は、P軸の傾斜角が45度以下、かつP軸の方位角が65度以上145度以下、かつT軸の傾斜角が45度以上、かつN軸の傾斜角が30度以下とした。

プレート境界で発生したと疑われる地震の他、明らかに地殻内またはフィリピン海プレート内で発生したと推定される地震も含まれている。点線楕円で囲まれた地震は、2011年8月1日に発生したM6.2の地震の余震で、フィリピン海プレート内の地震である。

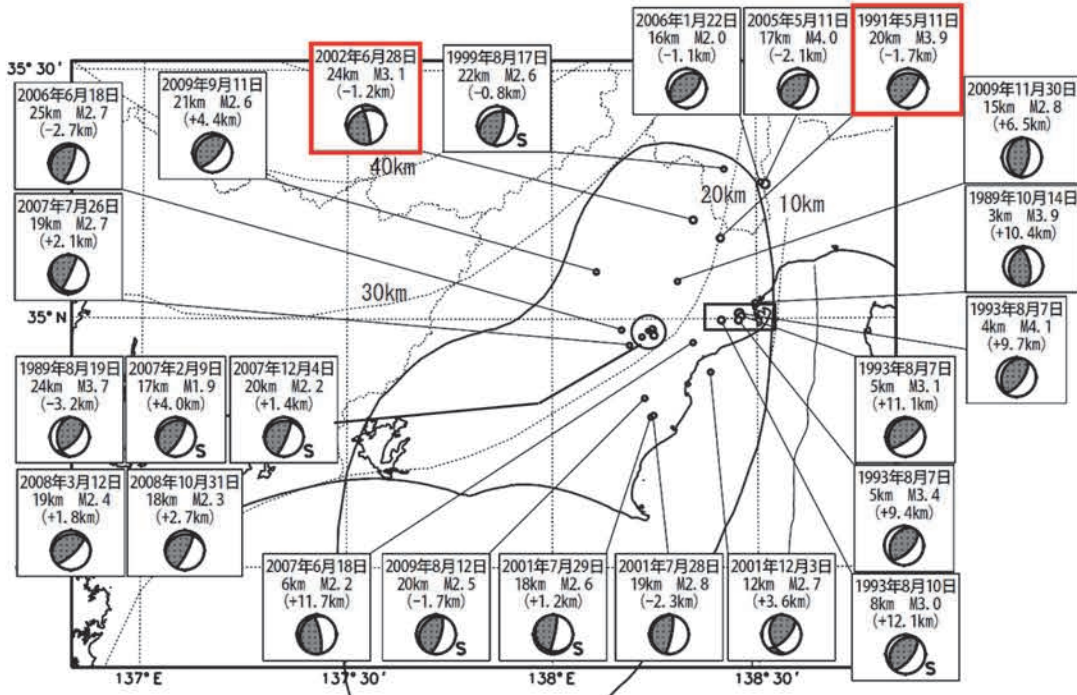
なお、吹き出し図中、震源球右下隣りにSの表示があるものは、発震機構解に十分な精度がない。

気象庁作成

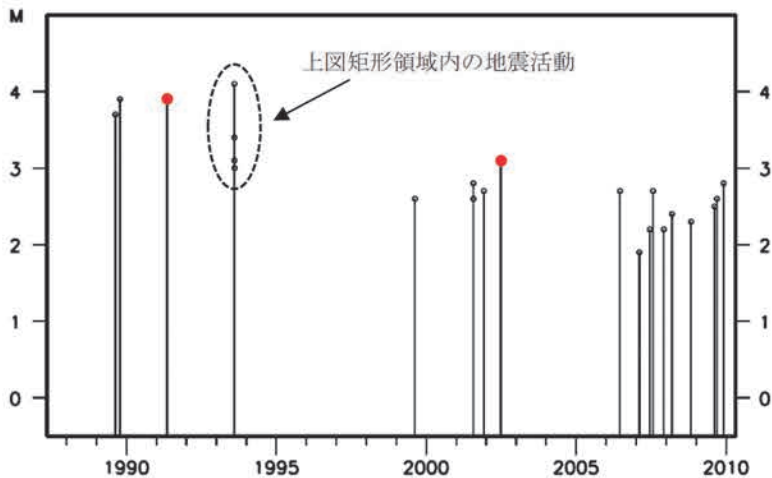
図8-1 想定東海地震の発震機構解と類似の型の地震（2010年1月1日～2017年2月21日）

想定東海地震の発震機構解と類似の型の地震

1987 年 9 月 1 日～2009 年 12 31 日



上図イベントの、想定震源域内におけるM-T図



想定震源域内で発生した地震のうち、
M3.0 以上かつプレート境界からの鉛直方向の距離が±3km 以内の地震の枠を赤く表示

吹き出し内に () で記載した値は、Hirose et al. (2008)によるプレート境界からの鉛直方向の距離。+はプレート境界より浅く、-は深いことを示す。

震央分布図中の点線は、Hirose et al. (2008)によるプレート境界を示す。

想定東海地震の発震機構解と類似の型の地震を抽出した。抽出条件は、P軸の傾斜角が45度以下、かつP軸の方位角が65度以上145度以下、かつT軸の傾斜角が45度以上、かつN軸の傾斜角が30度以下とした。

プレート境界で発生したと疑われる地震の他、明らかに地殻内またはフィリピン海プレート内で発生したと推定される地震も含まれている。また、2009年までに発生した地震については、Nakamura et al. (2008)の3次元速度構造で震源とメカニズム解を再精査し、いくつかの地震は候補から削除されている。

なお、吹き出し図中、震源球右下隣りにSの表示があるものは、発震機構解に十分な精度がない。

気象庁作成

図 8 - 2 想定東海地震の発震機構解と類似の型の地震（1987 年 9 月 1 日～2009 年 12 月 31 日）

ひずみ日値のスタッキングによる長期的ゆっくりすべりの検出について

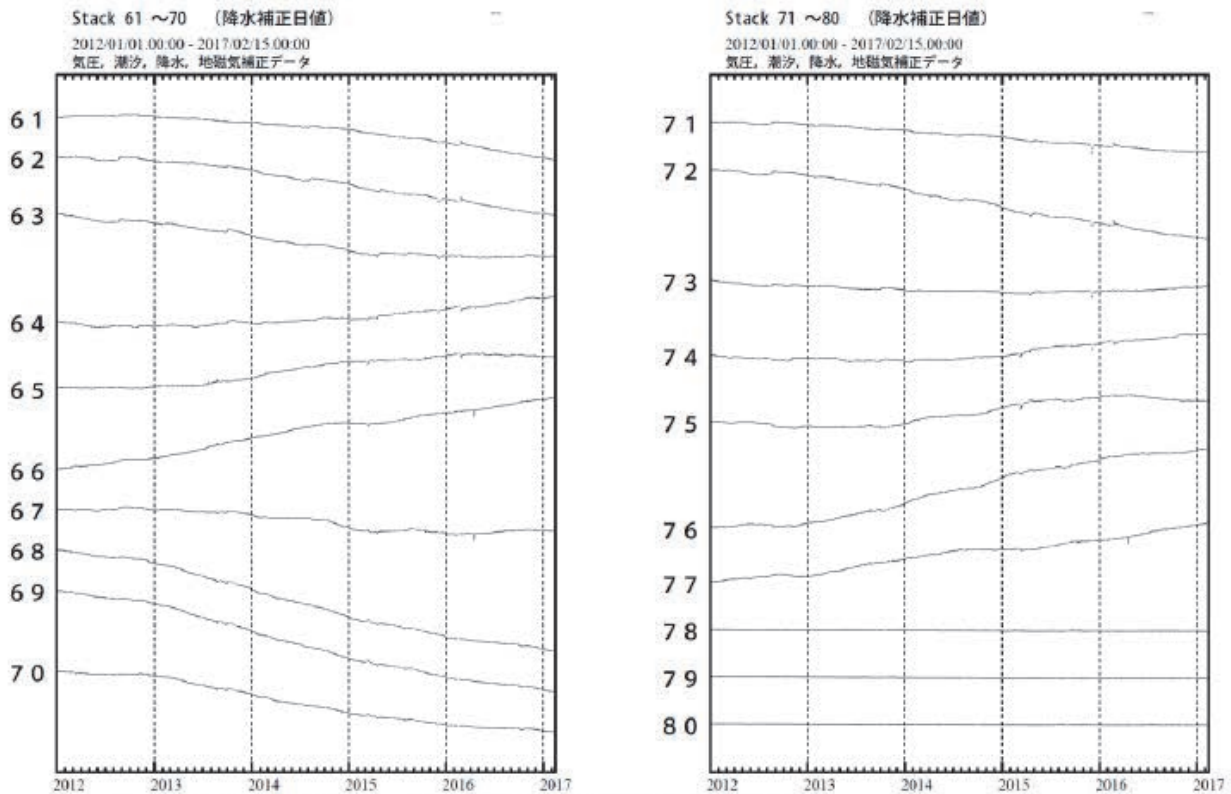


図 1：日値スタッキング波形。番号は監視グリッド（図 2 参照）を示す。

- データ : 補正日値（体積ひずみ計と 1998 年から 2002 年整備の多成分ひずみ計）
 主な地震および短期的 SSE による変化をオフセットとして除去
 ひずみ計の長期変化について、指数関数で近似して補正
- ノイズレベル : 2011 年 6 月～2012 年 12 月の、60 日階差（単純な階差）の標準偏差
- 理論値計算 : 0.15° ごとの各グリッドを中心とする、20×20km の断層
- トレンド : 2012 年 7 月～12 月の期間のトレンドを除去している

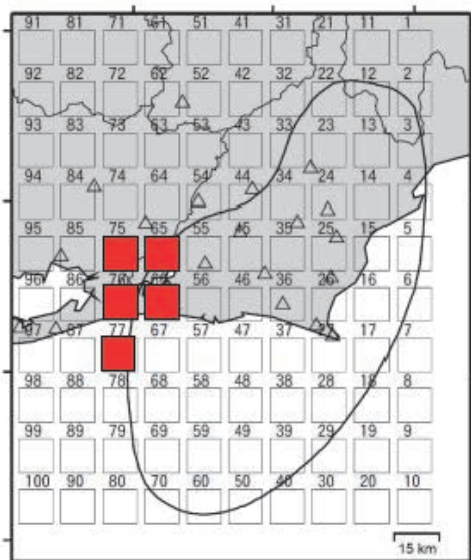


図 2：グリッド配置およびすべり位置

□ スタッキンググリッド

グリッド No.65, 66 及び 75～77 に見られる変化が長期的ゆっくりすべりに対応していると考えられる。これらのグリッドがすべっていると仮定し、グリッドサーチにより総すべり量を求めると Mw6.8 相当となる。そのモーメントの時間変化を見ると 2015 年後半から鈍化している。



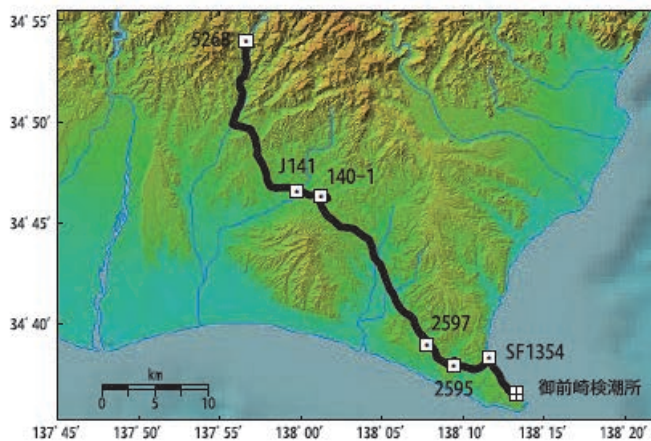
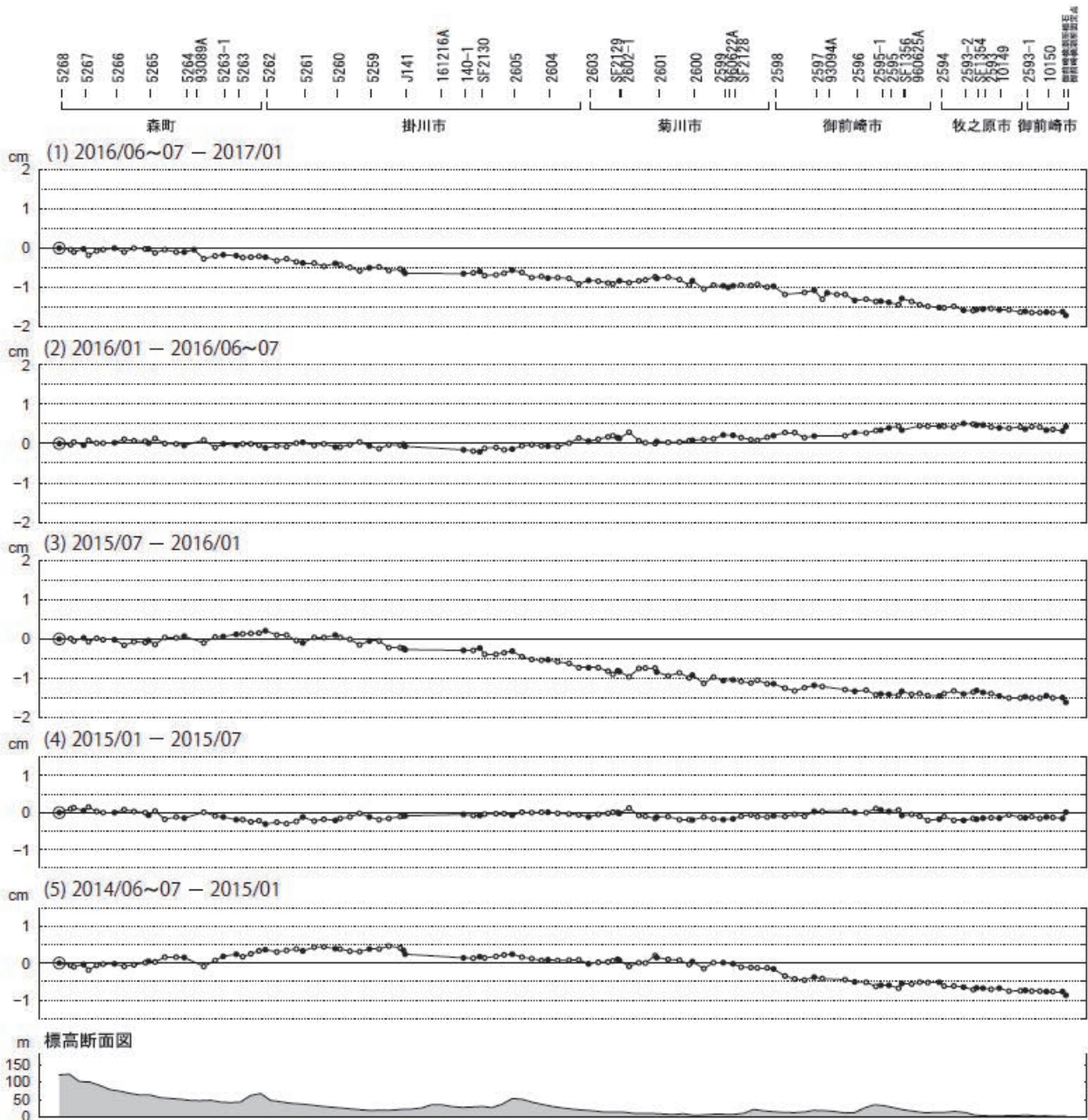
図 3：グリッドサーチで求めたモーメント開放量

(参考)

宮岡・木村 (2016)：ひずみ計によるスタッキング法を用いた長期的ゆっくりすべりの検出, 験震時報, 79, 15-23.

森～掛川～御前崎間の上下変動

傾向に変化は見られない



※ 本図は地理院地図を使用して作成している。なお、海域部は海上保安庁海洋情報部の資料を使用している。

国土地理院

図 10 国土地理院水準測量による森～掛川～御前崎間の上下変動

水準点 2595（御前崎市）の経年変化

掛川市に対して御前崎市の沈降の傾向に変化はない。

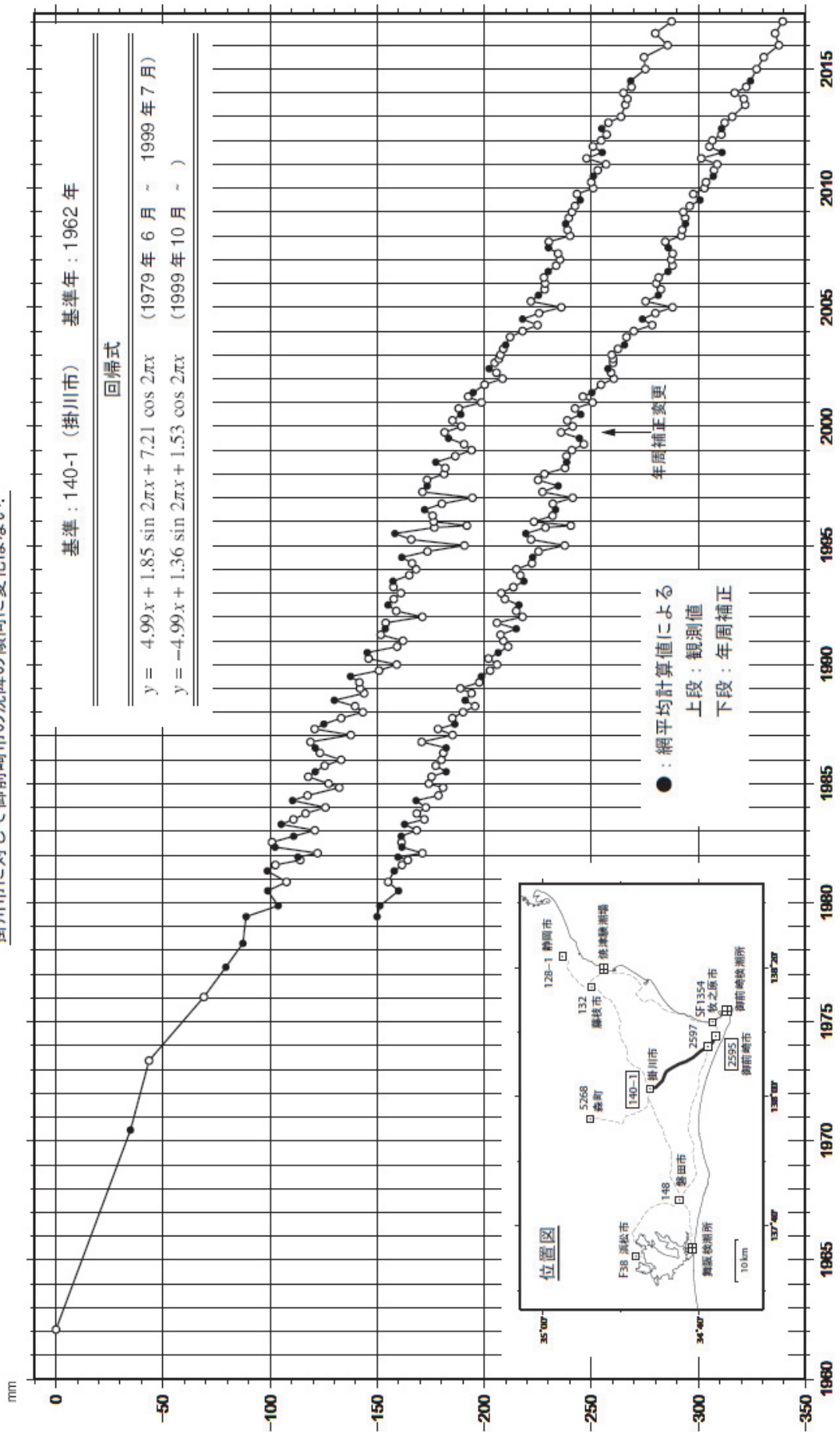
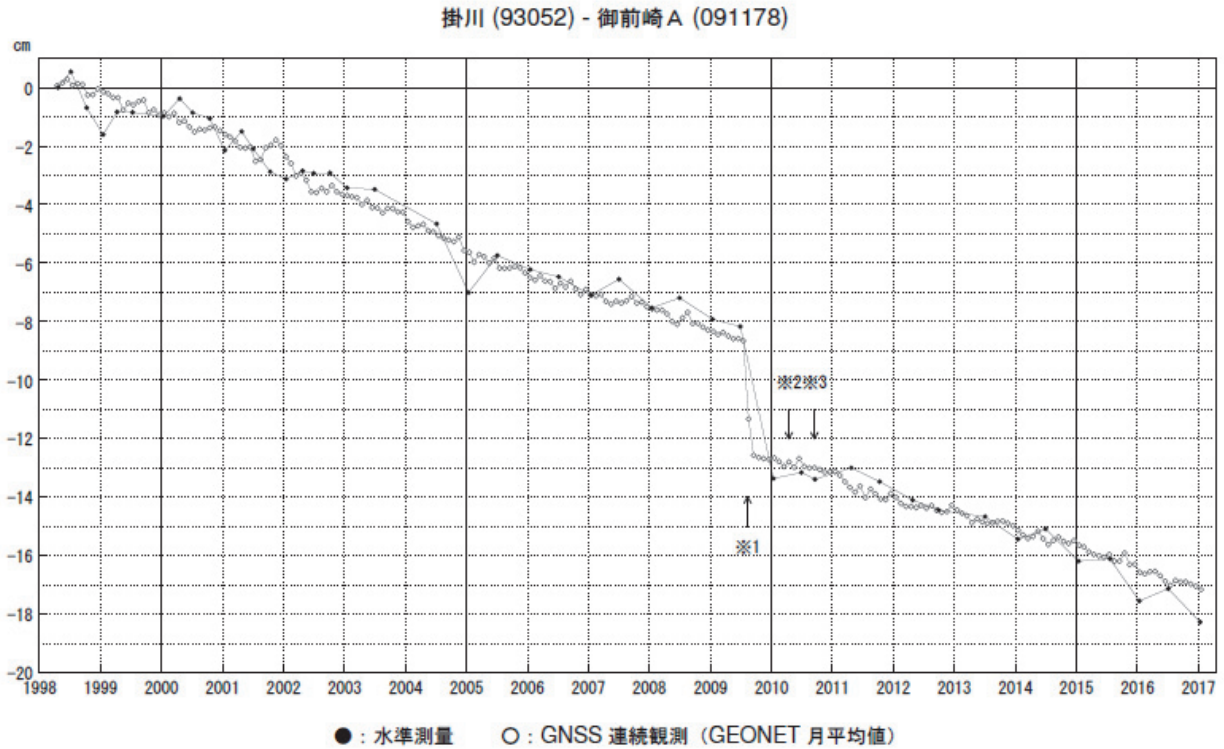


図 11 水準点 2595（御前崎市）の経年変化

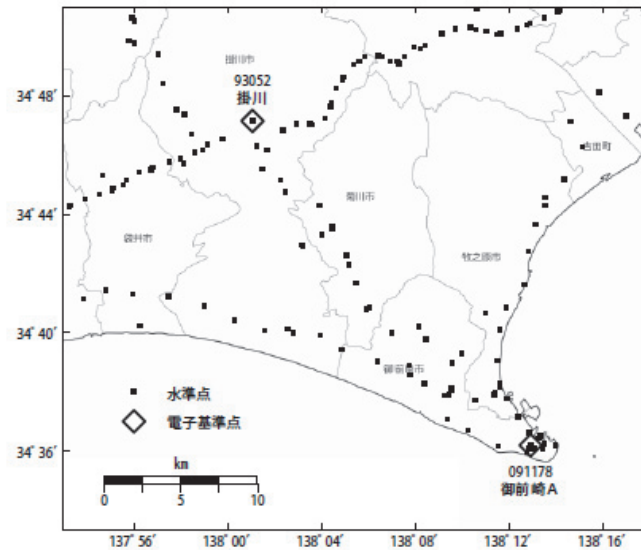
御前崎 電子基準点の上下変動 水準測量と GNSS 連続観測

掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。



・ 最新のプロット点は 01/01～01/28 の平均。

- ※ 1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※ 2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎 A」のデータを接続して表示している。
- ※ 3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。



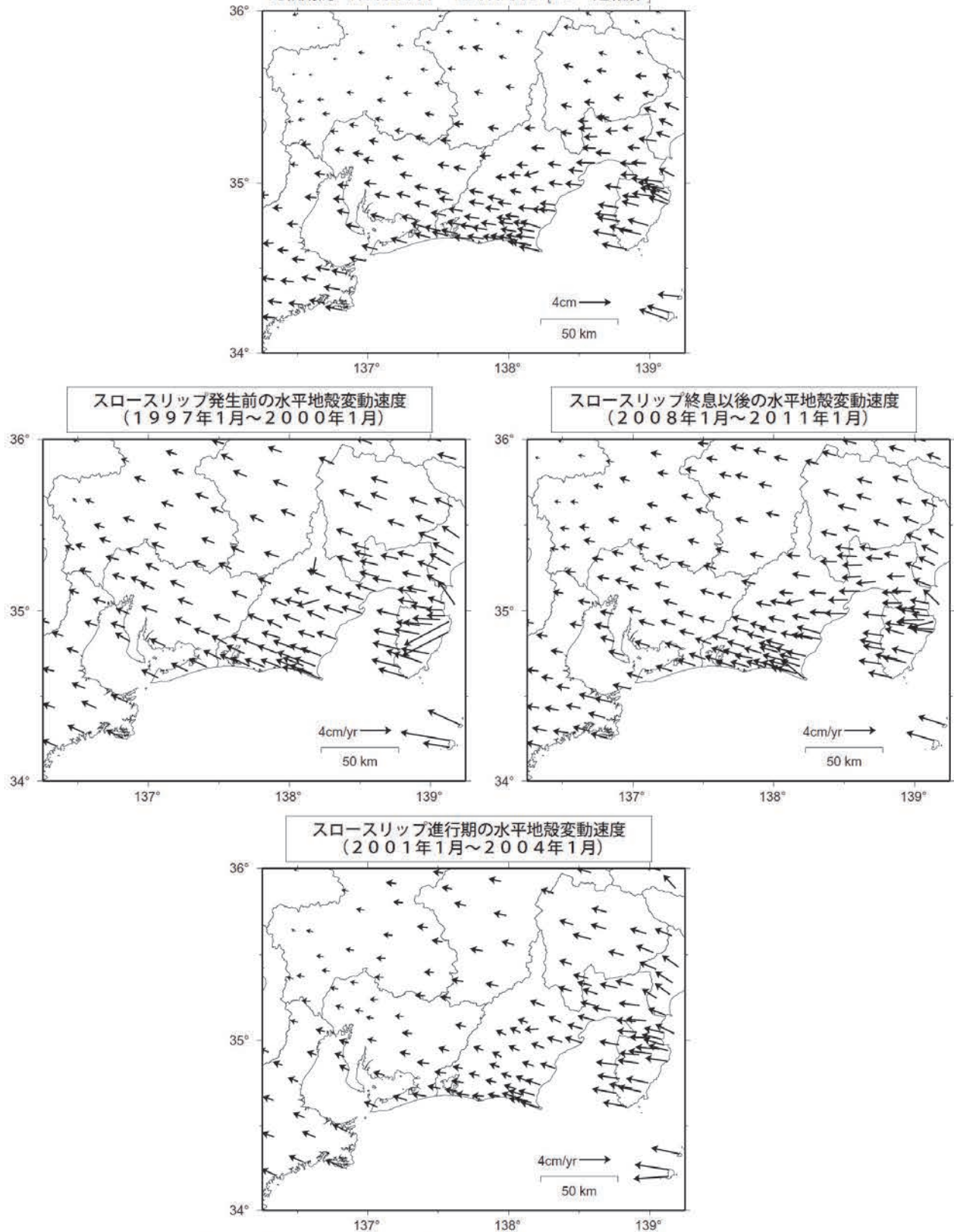
国土地理院

図 12 国土地理院 GNSS 観測結果及び水準測量による御前崎の上下変動

掛川から見た御前崎の上下変動を示したものである。掛川に対して御前崎が沈降するという長期的な傾向に変化は見られない。

東海地方の水平地殻変動【固定局：三隅】 （ 2016 年 2 月～ 2017 年 2 月）

基準期間：2016/2/11 - 2016/2/18 [F3：最終解]
比較期間：2017/2/11 - 2017/2/18 [R3：速報解]



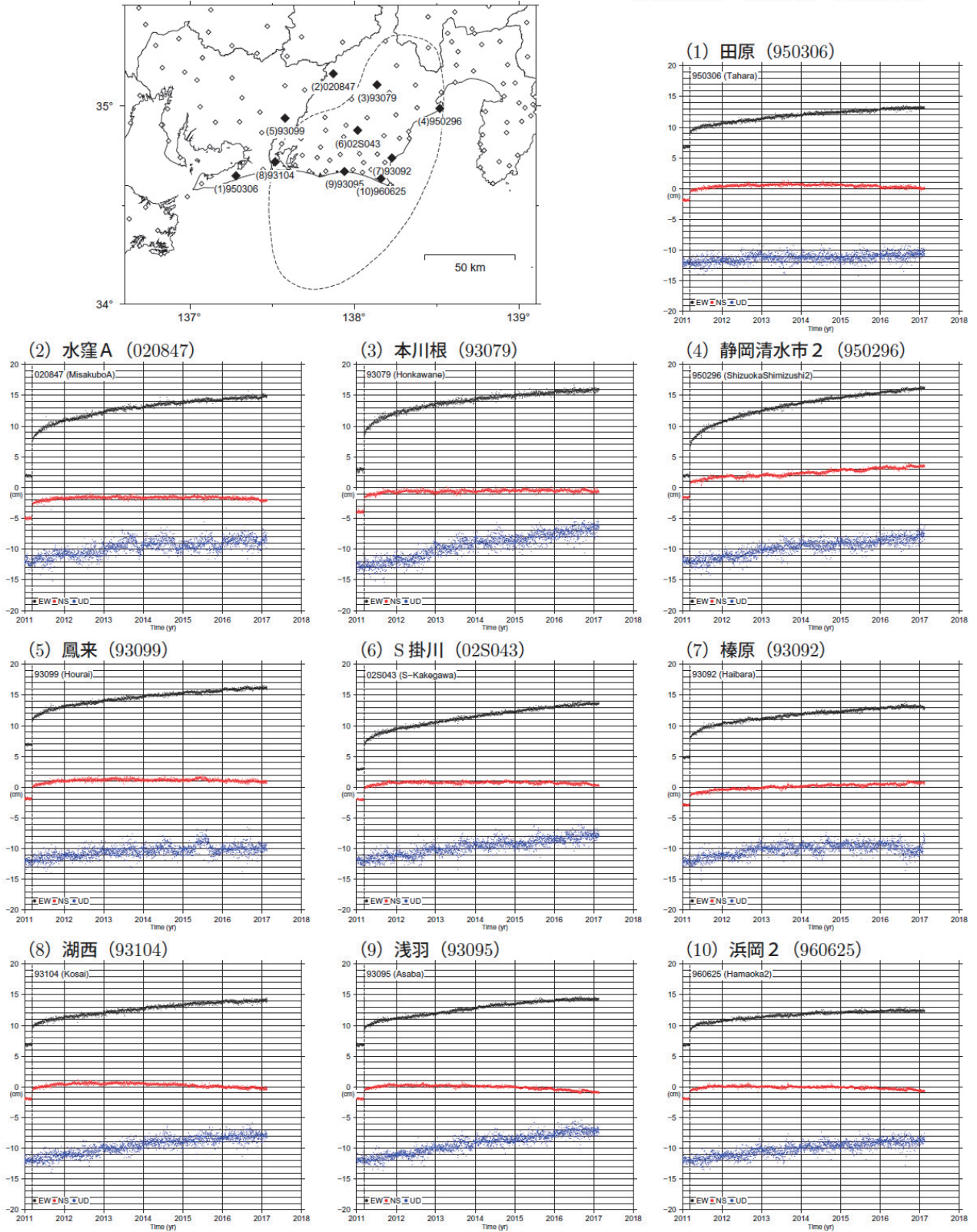
・2016年4月に発生した熊本地震による固定局三隅の地殻変動は補正している。

国土地理院

図 13 国土地理院 GNSS 観測結果による、東海地方の水平地殻変動

東海地方の非定常地殻変動時系列【固定局：三隅】

速報解含む 2011/1/1 - 2017/2/18



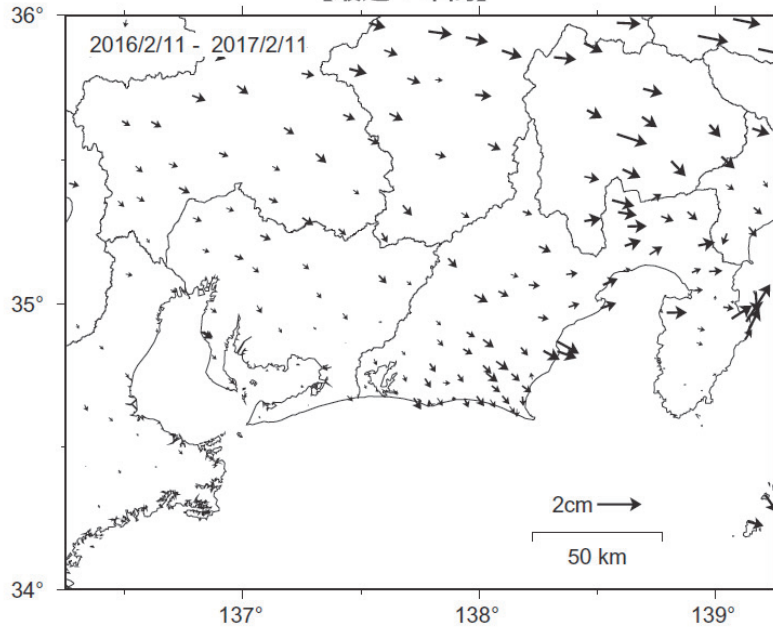
- ・2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動の影響は取り除いていない。
- ・2008年1月1日～2011年1月1日のデータから平均変動速度、年周/半年周成分を推定して、元の時系列データから除去している。
- ・2016年4月に発生した熊本地震による固定局三隅の地殻変動は補正している。

国土地理院

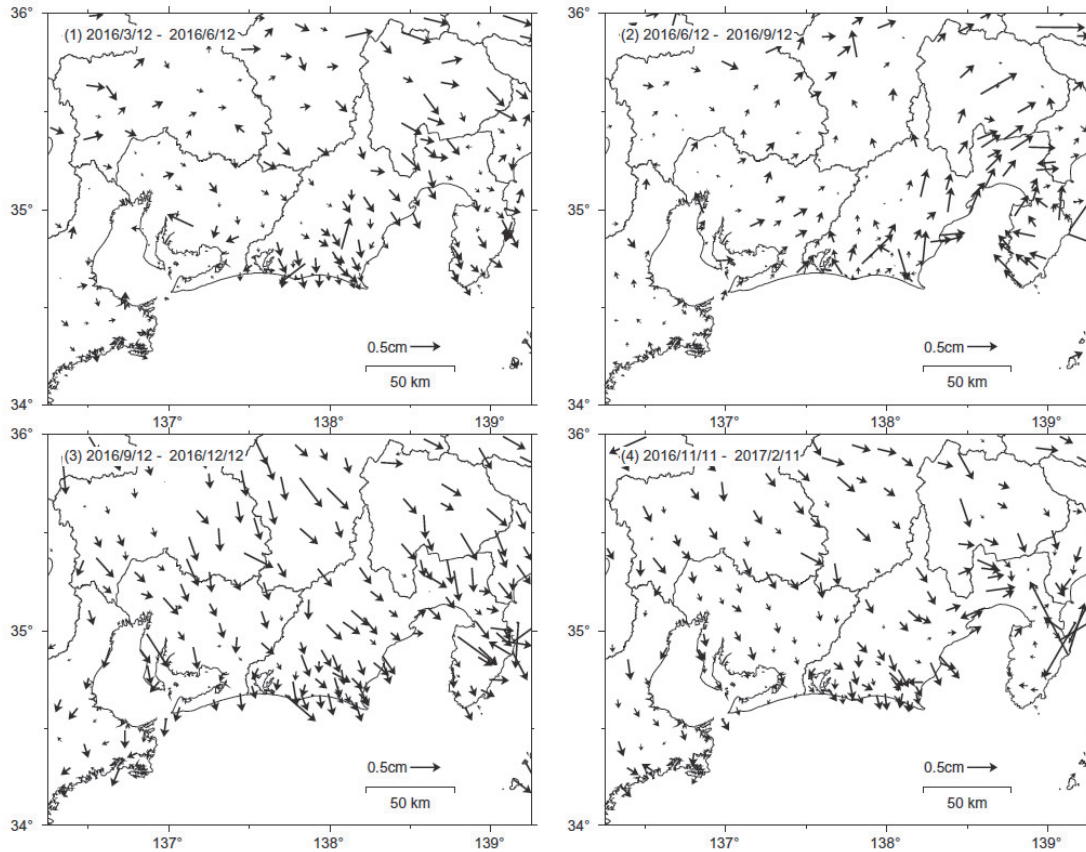
図 14 国土地理院 GNSS 観測結果による、東海地方の非定常地殻変動時系列

「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」による余効変動が、小さくなりつつあるが、東海地方においてもみられている。

東海地方の非定常水平地殻変動【固定局：三隅】
（2016年2月～2017年2月）
【最近1年間】



【最近1年間 3ヶ月ごと】

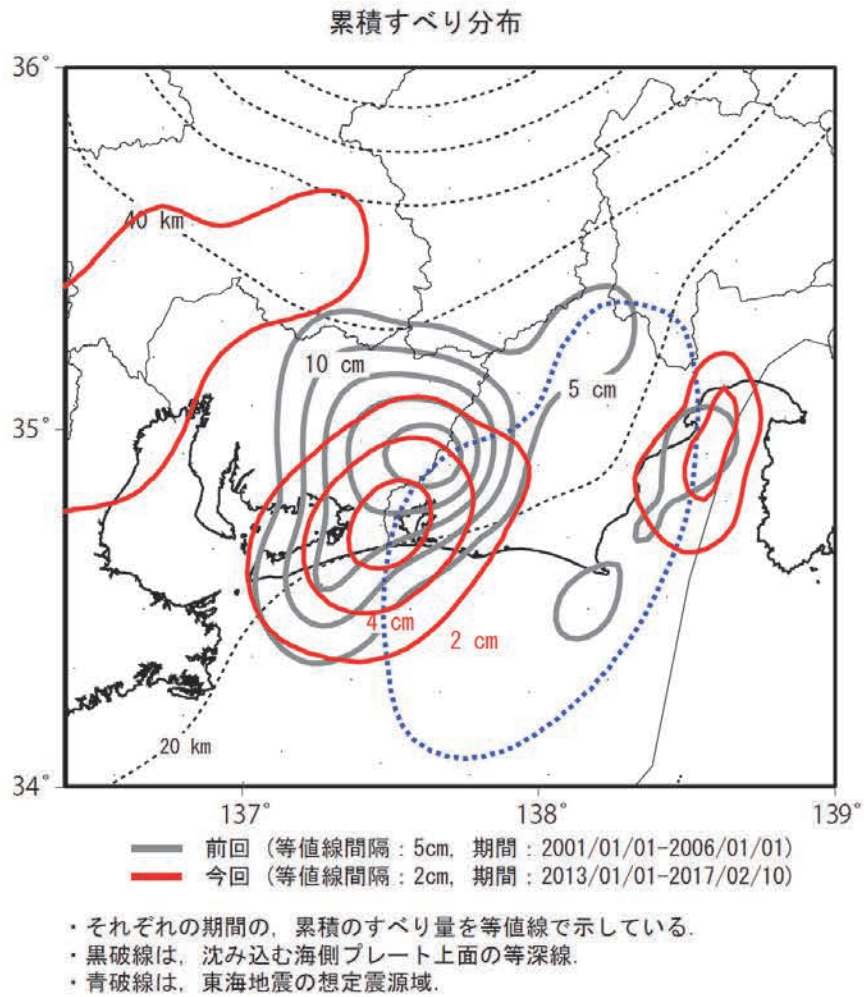


- ・非定常地殻変動時系列から、1年間と3ヶ月間の変動量を表示している。
- ※非定常地殻変動時系列：
2008年1月～2011年1月のデータから平均変動速度、年周/半年周成分を推定して、元の時系列データから除去した時系列。
- ・2016年4月に発生した熊本地震による固定局三隅の地殻変動は補正している。

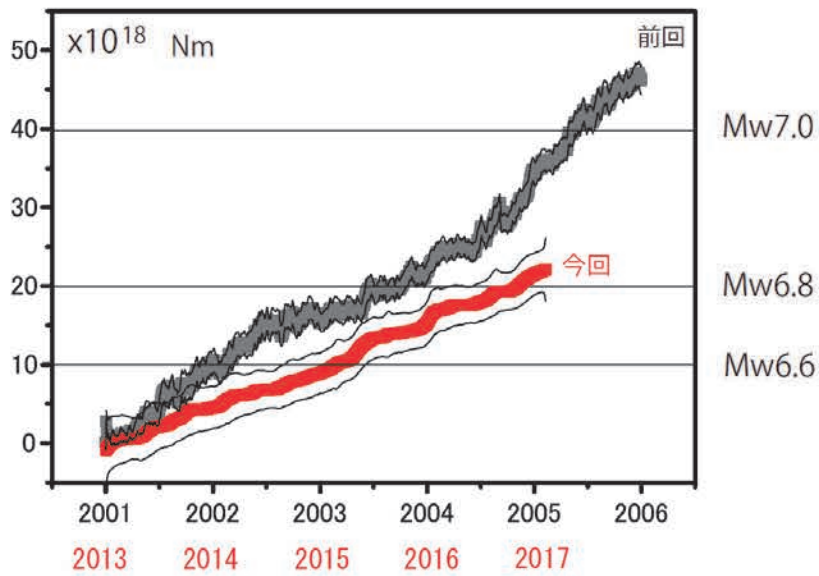
国土地理院

図 15 国土地理院 GNSS 観測結果による、東海地方の非定常水平地殻変動

非定常地殻変動から推定される累積すべり分布及びモーメントの時間変化（暫定）



モーメントの時間変化



国土地理院

図 16 国土地理院 GNSS 観測結果による、長期的ゆっくりすべりの発生を示唆する非定常地殻変動から推定される累積すべり分布及びモーメントの時間変化の比較

● 日本の主な火山活動

桜島では、噴火活動は 2016 年 8 月以降低下しているが、始良カルデラの地下深部の膨張が継続していることから、火山活動が再び活発化する可能性がある。引き続き火山活動の推移に注意が必要である。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。

口永良部島では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、2014 年 8 月の噴火前よりもやや多い状態であることから、引き続き噴火の可能性はある。新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒が必要である。

草津白根山では、湯釜火口及び水釜火口周辺の熱活動の高まった状態が継続している。また、湯釜北側噴気地帯の噴気孔から噴気が認められている。東京工業大学によると、2014 年以降、湯釜湖水の化学組成は火山活動の活発化を示す状態であることが確認されている。小規模な噴火が発生する可能性があることから、湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

浅間山では、山頂火口直下のごく浅い所を震源とする体に感じない火山性地震は多い状態となっており、火山活動はやや活発な状態で経過している。今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があるため、山頂火口から概ね 2 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

御嶽山では、火口列からの噴煙活動や地震活動が続いていることから、今後も小規模な噴火が発生する可能性がある。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

諏訪之瀬島の御岳火口では、爆発的噴火が 5 回発生するなど、活発な火山活動が継続した。今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

西之島では、噴火が発生する可能性はほとんどなくなったことから、14 日に火口周辺警報（火口周辺危険）を噴火予報（活火山であることに留意）に引き下げた。

阿蘇山では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 1 月に入り、減少したことなどから、7 日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げた。

薩摩硫黄島では、1 月下旬以降は徐々に地震が減少し、少ない状態になったことから、24 日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げた。

表 1 2月28日現在の火山現象に関する特別警報・警報・予報等の発表状況
 （※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中）

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、口永良部島
	レベル2（火口周辺規制）	草津白根山、浅間山、御嶽山、霧島山（新燃岳）、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、新潟焼山、焼岳、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	上記以外の火山

*噴火警戒レベルは、その活用が地域防災計画等で予め定められており、レベル毎の防災対応がキーワードで示されている。



図 1 2月28日現在、火山現象に関する特別警報、警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

表 2 平成 29 年 2 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報		概要
		種類、号数等	発表日時	
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 9 号～16 号	3 日、6 日、10 日、 13 日、17 日、20 日、 24 日、27 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガスの状況。上空からの観測の状況。
口永良部島	噴火警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 9 号～16 号	3 日、6 日、10 日、 13 日、17 日、20 日、 24 日、27 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
草津白根山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 5 号～8 号	3 日、10 日、17 日、 24 日 16 時 00 分	熱活動、地殻変動、火山性地震等火山活動の状況。上空からの観測の状況。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 10 号～17 号	3 日、6 日、10 日、 13 日、17 日、20 日、 24 日、27 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガスの状況。上空からの観測の状況。
御嶽山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 5 号～8 号	3 日、10 日、17 日、 24 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。
西之島	噴火予報(活火山であることに留意)	噴火予報	14 日 18 時 00 分	火口周辺警報(火口周辺危険)を噴火予報(活火山であることに留意)に引下げ
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 9 号、第 10 号	3 日、6 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
	噴火予報(噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)	噴火予報	7 日 14 時 00 分	噴火警戒レベルを 2(火口周辺規制)から 1(活火山であることに留意)に引下げ。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 12 号～17 号	3 日、6 日、10 日、 13 日、17 日、20 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。現地調査による火山ガス等の状況。
	噴火予報(噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)	噴火予報	24 日 11 時 00 分	噴火警戒レベルを 2(火口周辺規制)から 1(活火山であることに留意)に引下げ。
	火山活動解説資料	24 日 11 時 00 分		

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。桜島、諏訪之瀬島、口永良部島においては、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報(定時)を発表している。阿蘇山においては 2 月 7 日 11 時まで、薩摩硫黄島においては 2 月 24 日 8 時まで、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報(定時)を発表している。

各火山の 2 月の活動解説

【北海道地方】

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

9日に第一管区海上保安本部の協力により実施した上空からの観測では、ボンマチネシリ第4火口において融雪域が観測されており、2016年9月の現地調査で消散が確認された地熱域¹⁾が再びみられるようになった可能性がある。その他の火口については特段の変化はみられなかった。

ここ数年、地震増加、浅部熱活動の活発化を示す96-1火口の噴煙量増加や全磁力²⁾の変化などがみられていることから、今後の火山活動の推移に留意が必要である。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

9日に第一管区海上保安本部の協力により実施した上空からの観測では、62-2火口や大正火口で、火口周辺の融雪域の広がりや噴煙の状況に特段の変化はみられなかった。振子沢噴気孔群では、2015年6月以降見られている地熱域に対応した融雪域を確認した。前回（2016年1月15日）の観測と比較して振子沢噴気孔群の噴気量は多くなっており、融雪域の範囲から地熱域は拡大していると考えられる。62-2火口とその周辺では熱活動のやや高い状態が継続していると考えられる。

ここ数年、山体浅部の膨張、大正火口の噴煙量増加、地震増加、火山性微動の発生、発光現象及び地熱域の拡大などを確認しており、長期的にみると十勝岳の火山活動は高まる傾向にあるので、今後の火山活動の推移に留意が必要である。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

9日に第一管区海上保安本部の協力により実施した上空からの観測では、山頂溶岩ドーム周辺の噴気等の状況に変化はみられなかった。

一方、山頂溶岩ドーム周辺では、1999年以降、高温の状態が続いているので、突発的な火山ガス等の噴出に留意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

大雪山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

【東北地方】

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

女岳^{めだけ}の山頂付近では、地熱域が引き続き確認されている。

地震活動は低調で、地殻変動及び噴気活動にも変化はみられないが、地熱活動が続いているので今後の火山活動の推移に留意が必要である。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなかった。

16日に陸上自衛隊の協力により実施した上空からの観測では、御釜とその周辺、^{ほらいがわ}葎川上流域及び2016年10月の現地調査で植物の枯れた領域を確認した傾城岩^{けいせいいわ}付近に噴気や地熱域はみられず、丸山沢の噴気や地熱域の状況に特段の変化は認められなかった。また、2015年に温泉湧出が認められた振子沢付近に高温域は認められなかった。

蔵王山では、2013年から2015年にかけて火山活動の高まりがみられた。その後も火山性地震や火山性微動が時々発生していることから、今後の火山活動の推移に留意が必要である。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

大穴火口付近での熱活動は継続しているので、今後の火山活動の推移に留意が必要である。

14日に陸上自衛隊の協力により実施した上空からの観測では、大穴火口の噴気及び大穴火口周辺の地熱域に特段の変化は認められなかった。また、2015年10月から2016年にかけての現地調査で弱い噴気や地熱の高い領域を確認した大

穴火口北西では、引き続き地熱の高い領域を確認した。

山に入る際には、火山ガスに注意が必要である。また、大穴火口付近で噴出現象が突発的に発生する可能性があることに留意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

いわきさん
岩木山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

はっこうださん
八甲田山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

とわだ
十和田 [噴火予報（活火山であることに留意）]

あきたやけやま
秋田焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

いわてさん
岩手山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

ちょうかいさん
鳥海山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

くりこまやま
栗駒山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

あだたらやま
安達太良山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

ばんだいさん
磐梯山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

【関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島】

くまつしらねさん 草津白根山 [火口周辺警戒（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

奥山田監視カメラ（湯釜の北約 1.5km）による観測では、引き続き湯釜北側噴気地帯の噴気孔から噴気が認められた。湯釜からの噴気は認められなかった。東京工業大学の監視カメラ（湯釜火口内）では、火口内に特段の変化は認められなかった。

1 日に陸上自衛隊の協力により実施した上空からの観測では、前回の観測（2016 年 5 月）と比べ、湯釜火口壁北側、水釜火口の北から北東側の斜面の状況に特段の変化はなく、引き続き地熱域が認められた。

湯釜火口及び水釜火口周辺の熱活動は高まった状態が継続している。

全磁力観測によると、2014 年 5 月以降の湯釜近傍地下の温度上昇を示唆する変化は、2014 年 7 月に停滞したものの、温度低下を示唆する変化には転じていない。また、東京工業大学によると、2014 年以降、湯釜湖水の化学組成は火山活動の活発化を示す状態であることが確認されている。

小規模な噴火が発生する可能性があることから、湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石³⁾に警戒

が必要である。噴火時には、風下側で火山灰や小さな噴石³⁾が風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

また、ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺のくぼ地や谷地形などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがあるので、注意が必要である。

あさまやま 浅間山 [火口周辺警戒（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

火山活動はやや活発な状態で経過している。

山頂火口からの噴煙は白色で、噴煙の高さは火口縁上概ね 700m 以下で経過している。山頂火口で、夜間に高感度の監視カメラで確認できる程度の微弱な火映⁴⁾が時々観測された。

今期間実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量⁵⁾は 1 日あたり 1,300～3,000 トン（1 月：1,500～3,600 トン）と多い状態が継続している。

山頂火口直下のごく浅い所を震源とする体を感じない火山性地震は、25 日に 166 回となるなど多い状態で経過した。地震回数が 150 回を超えたのは、2015 年 6 月 30 日以来である。

2015 年 6 月上旬頃から 12 月にかけて、山頂の南南西にある塩野山の傾斜計⁶⁾でみられていた北または北西上がりのわずかな変化が、2016 年 12 月頃から再びみられている。国土地理院の GNSS⁷⁾連続観測によると、浅間山を南北に挟む基線で 2016 年秋頃から小さな伸びがみられている。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があるため、山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要である。

にいがたやけやま 新潟焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

山頂部東側斜面の噴気孔からの噴煙は、火口縁上概ね 100m 以下で経過しており、引き続き 2015 年夏以前と比べてやや高い状態が続いている。

2016 年 5 月 1 日以降、振幅の小さな火山性地震がやや増加したが、その後、火山性地震は次第に減少している。

GNSS 連続観測では、2016 年 1 月頃から新潟焼山を南北に挟む基線で伸びがみられていたが、夏以降は停滞傾向が認められる。

今後の火山活動の推移に引き続き注意が必要である。

弥陀ヶ原 [噴火予報(活火山であることに留意)]

監視カメラによる観測では、地獄谷からの噴気の高さは、概ね 200m 以下で経過した。

弥陀ヶ原近傍の地震は少ない状態で経過した。

立山地獄谷では以前から熱活動が活発な状態が続いている。2012 年 6 月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されているので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。また、この付近では火山ガスに注意が必要である。

御嶽山 [火口周辺警報(噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)]

監視カメラによる観測では、噴煙活動に変化はなく、白色の噴煙が火口縁上概ね 500m 以下で経過している。

山頂直下付近の地震活動は、回数は少ないながらも継続している。火山性微動は観測されなかった。

火口列からの噴煙活動や地震活動が続いていることから、今後も小規模な噴火が発生する可能性がある。

火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要である。

箱根山 [噴火予報(噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)]

大涌谷に設置している監視カメラによる観測では、大涌谷の火口や噴気孔及び温泉供給施設から引き続き噴気が勢いよく噴出しているのを確認している。大涌谷周辺での噴気の高さは概ね 500m 以下で経過した。

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過した。火山性微動は観測されなかった。また、地殻変動観測では、特段の変化はみられていない。

一方、大涌谷周辺の想定火口域では、噴気活動が活発なところがあるので、大涌谷周辺の想定火口域では、噴気や火山ガスに引き続き注意が必要である。

伊豆大島 [噴火予報(噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)]

16 日に実施した現地調査では、中央火孔内では、引き続きごく弱い噴気が認められた。その他、三原山山頂周辺の噴気温度に特段の変化は認められなかった。

火山性地震は少ない状態で経過した。震源は三原山周辺の浅いところと西方沖に分布している。

地殻変動観測によると、短期的な膨張と収縮を繰り返しながら、長期的には地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が続いている。その他の観測データには特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。

三宅島 [噴火予報(噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)]

山頂火口からの噴煙の高さは、概ね 200m 以下で経過した。

1 日及び 20 日に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量はいずれも 1 日あたり数十トン以下であった（前回 2017 年 1 月 13 日：数十トン以下）。

7 日に実施した現地調査では、前回の観測（2017 年 1 月 22 日）と比べて、火口内の地形及び噴気の分布に特段の変化は認められなかった。

火山性地震は少ない状態で経過した。震源は山頂火口直下に分布しており、これまでと比べて特段の変化は認められない。火山性微動は観測されなかった。

主火孔における噴煙活動が継続していることから、火口内では噴出現象が突発的に発生する可能性がある。山頂火口内⁸⁾及び主火孔から 500m 以内では火山灰噴出に警戒が必要である。また、火山ガスの放出がわずかながら継続していることから、風下にあたる地域では火山ガスに注意が必要である。

**西之島 [噴火予報(活火山であることに留意)]
←14 日火口周辺警報(火口周辺危険)から噴火予報(活火山であることに留意)に引下げ**

西之島では、火山活動の低下した状態が続いており、新たに形成された山体は、概ね安定した状態になり、噴火が発生する可能性はほとんどなくなったものと考えられる。このことから 14 日 18 時 00 分に噴火予報を発表し、火口周辺警報を解除した。

火口周辺には高温部が残っているほか、海岸部では崩れやすくなっている。引き続き注意が必要である。

硫黄島 [火口周辺警報(火口周辺危険)及び火山現象に関する海上警報]

火山性地震は、多い状態で経過している。特に 1 月 31 日から 2 月 2 日にかけてと、2 月 24 日から 26 日にかけて火山性地震が増加し、1 日には 159 回、25 日には 108 回の火山性地震を観測した。火山性微動は観測されていない。

阿蘇台東監視カメラ（阿蘇台陥没孔の東北東約 900m）による観測では、島北西部の井戸ヶ浜からの噴気は認められなかった。また、島西

部の阿蘇台陥没孔からの噴気の高さは概ね 100 m 以下で経過した。

GNSS 連続観測によると、地殻変動は隆起及び停滞を繰り返している。1 月 31 日から 2 月 2 日にかけてと、2 月 24 日から 26 日にかけての火山性地震の増加に伴い、島の南部が膨張源とみられるわずかな地殻変動が観測された。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生している。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火が発生した地点（ミリオンダラーホール（旧噴火口）等）及びその周辺では噴火に警戒が必要である。

福徳岡ノ場ふくとくおか【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されている。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されるので、周辺海域では噴火に警戒が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

なすだけ 那須岳【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

にっこうしらねさん 日光白根山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

やけどだけ 焼岳【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

のりくらだけ 乗鞍岳【噴火予報（活火山であることに留意）】

はくさん 白山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

ふじさん 富士山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

いずとうぶかさんぐん 伊豆東部火山群【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

にいしま 新島【噴火予報（活火山であることに留意）】

こうづしま 神津島【噴火予報（活火山であることに留意）】

はちじょうしま 八丈島【噴火予報（活火山であることに留意）】

あおがしま 青ヶ島【噴火予報（活火山であることに留意）】

【九州地方及び南西諸島】

くじゅうさん 九重山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められないが、GNSS 連続観測によると、一部の基線で伸びの傾向が認められるので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

あそさん 阿蘇山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】 ←7日に噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ

中岳第一火口では、2016 年 10 月 8 日に爆発的噴火⁹⁾が発生した後、噴火は発生していない。

火山性微動の振幅は、小さな状態で経過している。

傾斜計にも火山活動に伴う特段の変化は認められない。また、GNSS 連続観測では、2016 年 7 月頃から認められていた、草千里深部にあると考えられているマグマだまりの膨張を示す基線の伸びは、11 月中旬以降は停滞している。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、1 日あたり 500～1,000 トンとやや少ない状態で経過している。

3 日及び 15 日に実施した現地調査では、中岳第一火口内で緑色の湯だまりを確認し、湯だまり量は中岳第一火口底の約 8 割であった。

以上のように、阿蘇山の火山活動は低下しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断したことから、7 日 14 時 00 分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げた。

活火山であることから、火口内では土砂や火山灰を噴出する可能性がある。また、火口付近では火山ガスに注意が必要である。

うんぜんだけ 雲仙岳【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

火山活動に特段の変化はないが、長期的には 2010 年頃から火山性地震の活動がやや活発となっているので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

きりしまやま 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

えびの高原（硫黄山）周辺では、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められないが、熱異常域の拡大が続いている。

13 日には硫黄山の南西側に新たな噴気が確認されている。

3 日、8 日及び 21 日に実施した現地調査並びに海上自衛隊第 1 航空群の協力による上空から

の観測では、硫黄山周辺の状況に特段の変化は認められなかった。赤外熱映像装置による観測では、噴気が上がっていた周辺で引き続き熱異常域が観測された。今後の火山活動の推移に注意が必要である。

活火山であることから、火口内で、火山灰、噴気、火山ガス等の規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性があるため、留意が必要である。噴気地帯の周辺では、火山ガス（硫化水素）にも注意が必要である。

きりしまやま しんもえだけ 霧島山（新燃岳）【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

噴煙は火口縁を超えるものは認められず、火口内で消散した。

3日、8日及び21日に実施した現地調査並びに海上自衛隊第1航空群の協力による上空からの観測では、火口内及び西側斜面の割れ目付近で引き続き弱い噴気が認められた。赤外熱映像装置による観測では、引き続き弱い熱異常域が観測された。

火山性地震の月回数は16回（1月：20回）と少ない状態で経過した。火山性微動は2016年9月18日以降、観測されていない。

傾斜計では、火山活動によると考えられる特段の変化は認められなかった。

GNSS連続観測によると、新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2015年1月頃から停滞している。また、新燃岳周辺の一部の基線で、2015年5月頃からわずかに伸びの傾向が認められていたが、2015年10月頃から停滞している。

新燃岳では、火口内及び西側斜面で弱い噴気や熱異常域が引き続き確認されていることから、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

さくらじま 桜島【火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）】

桜島では、噴火は観測されていない。

昭和火口では、2016年7月26日に爆発的噴火¹⁰⁾が発生したが、その後、噴火は観測されていない。南岳山頂火口では、2016年8月まではごく小規模な噴火が時々観測されていたが、同年9月以降は観測されていない。

3日に海上自衛隊第1航空群の協力により実施した上空からの観測では、昭和火口とその周辺は前回（2017年1月11日）の観測と比較して、形状等に特に変化はなく、火口内に留まる程度の噴気が約10m上がっているのを確認した。火口底は火山灰や噴石が堆積し、閉塞していた。南岳山頂火口については、A火口、B火口ともに火口内に留まる程度の白色の弱い噴気が約10

m上がっていて、いずれの火口底も火山灰や噴石が堆積し閉塞していた。

1日、6日及び14日に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり100～300トン（1月13日：200トン）と引き続き少ない状態であった。

火山性地震の月回数は137回と少ないながらも、前月（1月：67回）よりやや増加した。振幅の小さな継続時間の短い火山性微動が3日に2回発生した。火山性微動を観測したのは、2016年8月以来である。

桜島島内での傾斜計及び伸縮計¹¹⁾による観測では、山体の膨張を示す顕著な変化は認められなかった。

GNSS連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下のマグマだまりの膨張が続いている。島内では、2015年8月の急激な山体膨張の変動以降、山体の収縮傾向がみられていたが、2016年1月頃から停滞している。

桜島の噴火活動は2016年8月以降低下しているが、始良カルデラの地下深部の傍聴が継続していることから、火山活動が再び活発化する可能性がある。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流¹²⁾に警戒が必要である。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき¹³⁾）が遠方まで風に流されて降るため注意が必要である。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意が必要である。また、降雨時には土石流に注意が必要である。

さつまいおうじま 薩摩硫黄島【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】←24日に噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ

薩摩硫黄島では、1月1日から火山性地震が増加し、1月7日から9日には日回数が50回以上と多い状態であった。その後もやや多い状態で経過していたが、1月下旬以降は徐々に減少し2月5日以降は日回数が10回未満と少ない状態になった。火山性微動は2015年8月以降、観測されていない。

1月10日、12日、2月8日に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり400～800トンで、昨年と同様にやや少ない状態であった。

2月8日から12日にかけて実施した現地調査及び2月21日に鹿児島県の協力により実施した上空からの観測では、これまでと比較して、噴煙や熱異常域の状況に特段の変化は認められなかった。

傾斜計や GNSS 連続観測では、火山活動に伴う特段の変化は認められない。

これらのことから、薩摩硫黄島の火山活動は低下しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断し、24 日 11 時 00 分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げた。

活火山であることから、火口内では火山灰等が噴出する可能性がある。

また、火口付近では火山ガスに注意が必要である。

くちのえらぶしま 口永良部島【火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）】

口永良部島の新岳では、2015 年 6 月 19 日のごく小規模な噴火後、噴火は観測されていない。

白色の噴煙は最高で火口縁上 800m まで上がった。

7 日及び 27 日に実施した現地調査では、これまでの観測と同様に新岳火口および新岳火口西側割れ目付近から白色の噴煙が上がっており、火口周辺の地形や噴気等の状況に変化はみられなかった。また、赤外熱映像装置による観測では、新岳火口の西側割れ目付近の熱異常域の温度は低下した状態が続いており特段の変化は認められなかった。

東京大学大学院理学系研究科、京都大学防災研究所、屋久島町及び気象庁が実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 1 日あたり 100～200 トン（1 月：70～300 トン）と、2014 年 8 月の噴火前よりもやや多い状態で経過した。

火山性地震は、2 月中旬に日回数 10 回を超える日が時々みられるなど一時的に多い状態となった。火山性地震の月回数は 196 回で、前月（1 月：51 回）に比べて増加し、引き続きやや多い状態で経過した。火山性微動は観測されていない。

GNSS 連続観測では、火山活動によると考えられる特段の変化は認められなかった。

新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒が必要である。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。降雨時には土石流の可能性があるので注意が必要である。

すわのせじま 諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、

火口周辺規制）】

おたけ
御岳火口では、噴火が時々発生し、そのうち爆発的噴火¹⁴⁾は 5 回であった。このうち 27 日 20 時 36 分の爆発的噴火では、火口から 600m 付近に大きな噴石が飛散した。同火口では、期間を通して夜間に高感度の監視カメラで火映を観測した。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

つるみだけ がらんだけ
鶴見岳・伽藍岳【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】
きりしまやま おはち
霧島山（御鉢）【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

- 1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する測器である。熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。
- 2) 火山体の南側で全磁力を観測した場合、全磁力値が減少すると火山体内部で温度上昇が、全磁力値が増加すると火山体内部で温度低下が生じていると推定される。
- 3) 噴石については、大きさによる風の影響の程度の違いによって飛散範囲が大きく異なる。本文中「大きな噴石」とは、「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とは、それより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことである。
- 4) 赤熱した溶岩や高温の火山ガス等が、噴煙や雲に映って明るく見える現象。
- 5) 火口から放出される火山ガスには、マグマに溶けていた水蒸気や二酸化硫黄、硫化水素など様々な成分が含まれており、これらのうち、二酸化硫黄はマグマが浅部へ上昇するとその放出量が増加する。気象庁では、二酸化硫黄の放出量を観測し、火山活動の評価に活用している。
- 6) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがある。
- 7) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称である。
- 8) 山頂火口内とは、雄山山頂にある火口及び火口縁から海岸方向に約 100m までの範囲を指す。
- 9) 阿蘇山では、火道内の爆発による地震を伴い、火口周辺の観測点で一定基準以上の空気の振動を観測した場合に爆発的噴火としている。
- 10) 桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体に感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、気象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した場合に爆発的噴火としている。
- 11) 火山活動による地殻の伸び縮みを観測する機器。マグマ溜まりや火道内の圧力増加によって生じる火口周辺の変化が観測されることがある。

- 12) 火山ガスと火山灰等の混合物が、水面や地表面を高速で横方向に広がり、地表の物を巻き込む現象。人体や建物、船舶等に大きな被害を与える恐れがあり、とても危険である。
- 13) 桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現している。

- 14) 諏訪之瀬島では、火道内の爆発による地震を伴い、島内の観測点で一定基準以上の空気の振動を観測した場合に爆発的噴火としている。

資料 1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ（平成 29 年 2 月 28 日現在）

(1) 主な活火山

噴火警報、火山周辺警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成 19 年 12 月 1 日の警報及び予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2016年3月23日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年9月29日 火山周辺警報（火山周辺危険） 2008年10月17日 噴火予報（平常） 2008年11月17日 火山周辺警報（火山周辺危険） 2008年12月16日 火山周辺警報（レベル 2、火山周辺規制） 2009年4月10日 噴火予報（レベル 1、平常） 2015年7月28日 火山周辺警報（レベル 2、火山周辺規制） 2015年11月13日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年12月16日 噴火予報（レベル 1、平常） 2014年12月16日 火山周辺警報（レベル 2、火山周辺規制） 2015年2月24日 噴火予報（レベル 1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル 1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2015年10月1日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年6月9日 噴火予報（レベル 1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル 1、平常）
東北地方	恵山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2016年3月23日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	岩木山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2016年7月26日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2013年7月25日 噴火予報（レベル 1、平常）
	八甲田山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	十和田	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル 1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年10月27日 噴火予報（レベル 1、平常）
	鳥海山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	蔵王山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2015年4月13日 火山周辺警報（火山周辺危険） 2015年6月16日 噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	吾妻山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル 1、平常） 2014年12月12日 火山周辺警報（レベル 2、火山周辺規制） 2016年10月18日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル 1、平常）
磐梯山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル 1、平常）	
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル 1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2016年12月6日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	草津白根山	火山周辺警報（レベル 2、火山周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル 1、平常） 2009年4月10日 噴火予報（レベル 1、平常）切替 2014年6月3日 火山周辺警報（レベル 2、火山周辺規制）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	浅間山	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2008年8月8日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年2月1日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年2月3日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2009年4月7日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2010年4月15日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2015年6月11日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)
	新潟焼山	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2011年3月31日 噴火予報 (レベル 1、平常)
	弥陀ヶ原	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	焼岳	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2011年3月31日 噴火予報 (レベル 1、平常)
	乗鞍岳	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	御嶽山	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年3月31日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2014年9月27日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2014年9月28日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2015年1月19日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2015年3月31日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2015年6月26日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)
	白山	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2015年9月2日 噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)
	富士山	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル 1、平常)
	箱根山	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2015年5月6日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2015年6月30日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2015年9月11日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2015年11月20日 噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)
	伊豆東部火山群	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2011年3月31日 噴火予報 (レベル 1、平常)
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル 1、平常)
	新島	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	神津島	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	三宅島	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年3月31日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2015年6月5日 噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)
	八丈島	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	青ヶ島	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	西之島	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2013年11月20日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2014年6月3日 火口周辺警報 (入山危険) 2014年6月11日 火口周辺警報 (入山危険) 切替 2015年2月24日 火口周辺警報 (入山危険) 切替 2016年2月17日 火口周辺警報 (入山危険) 切替 2016年8月17日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2017年2月14日 噴火予報 (活火山であることに留意)
	硫黄島	火口周辺警報 (火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報 (火口周辺危険)
	福徳岡ノ場	噴火警報 (周辺海域警戒)	2007年12月1日 噴火警報 (周辺海域警戒)
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2016年7月26日 噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)
	九重山	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル 1、平常)

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	阿蘇山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日 噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日 噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日 噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日 噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2014年10月24日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日 噴火予報（平常） 2016年2月28日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日 噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日 噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日 噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	桜島	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年8月15日 噴火警報（レベル4、避難準備） 2015年9月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月25日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年2月5日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	薩摩硫黄島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日 噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日 噴火予報（レベル1、平常） 2017年1月5日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月24日 噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	口永良部島	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日 噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年8月7日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年5月29日 噴火警報（レベル5、避難） 2015年10月21日 噴火警報（レベル5、避難）切替 2016年6月14日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

（2）その他の活火山

以下の活火山では平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表した（但し、*印の活火山では、活火山として選定された平成 23 年 6 月 7 日に噴火予報（平常）を発表）。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はない。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

注）平成 27 年 5 月 18 日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更している。

資料 2 第 137 回火山噴火予知連絡会について

平成 29 年 2 月 14 日、第 137 回火山噴火予知連絡会が開催された。同連絡会では、全国の火山活動の評価のほか、桜島、口永良部島、阿蘇山の火山活動について特に重点的に検討を行い、委員及び関係機関からの報告をもとにとりまとめた。その結果を気象庁が以下のとおり発表した。

全国の火山活動の評価（第 137 回火山噴火予知連絡会）及び警戒・注意事項

本日、第 136 回火山噴火予知連絡会（平成 28 年 10 月 4 日）以降の全国の火山活動について以下のとおり評価を行うとともに、気象庁において噴火警報・予報（噴火警戒レベル）や警戒・注意事項をとりまとめました。

○全国の主な火山活動及び警戒・注意事項

桜島 昭和火口及び南岳山頂火口の噴火活動は 2016 年 8 月以降低下していますが、始良カルデラの地下深部の膨張が続いていることから、噴火活動が再活発化する可能性があります。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3）〕

口永良部島 新岳火口付近のごく浅い所を震源とする地震がわずかに増加しています。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、2016 年 5 月以降、1 日あたり概ね 200 トンと 2014 年 8 月 3 日の噴火前よりは多い状態が続いています。

これらのことから、2015 年 5 月 29 日と同程度の噴火が発生する可能性は低下しているものの引き続き噴火の可能性があります。

新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るため注意してください。降雨時には土石流の可能性があるので注意してください。〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3）〕

草津白根山 湯釜火口の北から北東内壁及び水釜火口の北から北東側にかけての斜面で熱活動の活発な状態が続いています。また、湯釜の北側噴気地帯の噴気活動は引き続き活発で、湯釜湖水の化学成分は活発な活動状態にあることを示していますが、一部のガス組成に静穏化の傾向

が見られます。

草津白根山では火山活動が活発化した状態が続いており、小規模な噴火が発生する可能性があることから、湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕

浅間山 火山性地震のやや多い状態が続いています。2016 年 10 月頃から浅間山の西側での膨張を示すと考えられるわずかな地殻変動を観測しています。高感度の監視カメラで確認できる程度の弱い火映を時々観測しています。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、2016 年 12 月以降多い状態が続いています。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がありますので、山頂火口から概ね 2 km の範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。登山者等は危険な地域には立ち入らないよう地元自治体等の指示に従ってください。

風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕

御嶽山 火口列からの噴煙活動や山頂直下付近の地震活動が続いていることから、今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。

火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕

薩摩硫黄島 2017 年 1 月 1 日から地震回数が増加し、やや多い状態で経過しています。

火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。また、火山ガスに注意してください。風下側では火山灰だけでなく、風の影響を受ける小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕

諏訪之瀬島 諏訪之瀬島では、御岳火口で噴火が時々発生し、集落で降灰が確認されるなど、活発な噴火活動が続いています。〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕

新潟焼山 噴煙高度は 2016 年秋から低下していますが、2015 年夏以前と比べてやや高い状態が続いています。

想定火口内（山頂から半径 1 km 以内）に影響を

及ぼすような噴火が発生する可能性があります。今後の火山活動に注意してください。登山者等は地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。〔噴火予報（噴火警戒レベル 1）〕

阿蘇山 2016 年 10 月 7 日及び 8 日に噴火が発生しました。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、噴火直前に 1 日あたり 15,000 トンに増加しましたが、11 月以降次第に減少し、2017 年 1 月以降 1 日あたり 1,000 トン以下で経過しています。火山性微動の振幅は、10 月 9 日以降概ね小さな状態で経過しています。

火口内では土砂や火山灰を噴出する可能性があります。また、火山ガスに注意してください。地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。〔噴火予報（噴火警戒レベル 1）〕

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） 火山性地震が、2016 年 12 月 12 日に増加し、振幅の小さな火山性微動と硫黄山方向が隆起する傾斜変動を観測しました。その後火山性地震は少なくなっています。

2015 年 12 月以降、硫黄山及びその周辺の噴気と熱異常域は長期的に拡大が認められています。地震増加や傾斜変動を伴って突発的な噴出現象が起こる可能性がありますので注意が必要です。噴気地帯の周辺では、火山ガス（硫化水素）にも注意してください。〔噴火予報（噴火警戒レベル 1）〕

西之島 西之島では、火山活動の低下した状態が続いており、新たに形成された山体は、概ね安定した状態になり、噴火が発生する可能性はほとんどなくなったものと考えられます。〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

各地方の主な活火山の火山活動評価及び警戒・注意事項

【凡例】

- ・火山噴火予知連絡会の火山活動評価
- 気象庁がとりまとめた警戒・注意事項

1. 北海道地方

①アトサヌプリ

○火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。

〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

②雌阿寒岳

・火山活動は概ね静穏に経過しています。一方、2013 年頃や 2015 年頃に地震増加、浅部熱活動の活発化を示す 96-1 火口の噴煙量の増加や全磁力の減少などがみられています。

・なお、GNSS 連続観測では、2016 年 10 月下旬から山体から東方にかけて変化がみられています。

○ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意してください。

〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

③大雪山

○火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。

〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

④十勝岳

・2006 年以降、GNSS 観測で 62-2 火口浅部における膨張を示す変化が観測されています。

・2010 年頃から 62-2 火口直下のごく浅い所を震源とする地震が増加しています。また、大正火口の噴煙量の増加がみられています。

・2012 年には大正火口付近が明るく見える現象が観測されました。

・2014 年 9 月から 2015 年 6 月にかけて火山性微動が時々発生しました。

・2015 年以降、振子沢噴気孔群で地熱域の拡大が認められ、前十勝頂上付近では複数の列状の噴気が観測されています。

・このように、ここ数年、火山活動は高まる傾向にありますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

○最近の火山活動に特段の変化はありませんが、活火山であることに留意してください。

〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

⑤樽前山

○火山活動は概ね静穏に経過しています。一方、山頂溶岩ドーム周辺では、1999 年以降、高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

⑥倶多楽

・大正地獄において、小規模な熱湯噴出が 2016 年 11 月 5 日から 15 日にかけて断続的に発生しました。その後 12 月 19 日にも発生しましたが、12 月 20 日以降は認められません。この現象は

局所的なものであり、火山活動の活発化に直接つながるものではないと考えられます。

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。

〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

⑦有珠山

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。

〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

⑧北海道駒ヶ岳

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。

〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

⑨恵山

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。

〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

2. 東北地方

①岩木山

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。

〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

②八甲田山

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。

〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

③十和田

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。

〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

④秋田焼山

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山

であることに留意してください。

〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

⑤岩手山

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。

〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

⑥秋田駒ヶ岳

- ・女岳では、2009 年から拡大している地熱域が引き続きみられますが、2016 年 7 月以降は大きな変化は認められませんでした。

- 地震活動は一時的に増加することもありましたが概ね低調で、地殻変動及び噴気活動に変化はみられませんが、地熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

⑦鳥海山

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。

〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

⑧栗駒山

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。

〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

⑨蔵王山

- ・2016 年 8 月から 10 月にかけて火山性微動が 5 回発生しましたが、10 月 20 日以降は観測されていません。

- ・火山性地震は、9 月下旬から 11 月にかけてわずかに増加しましたが、その後は減少しています。

- ・坊平観測点の傾斜計では、2016 年 9 月 22 日から 27 日頃にかけて、わずかな南東上りの変化がみられましたが、その後は特段の変化は認められていません。

- 2013 年から 2015 年にかけて火山活動の高まりがみられました。その後も火山性地震や火山性微動が時々発生していますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

⑩吾妻山

- ・2014 年 12 月から 2015 年 5 月にかけて火山性微動が発生し、火山性地震が増加しましたが、それ以降、2016 年 3 月から 4 月に火山性地震がやや増加した他は、地震の少ない状態で経過し、火山性微動は観測されていません。
- ・GNSS 観測では、2014 年秋から 2015 年夏にかけて一切経山付近の膨張を示す緩やかな変化がみられていましたが、それ以降は停滞または収縮の変動となっています。
- ・浄土平観測点（大穴火口の東南東約 1 km）の傾斜変動は、2014 年 4 月頃から 2015 年 6 月頃まで西南西側（火口方向側）上がりでしたが、その後は 2014 年 4 月以前と同じ西側下りの傾向となっています。
- ・大穴火口付近では、2013 年から 2015 年にかけて地熱域の拡大がみられ、熱活動が活発化しましたが、2016 年 7 月から 10 月の現地調査では特段の変化は認められませんでした。
- ・全磁力観測によって 2014 年 10 月以降観測されていた大穴火口周辺の地下での熱活動の活発化を示す変化は、2015 年秋以降停滞傾向にあると考えられます。
- このように、吾妻山では大穴火口周辺に影響を及ぼす噴火の可能性が低くなったことから、気象庁は 2016 年 10 月 18 日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げました。
- 大穴火口付近では熱活動が継続していますので、今後の火山活動の推移に注意してください。
[噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）] ←平成 28 年 10 月 18 日に噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引下げ

⑪安達太良山

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。
[噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

⑫磐梯山

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。
[噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

①那須岳

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

②日光白根山

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。
[噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）] ←平成 28 年 12 月 6 日に噴火警戒レベル運用開始

③草津白根山

- ・湯釜火口の北から北東内壁及び水釜火口の北から北東側にかけての斜面で熱活動の活発な状態が継続しています。また、2015 年 9 月以降、北側噴気地帯で噴気活動が活発になっています。
- ・2014 年 5 月以降減少していた北側噴気地帯の硫化水素ガス成分が増加傾向にあります。湯釜湖水の高温の火山ガスに由来する成分の多い状態が継続しています。
- ・火山性地震は少ない状態で経過しています。
- ・GNSS による地殻変動観測では、2014 年 4 月頃から湯釜を挟む基線でわずかな伸びの傾向がみられましたが、2015 年 11 月頃から停滞傾向が認められます。湯釜周辺の GNSS 及び光波測距による繰り返し観測では、2016 年 4 月以降、湯釜付近の収縮を示す変化がみられています。
- ・2014 年 3 月頃から湯釜周辺の傾斜計の湯釜付近の膨張を示す変動がみられていましたが、2015 年 11 月頃からは収縮を示す変動が認められます。
- ・草津白根山では、2014 年 3 月以降火山活動の活発化を示す変化が観測されました。その後、地震観測及び地殻変動観測及び全磁力観測で活動低下の可能性を示す変化が認められているものの、湯釜湖水の化学組成は現在も活発化を示す状態が継続しています。
- 小規模な噴火が発生する可能性があることから、湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。
[火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

④浅間山

- ・2015 年 6 月 19 日の噴火後、噴火は観測されていません。
- ・2016 年 12 月以降の夜間に高感度カメラで確認できる程度の弱い火映を時々観測しています。
- ・火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、500 トン以下で経過していましたが、2016 年 11 月頃から増加し、2017 年 1 月 18 日に 3,600 トンにな

るなど多い状態が継続しています。

- ・火山性地震は概ねやや多い状態で経過しています。発生している地震はその多くが BL 型地震です。
 - ・GNSS および傾斜計による地殻変動観測で、2016 年 10 月頃から浅間山の西側での膨張を示すと考えられるわずかな変化が見られています。
 - ・火山性微動は、2016 年 1 月以降やや増加していましたが、12 月以降減少しています。
- 今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がありますので、山頂火口から概ね 2 km の範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。登山者等は危険な地域には立ち入らないよう地元自治体等の指示に従ってください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。

[火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

⑤新潟焼山

- ・2015 年夏頃から山頂部東側斜面の噴煙がやや高く上がる傾向が認められ、12 月下旬からは噴煙量も多くなりました。2016 年秋から噴煙高度は低下していますが、2015 年夏以前と比べてやや高い状態が続いています。
- ・2016 年 5 月 1 日以降、振幅の小さな火山性地震がやや増加し、5 月 4 日以降は低周波地震も時々発生しましたが、その後、火山性地震は次第に減少しています。
- ・GNSS による地殻変動観測では、2016 年 1 月頃から新潟焼山を南北に挟む基線で伸びがみられていましたが、2016 年夏以降は停滞傾向が認められます。

- 今後の火山活動の推移に注意してください。山頂から半径 1 km 以内（想定火口内）は、2016 年 3 月 2 日から、地元自治体等により立入規制が実施されています。登山者等は地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

⑥弥陀ヶ原

- ・弥陀ヶ原近傍の地震は少ない状態で経過しています。
- ・立山地獄谷では以前から熱活動が活発でしたが、2012 年 6 月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されています。

- 今後の火山活動の推移に注意してください。また、この付近では火山ガスに注意してください。

[噴火予報（活火山であることに留意）]

⑦焼岳

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

⑧乗鞍岳

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。

[噴火予報（活火山であることに留意）]

⑨御嶽山

- ・2014 年 9 月 27 日に噴火が発生した剣ヶ峰山頂の南西側の火口列からの噴煙活動は、長期的には低下しつつも継続しています。
- ・地殻変動観測では、2014 年 10 月以降地下浅部が変動源とみられる山体の収縮が、ほぼ一定の変化量で継続しています。
- ・山頂付近直下の火山性地震の発生回数は、1 ヶ月あたり 50~90 回前後の状態、徐々に減少しながらも継続しており、2014 年 8 月以前の平均的なレベルには戻っていません。
- ・火口列からの噴煙活動や山頂直下付近の地震活動が続いていることから、今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。

- 火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

[火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

⑩白山

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

⑪富士山

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

⑫箱根山

- ・地震活動は低調に経過しています。火山性微動は観測されていません。

- 噴火の兆候は認められませんが、大涌谷周辺の想定火口域では、引き続き噴気活動が活発など

ころがありますので、噴気や火山ガスに引き続き注意してください。

【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

⑬伊豆東部火山群

○火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。

【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

⑭伊豆大島

・地殻変動観測によると、短期的な膨張や収縮があるものの、長期的には、地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が継続しています。

○その他の観測データには特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。長期的には山体の膨張が継続していることから、今後の火山活動に注意してください。

【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

⑮新島

○火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。

【噴火予報（活火山であることに留意）】

⑯神津島

○火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。

【噴火予報（活火山であることに留意）】

⑰三宅島

・噴煙は白色で、高さは火口縁上概ね 600m 以下で経過しています。

・山頂浅部を震源とする地震は少ない状態で経過しています。

・火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、長期的には緩やかな減少傾向にあります。2016 年 5 月 12 日に実施した現地調査では、一時的に 1 日あたり 1,200 トンに増加していましたが、それ以降は減少し、8 月以降の現地調査ではいずれも 1 日あたり数十トン以下となっています。

・GNSS による観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなっています。一方、山体深部の膨張を示す地殻変動が継続しています。

○これらのことから、今後も規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性があります。

○山頂火口及び火口内南側の主火孔から 500m 以内では火山灰噴出に引き続き注意してください。

【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

⑱八丈島

○火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。

【噴火予報（活火山であることに留意）】

⑲青ヶ島

○火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。

【噴火予報（活火山であることに留意）】

⑳西之島

・2015 年 11 月 17 日にブルカノ式噴火を確認した後、噴火は観測されていません。溶岩の流出は停止しています。

・2015 年 12 月以降地表面温度の低下した状態が続いています。

・海上や上空からの観測によると、噴気及び火山ガスの放出は低調に経過しています。

・2016 年 10 月に島内に設置した地震計によると、島内浅部の地震活動は低調です。

・干渉 SAR による解析では、火口周辺のゆっくりとした沈降が継続しており、2016 年後半の沈降は 2016 年前半と比較して緩やかでした。

・これらのことから、西之島の新たに形成された山体は、概ね安定した状態になり、噴火が発生する可能性はほとんどなくなったものと考えられます。

○火口周辺には高温部が残っているほか、海岸部では崩れやすくなっていますので、引き続き注意してください。

【噴火予報（活火山であることに留意）】 ←平成 29 年 2 月 14 日に火口周辺警報（火口周辺危険）から噴火予報（活火山であることに留意）に引下げ

㉑硫黄島

・島西部の阿蘇台陥没孔や井戸ヶ浜では引き続き噴気を観測しています。2016 年 10 月前半及び 12 月初めに阿蘇台陥没孔西の海岸（沈船陥没孔付近）から概ね 30m 以下の噴気が上がっているのが時々確認されました。

・GNSS による地殻変動観測では、2014 年 2 月下旬頃から隆起・停滞を繰り返しています。2016 年 11 月上旬には、一時的な火山性地震の増加とともに、島の南部が膨張源とみられる地殻変動が観測されました。

- ・火山性微動は時々観測されています。
- 硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生した地点およびその周辺では警戒してください。

[火口周辺警報（火口周辺危険）]

②福徳岡ノ場

- 長期間にわたり変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒してください。

[噴火警報（周辺海域警戒）]

4. 九州地方・南西諸島

①鶴見岳・伽藍岳

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることに留意してください。

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

②九重山

- ・GNSS 連続観測によると、2012 年頃から一部の基線で伸びの傾向が認められますが、2016 年 1 月頃から鈍化しています。
- その他の観測データには特段の変化はなく、噴火の兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意してください。

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

③阿蘇山

- ・中岳第一火口では、2016 年 10 月 7 日と 8 日に噴火が発生しました。
- ・10 月 7 日の噴火に先行する活動状況は、火山性微動の振幅はやや大きい状態で、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量はやや多い状態（1 日あたり 1,000～2,000 トン程度）から 9 月下旬には多い状態（同 2,100～3,100 トン）になっており、草千里地下の深部マグマだまりの膨張の可能性を示す GNSS の基線が 7 月頃から伸び、中岳第一火口付近の A 型地震が 10 月に入り増加していました。
- ・10 月 7 日に火山性微動の振幅が大きな状態となり、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が 15,000 トンと急増し非常に多い状態となりました。その後、21 時 52 分に噴火が発生しました。また、10 月 7 日 23 時 50 分頃から傾斜計で急速に火口方向の隆起が認められ、振幅の大きな B 型地震が増加し、10 月 8 日 01 時 46 分に爆発的噴火が発生しました。
- ・10 月 8 日の噴火では噴煙が海拔 11,000m まで

上がったほか、火口周辺に大きな噴石が飛散し、赤外熱映像装置による観測では中岳第一火口の南東側 1.2km に大きな噴石と思われる温度の高い箇所を確認しました。中岳第一火口から北東側約 4 km の国立阿蘇青少年交流の家で長径 7 cm の小さな噴石を確認し、北東側約 20km の大分県竹田市でも直径数 mm の小さな噴石を確認しました。

- ・10 月 7 日及び 8 日の噴火による降灰が熊本県、大分県、愛媛県、香川県、岡山県で確認されました。現地調査結果から、総降灰量は 60～65 万トン程度と推定されます。
- ・10 月 8 日の噴火後、噴火は観測されていません。火山性微動の振幅は、10 月 9 日以降は概ね小さな状態で経過しました。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、噴火後、最高で 11 月 16 日に 1 日あたり 3,300 トンとなりましたが、次第に減少し、2017 年 1 月には 1 日あたり 1,000 トン以下で経過しました。
- ・GNSS 連続観測で観測されていた草千里地下の深部マグマだまりの膨張の可能性を示す基線の伸びは、11 月中旬以降停滞しています。
- ・傾斜計では、10 月 7 日及び 8 日の噴火後は火山活動に伴う特段の変化は認められていません。
- ・10 月以降の現地調査で、中岳第一火口内の湯だまりと南側火口壁の赤熱を確認していますが、土砂噴出は観測されませんでした。
- ・11 月 12 日以降、夜間に高感度の監視カメラで火映を時々観測しています。中岳第一火口内の火口壁の一部が赤熱し火映が発生しているものと推定されます。
- ・2017 年 1 月 13 日から 20 日にかけて火口付近の浅いところを震源とする振幅の小さな地震が一時的に増加しましたが、その後概ね少ない状態で経過しています。
- 以上のように、中岳第一火口の火山活動は低下した状態であり、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったことから、気象庁は 2 月 7 日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げました。
- 活火山であることから、火口内では土砂や火山灰を噴出する可能性があります。また、火口周辺では火山ガスに注意してください。地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

④雲仙岳

○火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、長期的には 2010 年頃から火山性地震の活動がやや活発となっていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

⑤霧島山

えびの高原（硫黄山）周辺

- ・2016 年 12 月 12 日 11 時頃から 12 時頃にかけて火山性地震が増加し、継続時間が 1 分未満の振幅の小さな火山性微動を 2 回観測しました。これらとともに硫黄山方向が隆起する傾斜変動を観測しました。
- ・また、12 月 12 日 21 時頃及び 15 日 20 時頃に火山性地震の発生に伴って一時的に山体が隆起する傾斜変動が観測されましたが、その後は特段の傾斜変動は観測されていません。
- ・火山性地震は 12 月 13 日以降減少し、火山性微動も観測されていません。
- ・地殻変動観測では、硫黄山付近で 11 月頃から若干の隆起を示す変動がみられます。
- ・12 月 16 日から 31 日にかけて硫黄山の噴気の量がやや多くなり、一時的に噴気の高さが稜線上 200m まで上がるなど噴気活動の活発化がみられました。その後は概ね 30m で経過しています。
- ・2015 年 12 月から確認されている硫黄山の噴気活動を伴った熱異常域は、硫黄山火口南西から南東側で拡大を続けています。

○2015 年 12 月以降、硫黄山及びその周辺の噴気と熱異常域は長期的には拡大が認められており、地震増加や傾斜変動を伴い突発的な噴出現象が発生する可能性がありますので注意が必要です。噴気地帯の周辺では、火山ガス（硫化水素）にも注意してください。

[噴火警戒レベル 1、（活火山であることに留意）] ←平成 28 年 12 月 6 日に噴火警戒レベル運用開始、12 月 12 日には火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 2（火口周辺規制）に引上げ、平成 29 年 1 月 13 日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引上げ

新燃岳

- ・新燃岳では、2011 年 9 月 7 日を最後に噴火は発生していません。
- ・火山性地震は時々発生し、月回数は 5 回以下でした。震源は、新燃岳付近のごく浅いところから海拔下 3 km 付近に分布しました。2016 年 10 月以降、火山性微動は観測されていません。
- ・GNSS 観測によると、新燃岳の北西数 km（えびの高原付近）の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2015 年 1 月

頃から停滞しています。一方、新燃岳周辺の一部の基線では、2015 年 5 月頃からわずかに伸びの傾向がみられていましたが、その後停滞しています。

- ・干渉 SAR による解析では、火口内に蓄積された溶岩のわずかな体積膨張が続いていましたが、2016 年 7 月以降停滞しています。
 - ・白色の噴煙は、2016 年 10 月 30 日に火口縁上 200m まで上がりましたが、それ以外の期間のほとんどは火口内で消散する程度でした。
 - ・2016 年 10 月 18 日に実施した新燃岳火口縁からの現地調査では、火口内の所々から弱い噴気が上がっており、その周辺が弱い熱異常域となっていました。
 - ・2015 年 11 月頃から新燃岳火口の西側斜面の割れ目の下方で、やや温度の高い部分が引き続き観測されています。
- 新燃岳では火山性地震が時々発生しており、火口内および西側斜面では弱い噴気や熱異常が確認されていることから、今後の火山活動の推移に注意してください。

[火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

御鉢

- ・火山性地震は、少ない状態で経過しました。
- 今のところ噴火の兆候は認められませんが、時折地震の増加や火山性微動の発生がみられることから、今後の火山活動の推移に注意してください。

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

⑥桜島

- ・昭和火口では 2016 年 7 月 27 日以降、南岳山頂火口では 2016 年 8 月 23 日以降、いずれもごく小規模な噴火も観測されていません。
- ・浅い地震（B 型地震）は少ない状態で経過していますが、やや深い地震（A 型地震）は、月回数 15～17 回と噴火活動が活発な時期（月回数数回）よりもやや多い状態で推移しています。火山性微動は観測されていません。
- ・地殻変動観測では、2015 年 8 月 15 日の急激な変動以降、顕著な山体膨張を示す急激な変動はみられていません。島内の山体の収縮傾向は 2016 年 1 月頃から停滞しています。始良カルデラの膨張を示す基線の伸びの傾向は、2016 年 11 月頃から一部の基線で鈍化が認められるものの、継続しています。
- ・1 日あたりの火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は少ない状態が続いています。
- ・以上のように、桜島の噴火活動は低下していますが、地殻変動観測では、始良カルデラの膨張

が続いていることから、火山活動が再活発化する可能性があります。

- 昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るため注意してください。
- 爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

[火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

⑦薩摩硫黄島

- ・2017 年 1 月 1 日から主に B 型地震が増加し、7 日から 9 日にかけては日回数が 50 回を超えるなど多い状態となりました。その後もやや多い状態で経過していますが、緩やかな減少傾向がみられています。
- ・噴煙や山体の熱異常域の状況に、地震の増加前と比べて特段の変化は認められていません。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、1 日あたり 500～800 トンで前回の観測（2016 年 7 月 5 日 500 トン）と同様にやや少ない状態でした。
- ・地殻変動観測では、火山活動に伴う特段の変化は認められていません。
- 火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。また、火山ガスに注意してください。風下側では火山灰だけでなく、風の影響を受ける小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。

[火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）] ←平成 29 年 1 月 5 日には火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 2（火口周辺規制）に引上げ

⑧口永良部島

- ・新岳では、2015 年 6 月 19 日の噴火後、噴火は観測されていません。
- ・火山性地震は新岳火口付近のごく浅い所から海拔下 2 km を震源とする地震がわずかに増加しています。2016 年 10 月以降火山性微動は観測されていません。
- ・現地調査では、2015 年 9 月以降、新岳火口の西側割れ目付近の熱異常域の温度の低下が認められていますが、噴煙は最高で火口縁上 700 m まで上がるなど、2014 年 8 月 3 日の噴火前よりは多い状態が続いています。火映は 2015 年 5 月 29 日の噴火以降観測されていません。
- ・GNSS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められません。

- ・火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、2016 年 5 月以降、1 日あたり概ね 200 トンで経過しており、2014 年 8 月 3 日の噴火前よりは多い状態が続いています。
- ・以上のように、新岳火口付近のごく浅い地震のわずかな増加がみられていることや火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が 2014 年 8 月の噴火前よりもやや多い状態で経過していることから、2015 年 5 月 29 日と同程度の噴火が発生する可能性は低くなっているものの、引き続き噴火が発生する可能性があります。

- 新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。向江浜地区から新岳の南西にかけて、火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒してください。

- 風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るため注意してください。降雨時には土石流の可能性があるので注意してください。

[火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

⑨諏訪之瀬島

- ・御岳火口では、噴火が時々発生し、2016 年 11 月には爆発的噴火が 11 回発生するなど、活発な火山活動が継続しています。
- ・十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、10 月及び 11 月に時々集落（御岳の南南西約 4 km）で降灰が確認されました。
- ・諏訪之瀬島周辺を震源とする A 型地震は、概ねやや少ない状態で経過しました。
- ・火山性微動は、時々発生しています。
- 諏訪之瀬島では、活発な噴火活動が続いています。火口から概ね 1 km の範囲では、今後も噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

[火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

●世界の主な地震

平成 29 年（2017 年）2 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。



図 1 平成 29 年（2017 年）2 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

- * : 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2017 年 3 月 1 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素は気象庁による。
- ** : 数字は、表 1 の番号に対応する。
- *** : マグニチュードは表 1 の mb (実体波マグニチュード)、Mj (気象庁マグニチュード)、Mw (モーメントマグニチュード) のいずれかを用いて表示している。

表 1 平成 29 年（2017 年）2 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	08日07時03分	N25° 12.1'	E063° 15.5'	24			6.3	パキスタン南西部			
2	10日23時03分	N09° 55.4'	E125° 27.6'	15			6.5	フィリピン諸島 ミンダナオ島		○	
3	18日21時10分	S23° 55.2'	W066° 41.3'	201			6.3	アルゼンチン フワイ州			
4	21日23時09分	S19° 17.0'	W063° 53.9'	598			6.5	ボリビア南部			
5	25日02時28分	S23° 14.7'	W178° 50.1'	415			6.9	フィジー諸島南方沖			

- ・ 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2017 年 3 月 1 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・ 被害状況は、出典のないものは OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs : 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。
- ・ 地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9 時間] である。
- ・ 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (地震・火山月報 (防災編) 2005 年 5 月号参照) を発表したことを表す。
- ・ 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・ 深さに「*」を付したものは、気象庁による CMT 解のセントロイドの深さを表す。

● 世界の主な火山活動

平成 29 年（2017 年）2 月に噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。

ボゴスロフ (Bogoslof) アメリカ (図中 A) 標高 150m

1 月に引き続き噴火が度々発生した。2 月 17 日には、火山灰を含む噴煙が海拔 11.6km まで上がった。

サバンカヤ (Sabancaya) ペルー (図中 B) 標高 5,967m

2 月 22 日から 26 日にかけて、及び 28 日には、散發的に火山ガス及び火山灰を含む噴煙が上昇した。24 日から 28 日にかけては、噴煙は最大で海拔 11.9km まで上がった。

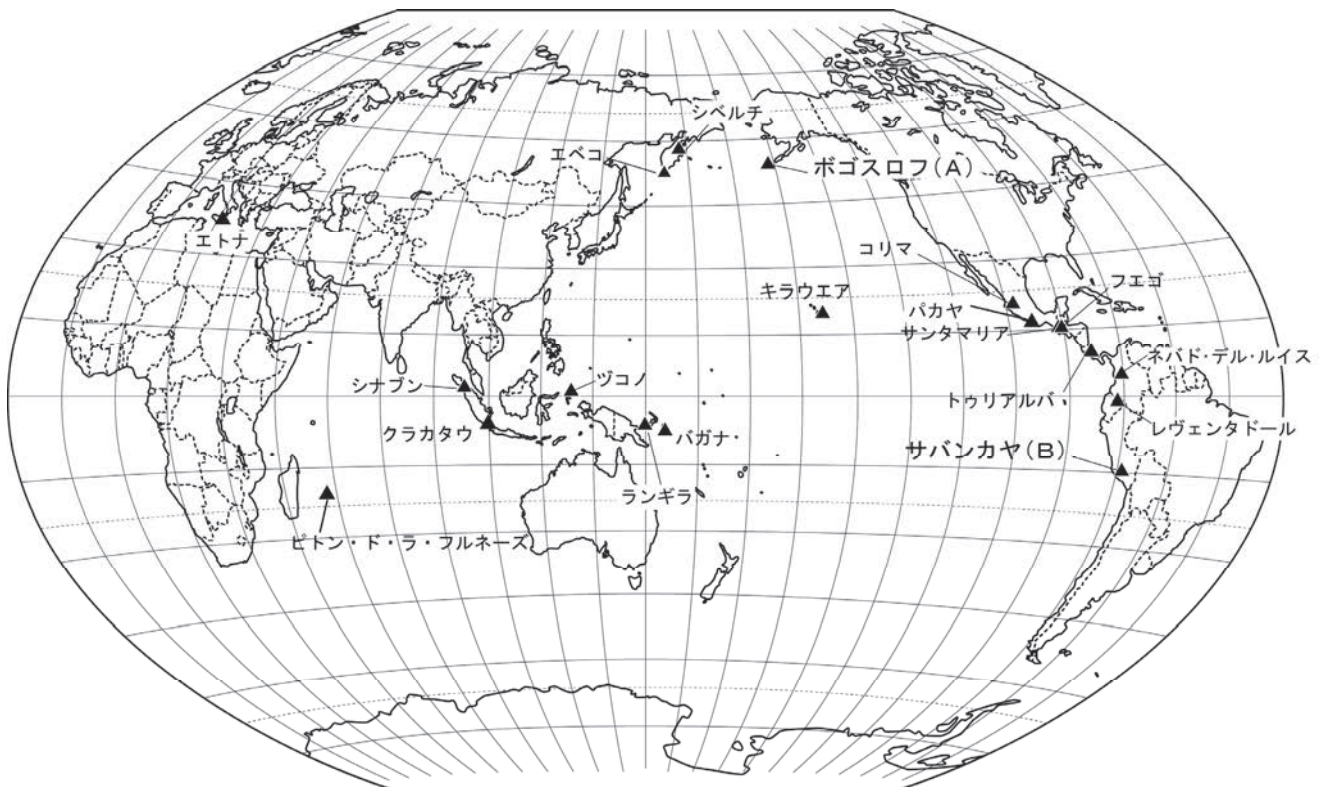


図 平成 29 年（2017 年）2 月に噴火した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。

●付録 1. 震度 1 以上を観測した地震の表

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編） [気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成 25 年 12 月 地震・火山月報（防災編）の付録 2 参照）を記す。なお、*のついている地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点。（注）を付した地震については、近接した地域ではほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に'F'を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さに CMT 解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を **太字** で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
1	1 03 43	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 23.0' N	142° 16.5' E	28km	M: 4.3
		1 釜石市中妻町*=0.8 住田町世田米*=0.7 盛岡市薮川*=0.6 盛岡市山王町=0.6 一関市千厩町*=0.5 宮古市田老*=0.5				
		1 石巻市桃生町*=1.2 南三陸町志津川=1.0 女川町女川浜*=1.0 大崎市田尻*=0.8 名取市増田*=0.8 石巻市大街道南*=0.8 涌谷町新町裏=0.8 岩沼市桜*=0.7 登米市迫町*=0.6 石巻市北上町*=0.6 登米市東和町*=0.6 登米市中田町=0.5 大崎市古川三日町=0.5 大崎市古川大崎=0.5 石巻市相野谷*=0.5 大郷町粕川*=0.5				
2	1 06 41	根室地方北部 北海道	44° 02.1' N	145° 07.9' E	0km	M: 1.8
		1 羅臼町緑町*=0.6				
3	1 12 42	兵庫県南東部 大阪府 京都府 兵庫県	34° 56.0' N	135° 21.9' E	8km	M: 3.0
		2 能勢町今西*=1.7 1 能勢町役場*=1.3 1 亀岡市安町=1.3 南丹市園部町小桜町*=0.5 1 三田市下里*=1.3 篠山市杉*=0.5				
4	1 14 43	熊本県熊本地方 熊本県	32° 51.2' N	130° 49.4' E	14km	M: 1.9
		1 菊池市旭志*=0.6				
5	1 15 46	茨城県北部 茨城県	36° 43.9' N	140° 38.8' E	7km	M: 3.1
		2 高萩市下手綱*=1.7 1 日立市十王町友部*=1.1 高萩市安良川*=1.1 日立市助川小学校*=0.5				
6	2 00 16	茨城県南部 茨城県	36° 07.1' N	140° 01.7' E	48km	M: 3.0
		1 石岡市柿岡=0.6 土浦市常名=0.5 水戸市内原町*=0.5 桜川市真壁*=0.5				
7	2 03 11	奄美大島近海 鹿児島県	27° 59.7' N	130° 15.9' E	34km	M: 4.3
		3 喜界町湾*=2.9 2 喜界町滝川=2.4 1 奄美市笠利町里*=1.4 奄美市名瀬港町=1.0 瀬戸内町西古見=0.5				
8	2 09 53	新島・神津島近海 東京都	34° 21.0' N	139° 13.5' E	3km	M: 1.8
		1 新島村大原=1.1 新島村式根島=0.6				
9	2 20 05	沖縄本島近海 鹿児島県	27° 26.7' N	128° 40.3' E	43km	M: 3.9
		2 知名町瀬利覚=2.2 伊仙町伊仙*=1.5 1 和泊町和泊*=1.4 知名町知名*=1.4 和泊町国頭=1.1 天城町平土野*=1.0 瀬戸内町与路島*=0.7 与論町茶花*=0.7				
10	3 02 38	千葉県東方沖 千葉県	35° 24.2' N	140° 24.4' E	59km	M: 3.5
		2 一宮町一宮=1.9 長生村本郷*=1.5 長南町長南*=1.5 1 勝浦市新官*=1.4 大網白里市大網*=1.3 東金市東新宿=1.1 市原市姉崎*=1.1 睦沢町下之郷*=1.1 いすみ市国府台*=1.1 東金市日吉台*=1.0 九十九里町片貝*=1.0 勝浦市墨名=1.0 茂原市道表*=1.0 いすみ市岬町長者*=1.0 山武市埴谷*=1.0 芝山町小池*=0.9 いすみ市大原*=0.9 千葉緑区おゆみ野*=0.8 東金市東岩崎*=0.8 木更津市富士見*=0.8 山武市蓮沼二*=0.8 千葉若葉区小倉台*=0.7 千葉中央区都町*=0.7 大多喜町大多喜*=0.7 白子町関*=0.6 君津市久留里市場*=0.6 長柄町桜谷*=0.5 山武市松尾町富士見台=0.5 山武市殿台*=0.5 山武市蓮沼ハ*=0.5 鴨川市横渚*=0.5				
11	3 03 16	岐阜県美濃中西部 愛知県	35° 23.5' N	136° 52.3' E	7km	M: 2.1
		1 犬山市五郎丸*=0.8				
12	3 07 10	福島県沖 福島県	37° 18.8' N	141° 15.5' E	32km	M: 3.5
		1 檜葉町北田*=1.0 川内村下川内=1.0 双葉町両竹*=0.9 福島広野町下北迫大谷地原*=0.8 大熊町野上*=0.7 浪江町幾世橋=0.6				
13	3 11 29	茨城県北部 茨城県	36° 45.1' N	140° 35.9' E	8km	M: 2.9
		1 常陸太田市大中町*=0.8 高萩市下手綱*=0.8				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
14	3 19 58	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本西区春日=0.6	32° 48.2' N	130° 41.4' E	5km	M: 1.7
15	3 20 58	茨城県沖 茨城県 2 東海村東海*=2.3 高萩市安良川*=1.7 ひたちなか市南神敷台*=1.7 日立市助川小学校*=1.7 日立市役所*=1.6 水戸市金町=1.6 水戸市千波町*=1.5 高萩市下手綱*=1.5 城里町石塚*=1.5 1 北茨城市磯原町*=1.1 常陸大宮市北町*=1.1 那珂市福田*=1.1 水戸市内原町*=1.0 大子町池田*=1.0 茨城鹿嶋市宮中*=1.0 鉾田市汲上*=1.0 常陸大宮市上小瀬*=0.9 ひたちなか市東石川*=0.9 日立市十王町友部*=0.9 笠間市石井*=0.8 常陸大宮市山方*=0.8 大洗町磯浜町*=0.7 石岡市柿岡=0.7 茨城鹿嶋市鉢形=0.7 潮来市堀之内=0.7 ひたちなか市山ノ上町=0.7 桜川市真壁*=0.6 土浦市常名=0.6 常陸太田市町田町*=0.6 小美玉市上玉里*=0.6 筑西市門井*=0.5 常陸大宮市高部*=0.5 福島県 1 白河市東*=1.3 玉川村小高*=1.2 白河市新白河*=0.9 天栄村下松本*=0.7 棚倉町棚倉中居野=0.7 矢祭町戸塚*=0.7 浅川町浅川*=0.6 白河市郭内=0.6 郡山市湖南町*=0.5 須賀川市八幡山*=0.5 栃木県 1 大田原市湯津上*=0.8 茂木町茂木*=0.8 芳賀町祖母井*=0.7 那須烏山市中央=0.5 千葉県 1 香取市役所*=0.7 香取市佐原平田=0.6 香取市仁良*=0.5	36° 13.4' N	140° 56.4' E	47km	M: 3.9
16	3 21 14	茨城県沖 茨城県 1 水戸市千波町*=1.0 ひたちなか市南神敷台*=0.8 水戸市金町=0.7 常陸大宮市上小瀬*=0.7 城里町石塚*=0.6 東海村東海*=0.5	36° 13.4' N	140° 56.2' E	47km	M: 3.3
17	3 23 15	福島県沖 福島県 2 福島伊達市保原町*=1.6 双葉町両竹*=1.6 郡山市開成*=1.5 国見町藤田*=1.5 1 郡山市朝日=1.4 大玉村南小屋=1.4 泉崎村泉崎*=1.4 南相馬市鹿島区西町*=1.4 鏡石町不時沼*=1.3 福島市五老内町*=1.3 矢吹町一本木*=1.3 玉川村小高*=1.3 田村市常葉町*=1.3 いわき市小名浜=1.3 天栄村下松本*=1.2 郡山市湖南町*=1.2 福島市桜木町*=1.1 田村市船引町=1.1 須賀川市八幡山*=1.1 相馬市中村*=1.1 福島広野町下北迫大谷地原*=1.1 檜葉町北田*=1.1 福島市松木町=1.1 猪苗代町城南=1.1 本宮市本宮*=1.0 白河市郭内=1.0 須賀川市岩瀬支所*=1.0 会津坂下町市中三番甲*=1.0 いわき市三和町=0.9 福島広野町下北迫苗代替*=0.9 浪江町幾世橋=0.9 白河市新白河*=0.9 浅川町浅川*=0.9 いわき市錦町*=0.8 南相馬市原町区高見町*=0.7 棚倉町棚倉中居野=0.7 大熊町野上*=0.6 いわき市平四ツ波*=0.5 宮城県 1 岩沼市桜*=1.4 丸森町鳥屋*=1.4 大河原町新南*=1.2 宮城加美町中新田*=1.2 大崎市古川三日町=1.1 名取市増田*=1.1 角田市角田*=1.1 大崎市古川北町*=1.0 宮城美里町木間塚*=1.0 山元町浅生原*=1.0 大崎市松山*=0.9 色麻町四籠*=0.9 亘理町下小路*=0.9 蔵王町円田*=0.9 松島町高城=0.9 登米市迫町*=0.8 宮城川崎町前川*=0.8 大崎市田尻*=0.7 仙台青葉区大倉=0.5 山形県 1 白鷹町荒砥*=1.4 米沢市林泉寺*=1.3 高島町高島*=1.3 南陽市三間通*=1.1 天童市老野森*=1.0 上山市河崎*=0.9 中山町長崎*=0.9 米沢市アルカディア=0.8 米沢市金池*=0.8 東根市中央*=0.8 米沢市駅前=0.7 山形川西町上小松*=0.7 茨城県 1 日立市助川小学校*=0.5 笠間市石井*=0.5	37° 11.3' N	141° 28.8' E	27km	M: 4.9
18	5 09 16	岩手県沖 青森県 1 階上町道仏*=0.8	40° 08.8' N	142° 26.1' E	35km	M: 3.7
19	5 09 43	熊本県阿蘇地方 熊本県 1 南阿蘇村中松=0.6	32° 57.2' N	131° 04.3' E	6km	M: 1.7
20	6 00 17	苫小牧沖 北海道 1 函館市泊町*=0.7	41° 51.2' N	141° 34.6' E	75km	M: 3.5
21	6 04 43	兵庫県南東部 京都府 大阪府 兵庫県 1 亀岡市安町=1.0 1 能勢町役場*=1.1 箕面市粟生外院*=0.9 能勢町今西*=0.7 大阪東淀川区柴島*=0.7 豊能町余野*=0.7 箕面市箕面=0.6 大阪北区茶屋町*=0.5 大阪東淀川区北江口*=0.5 1 三田市下里*=1.4 三田市下深田=0.6	34° 53.7' N	135° 25.3' E	14km	M: 3.0
22	6 11 27	宮城県沖 岩手県 2 一関市千厩町*=2.2 住田町世田米*=1.9 一関市室根町*=1.8 一関市大東町=1.5 釜石市中妻町*=1.5 大船渡市猪川町=1.5 1 大船渡市大船渡町=1.4 一関市東山町*=1.2 陸前高田市高田町*=1.1 釜石市只越町=1.0 大船渡市盛町*=1.0 花巻市東和町*=0.9 一関市藤沢町*=0.9 山田町八幡町=0.8 奥州市前沢区*=0.6 一関市花泉町*=0.6 盛岡市薮川*=0.6 遠野市青笹町*=0.6 一関市川崎町*=0.6 遠野市宮守町*=0.5 2 女川町女川浜*=2.3 南三陸町志津川=1.9 石巻市桃生町*=1.9 登米市豊里町*=1.5 岩沼市桜*=1.5 1 気仙沼市唐桑町*=1.4 南三陸町歌津*=1.4 石巻市北上町*=1.4 涌谷町新町裏=1.3 登米市東和町*=1.2 東松島市小野*=1.1 松島町高城=1.1 気仙沼市笹が陣*=1.0 宮城美里町北浦*=1.0 石巻市大街道南*=1.0 気仙沼市赤岩=1.0 気仙沼市本吉町西川内=0.9 大崎市田尻*=0.9 仙台空港=0.9 石巻市鮎川浜*=0.9 登米市中田町=0.9 石巻市前谷地*=0.9 登米市米山町*=0.9 登米市迫町*=0.9 大郷町粕川*=0.9 登米市南方町*=0.8 石巻市雄勝町*=0.8 仙台若林区遠見塚*=0.8 大崎市古川三日町=0.8 大崎市鹿島台*=0.8 名取市増田*=0.7 石巻市相野谷*=0.7 仙台宮城野区苦竹*=0.7 登米市石越町*=0.7 東松島市矢本*=0.7 石巻市大瓜=0.7 栗原市若柳*=0.7 大崎市古川北町*=0.7 気仙沼市本吉町津谷*=0.6 登米市津山町*=0.6 山元町浅生原*=0.6 仙台宮城野区五輪=0.6 大崎市古川大崎=0.6 栗原市栗駒=0.5 柴田町船岡=0.5	38° 31.7' N	141° 48.6' E	50km	M: 4.1

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
23	6 13 46	鳥取県中部 鳥取県 1 湯梨浜町龍島*=-0.7 北栄町由良宿*=-0.5	35° 25.8' N	133° 49.9' E	13km	M: 3.0
24	6 15 24	千葉県東方沖 千葉県 2 旭市南堀之内*=-1.8 銚子市若宮町*=-1.7 1 多古町多古*=-1.4 銚子市川口町*=-1.3 香取市仁良*=-1.3 旭市二*=-1.2 匝瑳市八日市場ハ*=-1.2 旭市萩園*=-1.2 匝瑳市今泉*=-1.1 成田市花崎町*=-1.1 香取市役所*=-1.0 山武市蓮沼ニ*=-0.9 山武市蓮沼ハ*=-0.9 旭市高生*=-0.9 芝山町小池*=-0.8 成田市松子*=-0.8 東庄町笹川*=-0.7 銚子市天王台*=-0.7 東金市日吉台*=-0.7 横芝光町宮川*=-0.7 山武市埴谷*=-0.6 香取市佐原平田*=-0.6 香取市佐原諏訪台*=-0.6 山武市松尾町富士見台*=-0.6 栄町安食台*=-0.5 富里市七栄*=-0.5 茨城県 1 神栖市波崎*=-1.4 稲敷市結佐*=-1.3 神栖市溝口*=-1.3 茨城鹿嶋市宮中*=-1.2 茨城鹿嶋市鉢形*=-1.1 稲敷市江戸崎甲*=-1.0 潮来市辻*=-1.0 潮来市堀之内*=-0.9 行方市麻生*=-0.8 稲敷市柴崎*=-0.8 ひたちなか市南神敷台*=-0.8 土浦市常名*=-0.6	35° 47.1' N	141° 03.1' E	27km	M: 3.9
25	6 17 04	種子島近海 鹿児島県 1 中種子町野間*=-1.0	30° 34.4' N	131° 11.3' E	29km	M: 3.6
26	6 23 57	茨城県北部 茨城県 2 日立市十王町友部*=-1.5 1 高萩市安良川*=-1.3 高萩市下手綱*=-1.0 日立市助川小学校*=-0.9 日立市役所*=-0.9	36° 42.2' N	140° 38.2' E	6km	M: 2.7
27	7 06 16	福島県沖 福島県 1 田村市大越町*=-0.7 いわき市三和町*=-0.6	37° 18.8' N	141° 55.0' E	40km	M: 4.3
28	7 15 36	山梨県中・西部 埼玉県 1 秩父市中津川*=-0.7	35° 53.5' N	138° 43.9' E	9km	M: 2.0
29	7 16 21	大隅半島東方沖 宮崎県 1 宮崎市松橋*=-0.7 鹿児島県 1 大崎町仮宿*=-0.6 錦江町田代支所*=-0.5	31° 16.1' N	131° 54.5' E	27km	M: 4.1
30	7 17 56	千葉県南部 千葉県 1 勝浦市墨名*=-0.8 勝浦市新宮*=-0.7 君津市久留里市場*=-0.6	35° 12.2' N	140° 09.6' E	34km	M: 2.9
31	7 20 03	茨城県北部 茨城県 3 日立市役所*=-3.4 日立市助川小学校*=-3.2 日立市十王町友部*=-3.1 高萩市下手綱*=-3.0 高萩市安良川*=-2.9 常陸太田市町屋町*=-2.6 2 東海村東海*=-2.4 ひたちなか市南神敷台*=-2.3 常陸太田市金井町*=-2.3 那珂市福田*=-1.8 那珂市瓜連*=-1.7 ひたちなか市東石川*=-1.6 水戸市金町*=-1.6 常陸大宮市北町*=-1.6 常陸太田市高柿町*=-1.6 水戸市千波町*=-1.6 土浦市常名*=-1.6 北茨城市磯原町*=-1.5 1 水戸市内原町*=-1.4 常陸大宮市山方*=-1.4 笠間市中央*=-1.3 笠間市石井*=-1.3 鉾田市造谷*=-1.3 鉾田市汲上*=-1.3 小美玉市小川*=-1.2 茨城鹿嶋市鉢形*=-1.2 ひたちなか市山ノ上町*=-1.2 大洗町磯浜町*=-1.2 常総市水海道諏訪町*=-1.2 笠間市下郷*=-1.1 常陸大宮市上小瀬*=-1.1 城里町石塚*=-1.1 笠間市笠間*=-1.1 小美玉市上玉里*=-1.1 常陸太田市町田町*=-1.1 茨城鹿嶋市宮中*=-1.1 茨城町小堤*=-1.1 常陸太田市大中町*=-1.1 大子町池田*=-1.1 取手市寺田*=-1.0 筑西市門井*=-1.0 かすみがうら市上土田*=-1.0 小美玉市堅倉*=-1.0 常陸大宮市野口*=-0.9 かすみがうら市大和田*=-0.9 桜川市羽田*=-0.9 石岡市柿岡*=-0.9 石岡市若宮*=-0.9 鉾田市鉾田*=-0.8 土浦市藤沢*=-0.8 筑西市舟生*=-0.8 常陸大宮市中富町*=-0.8 つくば市研究学園*=-0.8 つくば市小茎*=-0.8 つくば市天王台*=-0.7 土浦市田中*=-0.7 行方市麻生*=-0.7 桜川市岩瀬*=-0.7 城里町阿波山*=-0.7 阿見町中央*=-0.7 稲敷市江戸崎甲*=-0.7 牛久市城中町*=-0.7 桜川市真壁*=-0.6 常陸大宮市高部*=-0.6 美浦村受領*=-0.6 行方市玉造*=-0.6 坂東市山*=-0.6 石岡市八郷*=-0.5 筑西市海老ヶ島*=-0.5 宮城県 1 岩沼市桜*=-0.8 角田市角田*=-0.7 蔵王町円田*=-0.7 福島県 1 いわき市錦町*=-1.4 いわき市平梅本*=-1.2 田村市滝根町*=-1.0 いわき市小名浜*=-1.0 檜葉町北田*=-1.0 双葉町両竹*=-1.0 浪江町幾世橋*=-0.9 相馬市中村*=-0.9 福島広野町下北迫大谷地原*=-0.9 田村市都路町*=-0.9 川内村上川内早渡*=-0.9 いわき市三和町*=-0.9 古殿町松川新桑原*=-0.8 矢祭町戸塚*=-0.6 玉川村小高*=-0.6 福島広野町下北迫苗代替*=-0.6 白河市新白河*=-0.6 二本松市油井*=-0.5 棚倉町棚倉中居野*=-0.5 大熊町野上*=-0.5 いわき市平四ツ波*=-0.5 浅川町浅川*=-0.5 栃木県 1 真岡市石島*=-0.9 芳賀町祖母井*=-0.9 宇都宮市明保野町*=-0.8 宇都宮市中里町*=-0.8 鹿沼市今宮町*=-0.8 那須烏山市中央*=-0.8 栃木那珂川町馬頭*=-0.7 茂木町茂木*=-0.6 栃木那珂川町小川*=-0.6 日光市中鉢石町*=-0.6 大田原市湯津上*=-0.6 栃木市旭町*=-0.6 鹿沼市晃望台*=-0.6 小山市神鳥谷*=-0.5 真岡市田町*=-0.5 日光市今市本町*=-0.5 群馬県 1 沼田市利根町*=-0.9 渋川市赤城町*=-0.8 前橋市富士見町*=-0.7 桐生市黒保根町*=-0.5 埼玉県 1 春日部市谷原新田*=-1.0 春日部市粕壁*=-0.7 春日部市金崎*=-0.7 宮代町笠原*=-0.7 加須市大利根*=-0.6 さいたま岩槻区本丸*=-0.5 千葉県 1 野田市鶴奉*=-0.8 野田市東宝珠花*=-0.7 香取市役所*=-0.6 香取市仁良*=-0.6 香取市佐原平田*=-0.5	36° 42.4' N	140° 38.0' E	6km	M: 4.4
32	7 20 45	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*=-0.6	36° 42.2' N	140° 38.2' E	6km	M: 2.9

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
33	7 21 43	茨城県北部 茨城県 1 高萩市安良川* = 0.9 日立市十王町友部* = 0.7 高萩市下手綱* = 0.6	36° 42.8' N	140° 38.0' E	6km	M: 2.5
34	7 22 03	青森県東方沖 青森県 2 東通村砂子又沢内* = 1.6 1 東通村砂子又蒲谷地 = 0.7 北海道 1 函館市泊町* = 0.6	41° 33.5' N	142° 03.3' E	65km	M: 3.7
35	8 03 19	四国沖 和歌山県 2 日高川町土生* = 2.0 1 海南市日方* = 1.3 御坊市菌 = 1.1 由良町里* = 1.1 みなべ町芝* = 1.0 紀美野町下佐々* = 1.0 海南市下津* = 0.9 湯浅町青木* = 0.9 有田市初島町* = 0.9 和歌山印南町印南* = 0.9 和歌山美浜町和田* = 0.8 和歌山日高町高家* = 0.8 日高川町川原河* = 0.7 田辺市中屋敷町* = 0.7 有田市箕島 = 0.6 和歌山市一番丁* = 0.5 みなべ町土井 = 0.5 徳島県 2 牟岐町中村* = 2.0 美波町奥河内* = 1.9 美波町西の地* = 1.9 海陽町奥浦* = 1.6 海陽町大里* = 1.5 那賀町和食* = 1.5 1 阿南市山口町* = 1.4 那賀町木頭和無田* = 1.3 徳島三好市池田総合体育館 = 1.2 那賀町上那賀* = 1.2 海陽町穴喰浦* = 1.2 阿南市那賀川町* = 1.1 阿南市富岡町 = 1.1 那賀町木沢* = 1.1 那賀町延野* = 1.0 石井町高川原* = 1.0 上勝町旭* = 0.9 那賀町横石 = 0.9 吉野川市川島町* = 0.8 美馬市木屋平* = 0.8 阿南市羽ノ浦町* = 0.7 つるぎ町貞光* = 0.5 吉野川市鴨島町 = 0.5 高知県 2 東洋町生見* = 2.0 室戸市室戸岬町 = 1.9 室戸市浮津* = 1.5 1 高知市春野町芳原 = 1.0 馬路村馬路* = 0.9 高知香南市夜須町坪井* = 0.9 安田町安田* = 0.8 高知市池* = 0.8 安芸市西浜 = 0.5 安芸市矢ノ丸* = 0.5 芸西村和食* = 0.5 岡山県 1 里庄町里見* = 1.0 広島県 1 広島安佐北区可部南* = 0.5 愛媛県 1 四国中央市金生町* = 0.7 四国中央市三島宮川* = 0.5	33° 25.9' N	134° 38.9' E	36km	M: 4.2
36	8 04 01	沖縄本島近海 鹿児島県 1 知名町瀬利覚 = 0.9 伊仙町伊仙* = 0.6	27° 17.5' N	128° 25.9' E	48km	M: 3.6
37	8 04 44	茨城県沖 茨城県 1 水戸市金町 = 1.2 東海村東海* = 1.0 笠間市石井* = 0.9 ひたちなか市南神敷台* = 0.9 水戸市内原町* = 0.9 日立市助川小学校* = 0.8 水戸市千波町* = 0.7 城里町石塚* = 0.7	36° 10.3' N	140° 53.3' E	44km	M: 3.5
38	8 09 06	福島県沖 福島県 2 双葉町両竹* = 1.6 檜葉町北田* = 1.5 浪江町幾世橋 = 1.5 1 福島広野町下北迫大谷地原* = 0.9 白河市新白河* = 0.8 富岡町本岡* = 0.8 大熊町野上* = 0.8 いわき市三和町 = 0.6 田村市都路町* = 0.6 南相馬市鹿島区西町* = 0.6 福島広野町下北迫苗代替* = 0.5	37° 12.7' N	141° 26.6' E	29km	M: 4.2
39	8 10 09	熊本県熊本地方 熊本県 2 熊本西区春日 = 1.5	32° 48.7' N	130° 42.0' E	7km	M: 2.0
40	8 21 14	五島列島近海 長崎県 3 新上五島町若松* = 2.5 2 新上五島町奈良尾* = 2.0 新上五島町有川* = 1.9 五島市岐宿町* = 1.5 新上五島町立串* = 1.5 1 新上五島町青方* = 1.4 松浦市志佐町* = 1.2 佐々町本田原* = 0.9 平戸市田平町* = 0.7 佐世保市鹿町町* = 0.7 五島市奈留町* = 0.7 平戸市岩の上町 = 0.7 平戸市志々伎町* = 0.6 長崎市神浦江川町* = 0.6 平戸市鏡川町* = 0.5 佐賀県 1 上峰町坊所* = 0.7	32° 47.2' N	129° 16.8' E	9km	M: 4.1
41	8 21 28	五島列島近海 長崎県 1 松浦市志佐町* = 0.8 新上五島町若松* = 0.7	32° 47.1' N	129° 17.0' E	10km	M: 3.6
42	8 22 01	北海道北西沖 北海道 2 羽幌町南3条 = 1.8 羽幌町南町* = 1.5 1 初山別村有明 = 0.5	44° 24.5' N	141° 38.0' E	11km	M: 3.1
43	8 22 43	五島列島近海 長崎県 1 松浦市志佐町* = 0.5	32° 47.1' N	129° 17.1' E	7km	M: 3.6
44	9 03 31	宮城県沖 岩手県 1 一関市室根町* = 0.7 住田町世田米* = 0.5	38° 27.9' N	141° 35.8' E	56km	M: 3.2
45	9 05 08	福島県沖 福島県 1 田村市滝根町* = 1.4 檜葉町北田* = 1.3 いわき市平梅本* = 1.2 いわき市小名浜 = 1.2 川内村上川内早渡* = 1.2 いわき市三和町 = 1.0 田村市都路町* = 1.0 白河市新白河* = 0.9 玉川村小高* = 0.9 いわき市平四ツ波* = 0.9 浪江町幾世橋 = 0.9 天栄村下松本* = 0.8 郡山市開成* = 0.8 小野町中通* = 0.8 須賀川市八幡山* = 0.7 富岡町本岡* = 0.7 福島広野町下北迫大谷地原* = 0.6 川内村下川内 = 0.6 浅川町浅川* = 0.5	37° 00.4' N	141° 10.4' E	23km	M: 4.0
46	9 11 11	奄美大島近海 鹿児島県 2 喜界町滝川 = 2.0 喜界町湾* = 1.9 1 奄美市笠利町里* = 1.3 奄美市名瀬港町 = 1.1	28° 00.2' N	130° 14.0' E	34km	M: 4.3

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
47	9 14 07	茨城県沖 茨城県	36° 27.5' N	141° 05.9' E	45km	M: 4.0
		2 日立市助川小学校* = 2.1 笠間市石井* = 2.0 ひたちなか市南神敷台* = 1.9 水戸市内原町* = 1.8 常陸大宮市山方* = 1.8 高萩市安良川* = 1.7 東海村東海* = 1.6 笠間市笠間* = 1.6 常陸大宮市野口* = 1.6 土浦市常名* = 1.6 水戸市金町* = 1.5 高萩市下手綱* = 1.5 城里町石塚* = 1.5 水戸市千波町* = 1.5				
		1 常陸大宮市北町* = 1.4 小美玉市堅倉* = 1.4 鉾田市汲上* = 1.4 ひたちなか市東石川* = 1.3 大洗町磯浜町* = 1.3 牛久市城中町* = 1.3 大子町池田* = 1.3 常陸大宮市上小瀬* = 1.2 小美玉市小川* = 1.2 茨城町小堤* = 1.2 常陸太田市町屋町* = 1.2 茨城鹿嶋市宮中* = 1.2 筑西市門井* = 1.2 かすみがうら市上土田* = 1.2 桜川市羽田* = 1.2 笠間市中央* = 1.2 日立市役所* = 1.2 茨城鹿嶋市鉢形* = 1.1 常陸太田市高柿町* = 1.1 日立市十王町友部* = 1.1 ひたちなか市山ノ上町* = 1.1 桜川市真壁* = 1.1 石岡市柿岡* = 1.1 鉾田市鉾田* = 1.1 取手市寺田* = 1.1 常陸太田市町田町* = 1.1 笠間市下郷* = 1.0 石岡市若宮* = 1.0 鉾田市造谷* = 1.0 美浦村受領* = 1.0 小美玉市上玉里* = 1.0 桜川市岩瀬* = 1.0 つくば市研究学園* = 1.0 かすみがうら市大和田* = 0.9 潮来市堀之内* = 0.9 行方市麻生* = 0.8 稲敷市江戸崎甲* = 0.8 つくば市天王台* = 0.8 城里町徳蔵* = 0.8 北茨城市磯原町* = 0.8 つくば市小茎* = 0.7 行方市山田* = 0.7 那珂市福田* = 0.7 那珂市瓜連* = 0.7 土浦市田中* = 0.7 常陸大宮市高部* = 0.6 筑西市海老ヶ島* = 0.6 龍ヶ崎市役所* = 0.6 牛久市中央* = 0.6 城里町阿波山* = 0.6 常総市水海道諏訪町* = 0.5 坂東市山* = 0.5 土浦市藤沢* = 0.5 稲敷市役所* = 0.5 筑西市舟生* = 0.5 下妻市本城町* = 0.5 潮来市辻* = 0.5 石岡市八郷* = 0.5 阿見町中央* = 0.5				
		福島県 栃木県				
		1 白河市新白河* = 1.0 天栄村下松本* = 0.6 白河市郭内* = 0.6				
		1 真岡市石島* = 1.3 真岡市田町* = 1.1 下野市笹原* = 1.1 宇都宮市中里町* = 1.0 小山市神鳥谷* = 1.0 益子町益子* = 1.0 茂木町茂木* = 1.0 市貝町市端* = 1.0 下野市田中* = 1.0 大田原市湯津上* = 0.9 芳賀町祖母井* = 0.9 栃木那珂川町馬頭* = 0.8 真岡市荒町* = 0.8 那須烏山市中央* = 0.7 宇都宮市明保野町* = 0.6 栃木那珂川町小川* = 0.6				
		群馬県 千葉県				
		1 沼田市利根町* = 0.8 渋川市赤城町* = 0.7 桐生市黒保根町* = 0.5				
		1 香取市仁良* = 1.1 野田市鶴奉* = 1.0 香取市役所* = 0.9 芝山町小池* = 0.7 香取市佐原平田* = 0.7 香取市佐原諏訪台* = 0.7 成田市花崎町* = 0.7 白井市復* = 0.7 八千代市大和田新田* = 0.6 柏市旭町* = 0.5				
48	10 00 00	茨城県北部 茨城県	36° 42.1' N	140° 38.3' E	6km	M: 3.3
		2 日立市十王町友部* = 2.0 高萩市安良川* = 1.9 高萩市下手綱* = 1.9 日立市助川小学校* = 1.6				
		1 日立市役所* = 1.4 常陸太田市町屋町* = 1.1 大子町池田* = 0.8				
49	10 12 18	茨城県沖 茨城県	36° 14.0' N	140° 48.9' E	47km	M: 3.4
		1 ひたちなか市南神敷台* = 0.8 日立市助川小学校* = 0.6 東海村東海* = 0.6 城里町石塚* = 0.5 茨城鹿嶋市宮中* = 0.5 かすみがうら市上土田* = 0.5				
50	11 01 09	宮城県沖 岩手県	38° 18.7' N	142° 03.3' E	37km	M: 4.1
		2 一関市室根町* = 2.0 一関市藤沢町* = 1.8 一関市千厩町* = 1.6				
		1 住田町世田米* = 1.4 奥州市衣川区* = 1.3 平泉町平泉* = 1.2 一関市大東町* = 1.1 一関市東山町* = 1.0 一関市花泉町* = 0.9 北上市相去町* = 0.8 釜石市中妻町* = 0.8 奥州市前沢区* = 0.8 大船渡市猪川町* = 0.8 陸前高田市高田町* = 0.7 奥州市胆沢区* = 0.6 釜石市只越町* = 0.6 宮古市区界* = 0.5 大船渡市大船渡町* = 0.5				
		宮城県				
		2 南三陸町志津川* = 2.1 石巻市桃生町* = 2.0 登米市豊里町* = 1.6 石巻市北上町* = 1.6 涌谷町新町裏* = 1.6 女川町女川浜* = 1.6 気仙沼市笹が陣* = 1.5 気仙沼市唐桑町* = 1.5				
		1 気仙沼市赤岩* = 1.4 南三陸町歌津* = 1.4 登米市東和町* = 1.3 石巻市前谷地* = 1.3 石巻市泉町* = 1.2 登米市米山町* = 1.2 石巻市大街道南* = 1.1 大崎市田尻* = 1.1 東松島市矢本* = 1.1 登米市中田町* = 1.0 登米市南方町* = 1.0 宮城美里町木間塚* = 1.0 石巻市雄勝町* = 1.0 大崎市古川三日町* = 1.0 栗原市栗駒* = 0.9 宮城美里町北浦* = 0.9 気仙沼市本吉町西川内* = 0.9 気仙沼市本吉町津谷* = 0.9 大崎市鹿島台* = 0.9 東松島市小野* = 0.9 松島町高城* = 0.9 登米市津山町* = 0.8 宮城川崎町前川* = 0.8 大崎市古川北町* = 0.8 大崎市松山* = 0.8 登米市迫町* = 0.8 大郷町粕川* = 0.7 石巻市鮎川浜* = 0.6 七ヶ浜町東宮浜* = 0.6 大崎市古川大崎* = 0.6 多賀城市中央* = 0.6 石巻市大瓜* = 0.6 仙台青葉区大倉* = 0.5 栗原市築館* = 0.5 岩沼市桜* = 0.5 石巻市相野谷* = 0.5				
		福島県				
		1 福島伊達市霊山町* = 0.8 飯館村伊丹沢* = 0.8 相馬市中村* = 0.7 新地町谷地小屋* = 0.6 田村市船引町* = 0.5 南相馬市鹿島区西町* = 0.5				
51	11 03 26	熊本県熊本地方 熊本県	32° 48.8' N	130° 42.2' E	7km	M: 2.0
		1 熊本西区春日* = 1.1				
52	11 03 59	熊本県熊本地方 熊本県	32° 45.9' N	130° 38.1' E	11km	M: 2.6
		1 熊本西区春日* = 0.6				
53	11 06 05	福島県沖 宮城県	37° 10.6' N	141° 43.1' E	41km	M: 5.4
		3 仙台青葉区作並* = 3.2 石巻市桃生町* = 3.0 岩沼市桜* = 2.9 利府町利府* = 2.9 宮城川崎町前川* = 2.8 角田市角田* = 2.8 色麻町四竈* = 2.8 山元町浅生原* = 2.7 蔵王町円田* = 2.7 大崎市古川三日町* = 2.7 亶理町下小路* = 2.6 仙台青葉区大倉* = 2.6 宮城加美町中新田* = 2.5 仙台空港* = 2.5 名取市増田* = 2.5				
		2 大河原町新南* = 2.4 丸森町鳥屋* = 2.3 仙台青葉区落合* = 2.3 白石市亶理町* = 2.3 大崎市田尻* = 2.3 大崎市古川北町* = 2.2 七ヶ浜町関* = 2.2 大衡村大衡* = 2.2 宮城美里町木間塚* = 2.2 登米市迫町* = 2.1 東松島市矢本* = 2.1 松島町高城* = 2.1 大崎市松山* = 2.1 大崎市三本木* = 2.1 登米市米山町* = 2.1 大崎市古川大崎* = 2.0 涌谷町新町裏* = 2.0 仙台宮城野区五輪* = 2.0 塩竈市旭町* = 2.0 栗原市築館* = 2.0 栗原市若柳* = 2.0 大郷町粕川* = 2.0 村田町村田* = 2.0 柴田町船岡* = 2.0 仙台青葉区雨宮* = 1.9 仙台太白区山田* = 1.9 大和町吉岡* = 1.9 石巻市大街道南* = 1.9 登米市南方町* = 1.9 登米市登米町* = 1.8 栗原市瀬峰* = 1.8 七ヶ浜町東宮浜* = 1.8				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>栗原市清水*1.8 宮城加美町小野田*1.8 大崎市鹿島台*1.8 富谷市富谷*1.8 石巻市北上町*1.8 登米市中田町*1.8 仙台泉区将監*1.7 宮城美里町北浦*1.7 宮城加美町宮崎*1.7 仙台若林区遠見塚*1.7 栗原市一迫*1.7 女川町女川浜*1.7 東松島市小野*1.7 仙台宮城野区苦竹*1.6 登米市豊里町*1.6 石巻市前谷地*1.5 栗原市志波姫*1.5</p> <p>1 大崎市岩出山*1.4 多賀城市中央*1.4 南三陸町志津川=1.3 大崎市鳴子*1.3 丸森町上滝=1.3 栗原市栗駒=1.3 栗原市金成*1.3 登米市石越町*1.3 石巻市相野谷*1.2 気仙沼市唐桑町*1.1 栗原市花山*1.1 登米市東和町*1.0 気仙沼市赤岩=1.0 栗原市鶯沢*1.0 石巻市泉町=1.0 石巻市鮎川浜*0.9 登米市津山町*0.9 気仙沼市笹が陣*0.8 石巻市雄勝町*0.6 石巻市大爪=0.6 南三陸町歌津*0.6</p> <p>3 中山町長崎*2.5</p> <p>2 米沢市林泉寺*2.4 天童市老野森*2.3 高島町高島*2.3 南陽市三間通*2.2 米沢市アルカディア*2.2 白鷹町荒砥*2.1 上山市河崎*2.1 米沢市金池*1.9 河北町谷地=1.8 河北町役場*1.8 米沢市駅前=1.8 山形川西町上小松*1.8 山辺町緑ヶ丘*1.8 山形市薬師町*1.7 東根市中央*1.6 村山市中央*1.6 山形市旅籠町*1.5 寒河江市西根*1.5 長井市ままの上*1.5 寒河江市中央*1.5</p> <p>1 山形市緑町=1.4 最上町向町*1.3 大蔵村肘折*1.3 新庄市東谷地田町=1.2 山形小国町岩井沢=1.1 山形小国町小国小坂町*1.1 白鷹町黒鴨=1.1 舟形町舟形*1.1 山形朝日町宮宿*1.1 大江町左沢*1.1 飯豊町上原*1.0 飯豊町椿*1.0 三川町横山*1.0 大石町緑町*1.0 酒田市飛鳥*1.0 酒田市山田*0.9 大蔵村清水*0.9 庄内町狩川*0.8 戸沢村古口*0.7 西川町海味*0.7 鶴岡市温海川=0.7</p> <p>3 白河市新白河*3.2 国見町藤田*3.1 双葉町両竹*3.1 福島伊達市前川原*2.9 郡山市湖南町*2.9 天栄村下松本*2.8 玉川村小高*2.7 檜葉町北田*2.7 桑折町東大隅*2.7 浪江町幾世橋=2.7 福島伊達市保原町*2.6 須賀川市岩瀬支所*2.6 田村市都路町*2.6 会津美里町新鶴庁舎*2.6 田村市船引町=2.5 相馬市中村*2.5 大玉村南小屋=2.5 大熊町野上*2.5 白河市郭内=2.5 泉崎村泉崎*2.5 新地町谷地小屋*2.5</p> <p>2 郡山市開成*2.4 鏡石町不時沼*2.4 福島伊達市霊山町*2.4 川内村上川内早渡*2.4 南相馬市小高区*2.4 会津若松市東栄町*2.4 猪苗代町千代田*2.4 白河市表郷*2.3 二本松市油井*2.3 西郷村熊倉*2.3 小野町小野新町*2.3 福島伊達市梁川町*2.3 本宮市本宮*2.3 南相馬市鹿島区西町*2.3 二本松市針道*2.2 川俣町樋ノ口*2.2 中島村滑津*2.2 棚倉町棚倉中居野=2.2 田村市大越町*2.2 福島市五老内町*2.2 郡山市朝日=2.2 いわき市三和町=2.2 白河市大信*2.2 須賀川市八幡山*2.2 二本松市金色*2.2 会津若松市北会津町*2.2 田村市滝根町*2.1 福島市松木町=2.1 福島市桜木町*2.1 福島広野町下北迫大谷地原*2.1 富岡町本岡*2.1 川内村上川内小山平*2.1 大玉村玉井*2.1 葛尾村落合落合*2.1 南相馬市原町区高見町*2.1 会津若松市材木町=2.1 平田村永田*2.1 浅川町浅川*2.1 本宮市白岩*2.0 天栄村湯本支所*2.0 白河市八幡小路*2.0 川内村下川内=2.0 白河市東*2.0 南相馬市原町区三島町=2.0 南相馬市原町区本町*2.0 小野町中通*2.0 須賀川市長沼支所*2.0 田村市常葉町*2.0 磐梯町磐梯*2.0 猪苗代町城南=2.0 会津坂下町市中三番甲*2.0 飯館村伊丹沢*1.9 須賀川市牛袋町*1.9 湯川村清水田*1.9 柳津町柳津*1.9 会津美里町高田庁舎*1.9 会津美里町本郷庁舎*1.9 古殿町松川新桑原*1.9 喜多方市塩川町*1.8 矢吹町一本木*1.8 南相馬市鹿島区柵窪=1.8 福島伊達市月館町*1.8 いわき市平梅本*1.7 矢祭町東館*1.7 西会津町登世島*1.7 石川町長久保*1.7 いわき市小名浜=1.7 福島広野町下北迫苗代替*1.6 矢祭町戸塚*1.6 福島市飯野町*1.6 いわき市平四ツ波*1.6 下郷町高陣*1.6 下郷町塩生*1.6 三春町大町*1.6 いわき市錦町*1.5 喜多方市高郷町*1.5</p> <p>1 西会津町野沢=1.4 二本松市小浜*1.2 古殿町松川横川=1.2 塙町塙*1.1 南会津町田島=0.9 南会津町滝原*0.8 棚倉町棚倉館ヶ丘*0.8 鮫川村赤坂中野*0.8 南会津町界*0.6 喜多方市松山町*0.5</p> <p>3 大田原市湯津上*2.5 那須町寺子*2.5</p> <p>2 益子町益子=2.2 大田原市本町*2.0 那須烏山市中央=2.0 那須塩原市あたご町*1.9 栃木那珂川町馬頭*1.9 矢板市本町*1.8 宇都宮市明保野町=1.8 日光市今市本町*1.7 大田原市黒羽田町=1.7 芳賀町祖母井*1.7 高根沢町石末*1.7 那須塩原市鍋掛*1.6 那須塩原市塩原庁舎*1.6 宇都宮市中岡本町*1.6 鹿沼市晃望台*1.6 市貝町市岡*1.6 栃木那珂川町小川*1.6 日光市瀬川=1.5 日光市鬼怒川温泉大原*1.5 日光市芹沼*1.5 宇都宮市中里町*1.5</p> <p>1 日光市中鉢石町*1.4 塩谷町玉生*1.4 那須塩原市臺沼=1.4 那須塩原市共懇社*1.4 鹿沼市今宮町*1.4 真岡市石島*1.4 栃木さくら市氏家*1.3 栃木さくら市喜連川*1.3 那須烏山市大金*1.3 真岡市田町*1.2 茂木町茂木*1.2 下野市田中*1.2 那須塩原市中塩原*1.1 宇都宮市旭*1.1 那須烏山市役所*1.1 小山市神鳥谷*1.0 足利市大正町*0.9 栃木市旭町=0.9 真岡市荒町*0.9 日光市足尾町中才*0.9 宇都宮市埴田*0.9 日光市日蔭*0.8 日光市藤原*0.8 下野市石橋*0.8 下野市笹原*0.8 栃木市岩舟町静*0.8 鹿沼市口栗野*0.8 日光市湯元*0.7 栃木市藤岡町藤岡*0.6 佐野市葛生東*0.6 茂木町北高岡天矢場*0.5 栃木市万町*0.5 下野市中町*0.5</p> <p>2 一関市千厩町*1.5</p> <p>1 一関市花泉町*1.4 一関市室根町*1.4 矢巾町南矢幅*1.3 奥州市前沢区*1.2 盛岡市藪川*1.2 普代村銅屋*1.2 一関市東山町*1.1 一関市藤沢町*1.1 奥州市衣川区*1.0 北上市相去町*1.0 平泉町平泉*1.0 花巻市東和町*1.0 住田町世田米*0.9 一関市竹山町*0.9 釜石市中妻町*0.9 北上市柳原町=0.9 奥州市胆沢区*0.9 奥州市水沢区佐倉河*0.8 花巻市石鳥谷町*0.8 遠野市青笹町*0.8 大船渡市大船渡町=0.8 盛岡市山王町=0.8 奥州市水沢区大鐘町=0.7 一関市大東町=0.7 八幡平市田頭*0.6</p> <p>2 笠間市石井*2.0 大子町池田*2.0 日立市助川小学校*1.8 高萩市下手綱*1.7 笠間市笠間*1.6 東海村東海*1.6 常陸大宮市山方*1.6 常陸大宮市上小瀬*1.6 日立市役所*1.6 常陸太田市高柿町*1.6 常陸太田市金井町*1.5 笠間市中央*1.5 常陸大宮市北町*1.5</p>				
		山形県				
		福島県				
		栃木県				
		岩手県				
		茨城県				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		水戸市内原町*=1.5 常陸大宮市野口*=1.5 土浦市常名=1.5 筑西市門井*=1.5 桜川市岩瀬*=1.5 桜川市羽田*=1.5 1 日立市十王町友部*=1.4 高萩市安良川*=1.4 城里町石塚*=1.4 常陸太田市大中町*=1.3 北茨城市磯原町*=1.3 那珂市瓜連*=1.3 小美玉市堅倉*=1.3 石岡市柿岡=1.3 取手市寺田*=1.3 桜川市真壁*=1.3 坂東市山*=1.2 筑西市舟生=1.2 笠間市下郷*=1.2 ひたちなか市南神敷台*=1.2 常陸大宮市高部*=1.2 水戸市千波町*=1.2 鉾田市汲上*=1.1 茨城町小堤*=1.1 小美玉市小川*=1.1 小美玉市上玉里*=1.1 水戸市金町=1.1 石岡市若宮*=1.1 牛久市城中町*=1.1 かすみがうら市上土田*=1.1 那珂市福田*=1.0 城里町阿波山*=1.0 石岡市八郷*=1.0 常陸太田市町屋町=1.0 つくば市天王台*=1.0 つくば市研究学園*=1.0 美浦村受領*=1.0 稲敷市江戸崎甲*=1.0 龍ヶ崎市役所*=0.9 ひたちなか市東石川*=0.9 常陸大宮市中富町=0.9 城里町徳蔵*=0.9 常陸太田市町田町*=0.9 常総市水海道諏訪町*=0.9 つくばみらい市福田*=0.9 土浦市藤沢*=0.9 土浦市田中*=0.9 下妻市鬼怒*=0.8 つくば市小茎*=0.8 筑西山下中山*=0.8 筑西市海老ヶ島*=0.8 かすみがうら市大和田*=0.8 鉾田市鉾田=0.8 結城市結城*=0.7 茨城鹿嶋市鉢形=0.7 茨城鹿嶋市宮中*=0.7 鉾田市造谷*=0.7 行方市麻生*=0.6 下妻市本城町*=0.6 阿見町中央*=0.6 五霞町小福田*=0.6 牛久市中央*=0.6 坂東市岩井=0.5 行方市玉造*=0.5 稲敷市柴崎*=0.5 新潟県 2 見附市昭和町*=1.8 1 長岡市小島谷*=1.3 長岡市中之島*=1.2 三条市新堀*=1.0 加茂市幸町*=1.0 村上市岩船駅前*=1.0 南魚沼市六日町=0.9 長岡市上岩井*=0.8 阿賀町鹿瀬支所*=0.8 阿賀町豊川*=0.8 阿賀町津川*=0.8 新潟西区寺尾東*=0.7 関川村下関*=0.5 青森県 1 階上町道仏*=1.0 秋田県 1 大仙市高梨*=0.9 横手市大雄*=0.7 由利本荘市岩城内道川*=0.6 由利本荘市西目町沼田*=0.6 大仙市刈和野*=0.6 群馬県 1 沼田市利根町*=1.2 桐生市黒保根町*=1.2 渋川市赤城町*=1.2 沼田市白沢町*=1.0 邑楽町中野*=1.0 沼田市西倉内町=0.8 前橋市富士見町*=0.8 桐生市元宿町*=0.8 伊勢崎市西久保町*=0.8 太田市西本町*=0.8 大泉町日の出*=0.8 桐生市新里町*=0.7 沼田市下久屋町*=0.7 前橋市粕川町*=0.6 前橋市鼻毛石町*=0.6 渋川市吹屋*=0.6 千代田町赤岩*=0.6 埼玉県 1 久喜市下早見=0.8 春日部市粕壁*=0.8 春日部市金崎*=0.8 さいたま見沼区堀崎*=0.7 東松山市松葉町*=0.7 宮代町笠原*=0.7 熊谷市大里*=0.6 加須市大利根*=0.6 加須市騎西*=0.5 本庄市児玉町=0.5 川島町下八ツ林*=0.5 千葉県 1 野田市鶴泰*=1.2 成田市花崎町=0.8 八千代市大和田新田*=0.8 白井市復*=0.8 香取市役所*=0.7 野田市東宝珠花*=0.7 柏市旭町=0.7 香取市仁良*=0.6 千葉美浜区ひび野=0.6 栄町安食台*=0.6 香取市佐原平田=0.5 香取市佐原諏訪台*=0.5 印西市美瀬*=0.5 東京都 1 東京渋谷区本町*=0.8 東京千代田区大手町=0.6 54 11 06 38 福島県沖 福島県 37° 05.7' N 141° 21.1' E 32km M: 4.4 3 檜葉町北田*=2.7 浪江町幾世橋=2.6 2 川内村上川内早渡*=2.4 双葉町両竹*=2.4 富岡町本岡*=2.3 いわき市三和町=2.2 田村市都路町*=2.1 福島広野町下北迫大谷地原*=2.0 川内村上川内小山平*=2.0 大熊町野上*=1.9 南相馬市小高区*=1.9 葛尾村落合落合*=1.8 本宮市本宮*=1.7 田村市滝根町*=1.7 田村市大越町*=1.6 相馬市中村*=1.6 玉川村小高*=1.5 いわき市平梅本*=1.5 二本松市金色*=1.5 田村市常葉町*=1.5 いわき市小名浜=1.5 川内村下川内=1.5 1 白河市新白河*=1.4 二本松市針道*=1.4 大玉村玉井*=1.4 田村市船引町=1.4 本宮市白岩*=1.4 福島伊達市霊山町*=1.3 郡山市開成*=1.3 いわき市平四ツ波*=1.3 南相馬市鹿島区西町*=1.3 石川町長久保*=1.2 平田村永田*=1.2 小野町小野新町*=1.2 福島広野町下北迫苗代替*=1.2 大玉村南小屋=1.2 二本松市油井*=1.1 鏡石町不時沼*=1.1 郡山市朝日=1.1 川俣町樋ノ口*=1.1 小野町中通*=1.1 飯館村伊丹沢*=1.1 南相馬市原町区三島町=1.1 須賀川市岩瀬支所*=1.1 天栄村下松本*=1.0 国見町藤田*=1.0 須賀川市八幡山*=1.0 いわき市錦町*=1.0 浅川町浅川*=1.0 新地町谷地小屋*=1.0 福島市飯野町*=1.0 白河市郭内=1.0 南相馬市鹿島区栞窪=1.0 南相馬市原町区高見町*=1.0 福島伊達市梁川町*=0.9 郡山市湖南町*=0.9 泉崎村泉崎*=0.9 福島市五老内町*=0.7 白河市大信*=0.7 福島伊達市月館町*=0.7 福島市桜木町*=0.6 会津坂下町市中三番甲*=0.6 棚倉町棚倉中居野=0.5 福島市松木町=0.5 宮城県 1 岩沼市桜*=1.0 山元町浅生原*=0.8 宮城川崎町前川*=0.7 名取市増田*=0.7 蔵王町円田*=0.7 角田市角田*=0.6 大崎市古川三日町=0.6 柴田町船岡=0.5 山形県 1 米沢市アルカディア=0.7 米沢市林泉寺*=0.6 茨城県 1 日立市助川小学校*=0.5 55 11 09 06 福島県沖 福島県 37° 11.4' N 141° 26.8' E 29km M: 3.7 1 檜葉町北田*=0.8 天栄村下松本*=0.5 56 11 10 02 宮崎県南部山沿い 宮崎県 32° 02.1' N 131° 05.2' E 97km M: 3.6 1 小林市真方=0.8 西都市上の宮*=0.7 延岡市北方町卯*=0.6 小林市野尻町東麓*=0.6 椎葉村総合運動公園*=0.5 57 (注) 11 16 31 熊本県熊本地方 熊本県熊本地方 32° 45.3' N 130° 49.7' E 13km M: 3.3 熊本県 32° 45.2' N 130° 49.7' E 14km M: 2.8 2 山都町下馬尾*=1.6 1 熊本中央区大江*=1.4 熊本西区春日=1.4 西原村小森*=1.3 益城町木山=1.1 宇城市豊野町*=1.1 熊本東区佐土原*=1.0 甲佐町豊内*=0.9 熊本北区植木町*=0.9 玉名市横島町*=0.8 宇城市松橋町=0.7 菊池市旭志*=0.7 熊本美里町永富*=0.6 熊本美里町馬場*=0.6 南阿蘇村河陰*=0.5				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
58	11 16 33	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校* = 0.7	36° 38.5' N	141° 04.4' E	30km	M: 3.5
59	11 21 03	福島県沖 宮城県 山形県 福島県 1 岩沼市桜* = 0.9 山元町浅生原* = 0.7 1 米沢市林泉寺* = 0.6 1 福島伊達市霊山町* = 1.2 飯舘村伊丹沢* = 1.2 双葉町両竹* = 1.1 相馬市中村* = 0.9 国見町藤田* = 0.9 浪江町幾世橋 = 0.6 天栄村下松本* = 0.6 檜葉町北田* = 0.5	37° 13.0' N	141° 18.2' E	24km	M: 3.8
60	12 05 24	大阪府北部 京都府 2 亀岡市安町 = 2.0 亀岡市余部町* = 1.6 1 八幡市八幡* = 1.0 大山崎町円明寺* = 0.9 京都西京区大枝* = 0.8 京都伏見区向島* = 0.6 南丹市八木町八木* = 0.6 宇治市宇治琵琶 = 0.6 長岡京市開田* = 0.6 京都西京区楳原* = 0.6 京都中京区西ノ京 = 0.5 大阪府 2 能勢町役場* = 1.8 1 豊能町余野* = 1.4 島本町若山台* = 1.0 箕面市栗生外院* = 0.9 高槻市桃園町 = 0.6 高槻市消防本部* = 0.6 高槻市立第2中学校* = 0.5 兵庫県 1 三田市下里* = 0.6	34° 56.1' N	135° 27.6' E	9km	M: 3.0
61	12 22 36	岩手県沖 青森県 3 八戸市南郷* = 2.9 階上町道仏* = 2.6 青森南部町平* = 2.5 五戸町古館 = 2.5 2 青森南部町苦米地* = 2.2 八戸市湊町 = 2.2 三沢市桜町* = 2.2 三戸町在府小路町* = 2.1 八戸市内丸* = 2.0 野辺地町田狭沢* = 2.0 七戸町森ノ上* = 1.9 東北町上北南* = 1.9 平内町小湊 = 1.9 野辺地町野辺地* = 1.8 七戸町七戸* = 1.8 おいらせ町中下田* = 1.8 東通村砂子又沢内* = 1.8 青森市花園 = 1.7 五戸町倉石中市* = 1.7 青森南部町沖田面* = 1.7 おいらせ町上明堂* = 1.6 六戸町犬落瀬* = 1.6 むつ市金谷* = 1.5 横浜町林ノ脇* = 1.5 外ヶ浜町蟹田* = 1.5 1 青森市中央* = 1.4 むつ市金曲 = 1.4 むつ市大畑町中島* = 1.4 東通村砂子又蒲谷地 = 1.3 横浜町寺下* = 1.3 十和田市西二番町* = 1.3 十和田市奥瀬* = 1.3 むつ市川内町* = 1.3 六ヶ所村尾駮 = 1.2 田子町田子* = 1.2 新郷村戸来* = 1.2 十和田市西十二番町* = 1.2 六ヶ所村出戸 = 1.1 佐井村長後* = 1.1 東北町塔ノ沢山* = 1.1 八戸市島守 = 1.1 むつ市脇野沢* = 1.1 平内町東田沢* = 1.0 東通村白糠* = 1.0 大間町大間* = 0.9 蓬田村蓬田* = 0.7 岩手県 3 普代村銅屋* = 3.0 盛岡市薮川* = 3.0 野田村野田* = 2.5 2 盛岡市渋民* = 2.4 二戸市浄法寺町* = 2.4 一戸町高善寺* = 2.2 久慈市長内町* = 2.0 八幡平市田頭* = 2.0 八幡平市吹田* = 2.0 岩手洋野町種市 = 1.9 矢巾町南矢幅* = 1.9 紫波町紫波中央駅前* = 1.8 滝沢市鶴飼* = 1.8 盛岡市山王町 = 1.7 八幡平市野駄* = 1.7 久慈市川崎町 = 1.7 岩手町五日市* = 1.7 軽米町軽米* = 1.6 八幡平市大更 = 1.6 葛巻町葛巻元木 = 1.5 宮古市田老* = 1.5 花巻市大迫町 = 1.5 花巻市石鳥谷町* = 1.5 花巻市東和町* = 1.5 久慈市枝成沢 = 1.5 1 宮古市川井* = 1.4 北上市相去町* = 1.4 九戸村伊保内* = 1.3 花巻市材木町* = 1.3 雫石町千刈田 = 1.2 北上市柳原町 = 1.2 一関市花泉町* = 1.2 奥州市江刺区* = 1.2 奥州市胆沢区* = 1.2 宮古市五月町* = 1.2 盛岡市馬場町* = 1.2 遠野市宮守町* = 1.1 二戸市福岡 = 1.1 一関市千厩町* = 1.1 奥州市前沢区* = 1.1 遠野市青笹町* = 1.1 二戸市石切所* = 1.0 雫石町西根上駒木野 = 1.0 平泉町平泉* = 1.0 宮古市区界* = 1.0 花巻市大迫総合支所* = 1.0 宮古市茂市* = 1.0 岩手洋野町大野* = 1.0 西和賀町沢内川舟* = 0.9 釜石市中妻町* = 0.9 金ヶ崎町西根* = 0.9 葛巻町消防分署* = 0.8 奥州市水沢区佐倉河* = 0.8 住田町世田米* = 0.8 久慈市山形町* = 0.8 一関市室根町* = 0.7 田野畑村田野畑 = 0.7 葛巻町役場* = 0.7 奥州市水沢区大鐘町 = 0.7 山田町大沢* = 0.6 大船渡市大船渡町 = 0.6 宮古市鉄ヶ崎 = 0.6 田野畑村役場* = 0.6 釜石市只越町 = 0.5 西和賀町川尻* = 0.5 山田町八幡町 = 0.5 宮城県 2 石巻市桃生町* = 1.6 1 登米市登米町* = 1.4 登米市迫町* = 1.3 登米市南方町* = 1.2 栗原市若柳* = 1.1 登米市米山町* = 1.1 宮城美里町木間塚* = 1.0 大崎市田尻* = 0.9 丸森町鳥屋* = 0.9 石巻市相野谷* = 0.9 石巻市前谷地* = 0.9 栗原市栗駒 = 0.9 栗原市一迫* = 0.9 大崎市松山* = 0.9 大崎市古川三日町 = 0.8 大崎市古川北町* = 0.8 登米市中田町 = 0.8 栗原市志波姫* = 0.8 松島町高城 = 0.7 栗原市築館* = 0.7 気仙沼市笹が陣* = 0.6 南三陸町志津川 = 0.6 栗原市高清水* = 0.5 気仙沼市赤岩 = 0.5 北海道 秋田県 1 函館市泊町* = 1.0 様似町栄町* = 0.5 1 北秋田市新田目* = 1.4 大館市桜町* = 1.1 大館市中城* = 1.1 大館市比内町扇田* = 1.1 北秋田市花園町 = 1.1 秋田美郷町六郷東根 = 1.1 大仙市高梨* = 1.0 大館市早口* = 0.9 小坂町小坂砂森* = 0.9 仙北市田沢湖生保内上清水* = 0.8 横手市大雄* = 0.7 能代市二ツ井町上台* = 0.7 大仙市刈和野* = 0.7 仙北市角館町東勝楽丁 = 0.6 上小阿仁村小沢田* = 0.6 仙北市田沢湖生保内宮ノ後* = 0.6 小坂町小坂上谷地* = 0.5 仙北市角館町小勝田* = 0.5 大館市比内町味噌内 = 0.5	40° 09.6' N	142° 21.9' E	36km	M: 4.8
62	13 13 57	熊本県熊本地方 熊本県 1 宇城市不知火町* = 1.0 熊本西区春日 = 0.8 甲佐町豊内* = 0.7 益城町木山 = 0.6 宇城市松橋町 = 0.5 宇土市新小路町 = 0.5 嘉島町上島* = 0.5	32° 40.7' N	130° 43.4' E	15km	M: 2.9
63	13 14 22	土佐湾 高知県 1 馬路村馬路* = 0.9 室戸市浮津* = 0.8 香美市香北町美良布* = 0.5	33° 21.9' N	133° 40.4' E	33km	M: 3.3
64	13 20 08	山梨県東部・富士五湖 山梨県 1 大月市御太刀* = 0.7	35° 32.2' N	139° 00.2' E	20km	M: 2.4
65	14 04 18	浦河沖 北海道 1 新ひだか町静内山手町 = 1.3 新冠町北星町* = 1.2 浦河町潮見 = 1.1 様似町栄町* = 1.0	41° 57.0' N	142° 20.4' E	69km	M: 4.1

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		新ひだか町静内御幸町*0.9 浦河町築地*0.9 新ひだか町三石旭町*0.9 えりも町えりも岬*0.7 広尾町並木通*0.6 安平町追分柏が丘*0.5 青森県 1 東通村砂子又沢内*0.7				
66	14 11 46	鳥取県中部 鳥取県 1 三朝町大瀬*0.9 倉吉市葵町*0.6	35° 22.2' N	133° 51.8' E	5km	M: 2.3
67	14 13 22	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 下呂市小坂町*1.3 高山市久々野町*0.5	36° 00.2' N	137° 20.1' E	6km	M: 2.7
68	14 14 50	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*0.9 高萩市安良川*0.6	36° 41.8' N	140° 39.3' E	6km	M: 2.8
69	14 15 50	福島県沖 宮城県 1 岩沼市桜*0.9 蔵王町円田*0.8 角田市角田*0.5 山形県 1 米沢市林泉寺*0.9 福島県 1 天栄村下松本*1.3 須賀川市八幡山*1.0 いわき市三和町=1.0 鏡石町不時沼*0.9 田村市船引町=0.9 双葉町両竹*0.9 郡山市朝日=0.6	37° 23.6' N	141° 37.1' E	25km	M: 4.4
70	14 18 39	新島・神津島近海 東京都 1 神津島村役場*1.0 神津島村金長=0.6	34° 13.9' N	139° 10.1' E	8km	M: 2.4
71	15 00 09	茨城県北部 茨城県 2 日立市十王町友部*1.6 1 高萩市下手綱*1.0 高萩市安良川*0.8	36° 41.7' N	140° 39.5' E	5km	M: 2.7
72	15 09 54	鳥取県中部 鳥取県 1 湯梨浜町龍島*1.2 北栄町土下*1.2 倉吉市葵町*1.1 北栄町由良宿*0.7	35° 25.5' N	133° 50.0' E	9km	M: 2.8
73	15 14 23	群馬県南部 群馬県 1 桐生市元宿町*0.7 太田市大原町*0.7 みどり市大間々町*0.7	36° 22.8' N	139° 13.5' E	13km	M: 2.7
74	16 00 30	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本西区春日=0.8 山都町下馬尾*0.5	32° 40.8' N	130° 43.9' E	14km	M: 2.5
75	16 12 34	父島近海 東京都 1 小笠原村母島=1.1	26° 26.7' N	142° 29.4' E	42km	M: 4.1
76	16 14 32	網走地方 北海道 2 羅臼町春日=1.6	43° 57.7' N	144° 59.8' E	6km	M: 2.9
77	17 06 20	宮城県北部 岩手県 2 住田町世田米*1.6 1 陸前高田市高田町*1.3 一関市東山町*1.2 一関市千厩町*1.2 一関市室根町*1.1 一関市藤沢町*1.0 大船渡市猪川町=0.8 大船渡市大船渡町=0.8 奥州市衣川区*0.7 一関市大東町=0.6 遠野市青笹町*0.6 平泉町平泉*0.5 宮城県 2 南三陸町志津川=1.5 1 気仙沼市唐桑町*1.4 石巻市北上町*1.0 石巻市桃生町*1.0 女川町女川浜*1.0 登米市東和町*0.9 気仙沼市笹が陣*0.8 大崎市鹿島台*0.7 登米市迫町*0.6 栗原市志波姫*0.6 気仙沼市赤岩=0.6 南三陸町歌津*0.5 気仙沼市本吉町西川内=0.5	38° 41.9' N	141° 29.2' E	69km	M: 3.5
78	17 10 18	宮古島近海 沖縄県 3 宮古島市下地*2.6 2 宮古島市平良西里*2.1 宮古島市上野支所*2.1 宮古島市平良下里=1.8 宮古島市城辺福北=1.8 宮古島市城辺福西*1.6 宮古島市上野新里=1.5 宮古島市伊良部国仲=1.5 宮古島市伊良部長浜*1.5 1 宮古島市平良狩俣*1.4 宮古島市平良池間=1.2 多良間村塩川=0.9	24° 49.0' N	125° 22.8' E	50km	M: 4.4
79	17 11 41	大阪府北部 大阪府 1 吹田市内本町*1.0 大阪旭区大宮*0.5 大阪北区茶屋町*0.5 大阪東淀川区北江口*0.5	34° 48.7' N	135° 30.4' E	12km	M: 2.9
80	17 15 59	青森県東方沖 青森県 1 階上町道仏*0.7	40° 54.5' N	142° 07.5' E	50km	M: 3.3
81	17 22 46	根室半島南東沖 北海道 1 根室市落石東*0.6 根室市瑠璃瑠*0.6	43° 06.6' N	146° 23.9' E	47km	M: 4.0
82	18 09 47	茨城県沖 茨城県 1 茨城鹿嶋市宮中*0.5	36° 04.8' N	141° 02.3' E	44km	M: 3.0
83	18 10 51	福島県沖 福島県 1 川俣町樋ノ口*0.6	37° 17.4' N	141° 16.1' E	21km	M: 3.3

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
84	18 14 05	茨城県南部 茨城県 栃木県	36° 03.3' N	139° 53.5' E	43km	M: 3.2
		1 小美玉市小川*=-0.8 桜川市羽田*=-0.7 笠間市下郷*=-0.6 水戸市内原町*=-0.6 石岡市柿岡=0.6 笠間市笠間*=-0.5 筑西市門井*=-0.5 1 真岡市石島*=-1.1 栃木市旭町=1.0 宇都宮市明保野町=0.9 下野市田中*=-0.9 下野市笹原*=-0.9				
85	18 19 42	周防灘 山口県 福岡県 大分県	33° 54.0' N	131° 22.1' E	12km	M: 3.7
		2 山口市秋徳二島*=-2.4 山口市阿知須*=-2.0 防府市西浦*=-1.9 山陽小野田市日の出*=-1.7 宇部市常盤町*=-1.7 1 宇部市東須恵*=-1.4 宇部市野中=1.3 宇部市船木*=-1.1 防府市寿=1.1 山口市小郡下郷*=-1.0 山口市前町=1.0 下関市清末陣屋*=-0.7 山陽小野田市鴨庄*=-0.6 下関市竹崎=0.6 山口市亀山町*=-0.5 1 上毛町東下*=-0.9 上毛町垂水*=-0.9 苅田町若久=0.8 築上町椎田*=-0.7 みやこ町豊津*=-0.7 吉富町広津*=-0.6 行橋市今井*=-0.5 北九州若松区桜町*=-0.5 1 中津市上宮永=0.8 中津市豊田町*=-0.7 宇佐市上田*=-0.7 中津市植野*=-0.6 中津市三光*=-0.6 豊後高田市香々地*=-0.5 国東市国見町伊美*=-0.5				
86	18 21 11	茨城県南部 栃木県 千葉県	36° 10.6' N	140° 00.4' E	51km	M: 3.1
		1 宇都宮市明保野町=0.5 1 野田市鶴奉*=-0.5				
87	18 23 25	千葉県北西部 茨城県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	35° 47.7' N	140° 04.6' E	62km	M: 3.3
		1 坂東市岩井=0.6 1 宮代町笠原*=-1.0 さいたま緑区中尾*=-0.8 さいたま南区別所*=-0.7 春日部市粕壁*=-0.5 春日部市金崎*=-0.5 草加市高砂*=-0.5 1 船橋市湊町*=-1.0 千葉緑区おゆみ野*=-0.9 千葉中央区中央港=0.8 千葉稲毛区園生町*=-0.7 千葉花見川区花島町*=-0.6 白井市復*=-0.6 市原市姉崎*=-0.5 八千代市大和田新田*=-0.5 1 東京渋谷区本町*=-1.1 東京墨田区東向島*=-1.0 東京品川区平塚*=-0.9 小平市小川町*=-0.9 東京江戸川区鹿骨*=-0.8 調布市西つつじヶ丘*=-0.8 東京葛飾区立石*=-0.8 東京江戸川区中央=0.8 東京千代田区富士見*=-0.7 東京中央区勝どき*=-0.7 東京世田谷区三軒茶屋*=-0.7 東京千代田区大手町=0.7 東京江東区越中島*=-0.6 東京品川区北品川*=-0.6 東京江戸川区船堀*=-0.6 八王子市堀之内*=-0.6 東京国際空港=0.6 町田市森野*=-0.6 東京大田区本羽田*=-0.6 東京世田谷区成城*=-0.6 東京渋谷区宇田川町*=-0.6 東京足立区神明南*=-0.5 東京足立区千住中居町*=-0.5 小金井市本町*=-0.5 1 横浜神奈川区広台太田町*=-1.4 横浜神奈川区神大寺*=-1.3 横浜鶴見区馬場*=-1.0 横浜鶴見区末広町*=-1.0 横浜中区山手町=1.0 横浜瀬谷区中屋敷*=-1.0 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=-0.9 横浜緑区十日市場町*=-0.9 横浜青葉区市ヶ尾町*=-0.9 横浜港南区丸山台東部*=-0.8 川崎川崎区宮前町*=-0.8 川崎中原区小杉町*=-0.8 大和市下鶴間*=-0.8 横浜旭区今宿東町*=-0.7 川崎宮前区宮前平*=-0.7 横浜磯子区洋光台*=-0.6 箱根町湯本*=-0.6 相模原中央区上溝*=-0.5				
88	19 07 21	茨城県北部 茨城県	36° 44.8' N	140° 34.4' E	11km	M: 3.6
		2 日立市助川小学校*=-2.3 常陸太田市大中町*=-1.8 常陸大宮市北町*=-1.6 常陸大宮市山方*=-1.6 常陸大宮市上小瀬*=-1.6 日立市役所*=-1.5 1 日立市十王町友部*=-1.4 常陸太田市町田町*=-1.3 高萩市下手綱*=-1.3 笠間市石井*=-1.3 常陸太田市町屋町=1.2 城里町石塚*=-1.2 土浦市常名=1.2 常陸大宮市高部*=-1.1 常陸太田市高柿町*=-1.1 大子町池田*=-1.1 高萩市安良川*=-1.0 笠間市笠間*=-0.8 常陸大宮市野口*=-0.8 ひたちなか市東石川*=-0.8 笠間市中央*=-0.8 桜川市羽田*=-0.8 ひたちなか市南神敷台*=-0.7 那珂市福田*=-0.7 東海村東海*=-0.7 かすみがうら市上土田*=-0.6 笠間市下郷*=-0.6 那珂市瓜連*=-0.6 水戸市内原町*=-0.5 かすみがうら市大和田*=-0.5 桜川市岩瀬*=-0.5 北茨城市磯原町*=-0.5 城里町阿波山*=-0.5 小美玉市小川*=-0.5 常陸大宮市中富町=0.5 1 矢祭町戸塚*=-0.9 1 芳賀町祖母井*=-0.8 鹿沼市今宮町*=-0.6 茂木町茂木*=-0.6				
89	19 10 53	青森県東方沖 北海道 青森県	41° 32.9' N	142° 03.9' E	48km	M: 3.7
		1 函館市泊町*=-0.5 1 東通村砂子又沢内*=-1.0				
90	19 14 51	山梨県東部・富士五湖 山梨県	35° 26.1' N	138° 43.7' E	8km	M: 2.3
		1 鳴沢村役場*=-0.9				
91	19 15 01	福島県沖 福島県 宮城県	37° 42.5' N	141° 46.8' E	65km	M: 4.2
		3 相馬市中村*=-2.5 2 福島伊達市霊山町*=-1.6 1 新地町谷地小屋*=-1.3 国見町藤田*=-1.1 福島伊達市梁川町*=-1.1 南相馬市鹿島区栞窪=1.1 檜葉町北田*=-1.0 飯館村伊丹沢*=-1.0 南相馬市原町区高見町*=-1.0 南相馬市鹿島区西町*=-1.0 福島伊達市保原町*=-0.9 浪江町幾世橋=0.8 田村市常葉町*=-0.8 川俣町樋ノ口*=-0.7 南相馬市原町区三島町=0.7 田村市都路町*=-0.7 川内村下川内=0.6 二本松市油井*=-0.6 福島伊達市前川原*=-0.6 福島市松木町=0.5 福島市桜木町*=-0.5 2 角田市角田*=-1.9 山元町浅生原*=-1.5 1 名取市増田*=-1.4 岩沼市桜*=-1.3 亘理町下小路*=-1.3 塩竈市旭町*=-1.3 丸森町鳥屋*=-1.2 石巻市桃生町*=-1.2 仙台青葉区作並*=-1.1 蔵王町円田*=-1.0 宮城川崎町前川*=-0.9 東松島市矢本*=-0.9 大衡村大衡*=-0.9 気仙沼市笹が陣*=-0.9 登米市迫町*=-0.9 石巻市大街道南*=-0.8 女川町女川浜*=-0.8 登米市南方町*=-0.8 仙台太白区山田*=-0.8 利府町利府*=-0.7 石巻市北上町*=-0.7 丸森町上滝=0.7 大崎市田尻*=-0.7 東松島市小野*=-0.7				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
92	19 18 19	気仙沼市唐桑町*0.6 登米市中田町*0.6 柴田町船岡*0.6 仙台青葉区落合*0.6 仙台空港*0.6 仙台泉区将監*0.6 白石市亘理町*0.5 南三陸町志津川*0.5 岩手県 1 一関市室根町*1.0 住田町世田*0.9 一関市東山町*0.8 一関市千厩町*0.7 一関市藤沢町*0.6				
		千葉県北東部 茨城県 4 神栖市溝口*3.9 潮来市辻*3.8 3 稲敷市結佐*3.3 潮来市堀之内*3.3 茨城鹿嶋市宮中*3.2 小美玉市上玉里*3.2 美浦村受領*3.2 茨城鹿嶋市鉢形*3.2 行方市麻生*3.2 かすみがうら市上土田*3.0 取手市井野*3.0 常総市海道諏訪町*3.0 かすみがうら市大和田*2.9 つくばみらい市福田*2.9 土浦市常名*2.9 稲敷市江戸崎町*2.8 つくばみらい市加藤*2.8 稲敷市役所*2.8 筑西市舟生*2.8 鉾田市汲上*2.8 稲敷市柴崎*2.7 土浦市田中*2.7 石岡市柿岡*2.7 石岡市若宮*2.7 笠間市石井*2.7 阿見町中央*2.7 神栖市波崎*2.7 牛久市城中町*2.7 桜川市岩瀬*2.7 桜川市真壁*2.6 土浦市藤沢*2.6 取手市藤代*2.6 小美玉市堅倉*2.6 つくば市天王台*2.6 笠間市中央*2.6 小美玉市小川*2.6 石岡市八郷*2.6 龍ヶ崎市役所*2.6 行方市山田*2.6 取手市寺田*2.6 河内町源清田*2.6 下妻市鬼怒*2.5 常総市新石下*2.5 ひたちなか市南神敷台*2.5 守谷市大柏*2.5 利根町布川*2.5 2 日立市役所*2.4 笠間市下郷*2.4 茨城町小堤*2.4 東海村東海*2.4 つくば市研究学園*2.4 行方市玉造*2.4 鉾田市造谷*2.4 筑西市海老ヶ島*2.3 常陸太田市金井町*2.3 牛久市中央*2.3 高萩市下手綱*2.3 つくば市小荻*2.3 鉾田市鉾田*2.2 筑西市下中山*2.2 笠間市笠間*2.2 筑西市門井*2.2 坂東市岩井*2.2 結城市結城*2.1 水戸市内原町*2.0 ひたちなか市山ノ上町*2.0 日立市助川小学校*2.0 桜川市羽田*2.0 水戸市千波町*2.0 那珂市福田*2.0 那珂市瓜連*2.0 ひたちなか市東石川*1.9 下妻市本城町*1.9 茨城古河市下大野*1.9 常陸太田市高柿町*1.8 境町旭町*1.8 水戸市金町*1.8 坂東市山*1.7 茨城古河市仁連*1.7 五霞町小福田*1.7 城里町石塚*1.7 高萩市安良川*1.6 常陸大宮市北町*1.6 常陸大宮市山方*1.6 八千代町菅谷*1.6 日立市十王町友部*1.6 城里町阿波山*1.5 常陸大宮市野口*1.5 大子町池田*1.5 大洗町磯浜町*1.5 1 北茨城市磯原町*1.4 常陸大宮市中富町*1.4 茨城古河市長谷町*1.4 常陸太田市町田町*1.0 常陸太田市町屋町*1.0 常陸大宮市上小瀬*0.9 城里町徳蔵*0.9 常陸大宮市高部*0.8 4 旭市南堀之内*4.3 匝瑳市八日市場*4.2 匝瑳市今泉*4.1 多古町多古*4.0 香取市役所*4.0 成田市花崎町*3.9 香取市仁良*3.8 横芝光町宮川*3.8 香取市羽根川*3.7 横芝光町栗山*3.7 山武市埴谷*3.7 旭市高生*3.7 旭市二*3.6 東金市日吉台*3.6 芝山町小池*3.6 成田市松子*3.6 香取市岩部*3.5 香取市佐原平田*3.5 成田国際空港*3.5 九十九里町片貝*3.5 3 香取市佐原諏訪台*3.4 山武市松尾町富士見台*3.4 山武市蓮沼二*3.4 山武市殿台*3.4 東金市東岩崎*3.3 山武市松尾町五反田*3.3 東庄町笹川*3.2 山武市蓮沼一*3.2 東金市東新宿*3.2 富里市七栄*3.2 成田市中台*3.1 成田市役所*3.1 千葉佐倉市海隣寺町*3.1 旭市萩園*3.1 神崎町神崎本宿*3.0 大網白里市大網*2.9 千葉中央区都町*2.9 長南町長南*2.9 八街市八街*2.9 印西市大森*2.9 印西市笠神*2.9 八千代市大和田新田*2.8 四街道市鹿渡*2.8 銚子市若宮町*2.8 酒々井町中央*2.8 栄町安食台*2.8 千葉美浜区ひび野*2.8 千葉花見川区花島町*2.7 千葉若葉区小倉台*2.7 野田市鶴奉*2.7 一宮町一宮*2.7 市原市姉崎*2.7 千葉中央区中央港*2.7 白井市復*2.6 千葉稲毛区園生町*2.6 柏市柏*2.5 白子町関*2.5 船橋市湊町*2.5 千葉中央区千葉市役所*2.5 成田市猿山*2.5 2 銚子市川口町*2.4 千葉緑区おゆみ野*2.4 松戸市西馬橋*2.4 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*2.4 印西市美瀬*2.4 睦沢町下之郷*2.3 長生村本郷*2.3 長柄町桜谷*2.3 千葉美浜区稲毛海岸*2.3 我孫子市我孫子*2.3 浦安市日の出*2.3 いすみ市岬町長者*2.3 いすみ市国府台*2.3 柏市旭町*2.2 柏市大島*2.2 君津市久留里市場*2.2 鋸南町下佐久間*2.2 茂原市道表*2.2 長柄町大津倉*2.2 大多喜町大多喜*2.1 市川市八幡*2.1 習志野市鷺沼*2.1 市原市国分寺台中央*2.1 流山市平和台*2.1 浦安市猫実*2.1 野田市東宝珠花*2.0 いすみ市大原*2.0 木更津市富士見*1.9 君津市久保*1.9 南房総市岩糸*1.8 館山市北条*1.8 鴨川市横渚*1.8 木更津市太田*1.7 勝浦市墨名*1.7 勝浦市新宮*1.7 袖ヶ浦市坂戸市場*1.7 鴨川市八色*1.6 富津市下飯野*1.6 南房総市谷向*1.6 松戸市根本*1.5 南房総市白浜町白浜*1.5 館山市長須賀*1.5 1 銚子市天王台*1.4 南房総市富浦町青木*1.4 御宿町須賀*1.2 南房総市上堀*1.0 鴨川市内浦*1.0 3 高根沢町石末*2.5 2 真岡市田町*2.4 真岡市石島*2.4 市貝町市塙*2.3 真岡市荒町*2.3 益子町益子*2.2 芳賀町祖母井*2.1 下野市田中*2.1 下野市笹原*1.9 大田原市湯津上*1.9 日光市瀬川*1.8 日光市芹沼*1.8 日光市今市本町*1.8 那須烏山市中央*1.8 足利市大正町*1.8 小山市神鳥谷*1.8 佐野市葛生東*1.7 鹿沼市晃望台*1.7 小山市中央町*1.7 野木町丸林*1.6 宇都宮市明保野町*1.6 下野市石橋*1.5 那須町寺子*1.5 壬生町通町*1.5 1 那須塩原市塩原庁舎*1.4 栃木市旭町*1.4 栃木市大平町富田*1.4 栃木市万町*1.4 栃木市岩舟町静*1.4 鹿沼市今宮町*1.4 上三川町しらさぎ*1.4 茂木町茂木*1.4 那須烏山市大金*1.3 栃木那珂川町小川*1.3 日光市鬼怒川温泉大原*1.3 佐野市高砂町*1.3 茂木町北高岡天矢場*1.3 栃木さくら市氏家*1.3 鹿沼市粟野*1.2 日光市湯元*1.2 宇都宮市塙田*1.2 栃木市西方町本城*1.2 宇都宮市旭*1.1 栃木市藤岡町藤岡*1.1 日光市日蔭*1.1 佐野市田沼町*1.1 那須烏山市役所*1.0 栃木那珂川町馬頭*1.0 宇都宮市中里町*1.0 日光市足尾町中才*1.0 那須塩原市あたご町*1.0 日光市中鉢石町*0.9 日光市中宮祠*0.8 那須塩原市鍋掛*0.8 大田原市黒羽田町*0.7 那須塩原市中塩原*0.7 佐野市中町*0.6 那須塩原市藁沼*0.6 2 春日部市谷原新田*2.7 宮代町笠原*2.6 2 川口市三ツ和*2.4 春日部市金崎*2.3 川口市青木*2.2 春日部市粕壁*2.2 草加市高砂*2.2 戸田市上戸田*2.2 さいたま緑区中尾*2.2 蕨市中央*2.1 加須市大根*2.1 吉川市吉川*2.1 久喜市青葉*2.0 杉戸町清地*2.0 さいたま大宮区天沼町*2.0 さいたま中央区下落合*2.0 さいたま南区別所*2.0 川口市中青木分室*2.0 八潮市中央*2.0 富士見市鶴馬*2.0				
		栃木県 1 那須塩原市塩原庁舎*1.4 栃木市旭町*1.4 栃木市大平町富田*1.4 栃木市万町*1.4 栃木市岩舟町静*1.4 鹿沼市今宮町*1.4 上三川町しらさぎ*1.4 茂木町茂木*1.4 那須烏山市大金*1.3 栃木那珂川町小川*1.3 日光市鬼怒川温泉大原*1.3 佐野市高砂町*1.3 茂木町北高岡天矢場*1.3 栃木さくら市氏家*1.3 鹿沼市粟野*1.2 日光市湯元*1.2 宇都宮市塙田*1.2 栃木市西方町本城*1.2 宇都宮市旭*1.1 栃木市藤岡町藤岡*1.1 日光市日蔭*1.1 佐野市田沼町*1.1 那須烏山市役所*1.0 栃木那珂川町馬頭*1.0 宇都宮市中里町*1.0 日光市足尾町中才*1.0 那須塩原市あたご町*1.0 日光市中鉢石町*0.9 日光市中宮祠*0.8 那須塩原市鍋掛*0.8 大田原市黒羽田町*0.7 那須塩原市中塩原*0.7 佐野市中町*0.6 那須塩原市藁沼*0.6 2 春日部市谷原新田*2.7 宮代町笠原*2.6 2 川口市三ツ和*2.4 春日部市金崎*2.3 川口市青木*2.2 春日部市粕壁*2.2 草加市高砂*2.2 戸田市上戸田*2.2 さいたま緑区中尾*2.2 蕨市中央*2.1 加須市大根*2.1 吉川市吉川*2.1 久喜市青葉*2.0 杉戸町清地*2.0 さいたま大宮区天沼町*2.0 さいたま中央区下落合*2.0 さいたま南区別所*2.0 川口市中青木分室*2.0 八潮市中央*2.0 富士見市鶴馬*2.0				
		埼玉県 3 春日部市谷原新田*2.7 宮代町笠原*2.6 2 川口市三ツ和*2.4 春日部市金崎*2.3 川口市青木*2.2 春日部市粕壁*2.2 草加市高砂*2.2 戸田市上戸田*2.2 さいたま緑区中尾*2.2 蕨市中央*2.1 加須市大根*2.1 吉川市吉川*2.1 久喜市青葉*2.0 杉戸町清地*2.0 さいたま大宮区天沼町*2.0 さいたま中央区下落合*2.0 さいたま南区別所*2.0 川口市中青木分室*2.0 八潮市中央*2.0 富士見市鶴馬*2.0				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		三郷市中央*2.0 白岡市千駄野*1.9 幸手市東*1.9 川島町下八ツ林*1.9 鴻巣市吹上富士見*1.9 さいたま浦和区高砂*1.9 鴻巣市中央*1.8 松伏町松伏*1.8 さいたま見沼区堀崎*1.8 越谷市越ヶ谷*1.8 志木市中宗岡*1.8 和光市広沢*1.8 加須市三俣*1.8 加須市駒西*1.7 鴻巣市川里*1.7 久喜市下早見*1.7 久喜市菖蒲*1.7 久喜市栗橋*1.7 久喜市鷺宮*1.7 さいたま桜区道場*1.7 さいたま浦和区常盤*1.7 さいたま岩槻区本丸*1.6 熊谷市大里*1.6 さいたま西区指扇*1.6 さいたま北区宮原*1.6 さいたま大宮区大門*1.5 桶川市上日出谷*1.5 吉見町下細谷*1.5 1 行田市本丸*1.4 行田市南河原*1.4 羽生市東*1.4 狭山市入間川*1.4 上尾市本町*1.4 朝霞市本町*1.4 新座市野火止*1.4 伊奈町小室*1.4 埼玉三芳町藤久保*1.3 本庄市児玉町*1.3 所沢市北有楽町*1.3 入間市豊岡*1.3 北本市本町*1.2 毛呂山町中央*1.2 熊谷市妻沼*1.2 埼玉美里町木部*1.2 ふじみ野市福岡*1.1 東松山市松葉町*1.1 鶴ヶ島市三ツ木*1.1 東松山市市ノ川*1.0 坂戸市千代田*1.0 熊谷市桜町*1.0 本庄市本庄*1.0 熊谷市江南*0.9 ふじみ野市大井*0.9 深谷市岡部*0.9 深谷市川本*0.9 上里町七本木*0.9 所沢市並木*0.9 熊谷市宮町*0.9 川越市旭町*0.8 深谷市仲町*0.7 深谷市花園*0.7 滑川町福田*0.7 埼玉神川町植竹*0.7 嵐山町杉山*0.6 鳩山町大豆戸*0.6 秩父市上町*0.6 秩父市近戸町*0.6 ときがわ町桃木*0.5 3 東京墨田区東向島*2.5 東京荒川区東尾久*2.5 2 東京北区赤羽南*2.3 東京足立区神明南*2.3 東京江戸川区中央*2.3 東京千代田区大手町*2.2 東京江東区亀戸*2.2 東京荒川区荒川*2.2 東京足立区伊興*2.2 東京足立区千住中居町*2.2 東京墨田区横川*2.1 東京江東区越中島*2.1 東京江東区森下*2.1 東京板橋区高島平*2.1 東京葛飾区立石*2.1 東京江戸川区船堀*2.1 東京台東区千束*2.0 東京江東区東陽*2.0 東京北区西ヶ原*2.0 東京板橋区相生町*2.0 東京葛飾区金町*2.0 東京板橋区板橋*1.9 東京中央区勝どき*1.9 東京文京区大塚*1.9 東京江戸川区鹿骨*1.9 東京墨田区吾妻橋*1.9 東京大田区多摩川*1.9 東京大田区本羽田*1.9 東京渋谷区本町*1.9 東京新宿区上落合*1.8 東京文京区スポーツセンタ*1.8 東京文京区本郷*1.8 町田市中町*1.8 東京江東区青海*1.8 東京江東区枝川*1.8 東京品川区北品川*1.8 東京品川区平塚*1.8 東京国際空港*1.8 東京台東区東上野*1.7 調布市西つじヶ丘*1.7 東京中野区中野*1.7 東京杉並区桃井*1.7 東京杉並区高井戸*1.7 東京豊島区南池袋*1.7 東京千代田区麹町*1.7 東京中央区日本橋兜町*1.7 東京足立区中央本町*1.7 東京千代田区富士見*1.6 小平市小川町*1.6 東京世田谷区成城*1.6 東京渋谷区宇田川町*1.6 東京港区海岸*1.6 東京中野区江古田*1.6 東京港区南青山*1.6 東京練馬区東大泉*1.5 東京大田区大森東*1.5 東京世田谷区三軒茶屋*1.5 八王子市堀之内*1.5 東京新宿区百人町*1.5 町田市森野*1.5 西東京市中町*1.5 東京中野区中央*1.5 東京練馬区豊玉北*1.5 東京練馬区光が丘*1.5 1 東京目黒区中央町*1.4 東京世田谷区世田谷*1.4 武蔵野市吉祥寺南町*1.4 東大和市中央*1.4 東京港区芝公園*1.3 東京港区白金*1.3 東京新宿区歌舞伎町*1.3 東京大田区蒲田*1.3 東京世田谷区中町*1.3 三鷹市野崎*1.3 小金井市本町*1.3 日野市神明*1.3 東村山市本町*1.3 狛江市和泉本町*1.3 国分寺市戸倉*1.2 清瀬市中里*1.2 多摩市関戸*1.2 東京新宿区西新宿*1.2 東京品川区広町*1.2 武蔵野市緑町*1.2 国分寺市本多*1.1 東京杉並区阿佐谷*1.1 八王子市石川町*1.1 武蔵村山市本町*1.0 東京府中市白糸台*1.0 東京府中市寿町*0.9 清瀬市中清戸*0.9 多摩市鶴牧*0.9 八王子市大横町*0.9 立川市泉町*0.9 伊豆大島町波浮港*0.8 三宅村坪田*0.7 昭島市田中町*0.7 青梅市日向和田*0.7 伊豆大島町差木地*0.6 三宅村神着*0.5 羽村市緑ヶ丘*0.5 2 丸森町鳥屋*1.8 1 大河原町新南*1.4 角田市角田*1.2 岩沼市桜*1.1 松島町高城*0.9 蔵王町円田*0.9 宮城美里町木間塚*0.9 石巻市大街道南*0.9 石巻市桃生町*0.7 山元町浅生原*0.7 登米市迫町*0.6 登米市登米町*0.6 福島県 2 古殿町松川新桑原*2.1 玉川村小高*2.1 白河市東*1.7 須賀川市八幡山*1.7 いわき市錦町*1.6 双葉町両竹*1.5 1 国見町藤田*1.4 泉崎村泉崎*1.4 田村市滝根町*1.4 いわき市小名浜*1.4 矢祭町東館*1.3 浅川町浅川*1.3 郡山市湖南町*1.3 白河市新白河*1.3 いわき市三和町*1.3 鏡石町不時沼*1.3 郡山市朝日*1.3 矢祭町戸塚*1.2 郡山市開成*1.2 田村市大越町*1.2 天栄村下松本*1.2 須賀川市岩瀬支所*1.2 矢吹町一本木*1.2 会津坂下町市中三番甲*1.2 白河市大信*1.1 棚倉町棚倉中居野*1.1 白河市郭内*1.1 本宮市白岩*1.1 石川町長久保*1.0 浪江町幾世橋*1.0 福島市松木町*1.0 二本松市油井*0.9 檜葉町北田*0.9 南会津町田島*0.9 棚倉町棚倉分ヶ丘*0.8 川内村上川内早渡*0.8 大玉村南小屋*0.8 福島広野町下北迫大谷地原*0.7 川俣町樋ノ口*0.7 田村市常葉町*0.7 小野町小野新町*0.7 いわき市平四ツ波*0.7 古殿町松川横川*0.6 田村市船引町*0.6 福島広野町下北迫苗代替*0.6 田村市都路町*0.5 大熊町野上*0.5 群馬県 2 渋川市赤城町*1.9 邑楽町中野*1.9 前橋市鼻毛石町*1.8 沼田市白沢町*1.7 桐生市元宿町*1.7 群馬明和町新里*1.6 千代田町赤岩*1.6 大泉町日の出*1.6 沼田市西倉内町*1.6 太田市西本町*1.5 前橋市堀越町*1.5 前橋市粕川町*1.5 前橋市富士見町*1.5 伊勢崎市西久保町*1.5 1 桐生市織姫町*1.4 太田市浜町*1.4 太田市粕川町*1.4 みどり市笠懸町*1.4 みどり市大間々町*1.4 桐生市新里町*1.3 館林市城町*1.3 板倉町板倉*1.2 沼田市下久屋町*1.2 桐生市黒保根町*1.2 伊勢崎市境*1.1 太田市大原町*1.1 館林市美園町*1.1 渋川市吹屋*1.1 渋川市北橋町*1.0 安中市安中*1.0 吉岡町下野田*1.0 太田市新田金井町*1.0 伊勢崎市東町*0.9 沼田市利根町*0.9 前橋市駒形町*0.9 渋川市伊香保町*0.9 高崎市高松町*0.9 高崎市箕郷町*0.9 伊勢崎市今泉町*0.9 みどり市東町*0.8 渋川市有馬*0.8 群馬昭和村*0.8 前橋市大手町*0.8 玉村町下新田*0.8 高崎市新町*0.8 榛東村新井*0.7 高崎市足門町*0.7 高崎市吉井町吉井川*0.7 川場村谷地*0.6 甘楽町小幡*0.6 前橋市昭和町*0.6 渋川市石原*0.6 安中市松井田町*0.6 東吾妻町奥田*0.5 神奈川県 2 横浜神奈川区神大寺*2.2 横浜鶴見区末広町*2.1 横浜西区浜松町*2.1 横浜保土ヶ谷区上菅田町*2.1 横浜緑区鴨居*2.1 横浜中区山手町*2.0 横浜中区山下町*2.0				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		横浜中区山吹町* \approx 2.0 横浜戸塚区鳥が丘* \approx 2.0 横浜緑区十日市場町* \approx 2.0 横浜都筑区池辺町* \approx 2.0 横浜鶴見区鶴見* \approx 1.9 横浜瀬谷区三ツ境* \approx 1.9 川崎川崎区宮前町* \approx 1.9 横浜鶴見区馬場* \approx 1.8 横浜神奈川区広台太田町* \approx 1.8 横浜西区みなとみらい* \approx 1.8 横浜青葉区区ケ尾町* \approx 1.8 川崎川崎区千鳥町* \approx 1.8 川崎宮前区野川* \approx 1.8 二宮町中里* \approx 1.8 小田原市荻窪* \approx 1.8 横浜旭区川井宿町* \approx 1.7 横浜青葉区榎が丘* \approx 1.7 川崎中原区小杉町* \approx 1.7 川崎宮前区宮前平* \approx 1.7 三浦市城山町* \approx 1.7 寒川町宮山* \approx 1.7 厚木市中町* \approx 1.7 厚木市下津古久* \approx 1.7 湯河原町中央* \approx 1.7 横浜中区日本大通* \approx 1.6 横浜磯子区磯子* \approx 1.6 横浜港南区丸山台東部* \approx 1.6 横浜瀬谷区中屋敷* \approx 1.6 川崎幸区戸手本町* \approx 1.6 藤沢市大庭* \approx 1.6 藤沢市打戻* \approx 1.6 藤沢市辻堂東海岸* \approx 1.6 綾瀬市深谷* \approx 1.6 横浜港北区綱島西* \approx 1.5 横浜戸塚区戸塚町* \approx 1.5 横浜泉区岡津町* \approx 1.5 川崎川崎区中島* \approx 1.5 横須賀市光の丘* \approx 1.5 茅ヶ崎市茅ヶ崎* \approx 1.5 大和市下鶴間* \approx 1.5 座間市緑ヶ丘* \approx 1.5 神奈川大井町金子* \approx 1.5 愛川町角田* \approx 1.5 清川村煤ヶ谷* \approx 1.5 相模原緑区橋本* \approx 1.5 横浜磯子区洋光台* \approx 1.5 1 横浜金沢区白帆* \approx 1.4 横浜金沢区釜利谷南* \approx 1.4 横浜港北区大倉山* \approx 1.4 横浜戸塚区平戸町* \approx 1.4 横浜港南区丸山台北部* \approx 1.4 横浜旭区今宿東町* \approx 1.4 横浜旭区上白根町* \approx 1.4 横浜栄区小菅ヶ谷* \approx 1.4 藤沢市長後* \approx 1.4 中井町比奈窪* \approx 1.4 相模原南区相模大野* \approx 1.4 横浜旭区大池町* \approx 1.3 川崎中原区小杉陣屋町* \approx 1.3 平塚市浅間町* \approx 1.3 松田町松田惣領* \approx 1.3 相模原緑区久保沢* \approx 1.3 横浜南区大岡* \approx 1.2 横浜金沢区寺前* \approx 1.2 川崎高津区下作延* \approx 1.2 藤沢市朝日町* \approx 1.2 横浜都筑区茅ヶ崎* \approx 1.1 川崎麻生区片平* \approx 1.1 相模原中央区上溝* \approx 1.1 相模原南区磯部* \approx 1.1 相模原緑区中野* \approx 1.1 横浜保土ヶ谷区神戸町* \approx 1.1 逗子市桜山* \approx 1.0 秦野市曾屋* \approx 1.0 相模原中央区水郷田名* \approx 1.0 川崎多摩区登戸* \approx 1.0 川崎麻生区万福寺* \approx 0.9 箱根町湯本* \approx 0.9 横須賀市坂本町* \approx 0.8 鎌倉市御成町* \approx 0.8 秦野市平沢* \approx 0.7 新潟県 2 南魚沼市六日町* \approx 1.9 山梨県 1 長岡市小島谷* \approx 1.0 長岡市山古志竹沢* \approx 0.9 南魚沼市塩沢庁舎* \approx 0.9 三条市新堀* \approx 0.8 2 忍野村忍草* \approx 1.7 1 山中湖村山中* \approx 1.4 富士河口湖町長浜* \approx 1.2 笛吹市境川町藤袋* \approx 1.0 甲府市飯田* \approx 0.9 甲府市相生* \approx 0.9 山梨北杜市長坂町* \approx 0.9 富士吉田市上吉田* \approx 0.7 富士河口湖町船津* \approx 0.7 甲州市塩山上於曾* \approx 0.6 甲州市塩山下於曾* \approx 0.5 上野原市上野原* \approx 0.5 長野県 2 長野南牧村海ノ口* \approx 1.5 1 茅野市葛井公園* \approx 1.3 佐久市中込* \approx 1.2 諏訪市湖岸通り* \approx 1.1 諏訪市高島* \approx 1.1 御代田町御代田* \approx 0.8 軽井沢町追分* \approx 0.7 佐久穂町畑* \approx 0.7 静岡県 2 東伊豆町奈良本* \approx 1.7 1 伊豆の国市四日町* \approx 1.3 伊豆の国市長岡* \approx 1.3 富士市吉永* \approx 1.3 伊豆市中伊豆グラウンド* \approx 1.1 富士宮市弓沢町* \approx 1.1 御殿場市萩原* \approx 1.1 河津町田中* \approx 0.9 西伊豆町宇久須* \approx 0.9 函南町平井* \approx 0.9 沼津市戸田* \approx 0.9 静岡清水町堂庭* \approx 0.8 熱海市網代* \approx 0.7 沼津市高島本町* \approx 0.7 富士市大淵* \approx 0.7 山形県 1 中山町長崎* \approx 1.3 山辺町緑ヶ丘* \approx 0.7 93 19 19 25 千葉県北東部 35° 44.0' N 140° 37.9' E 51km M: 3.1 千葉県 1 多古町多古* \approx 1.1 芝山町小池* \approx 0.7 東金市日吉台* \approx 0.6 香取市仁良* \approx 0.6 山武市松尾町富士見台* \approx 0.6 94 20 01 50 兵庫県南東部 34° 57.3' N 135° 20.3' E 7km M: 2.3 兵庫県 1 三田市下里* \approx 0.5 95 20 09 22 熊本県熊本地方 32° 47.9' N 130° 41.3' E 5km M: 1.2 熊本県 1 熊本西区春日* \approx 0.5 96 20 18 48 熊本県熊本地方 32° 51.4' N 130° 50.8' E 10km M: 2.4 熊本県 1 菊池市旭志* \approx 1.0 大津町引水* \approx 0.9 97 20 20 44 和歌山県北部 33° 56.4' N 135° 12.9' E 7km M: 2.1 和歌山県 1 御坊市菌* \approx 0.5 98 21 19 41 山梨県中・西部 35° 35.2' N 138° 17.1' E 14km M: 3.3 山梨県 2 山梨北杜市長坂町* \approx 1.8 1 身延町役場* \approx 0.9 身延町大磯小磯* \approx 0.7 富士川町天神中条* \approx 0.6 99 22 18 12 熊本県熊本地方 32° 47.7' N 130° 40.3' E 10km M: 3.4 熊本県 3 熊本西区春日* \approx 2.5 2 熊本北区植木町* \approx 1.8 大津町引水* \approx 1.7 菊陽町久保田* \approx 1.7 菊池市旭志* \approx 1.7 嘉島町上島* \approx 1.6 菊池市泗水町* \approx 1.6 合志市御代志* \approx 1.5 合志市竹迫* \approx 1.5 1 山鹿市鹿央町* \approx 1.4 熊本中央区大江* \approx 1.4 宇城市豊野町* \approx 1.3 玉東町木葉* \approx 1.3 山鹿市菊鹿町* \approx 1.2 上天草市大矢野町* \approx 1.2 和水町江田* \approx 1.1 益城町木山* \approx 1.1 熊本東区佐土原* \approx 1.1 熊本南区富合町* \approx 1.1 玉名市天水町* \approx 1.1 菊池市隈府* \approx 0.9 玉名市横島町* \approx 0.9 山鹿市鹿本町* \approx 0.9 宇城市三角町* \approx 0.9 山鹿市鹿北町* \approx 0.6 菊池市七城町* \approx 0.6 山鹿市老人福祉センター* \approx 0.6 宇土市新小路町* \approx 0.6 和水町板桶* \approx 0.5 宇城市松橋町* \approx 0.5 長崎県 1 島原市有明町* \approx 0.9 雲仙市国見町* \approx 0.8 南島原市深江町* \approx 0.7 雲仙市小浜町雲仙* \approx 0.6 南島原市口之津町* \approx 0.5 大分県 1 日田市中津江村栃野* \approx 0.8 100 22 18 53 茨城県北部 36° 42.1' N 140° 38.4' E 6km M: 3.7 茨城県 2 高萩市下手綱* \approx 2.3 日立市十王町友部* \approx 2.1 高萩市安良川* \approx 2.0 日立市役所* \approx 1.9 常陸太田市町屋町* \approx 1.5 1 日立市助川小学校* \approx 1.4 大子町池田* \approx 0.9 福島県 1 矢祭町戸塚* \approx 0.5 いわき市錦町* \approx 0.5				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
101	23 03 13	栃木県 日向灘 大分県 高知県 宮崎県	32° 38.8' N	132° 08.0' E	36km	M: 3.6
102	23 06 47	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県	31° 59.1' N	130° 25.4' E	4km	M: 2.9
103	23 13 01	紀伊水道 和歌山県	33° 48.6' N	135° 07.2' E	48km	M: 3.7
104	23 14 55	天草灘 長崎県	32° 31.8' N	129° 29.1' E	7km	M: 3.5
105	23 21 31	宮城県沖 岩手県	38° 41.9' N	141° 47.9' E	53km	M: 2.9
106	24 05 40	千葉県北東部 千葉県	35° 27.2' N	140° 23.6' E	32km	M: 2.5
107	24 09 28	茨城県北部 茨城県	36° 41.7' N	140° 39.0' E	6km	M: 2.8
108	24 16 11	茨城県北部 茨城県	36° 41.7' N	140° 39.1' E	6km	M: 3.0
109	24 19 53	和歌山県北部 和歌山県	34° 09.8' N	135° 11.4' E	6km	M: 2.9
110	24 20 32	熊本県熊本地方 熊本県 福岡県	32° 44.7' N	130° 39.3' E	11km	M: 3.1
111	25 00 47	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 42.3' N	142° 15.4' E	38km	M: 3.8
112	25 10 18	茨城県南部 栃木県 茨城県 群馬県 埼玉県	36° 04.4' N	139° 53.0' E	46km	M: 3.6

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
113	25 11 50	千葉県 1 野田市鶴奉*0.7 野田市東宝珠花*0.5 奄美大島北東沖 29° 29.5' N 130° 42.9' E 50km M: 4.3 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.6				
114	25 12 02	鹿児島湾 鹿児島県 1 鹿児島市喜入町*0.9	31° 23.6' N	130° 36.9' E	8km	M: 2.5
115	25 13 52	宮城県沖 岩手県 2 一関市千厩町*1.8 釜石市中妻町*1.6 1 住田町世田米*1.3 一関市室根町*1.2 大船渡市猪川町=1.1 一関市藤沢町*1.0 山田町大沢*1.0 平泉町平泉*0.9 奥州市衣川区*0.9 宮古市五月町*0.9 一関市東山町*0.9 陸前高田市高田町*0.9 釜石市只越町=0.9 北上市相去町*0.8 遠野市青笹町*0.8 奥州市前沢区*0.8 宮古市田老*0.8 大船渡市大船渡町=0.8 花巻市大迫町=0.6 遠野市宮守町*0.6 一関市花泉町*0.6 盛岡市山王町=0.5 一関市大東町=0.5 宮城県 1 女川町女川浜*1.4 気仙沼市笹が陣*1.3 栗原市栗駒=1.3 南三陸町志津川=1.3 石巻市北上町*1.3 石巻市桃生町*1.3 気仙沼市赤岩=1.2 気仙沼市唐桑町*1.1 石巻市鮎川浜*1.0 涌谷町新町裏=1.0 大崎市田尻*0.9 大崎市古川大崎=0.8 岩沼市桜*0.8 登米市中田町=0.7 石巻市前谷地*0.7 大崎市古川三日町=0.7 登米市東和町*0.7 石巻市大街道南*0.6 栗原市築館*0.6 栗原市鷲沢*0.6 大崎市鳴子*0.6 栗原市高清水*0.5 松島町高城=0.5	38° 43.3' N	142° 15.6' E	39km	M: 4.5
116	25 15 52	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*1.1 日立市役所*0.8 常陸太田市町屋町=0.5	36° 40.3' N	140° 37.0' E	7km	M: 2.8
117	25 18 21	根室半島南東沖 北海道 1 根室市落石東*0.5	42° 59.9' N	146° 57.7' E	53km	M: 4.2
118	26 02 20	茨城県沖 茨城県 1 水戸市内原町*1.1 ひたちなか市南神敷台*1.1 鉾田市汲上*1.1 高萩市安良川*1.0 土浦市常名=0.9 水戸市金町=0.8 ひたちなか市東石川*0.8 日立市助川小学校*0.8 水戸市千波町*0.8 茨城町小堤*0.7 かすみがうら市上土田*0.7 東海村東海*0.7 茨城鹿嶋市宮中*0.6 小美玉市堅倉*0.6 牛久市城中町*0.6 かすみがうら市大和田*0.5 鉾田市鉾田=0.5 美浦村受領*0.5	36° 23.2' N	140° 59.2' E	45km	M: 3.7
119	26 05 11	茨城県南部 茨城県 2 土浦市常名=2.1 水戸市内原町*2.0 坂東市馬立*1.8 行方市玉造*1.8 笠間市笠間*1.7 笠間市中央*1.7 桜川市羽田*1.7 桜川市岩瀬*1.6 常陸大宮市北町*1.6 土浦市藤沢*1.5 取手市寺田*1.5 牛久市城中町*1.5 笠間市下郷*1.5 稲敷市江戸崎甲*1.5 筑西市門井*1.5 かすみがうら市上土田*1.5 水戸市金町=1.5 1 水戸市千波町*1.4 笠間市石井*1.4 常陸大宮市山方*1.4 常陸大宮市上小瀬*1.4 小美玉市小川*1.4 小美玉市上玉里*1.4 つくば市小茎*1.4 茨城鹿嶋市鉢形=1.4 かすみがうら市大和田*1.4 茨城古河市下大野*1.3 石岡市柿岡=1.3 常総市新石下*1.3 石岡市若宮*1.3 常陸大宮市野口*1.3 五霞町小福田*1.2 坂東市岩井=1.2 坂東市山*1.2 筑西市舟生=1.2 筑西市海老ヶ島*1.2 土浦市田中*1.2 茨城町小堤*1.2 常総市水海道諏訪町*1.2 美浦村受領*1.1 阿見町中央*1.1 結城市結城*1.1 境町旭町*1.1 つくば市研究学園*1.1 茨城古河市長谷町*1.1 日立市助川小学校*1.1 牛久市中央*1.0 つくば市天王台*1.0 小美玉市堅倉*1.0 城里町徳蔵*1.0 城里町石塚*1.0 石岡市八郷*1.0 桜川市真壁*1.0 東海村東海*1.0 下妻市本城町*1.0 日立市役所*0.9 茨城鹿嶋市宮中*0.9 鉾田市鉾田=0.9 城里町阿波山*0.9 茨城古河市仁連*0.9 ひたちなか市南神敷台*0.9 筑西市下中山*0.8 つくばみらい市福田*0.8 守谷市大柏*0.8 ひたちなか市東石川*0.8 行方市山田*0.8 行方市麻生*0.8 下妻市鬼怒*0.8 稲敷市柴崎*0.8 常陸太田市町屋町=0.8 龍ヶ崎市役所*0.7 鉾田市造谷*0.7 鉾田市汲上*0.7 稲敷市結佐*0.7 大子町池田*0.7 稲敷市役所*0.6 利根町布川=0.5 常陸大宮市高部*0.5 つくばみらい市加藤*0.5 八千代町菅谷*0.5 栃木県 2 栃木市藤岡町藤岡*1.9 佐野市葛生東*1.8 佐野市高砂町*1.8 栃木市大平町富田*1.8 下野市笹原*1.7 宇都宮市中里町*1.7 小山市神鳥谷*1.6 佐野市田沼町*1.6 足利市大正町*1.6 鹿沼市晃望台*1.5 高根沢町石末*1.5 日光市中鉢石町*1.5 栃木市旭町=1.5 栃木市岩舟町静*1.5 1 宇都宮市明保野町=1.4 鹿沼市口栗野*1.4 下野市田中*1.4 芳賀町祖母井*1.3 日光市足尾町中才*1.3 日光市今市本町*1.3 宇都宮市旭*1.3 佐野市中町*1.3 日光市日蔭*1.2 栃木市都賀町家中*1.2 栃木市西方町本城*1.2 壬生町通町*1.2 下野市石橋*1.2 日光市鬼怒川温泉大原*1.2 小山市中央町*1.1 野木町丸林*1.1 宇都宮市塙田*1.1 日光市瀬川=1.0 鹿沼市今宮町*1.0 日光市芹沼*1.0 那須烏山市大金*1.0 日光市藤原*1.0 日光市足尾町通洞*0.9 大田原市湯津上*0.9 真岡市石島*0.9 上三川町しらさぎ*0.9 栃木那珂川町馬頭*0.9 栃木市万町*0.9 塩谷町玉生*0.8 茂木町茂木*0.8 日光市湯元*0.8 大田原市黒羽田町=0.7 矢板市本町*0.7 那須烏山市中央=0.7 真岡市田町*0.7 栃木那珂川町小川*0.5 益子町益子=0.5 群馬県 2 邑楽町中野*2.0 桐生市元宿町*1.9 桐生市新里町*1.8 太田市西本町*1.8 千代田町赤岩*1.6 大泉町日の出*1.6 太田市浜町*1.5 板倉町板倉=1.5 1 沼田市利根町*1.4 館林市美園町*1.4 群馬明和町新里*1.4 館林市城町*1.3 みどり市東町*1.3 片品村鎌田*1.2 みなかみ町鹿野沢*1.2 前橋市柏川町*1.2 桐生市織姫町=1.2 伊勢崎市西久保町*1.2 伊勢崎市東町*1.2 太田市大原町*1.2 伊勢崎市今泉町*1.1 太田市粕川町*1.1 渋川市赤城町*1.1 みどり市笠懸町*1.1	36° 12.0' N	139° 48.1' E	56km	M: 4.0

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>みどり市大間々町*1.1 桐生市黒保根町*1.0 前橋市鼻毛石町*0.9 太田市新田金井町*0.9 渋川市吹屋*0.8 前橋市堀越町*0.8 沼田市西倉内町=0.8 沼田市下久屋町*0.8 前橋市富士見町*0.7 沼田市白沢町*0.7 前橋市駒形町*0.7 東吾妻町原町=0.6 玉村町下新田*0.5</p> <p>2 久喜市下早見=2.3 熊谷市大里*2.0 行田市南河原*2.0 東松山市松葉町*2.0 加須市大利根*1.9 熊谷市妻沼*1.9 滑川町福田*1.9 熊谷市江南*1.8 深谷市川本*1.8 久喜市栗橋*1.8 東松山市市ノ川*1.7 宮代町笠原*1.7 久喜市鷲宮*1.6 行田市本丸*1.6 北本市本町*1.6 加須市騎西*1.6 鴻巣市中央*1.5 久喜市菖蒲*1.5 春日部市粕壁*1.5</p> <p>1 羽生市東*1.4 鴻巣市吹上富士見*1.4 久喜市青葉*1.4 上尾市本町*1.4 長瀨町野上下郷*1.4 嵐山町杉山*1.3 ときがわ町桃木*1.3 春日部市金崎*1.3 白岡市千駄野*1.3 加須市三俣*1.2 東秩父村御堂*1.2 埼玉美里町木部*1.2 幸手市東*1.2 さいたま中央区下落合*1.2 さいたま岩槻区本丸*1.2 鴻巣市川里*1.1 深谷市仲町*1.1 深谷市花園*1.1 小川町大塚*1.1 吉見町下細谷*1.1 春日部市谷原新田*1.1 桶川市上日出谷*1.1 蓮田市黒浜*1.1 川島町下八ツ林*1.1 杉戸町清地*1.1 さいたま北区宮原*1.1 さいたま大宮区天沼町*1.1 さいたま見沼区堀崎*1.1 本庄市児玉町=1.0 さいたま西区指扇*1.0 さいたま大宮区大門*1.0 秩父市近戸町*1.0 さいたま浦和区高砂=0.9 さいたま緑区中尾*0.9 川口市中青木分室*0.9 秩父市上町=0.9 熊谷市宮町*0.9 皆野町皆野*0.9 ときがわ町玉川*0.8 熊谷市桜町=0.8 入間市豊岡*0.8 長瀨町本野上*0.8 伊奈町小室*0.8 越生町越生*0.8 川口市青木*0.7 毛呂山町中央*0.7 松伏町松伏*0.7 深谷市岡部*0.6 狭山市入間川*0.6 横瀬町横瀬*0.6 坂戸市千代田*0.6 鳩山町大豆戸=0.5 ふじみ野市福岡*0.5 寄居町寄居*0.5 富士見市鶴馬*0.5</p> <p>2 野田市鶴奉*1.7 柏市柏*1.5</p> <p>1 白井市復*1.3 成田市花崎町=1.2 香取市仁良*1.1 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*1.1 芝山町小池*1.0 柏市旭町=1.0 印西市大森*1.0 香取市役所*0.9 成田国際空港=0.9 香取市佐原平田=0.8 香取市佐原諏訪台*0.8 千葉花見川区花島町*0.8 野田市東宝珠花*0.8 成田市中台*0.8 八千代市大和田新田*0.8 栄町安食台*0.7 柏市大島田*0.6 香取市岩部*0.6 千葉稲毛区園生町*0.6 成田市松子*0.6 神崎町神崎本宿*0.5 多古町多古=0.5 我孫子市我孫子*0.5 富里市七栄*0.5 山武市埴谷*0.5</p> <p>福島県 東京都</p> <p>1 白河市新白河*0.5</p> <p>1 青梅市東青梅=0.8 東京千代田区大手町=0.7 東京文京区大塚*0.7 東京江戸川区中央=0.7 東京新宿区上落合*0.6 東京杉並区高井戸*0.6 東京江戸川区鹿骨*0.6 東京足立区伊興*0.5 青梅市日向和田*0.5</p>				
120	26 05 14	<p>鳥取県中部</p> <p>鳥取県</p> <p>3 倉吉市葵町*2.5 2 北栄町土下*2.0 1 湯梨浜町龍島*1.2 湯梨浜町久留*0.9 北栄町由良宿*0.8</p>	35° 25.4' N	133° 50.0' E	9km	M: 3.0
121	26 20 34	<p>岩手県沖 青森県</p> <p>2 階上町道仏*1.5 1 青森南部町苦米地*0.9 八戸市内丸*0.8 青森南部町平*0.7 八戸市湊町=0.7 三戸町在府小路町*0.6 五戸町古館=0.5</p> <p>岩手県</p> <p>1 九戸村伊保内*1.3 軽米町軽米*0.7 岩手洋野町大野*0.6</p>	40° 21.1' N	142° 04.9' E	50km	M: 3.8
122	26 23 54	<p>福島県沖</p> <p>福島県</p> <p>3 檜葉町北田*2.5 2 白河市新白河*2.3 須賀川市八幡山*2.3 須賀川市岩瀬支所*2.2 浪江町幾世橋=2.1 田村市常葉町*1.9 川内村下川内=1.9 白河市大信*1.9 富岡町本岡*1.8 小野町小野新町*1.7 田村市船引町=1.7 白河市郭内=1.7 田村市都路町*1.7 いわき市平梅本*1.7 福島広野町下北迫大谷地原*1.7 鏡石町不時沼*1.7 泉崎村泉崎*1.7 中島村滑津*1.7 玉川村小高*1.7 川俣町樋ノ口*1.6 棚倉町棚倉中居野=1.6 南相馬市小高区*1.6 白河市東*1.5 天栄村下松本*1.5 福島広野町下北迫苗代替*1.5 葛尾村落合落合*1.5 1 郡山市湖南町*1.4 白河市八幡小路*1.4 白河市表郷*1.4 二本松市金色*1.4 浅川町浅川*1.4 福島伊達市霊山町*1.4 川内村上川内早渡*1.4 大熊町野上*1.4 須賀川市牛袋町*1.3 郡山市開成*1.3 本宮市本宮*1.3 いわき市平四ツ波*1.3 二本松市油井*1.3 二本松市針道*1.3 双葉町両竹*1.3 飯館村伊丹沢*1.3 西郷村熊倉*1.3 田村市滝根町*1.2 福島伊達市梁川町*1.2 新地町谷地小屋*1.2 郡山市朝日=1.2 平田村永田*1.2 国見町藤田*1.2 田村市大越町*1.2 相馬市中村*1.1 小野町中通*1.1 福島市飯野町*1.1 矢吹町一本木*1.1 石川町長久保*1.1 大玉村南小屋=1.1 南相馬市鹿島区西町*1.1 大玉村玉井*1.1 本宮市白岩*1.1 いわき市小名浜=1.1 いわき市三和町=1.1 古殿町松川新桑原*1.1 福島市五老内町*1.0 三春町大町*1.0 福島伊達市月館町*1.0 いわき市錦町*1.0 南相馬市鹿島区栞窪=1.0 須賀川市長沼支所*1.0 矢祭町戸塚*0.9 福島市松木町=0.9 天栄村湯本支所*0.9 川内村上川内小山平*0.9 矢祭町東館*0.7 古殿町松川横川=0.6 南相馬市原町区高見町*0.6 福島伊達市前川原*0.6 鮫川村赤坂中野*0.6 福島市桜木町*0.6 会津坂下町市中三番甲*0.5</p> <p>茨城県</p> <p>2 日立市十王町友部*1.8 日立市助川小学校*1.7 日立市役所*1.7 東海村東海*1.5 1 北茨城市磯原町*1.4 高萩市下手綱*1.3 常陸大宮市野口*1.3 常陸大宮市北町*1.2 常陸大宮市山方*1.2 常陸太田市金井町*1.1 大子町池田*1.1 土浦市常名=1.1 常陸太田市町屋町=1.0 常陸太田市高柿町*1.0 高萩市安良川*1.0 笠間市中央*1.0 笠間市笠間*1.0 ひたちなか市南神敷台*1.0 常陸大宮市上小瀬*1.0 那珂市瓜連*1.0 城里町石塚*1.0 水戸市内原町*1.0 筑西市門井*1.0 水戸市千波町*0.9 ひたちなか市東石川*0.9 桜川市羽田*0.8 笠間市下郷*0.7 桜川市岩瀬*0.7 小美玉市堅倉*0.7 小美玉市上玉里*0.7 水戸市金町=0.7 石岡市柿岡=0.7 筑西市舟生=0.7 かすみがうら市上土田*0.6 常陸大宮市高部*0.6 茨城鹿嶋市鉢形=0.6 稲敷市江戸崎甲*0.6</p>	37° 10.1' N	141° 10.7' E	62km	M: 4.2

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
123	27 00 03	<p>常陸太田市町田町*0.5 城里町阿波山*0.5 小美玉市小川*0.5 取手市寺田*0.5 牛久市城中町*0.5 つくば市小荊*0.5</p> <p>宮城県 1 山元町浅生原*1.4 岩沼市桜*1.0 名取市増田*0.9 宮城川崎町前川*0.9 柴田町船岡=0.8 大河原町新南*0.8 亘理町下小路*0.7 角田市角田*0.6 村田町村田*0.6</p> <p>栃木県 1 栃木那珂川町馬頭*1.0 那須町寺子*0.9 宇都宮市明保野町*0.9 大田原市湯津上*0.8 栃木さくら市喜連川*0.8 那須烏山市中央*0.8 日光市今市本町*0.6 日光市中鉢石町*0.5 那須塩原市鍋掛*0.5 益子町益子=0.5 栃木那珂川町小川*0.5</p> <p>群馬県 1 桐生市黒保根町*0.5</p>				
		<p>福島県沖 福島県</p> <p>4 川内村上川内早渡*3.7 川内村上川内小山平*3.5 いわき市平梅本*3.5</p> <p>3 檜葉町北田*3.4 いわき市錦町*3.3 福島広野町下北迫大谷地原*3.3 田村市都路町*3.3 白河市新白河*3.2 いわき市三和町=3.2 玉川村小高*3.2 田村市大越町*3.2 田村市常葉町*3.2 富岡町本岡*3.2 飯館村伊丹沢*3.2 双葉町両竹*3.1 相馬市中村*3.1 浪江町幾世橋=3.0 南相馬市小高区*3.0 大熊町野上*2.9 いわき市小名浜=2.9 葛尾村落合落合*2.9 矢祭町戸塚*2.9 国見町藤田*2.8 新地町谷地小屋*2.8 福島伊達市霊山町*2.8 泉崎村泉崎*2.8 福島広野町下北迫苗代替*2.7 川俣町樋ノ口*2.7 二本松市針道*2.7 小野町小野新町*2.7 南相馬市鹿島区西町*2.7 中島村滑津*2.7 田村市滝根町*2.6 郡山市開成*2.6 南相馬市原町区三島町=2.6 南相馬市原町区本町*2.6 白河市大信*2.6 いわき市平四ツ波*2.6 須賀川市八幡山*2.6 須賀川市岩瀬支所*2.5 郡山市朝日=2.5 白河市郭内=2.5 古殿町松川新桑原*2.5 川内村下川内=2.5</p> <p>2 白河市東*2.4 二本松市金色*2.4 鏡石町不時沼*2.4 天栄村下松本*2.4 矢祭町東館*2.4 石川町長久保*2.4 平田村永田*2.4 浅川町浅川*2.4 三春町大町*2.4 福島伊達市梁川町*2.4 本宮市白岩*2.4 大玉村南小屋=2.3 白河市表郷*2.3 小野町中通*2.3 田村市船引町=2.3 西郷村熊倉*2.3 福島伊達市保原町*2.3 本宮市本宮*2.3 南相馬市原町区高見町*2.3 二本松市油井*2.3 郡山市湖南町*2.2 白河市八幡小路*2.2 福島市飯野町*2.2 福島市五老内町*2.2 福島市松木町=2.1 棚倉町棚倉中居野=2.1 桑折町東大隅*2.1 福島伊達市月館町*2.1 福島市桜木町*2.0 南相馬市鹿島区栞窪=2.0 矢吹町一本木*2.0 大玉村玉井*2.0 福島伊達市前川原*1.9 須賀川市牛袋町*1.9 猪苗代町千代田*1.7 喜多方市高郷町*1.5 猪苗代町城南=1.5 二本松市小浜*1.5 古殿町松川横川=1.5</p> <p>1 須賀川市長沼支所*1.4 塙町塙*1.4 会津美里町新鶴庁舎*1.4 天栄村湯本支所*1.3 鮫川村赤坂中野*1.3 磐梯町磐梯*1.3 会津坂下町市中三番甲*1.3 湯川村清水田*1.3 西会津町登世島*1.2 棚倉町棚倉ヶ丘*1.2 会津若松市東栄町*1.1 喜多方市塩川町*1.1 西会津町野沢=0.8 会津美里町本郷庁舎*0.6 下郷町高崎*0.6 会津若松市材木町=0.5 南会津町田島=0.5 南会津町滝原=0.5</p> <p>3 山元町浅生原*2.9 岩沼市桜*2.9 角田市角田*2.8 名取市増田*2.6 宮城川崎町前川*2.6 蔵王町円田*2.5</p> <p>2 大河原町新南*2.4 村田町村田*2.4 塩竈市旭町*2.4 亘理町下小路*2.3 柴田町船岡=2.3 仙台若林区遠見塚*2.2 仙台青葉区作並*2.2 白石市亘理町*2.1 大崎市田尻*2.1 丸森町鳥屋*2.1 仙台東区将監*2.0 石巻市桃生町*2.0 仙台空港=1.9 宮城加美町中新田*1.9 丸森町上滝=1.9 大衡村大衡*1.8 大崎市松山*1.8 仙台宮城野区五輪=1.8 色麻町四竈*1.8 仙台宮城野区苦竹*1.7 東松島市矢本*1.7 大崎市鹿島台*1.7 大崎市古川三日町=1.7 南三陸町志津川=1.7 仙台青葉区雨宮*1.6 涌谷町新町裏=1.6 登米市迫町*1.6 松島町高城=1.6 利府町利府*1.6 仙台青葉区大倉=1.6 仙台太白区山田*1.6 大崎市古川大崎=1.6 七ヶ宿町関*1.5 宮城美里町木間塚*1.5 登米市南方町*1.5 東松島市小野*1.5 石巻市大街道南*1.5</p> <p>1 登米市中田町=1.4 宮城美里町北浦*1.4 大崎市三本木*1.4 仙台青葉区落合*1.4 七ヶ浜町東宮浜*1.4 大郷町粕川*1.4 富谷市富谷*1.4 登米市米山町*1.3 気仙沼市赤岩=1.3 大崎市古川北町*1.3 栗原市高清水*1.3 多賀城市中央*1.3 栗原市築館*1.2 登米市豊里町*1.2 女川町女川浜*1.2 栗原市若柳*1.2 気仙沼市笹が陣*1.1 大和町吉岡*1.1 石巻市前谷地*1.1 栗原市一迫*1.0 栗原市瀬峰*1.0 石巻市泉町=1.0 石巻市北上町*1.0 石巻市相野谷*1.0 登米市東和町*1.0 栗原市栗駒=1.0 登米市石越町*1.0 登米市登米町*0.9 栗原市志波姫*0.9 気仙沼市唐桑町*0.9 大崎市鳴子*0.8 大崎市岩出山*0.8 宮城加美町小野田*0.8 栗原市金成*0.8 栗原市花山*0.6 石巻市鮎川浜*0.6</p> <p>3 北茨城市磯原町*2.7</p> <p>2 大子町池田*2.4 常陸大宮市野口*2.3 日立市助川小学校*2.2 高萩市下手綱*2.2 水戸市内原町*2.1 笠間市石井*2.1 ひたちなか市南神敷台*2.1 常陸大宮市北町*2.1 常陸大宮市山方*2.1 日立市十王町友部*2.0 城里町石塚*2.0 土浦市常名=2.0 高萩市安良川*2.0 東海村東海*1.9 日立市役所*1.9 常陸大宮市上小瀬*1.9 水戸市金町=1.9 笠間市笠間*1.9 ひたちなか市東石川*1.9 常陸太田市高柿町*1.8 笠間市中央*1.8 常陸太田市大中町*1.8 石岡市柿岡=1.7 筑西市門井*1.7 桜川市羽田*1.7 鉾田市汲上*1.7 笠間市下郷*1.7 那珂市瓜連*1.7 稲敷市江戸崎甲*1.6 桜川市岩瀬*1.6 常陸太田市町田町*1.6 常陸太田市金井町*1.6 水戸市千波町*1.6 小美玉市堅倉*1.6 牛久市城中町*1.6 那珂市福田*1.5 常陸太田市町屋町=1.5 小美玉市小川*1.5 小美玉市上玉里*1.5 美浦村受領*1.5 かすみがうら市上土田*1.5 常陸大宮市高部*1.5</p> <p>1 常陸大宮市中富町=1.4 城里町阿波山*1.4 取手市寺田*1.4 つくば市研究学園*1.4 茨城鹿嶋市宮中*1.4 筑西市舟生=1.4 行方市麻生*1.4 鉾田市鉾田=1.4 茨城町小堤*1.3 城里町徳蔵*1.3 土浦市田中*1.3 石岡市若宮*1.3 石岡市八郷*1.3 つくば市小荊*1.3 茨城鹿嶋市鉢形=1.3 筑西市海老ヶ島*1.3 かすみがうら市大和田*1.3 桜川市真壁*1.3 常総市新石下*1.2 つくば市天王台*1.2 坂東市山*1.2 土浦市藤沢*1.2 境町旭町*1.1 稲敷市柴崎*1.1 稲敷市役所*1.1 龍ヶ崎市役所*1.1 行方市山田*1.1 つくばみらい市福田*1.1 潮来市堀之内=1.1 潮来市辻*1.1 筑西市下中山*1.0 牛久市中央*1.0 鉾田市造谷*1.0 常総市水海道諏訪町*1.0 阿見町中央*1.0 五霞町小福田*1.0 ひたちなか市山ノ上町=0.9 行方市玉造*0.9 茨城古河市下大野*0.9 茨城古河市仁連*0.9</p>	<p>37° 04.0' N</p> <p>141° 10.8' E</p> <p>50km</p> <p>M: 4.9</p>			

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模	
		<p>下妻市本城町*0.9 稲敷市結佐*0.9 下妻市鬼怒*0.9 坂東市岩井=0.8 結城市結城*0.8 八千代町菅谷*0.8 大洗町磯浜町*0.8 守谷市大柏*0.7 神栖市溝口*0.7 つくばみらい市加藤*0.6 取手市藤代*0.5 利根町布川=0.5</p> <p>3 大田原市湯津上*2.6 2 那須町寺子*2.1 栃木那珂川町小川*2.1 栃木那珂川町馬頭*2.0 高根沢町石末*1.9 那須烏山市中央=1.9 大田原市黒羽田町=1.8 大田原市本町*1.8 宇都宮市明保野町=1.8 日光市今市本町*1.7 那須塩原市鍋掛*1.7 芳賀町祖母井*1.7 那須塩原市共郷社*1.6 真岡市石島*1.6 市貝町市塙*1.6 日光市中鉢石町*1.5 那須塩原市あたご町*1.5</p> <p>1 宇都宮市中里町*1.4 栃木さくら市喜連川*1.4 茂木町茂木*1.3 那須烏山市大金*1.3 那須烏山市役所*1.3 日光市瀬川=1.2 鹿沼市晃望台*1.2 真岡市田町*1.2 益子町益子=1.2 足利市大正町*1.1 鹿沼市今宮町*1.1 下野市田中*1.1 日光市鬼怒川温泉大原*1.1 那須塩原市塩原庁舎*1.1 下野市笹原*1.0 日光市芹沼*1.0 矢板市本町*1.0 宇都宮市旭*1.0 栃木市岩舟町静*1.0 栃木市旭町=0.9 真岡市荒町*0.9 栃木さくら市氏家*0.9 下野市石橋*0.9 那須塩原市中塩原*0.9 佐野市高砂町*0.8 栃木市藤岡町藤岡*0.8 塩谷町玉生*0.7 鹿沼市口栗野*0.7 那須塩原市暮沼=0.7 佐野市葛生東*0.7 野木町丸林*0.7 宇都宮市塙田*0.6 茂木町北高岡天矢場*0.6 日光市足尾町中才*0.5 栃木市万町*0.5 佐野市中町*0.5 佐野市田沼町*0.5 日光市日蔭*0.5</p> <p>2 米沢市アルカディア=1.6 1 上山市河崎*1.4 中山町長崎*1.3 米沢市林泉寺*1.3 山辺町緑ヶ丘*1.2 白鷹町荒砥*1.2 東根市中央*1.2 河北町谷地=1.1 南陽市三間通*1.0 高島町高島*1.0 大石町緑町*0.9 山形川西町上小松*0.9 天童市老野森*0.9 河北町役場*0.8 米沢市駅前=0.8 米沢市金池*0.8 村山市中央*0.7 最上町向町*0.6 山形市薬師町*0.6 山形朝日町宮宿*0.6 白鷹町黒鴨=0.5 寒河江市西根*0.5</p> <p>青森県 1 階上町道仏*1.0 岩手県 1 一関市千蔵町*1.4 一関市室根町*1.3 住田町世田米*1.2 一関市藤沢町*1.1 奥州市衣川区*1.0 一関市東山町*1.0 一関市花泉町*1.0 大船渡市大船渡町=0.9 盛岡市薮川*0.9 奥州市胆沢区*0.9 花巻市東和町*0.9 奥州市前沢区*0.8 北上市相去町*0.8 平泉町平泉*0.7 一関市大東町=0.6 遠野市青笹町*0.6 宮古市田老*0.5 盛岡市山王町=0.5 陸前高田市高田町*0.5 花巻市石鳥谷町*0.5</p> <p>群馬県 1 渋川市赤城町*1.4 桐生市黒保根町*1.3 沼田市利根町*1.2 桐生市元宿町*1.2 邑楽町中野*1.2 大泉町日の出*1.0 伊勢崎市西久保町*0.9 太田市西本町*0.9 前橋市富士見町*0.9 群馬明和町新里*0.8 千代田町赤岩*0.8 沼田市西倉内町=0.8 沼田市白沢町*0.8 前橋市粕川町*0.8 前橋市鼻毛石町*0.7 太田市浜町*0.7 館林市美園町*0.7 太田市粕川町*0.6 渋川市吹屋*0.6 吉岡町下野田*0.6 前橋市堀越町*0.6 高崎市高松町*0.6 伊勢崎市今泉町*0.6 桐生市新里町*0.5 太田市大原町*0.5 館林市城町*0.5 沼田市下久屋町*0.5 板倉町板倉=0.5 桐生市織姫町=0.5</p> <p>埼玉県 1 宮代町笠原*1.3 東松山市松葉町*1.1 久喜市下早見=1.1 加須市大利根*1.0 滑川町福田*1.0 春日部市粕壁*1.0 熊谷市大里*0.9 熊谷市江南*0.9 鴻巣市川里*0.9 鴻巣市吹上富士見*0.9 嵐山町杉山*0.9 春日部市金崎*0.9 春日部市谷原新田*0.9 川島町下八ツ林*0.8 さいたま見沼区堀崎*0.8 加須市騎西*0.8 吉見町下細谷*0.7 ときがわ町桃木*0.7 草加市高砂*0.7 幸手市東*0.7 行田市本丸*0.7 杉戸町清地*0.7 さいたま北区宮原*0.7 さいたま大宮区天沼町*0.7 さいたま岩槻区本丸*0.7 東松山市市ノ川*0.7 久喜市青葉*0.7 深谷市川本*0.6 久喜市鷲宮*0.6 埼玉美里町木部*0.6 狭山市入間川*0.6 和光市広沢*0.6 行田市南河原*0.6 加須市三俣*0.6 本庄市児玉町=0.6 さいたま中央区下落合*0.6 さいたま浦和区高砂=0.6 さいたま緑区中尾*0.6 白岡市千駄野*0.6 長瀬町野上下郷*0.6 羽生市東*0.6 鴻巣市中央*0.6 桶川市上日出谷*0.5 北本市本町*0.5 坂戸市千代田*0.5 毛呂山町中央*0.5 さいたま西区指扇*0.5 深谷市花園*0.5 秩父市近戸町*0.5 久喜市栗橋*0.5 熊谷市妻沼*0.5 上尾市本町*0.5</p> <p>千葉県 1 香取市役所*1.4 野田市鶴奉*1.3 成田市花崎町=1.3 八千代市大和田新田*1.2 香取市佐原平田=1.1 香取市仁良*1.1 野田市東宝珠花*1.1 白井市復*1.1 香取市佐原諏訪台*1.0 山武市埴谷*1.0 千葉中央区都町*1.0 千葉花見川区花島町*1.0 印西市笠神*1.0 栄町安食台*1.0 千葉若葉区小倉*0.9 成田国際空港=0.9 柏市旭町=0.9 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*0.9 芝山町小池*0.8 千葉美浜区ひび野*0.8 成田市松子*0.8 柏市柏*0.8 印西市大森*0.8 印西市美瀬*0.8 富里市七栄*0.8 習志野市鷺沼*0.7 浦安市日の出=0.7 四街道市鹿渡*0.7 八街市八街*0.7 千葉稲毛区園生町*0.6 東金市日吉台*0.6 神崎町神崎本宿*0.6 千葉美浜区稲毛海岸*0.5 柏市大島田*0.5 多古町多古=0.5 山武市松尾町富士見台=0.5 千葉中央区中央港=0.5</p> <p>東京都 1 東京渋谷区本町*0.9 東京千代田区大手町=0.8 東京中野区江古田*0.8 東京荒川区東尾久*0.8 東京江戸川区中央=0.8 東京中野区中野*0.7 東京杉並区高井戸*0.7 調布市西つつじヶ丘*0.7 東京北区赤羽南*0.6 東京荒川区荒川*0.6 東京足立区神明南*0.6 三鷹市野崎*0.6 東京文京区大塚*0.5 東京練馬区光が丘*0.5 東京足立区伊興*0.5 東京葛飾区立石*0.5 東大和市中央*0.5</p> <p>神奈川県 1 湯河原町中央=0.5 新潟県 1 阿賀町鹿瀬支所*0.9 阿賀町津川*0.8 阿賀町豊川*0.5</p>					
124	27 03 09	福島県沖 福島県	37° 22.4' N	141° 19.2' E	47km	M: 3.8	
		<p>2 田村市都路町*2.0 田村市常葉町*1.6 檜葉町北田*1.5 1 田村市船引町=1.4 川内村下川内=1.4 浪江町幾世橋=1.4 南相馬市原町区三島町=1.4 富岡町本岡*1.3 飯館村伊丹沢*1.3 田村市大越町*1.3 双葉町両竹*1.2 玉川村小高*1.1 南相馬市原町区高見町*1.1 川俣町樋ノ口*1.0 小野町小野新町*1.0 川内村上川内小山平*1.0 南相馬市鹿島区栲漚=1.0 福島広野町下北迫大谷地原*1.0 田村市滝根町*0.9 川内村上川内早渡*0.8 二本松市油井*0.7 福島伊達市梁川町*0.7 福島伊達市霊山町*0.7 本宮市白岩*0.7 大玉村南小屋=0.6 鏡石町不時沼*0.6 本宮市本宮*0.6 二本松市金色*0.6</p>					

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		小野町中通*0.6 南相馬市鹿島区西町*0.6 天栄村下松本*0.5 大熊町野上*0.5 いわき市三和町=0.5 大玉村玉井*0.5 新地町谷地小屋*0.5 宮城県 1 岩沼市桜*0.8 山元町浅生原*0.7				
125	27 04 11	熊本県熊本地方 熊本県 1 宇城市不知火町*0.5 熊本西区春日=0.5	32° 41.8' N	130° 39.7' E	12km	M: 2.2
126	27 06 38	日高地方東部 北海道 2 幕別町忠類錦町*1.8 1 浦河町潮見=1.4 浦河町築地*1.3 浦河町野深=1.0 えりも町目黒*0.9 更別村更別*0.9 十勝大樹町生花*0.9 様似町栄町*0.8 十勝大樹町東本通*0.7 広尾町白樺通=0.6 鹿追町東町*0.5 芽室町東2条*0.5	42° 19.6' N	143° 00.7' E	53km	M: 3.9
127	27 08 17	小笠原諸島東方沖 東京都 1 小笠原村母島=0.7	27° 09.1' N	144° 07.4' E	44km	M: 5.3
128	27 08 22	熊本県熊本地方 熊本県 1 八代市東陽町*0.6 宇城市不知火町*0.5 宇城市小川町*0.5	32° 35.6' N	130° 40.7' E	8km	M: 2.5
129	27 08 26	千葉県東方沖 茨城県 2 茨城鹿嶋市鉢形=2.4 潮来市辻*2.3 茨城鹿嶋市宮中*1.8 潮来市堀之内=1.6 稲敷市結佐*1.5 神栖市溝口*1.5 神栖市波崎*1.5 1 稲敷市江戸崎*1.3 行方市麻生*1.1 稲敷市柴崎*0.8 土浦市常名=0.7 石岡市柿岡=0.6 小美玉市小川*0.5 千葉県 2 旭市南堀之内*2.1 香取市役所*1.9 成田市花崎町=1.8 多古町多古=1.7 香取市佐原諏訪台*1.6 旭市萩園*1.6 香取市仁良*1.6 香取市佐原平田=1.5 匝瑳市八日市場*1.5 成田市中台*1.5 1 銚子市若宮町*1.4 旭市高生*1.4 東庄町笹川*1.4 成田市松子*1.4 香取市羽根川*1.3 銚子市川口町=1.3 成田国際空港=1.2 香取市岩部*1.2 山武市松尾町富士見台=1.1 山武市埴谷*1.1 千葉若葉区小倉台*1.1 芝山町小池*1.1 旭市二*1.1 富里市七栄*1.1 成田市役所*1.0 匝瑳市今泉*0.8 横芝光町宮川*0.8 八街市八街*0.8 栄町安食台*0.8 東金市日吉台*0.7 神崎町神崎本宿*0.7 千葉稲毛区園生町*0.6 八千代市大和田新田*0.6 山武市蓮沼二*0.5 東金市東新宿=0.5	35° 50.1' N	140° 54.1' E	31km	M: 3.7
130	27 11 17	三陸沖 岩手県 1 盛岡市薮川*1.0	39° 19.8' N	143° 58.4' E	10km	M: 4.9
131	27 14 19	福島県沖 福島県 2 檜葉町北田*1.8 白河市新白河*1.7 双葉町両竹*1.7 田村市都路町*1.5 浪江町幾世橋=1.5 1 川俣町樋ノ口*1.3 相馬市中村*1.3 玉川村小高*1.2 二本松市油井*1.2 葛尾村落合落合*1.2 田村市常葉町*1.1 いわき市三和町=1.1 須賀川市岩瀬支所*1.1 福島広野町下北迫大谷地原*1.1 富岡町本岡*1.1 川内村上川内早渡*1.1 大熊町野上*1.1 福島伊達市霊山町*1.0 国見町藤田*1.0 田村市船引町=1.0 郡山市湖南町*1.0 二本松市針道*0.9 天栄村下松本*0.9 泉崎村泉崎*0.9 小野町中通*0.9 新地町谷地小屋*0.9 二本松市金色*0.8 小野町小野新町*0.8 鏡石町不時沼*0.8 川内村下川内=0.8 田村市大越町*0.8 本宮市本宮*0.8 南相馬市原町区高見町*0.8 南相馬市鹿島区栞窪=0.7 川内村上川内小山平*0.7 南相馬市鹿島区西町*0.7 田村市滝根町*0.7 飯館村伊丹沢*0.6 南相馬市原町区三島町=0.6 郡山市朝日=0.6 浅川町浅川*0.6 大玉村南小屋=0.6 福島伊達市梁川町*0.5 棚倉町棚倉中居野=0.5 石川町長久保*0.5 須賀川市八幡山*0.5 いわき市平四ツ波*0.5 大玉村玉井*0.5 宮城県 1 石巻市桃生町*1.3 岩沼市桜*1.1 蔵王町円田*0.9 角田市角田*0.8 宮城川崎町前川*0.8 山元町浅生原*0.8 東松島市小野*0.7 松島町高城=0.7 大崎市松山*0.7 宮城美里町木間塚*0.6 大崎市古川三日町=0.6 登米市迫町*0.6 東松島市矢本*0.6 柴田町船岡=0.5 栃木県 1 大田原市湯津上*0.9 栃木那珂川町馬頭*0.7 那須烏山市中央=0.5	37° 15.0' N	141° 32.7' E	33km	M: 4.5
132	27 15 21	国後島付近 北海道 2 根室市牧の内*1.8 根室市落石東*1.8 羅臼町岬町*1.7 根室市瑠瑠瑠*1.6 1 中標津町丸山*1.4 別海町西春別*1.4 標津町北2条*1.3 別海町常盤=1.2 標茶町塘路*1.2 根室市厚床*1.2 弟子屈町弟子屈*1.1 羅臼町緑町*1.0 弟子屈町美里=0.9 弟子屈町サワンチサップ*0.8 標津町薫別*0.8 別海町本別海*0.7 浜中町霧多布*0.7 根室市弥栄=0.6 鶴居村鶴居東*0.5 十勝大樹町生花*0.5 羅臼町春日=0.5	43° 24.9' N	145° 49.9' E	67km	M: 4.3
133	27 18 10	日高地方東部 北海道 3 幕別町忠類錦町*3.0 浦幌町桜町*3.0 更別村更別*2.8 十勝大樹町生花*2.6 2 鹿追町東町*2.4 十勝大樹町東本通*2.4 芽室町東2条*2.3 浦河町潮見=2.3 音更町元町*2.2 浦河町野深=2.2 中札内村東2条*2.2 帯広市東6条*2.2 豊頃町茂岩本町*2.1 釧路市阿寒町中央*2.1 釧路市音別町中園*2.1 白糠町西1条*2.1 浦河町築地*2.0 十勝池田町西1条*2.0 本別町向陽町*1.9 帯広市東4条=1.9 新冠町北星町*1.9 十勝清水町南4条=1.8 広尾町並木通=1.8 釧路市黒金町*1.8 本別町北2丁目=1.8 足寄町南1条*1.8 新ひだか町静内山手町=1.8 新得町2条*1.7 広尾町白樺通=1.7 釧路市音別町尺別=1.7 平取町振内*1.7 様似町栄町*1.7 幕別町本町*1.7 新ひだか町静内御幸町*1.7 安平町早来北進*1.5 幕別町忠類明和=1.5 えりも町目黒*1.5 函館市新浜町*1.5 1 むかわ町穂別*1.4 新ひだか町三石旭町*1.4 別海町西春別*1.4 標茶町塘路*1.3 標津町北2条*1.3 えりも町えりも岬*1.3 釧路町別保*1.2 厚真町鹿沼=1.2 足寄町上螺湾=1.2	42° 20.9' N	143° 02.9' E	52km	M: 4.7

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		別海町常盤=1.2 土幌町土幌*=1.2 日高地方日高町門別*=1.1 弟子屈町弟子屈*=1.1 釧路市幸町=1.1 新ひだか町静内御園=1.1 千歳市支笏湖温泉*=1.1 中標津町丸山*=1.1 安平町追分柏が丘*=1.1 上土幌町上土幌*=1.1 三笠市幸町*=1.1 別海町本別海*=1.1 札幌東区元町*=1.0 厚真町京町*=1.0 新ひだか町静内農屋*=1.0 千歳市若草*=1.0 上土幌町清水谷*=1.0 南富良野町役場*=1.0 日高地方日高町日高*=1.0 北見市留辺藪町栄町*=1.0 弟子屈町美里=1.0 札幌清田区平岡*=0.9 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*=0.9 置戸町拓殖*=0.9 札幌南区真駒内*=0.8 占冠村中央*=0.8 千歳市北栄=0.8 新千歳空港=0.8 鶴居村鶴居東*=0.8 厚岸町尾幌=0.7 札幌北区篠路*=0.7 函館市泊町*=0.7 陸別町陸別*=0.7 えりも町本町=0.6 小樽市勝納町=0.6 胆振伊達市大滝区本町*=0.6 平取町仁世宇=0.6 根室市落石東*=0.5 北広島市共栄*=0.5 青森県 1 階上町道仏*=0.6				
134	28 00 42	熊本県熊本地方 長崎県 熊本県 鹿儿岛県	32° 29.8' N	130° 33.4' E	11km	M: 3.6
		雲仙市小浜町雲仙=1.5 1 南島原市深江町*=0.8 雲仙市雲仙出張所*=0.8 2 上天草市大矢野町=1.9 宇城市小川町*=1.6 八代市平山新町=1.5 1 八代市松江城町*=1.4 熊本美里町永富*=1.4 宇城市豊野町*=1.4 芦北町田浦町*=1.4 宇城市三角町*=1.3 上天草市姫戸町*=1.3 宇城市松橋町=1.2 八代市千丁町*=1.1 八代市坂本町*=1.1 上天草市松島町*=1.1 熊本西区春日=1.0 芦北町芦北=1.0 宇土市新小路町=1.0 西原村小森*=1.0 山都町下馬尾*=1.0 氷川町島地*=0.9 熊本高森町高森*=0.9 熊本美里町馬場*=0.9 甲佐町豊内*=0.8 宇城市不知火町*=0.8 上天草市龍ヶ岳町*=0.8 八代市鏡町*=0.8 五木村甲*=0.7 氷川町宮原*=0.6 菊池市旭志*=0.6 天草市倉岳町*=0.6 八代市東陽町*=0.6 球磨村渡*=0.5 1 長島町獅子島*=0.7				
135	28 01 18	与那国島近海 沖縄県	24° 13.5' N	122° 53.0' E	50km	M: 4.8
		2 与那国町久部良=1.6 1 与那国町役場*=1.4 与那国町祖納=1.0 竹富町船浮=1.0 石垣市新栄町*=0.5				
136	28 03 59	千葉県北西部 茨城県	35° 55.2' N	139° 59.8' E	104km	M: 3.6
		1 土浦市常名=0.5				
137	28 08 50	宮崎県南部山沿い 宮崎県	31° 55.7' N	131° 13.9' E	15km	M: 3.7
		3 宮崎市田野町体育館*=2.7 2 綾町南保健センター*=2.4 綾町役場*=2.3 小林市真方=2.1 小林市中原*=2.1 小林市野尻町東麓*=2.1 宮崎市田野支所*=2.0 国富町本庄*=1.9 宮崎市高岡町内山*=1.9 都城市高崎町大牟田*=1.8 1 西都市上の宮*=1.3 宮崎市松橋*=1.3 都城市姫城町*=1.3 都城市山之口町花木*=1.3 都城市高城町徳満坊*=1.3 宮崎市橋通東*=1.2 高原町西麓*=1.2 宮崎美郷町田代*=1.1 日南市北郷町郷之原*=1.0 都城市菖蒲原=1.0 三股町五本松*=1.0 宮崎市清武町船引*=1.0 宮崎市霧島=0.9 都城市山田町山田*=0.8 西都市聖陵町*=0.7 椎葉村総合運動公園*=0.5 日南市吾田東*=0.5				
138	28 11 13	留萌地方中北部 北海道	44° 49.5' N	141° 50.5' E	24km	M: 3.1
		2 天塩町川口*=2.1 1 遠別町本町*=1.0 幌延町宮園町*=0.8				
139	28 11 21	茨城県北部 茨城県	36° 42.3' N	140° 35.1' E	9km	M: 2.5
		1 日立市十王町友部*=0.6 高萩市下手綱*=0.6 高萩市安良川*=0.5				
140	28 11 40	茨城県北部 茨城県	36° 42.1' N	140° 35.2' E	9km	M: 3.0
		2 日立市助川小学校*=1.9 1 日立市十王町友部*=1.4 日立市役所*=1.1 高萩市安良川*=0.9 高萩市下手綱*=0.9 常陸大宮市山方*=0.8 常陸太田市町田町*=0.7				
141	28 13 40	青森県東方沖 青森県	40° 58.3' N	142° 04.2' E	87km	M: 3.5
		1 階上町道仏*=1.0 東通村砂子又沢内*=0.9 八戸市湊町=0.8				
142	28 14 30	熊本県阿蘇地方 熊本県	32° 58.3' N	131° 04.5' E	11km	M: 2.6
		1 阿蘇市一の宮町*=0.7 阿蘇市内牧*=0.5				
143	28 16 49	福島県沖 宮城県	37° 30.8' N	141° 22.0' E	52km	M: 5.7
		5弱 岩沼市桜*=4.5 4 角田市角田*=4.0 丸森町鳥屋*=4.0 塩竈市旭町*=3.9 名取市増田*=3.9 山元町浅生原*=3.8 大崎市松山*=3.7 丸森町上滝=3.7 石巻市桃生町*=3.6 宮城川崎町前川*=3.6 蔵王町円田*=3.5 亶理町下小路*=3.5 3 大崎市鹿島台*=3.4 白石市亶理町*=3.4 大河原町新南*=3.4 仙台空港=3.3 村田町村田*=3.3 仙台若林区遠見塚*=3.3 東松島市小野*=3.3 利府町利府*=3.3 大衡村大衡*=3.2 登米市南方町*=3.2 仙台泉区将監*=3.2 色麻町四籠*=3.2 柴田町船岡=3.2 大崎市古川三日町=3.1 仙台太白区山田*=3.1 宮城加美町中新田*=3.1 大崎市田尻*=3.1 登米市迫町*=3.1 大郷町粕川*=3.1 栗原市築館*=3.0 石巻市大街道南*=3.0 東松島市矢本*=3.0 宮城美里町木間塚*=3.0 仙台青葉区落合*=3.0 仙台宮城野区五輪=3.0 仙台宮城野区苦竹*=3.0 登米市中田町=3.0 涌谷町新町裏=3.0 松島町高城=2.9 仙台青葉区雨宮*=2.8 南三陸町志津川=2.8 宮城美里町北浦*=2.8 登米市米山町*=2.8 大崎市古川大崎=2.8 仙台青葉区作並*=2.8				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		女川町女川浜*2.7 多賀城市中央*2.7 登米市豊里町*2.7 七ヶ宿町関*2.7 七ヶ宿町東宮浜*2.7 石巻市鮎川浜*2.7 栗原市若柳*2.7 栗原市栗駒*2.6 大和町吉岡*2.6 気仙沼市笹が陣*2.6 栗原市一迫*2.6 登米市津山町*2.6 栗原市瀬峰*2.6 栗原市高清水*2.6 登米市東和町*2.6 大崎市古川北町*2.6 富谷市富谷*2.5 登米市登米町*2.5 気仙沼市赤岩*2.5 石巻市北上町*2.5 仙台青葉区大倉*2.5 気仙沼市唐桑町*2.5 2 栗原市志波姫*2.4 石巻市泉町*2.4 石巻市相野谷*2.4 石巻市前谷地*2.4 宮城加美町小野田*2.3 栗原市金成*2.3 登米市石越町*2.3 大崎市三本木*2.3 大崎市岩出山*2.2 大崎市鳴子*2.2 宮城加美町宮崎*2.1 栗原市鶯沢*2.0 栗原市花山*2.0 気仙沼市本吉町津谷*1.9 石巻市大瓜*1.8 南三陸町歌津*1.8 気仙沼市本吉町西川内*1.6 福島県 5弱 檜葉町北田*4.6 双葉町両竹*4.6 南相馬市原町区高見町*4.6 相馬市中村*4.5 4 南相馬市原町区三島町*4.4 浪江町幾世橋*4.3 南相馬市原町区本町*4.2 新地町谷地小屋*4.1 富岡町本岡*4.1 田村市大越町*4.1 国見町藤田*4.0 飯館村伊丹沢*4.0 川内村上川内早渡*4.0 大熊町野上*3.9 田村市船引町*3.9 田村市滝根町*3.9 古殿町松川新桑原*3.9 二本松市針道*3.8 いわき市三和町*3.8 葛尾村落合落合*3.8 福島広野町下北迫大谷地原*3.8 川内村下川内*3.8 浅川町浅川*3.8 南相馬市小高区*3.8 川俣町樋ノ口*3.7 桑折町東大隅*3.7 天栄村下松本*3.6 須賀川市岩瀬支所*3.5 二本松市油井*3.5 田村市常葉町*3.5 田村市都路町*3.5 棚倉町棚倉中居野*3.5 福島伊達市梁川町*3.5 福島伊達市保原町*3.5 福島伊達市壺山町*3.5 本宮市白岩*3.5 南相馬市鹿島区西町*3.5 石川町長久保*3.5 3 須賀川市八幡山*3.4 泉崎村泉崎*3.4 中島村滑津*3.4 玉川村小高*3.4 福島伊達市月館町*3.4 いわき市平四ツ波*3.4 南相馬市鹿島区柘窪*3.4 郡山市開成*3.3 白河市新白河*3.3 白河市東*3.3 白河市表郷*3.3 二本松市金色*3.3 鏡石町不時沼*3.3 小野町小野新町*3.3 福島伊達市前川原*3.3 本宮市本宮*3.3 福島市五老内町*3.3 いわき市平梅本*3.3 川内村上川内小山平*3.3 郡山市朝日*3.3 福島市松木町*3.2 福島市桜木町*3.2 大玉村南小屋*3.2 福島広野町下北迫苗代替*3.2 郡山市湖南町*3.2 大玉村玉井*3.1 いわき市錦町*3.1 小野町中通*3.1 須賀川市長沼支所*3.1 白河市郭内*3.0 三春町大町*3.0 福島市飯野町*3.0 いわき市小名浜*2.9 白河市大信*2.9 平田村永田*2.9 矢祭町東館*2.8 塙町塙*2.8 鮫川村赤城中野*2.8 須賀川市牛袋町*2.8 矢吹町一本木*2.8 棚倉町棚倉館ヶ丘*2.8 猪苗代町千代田*2.7 矢祭町戸塚*2.7 古殿町松川横川*2.6 二本松市小浜*2.6 西郷村熊倉*2.5 2 白河市八幡小路*2.3 猪苗代町城南*2.2 会津美里町新鶴庁舎*2.1 会津坂下町市中三番甲*2.0 天栄村湯本支所*1.9 喜多方市塩川町*1.9 磐梯町磐梯*1.9 湯川村清水田*1.9 喜多方市高郷町*1.8 西会津町野沢*1.8 下郷町高陸*1.7 柳津町柳津*1.6 会津美里町本郷庁舎*1.6 会津若松市東栄町*1.6 会津若松市北会津町*1.6 会津美里町高田庁舎*1.5 1 会津若松市材木町*1.4 下郷町塩生*1.4 喜多方市山都町*1.3 南会津町田島*1.3 南会津町界*1.3 会津若松市河東町*1.2 喜多方市御清水*1.2 福島昭和村下中津川*1.2 只見町黒谷*1.1 北塩原村北山*0.9 三島町宮下*0.9 喜多方市松山町*0.8 柳津町大成沢*0.8 福島金山町川口*0.7 南会津町滝原*0.6 青森県 3 階上町道仏*2.6 2 八戸市南郷*2.1 青森南部町苔米地*2.0 青森南部町平*1.8 東北町上北南*1.7 五戸町古館*1.7 七戸町森ノ上*1.5 六戸町犬落瀬*1.5 八戸市内丸*1.5 おいらせ町中下田*1.5 1 おいらせ町上明堂*1.3 八戸市湊町*1.3 三戸町在府小路町*1.2 五戸町倉石中市*1.2 野辺地町野辺地*1.0 七戸町七戸*1.0 十和田市西十二番町*0.9 東通村砂子又沢内*0.9 三沢市桜町*0.9 子子町子子*0.9 外ヶ浜町蟹田*0.8 十和田市西二番町*0.8 東通村砂子又蒲谷地*0.7 八戸市島守*0.7 横浜町林ノ脇*0.6 むつ市金曲*0.6 岩手県 3 一関市藤沢町*2.8 一関市千厩町*2.8 一関市室根町*2.7 住田町世田米*2.7 一関市花泉町*2.6 奥州市衣川区*2.6 釜石市中妻町*2.5 普代村銅屋*2.5 2 大船渡市大船渡町*2.4 盛岡市薮川*2.4 矢巾町南矢幅*2.4 花巻市東和町*2.4 一関市東山町*2.4 奥州市胆沢区*2.4 奥州市前沢区*2.3 北上市相去町*2.3 宮古市田老*2.2 野田村野田*2.2 平泉町平泉*2.2 遠野市青笹町*2.1 花巻市石鳥谷町*2.1 金ヶ崎町西根*2.1 盛岡市山王町*2.1 一関市大東町*2.0 北上市柳原町*2.0 盛岡市洪民*2.0 花巻市大迫町*1.9 一関市竹山町*1.9 山田町大沢*1.9 陸前高田市高田町*1.9 八幡平市田頭*1.9 奥州市江刺区*1.9 宮古市区界*1.9 紫波町紫波中央駅前*1.9 奥州市水沢区大鐘町*1.8 宮古市川井*1.8 花巻市材木町*1.8 宮古市五月町*1.8 一関市川崎町*1.8 久慈市枝成沢*1.8 山田町八幡町*1.8 岩手町五日市*1.7 一戸町高善寺*1.7 釜石市只越町*1.7 大船渡市盛町*1.7 滝沢市鶴飼*1.7 奥州市水沢区佐倉河*1.7 遠野市宮守町*1.7 八幡平市大更*1.6 大船渡市猪川町*1.6 八幡平市野駄*1.6 盛岡市馬場町*1.6 久慈市川崎町*1.6 宮古市鉏ヶ崎*1.5 二戸市浄法寺町*1.5 1 久慈市長内町*1.4 西和賀町沢内川舟*1.4 大槌町小槌*1.3 軽米町軽米*1.3 雫石町千刈田*1.2 葛巻町葛巻元木*1.2 宮古市茂市*1.2 花巻市大迫総合支所*1.2 岩手野野町種市*1.2 二戸市福岡*1.1 八幡平市叭田*1.1 宮古市長沢*1.1 九戸村伊保内*1.1 田野畑村田野畑*1.0 岩泉町岩泉*1.0 西和賀町川尻*0.9 西和賀町沢内太田*0.9 二戸市石切所*0.8 岩泉町大川*0.8 雫石町西根上駒木野*0.8 葛巻町役場*0.8 田野畑村役場*0.7 葛巻町消防分署*0.7 山形県 3 米沢市林泉寺*2.8 中山町長崎*2.6 白鷹町荒砥*2.6 米沢市アルカディア*2.5 2 上山市河崎*2.4 高島町高島*2.4 南陽市三間通*2.3 天童市老野森*2.2 東根市中央*2.2 山形川西町上小松*2.2 山辺町緑ヶ丘*2.1 河北町谷地*2.1 最上町向町*2.1 村山市中央*2.0 西川町大井沢*2.0 尾花沢市若葉町*2.0 米沢市駅前*2.0 米沢市金池*2.0 河北町役場*1.9 白鷹町黒鴨*1.9 大石町緑町*1.8 舟形町舟形*1.8 戸沢村古口*1.7 山形市薬師町*1.7 大蔵村肘折*1.6 山形市緑町*1.6 山形小国町岩井沢*1.6 山形小国町小国小坂町*1.6 寒河江市西根*1.6 寒河江市中央*1.6 鶴岡市藤島*1.6 酒田市亀ヶ崎*1.6 酒田市飛鳥*1.6 三川町横山*1.6 庄内町余目*1.6 新庄市東谷地田町*1.6 酒田市山田*1.5 山形朝日町宮宿*1.5				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>1 庄内町狩川*1.4 大江町左沢*1.4 長井市ままの上*1.4 飯豊町上原*1.4 飯豊町樺*1.4 酒田市本町*1.3 遊佐町遊佐*1.3 遊佐町舞鶴*1.3 山形市旅籠町*1.3 西川町海味*1.3 新庄市沖の町*1.2 真室川町新町*1.2 鶴岡市温海川*1.2 酒田市宮野浦*1.2 鮭川村佐渡*1.1 新庄市堀端町*1.1 鶴岡市道田町*1.1 鶴岡市馬場町*1.0 酒田市観音寺*0.9 山形金山町金山*0.9 山形金山町中田*0.6</p> <p>3 日立市助川小学校*3.3 大子町池田*3.2 日立市役所*3.1 高萩市下手綱*3.1 北茨城市磯原町*3.1 笠間市石井*3.1 常陸太田市金井町*3.0 東海村東海*3.0 那珂市瓜連*3.0 日立市十王町友部*2.9 高萩市安良川*2.8 ひたちなか市南神敷台*2.8 常陸大宮市山方*2.8 常陸大宮市野口*2.8 土浦市常名*2.8 常陸太田市高柿町*2.7 笠間市中央*2.7 笠間市笠間*2.7 常陸大宮市北町*2.7 水戸市内原町*2.7 城里町石塚*2.7 常陸太田市中大町*2.7 那珂市福田*2.6 小美玉市堅倉*2.6 小美玉市上玉里*2.6 鉾田市汲上*2.6 水戸市千波町*2.5 小美玉市小川*2.5 石岡市柿岡*2.5 筑西市舟生*2.5 ひたちなか市東石川*2.5 茨城町小堤*2.5</p> <p>2 水戸市金町*2.4 常陸大宮市上小瀬*2.4 土浦市藤沢*2.4 石岡市若宮*2.4 取手市寺田*2.4 牛久市城中町*2.4 つくば市研究学園*2.4 かすみがうら市上土田*2.4 龍ヶ崎市役所*2.3 茨城鹿嶋市鉢形*2.3 潮来市辻*2.3 美浦村受領*2.3 坂東市馬立*2.3 筑西市門井*2.3 桜川市真壁*2.3 桜川市羽田*2.3 常総市新石下*2.3 常陸太田市町田町*2.3 笠間市下郷*2.3 つくば市小荻*2.2 茨城鹿嶋市宮中*2.2 常陸大宮市中富町*2.2 坂東市山*2.2 稲敷市江戸崎*2.2 城里町阿波山*2.2 行方市麻生*2.2 土浦市田中*2.2 鉾田市造谷*2.2 石岡市八郷*2.2 常総市水海道諏訪町*2.2 つくばみらい市福田*2.2 取手市井野*2.2 つくば市天王台*2.2 阿見町中央*2.1 常陸太田市町屋町*2.1 稲敷市結佐*2.1 かすみがうら市大和田*2.1 行方市山田*2.1 桜川市岩瀬*2.1 常陸大宮市高部*2.1 鉾田市鉾田*2.1 潮来市堀之内*2.0 河内町源清田*2.0 五霞町小福田*2.0 境町旭町*2.0 下妻市鬼怒*2.0 稲敷市柴崎*2.0 稲敷市役所*2.0 取手市藤代*2.0 茨城古河市仁連*1.9 つくばみらい市加藤*1.9 坂東市岩井*1.9 下妻市本城町*1.9 牛久市中央*1.9 筑西市海老ヶ島*1.9 行方市玉造*1.9 結城市結城*1.8 守谷市大柏*1.8 ひたちなか市山ノ上町*1.8 筑西市下中山*1.8 城里町徳蔵*1.8 大洗町磯浜町*1.7 八千代町菅谷*1.7 神栖市溝口*1.7 茨城古河市下大野*1.7 茨城古河市長谷町*1.5 利根町布川*1.5</p>				
		<p>1 神栖市波崎*1.1</p> <p>3 大田原市湯津上*3.0 那須町寺子*2.9 市貝町市塙*2.6 那須烏山市中央*2.6 栃木那珂川町小川*2.6 芳賀町祖母井*2.5 栃木那珂川町馬頭*2.5</p> <p>2 宇都宮市明保野町*2.4 真岡市石島*2.4 高根沢町石末*2.4 大田原市黒羽田町*2.2 大田原市本町*2.2 那須塩原市鍋掛*2.2 宇都宮市中岡本町*2.2 鹿沼市晃望台*2.2 益子町益子*2.2 日光市今市本町*2.1 那須塩原市共懇社*2.1 宇都宮市中里町*2.1 那須烏山市大金*2.1 栃木さくら市喜連川*2.0 下野市田中*2.0 下野市笹原*2.0 茂木町茂木*2.0 那須塩原市あたご町*1.9 足利市大正町*1.9 鹿沼市今宮町*1.9 小山市神鳥谷*1.9 真岡市田町*1.9 那須塩原市塩原庁舎*1.8 栃木市岩舟町静*1.8 鹿沼市口栗野*1.8 真岡市荒町*1.8 那須烏山市役所*1.8 矢板市本町*1.8 栃木市旭町*1.7 栃木市藤岡町藤岡*1.7 佐野市葛生東*1.7 日光市中鉢石町*1.7 下野市石橋*1.7 宇都宮市旭*1.7 野木町丸林*1.6 栃木さくら市氏家*1.6 日光市瀬川*1.6 日光市鬼怒川温泉大原*1.6 日光市芹沼*1.6 那須塩原市中塩原*1.5 宇都宮市塙田*1.5 茂木町北高岡天矢場*1.5 壬生町通町*1.5 栃木市大平町富田*1.5 佐野市田沼町*1.5 佐野市高砂町*1.5</p>				
		<p>1 佐野市中町*1.4 小山市中央町*1.4 塩谷町玉生*1.3 那須塩原市藁沼*1.3 栃木市万町*1.3 上三川町しらさぎ*1.2 栃木市都賀町家中*1.2 栃木市西方町本城*1.2 日光市足尾町中才*1.1 日光市日蔭*0.9 日光市足尾町通洞*0.9 日光市湯元*0.7 日光市藤原*0.7 日光市中宮祠*0.6</p> <p>2 秋田市雄和妙法*1.9 由利本荘市前郷*1.8 大仙市高梨*1.6 由利本荘市西目町沼田*1.5 仙北市西木町上桧木内*1.5</p>				
		<p>1 秋田市河辺和田*1.4 横手市大雄*1.4 羽後町西馬音内*1.4 大仙市刈和野*1.4 大仙市大曲花園町*1.4 湯沢市横堀*1.3 由利本荘市岩城内道川*1.2 にかほ市平沢*1.2 湯沢市沖鶴*1.2 東成瀬村田子内*1.2 井川町北川尻*1.2 由利本荘市島海町伏見*1.1 湯沢市川連町*1.1 東成瀬村椿川*1.0 横手市平鹿町浅瀬*1.0 大仙市南外*1.0 秋田市山王*1.0 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*1.0 秋田市雄和女米木*1.0 湯沢市佐竹町*0.9 由利本荘市矢島町矢島町*0.9 由利本荘市岩谷町*0.9 秋田美郷町六郷東根*0.9 秋田美郷町土崎*0.9 大仙市協和境野田*0.9 横手市雄物川町今宿*0.9 三種町豊岡*0.9 仙北市田沢湖生保内上清水*0.9 横手市大森町*0.9 大仙市太田町太田*0.8 能代市二ツ井町上台*0.8 仙北市角館町東勝楽*0.8 五城目町西磯ノ目*0.8 北秋田市阿仁銀山*0.8 横手市増田町増田*0.8 由利本荘市尾崎*0.8 横手市中央町*0.7 由利本荘市石脇*0.7 由利本荘市東由利老方*0.7 仙北市角館町小勝田*0.7 仙北市田沢湖田沢*0.7 大仙市神宮寺*0.7 仙北市西木町上荒井*0.6 横手市十文字町*0.6 大仙市協和境唐松岳*0.6 にかほ市象潟町浜ノ田*0.6 横手市安田柳堤地内*0.5 大館市比内町扇田*0.5 湯上市天王*0.5 横手市山内土淵*0.5 大館市中城*0.5</p> <p>2 邑楽町中野*2.2 渋川市赤城町*2.1 大泉町日の出*1.9 桐生市元宿町*1.8 桐生市黒保根町*1.8 伊勢崎市西久保町*1.8 太田市西本町*1.8 千代田町赤岩*1.8 群馬明和町新里*1.7 前橋市富士見町*1.7 前橋市鼻毛石町*1.6 高崎市高松町*1.6 館林市城町*1.6 館林市美園町*1.5 安中市安中*1.5 沼田市利根町*1.5 前橋市堀越町*1.5 前橋市粕川町*1.5</p>				
		<p>1 沼田市西倉内町*1.4 伊勢崎市今泉町*1.4 伊勢崎市境*1.4 太田市浜町*1.4 太田市粕川町*1.4 太田市新田金井町*1.4 渋川市吹屋*1.4 板倉町板倉*1.4 吉岡町下野田*1.3 玉村町下新田*1.3 沼田市白沢町*1.3 桐生市新里町*1.3 桐生市織姫町*1.2 伊勢崎市東町*1.2 みどり市笠懸町*1.2 太田市大原町*1.1 沼田市下久屋町*1.1 前橋市駒形町*1.1 高崎市足門町*1.1 渋川市有馬*1.0 安中市松井田町*1.0 みどり市大間々町*0.9</p>				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		埼玉県				<p>片品村東小川=0.9 前橋市昭和町=0.9 高崎市新町=0.9 渋川市北橋町=0.9 渋川市伊香保町=0.9 神流町神ヶ原=0.8 甘楽町小幡=0.8 高崎市吉井町吉井川=0.8 前橋市大手町=0.8 高崎市箕郷町=0.8 神流町生利=0.8 富岡市妙義町=0.7 高崎山下室田=0.7 榛東村新井=0.7 みどり市東町=0.7 東吾妻町本宿=0.7 渋川市石原=0.6 中之条町日影=0.6 富岡市七日市=0.6 東吾妻町原町=0.6 群馬昭和田糸井=0.6 長野原町長野原=0.5 みなかみ町鹿野沢=0.5 東吾妻町奥田=0.5</p> <p>2 宮代町笠原=2.2 加須市騎西=2.1 加須市大利根=2.1 久喜市下早見=2.1 春日部市谷原新田=2.1 川島町下八ツ林=2.1 熊谷市大里=2.0 加須市三俣=2.0 春日部市粕壁=2.0 春日部市金崎=2.0 鴻巣市中央=1.9 さいたま見沼区堀崎=1.9 東松山市松葉町=1.8 鴻巣市川里=1.8 久喜市青葉=1.8 さいたま大宮区天沼町=1.8 さいたま緑区中尾=1.8 さいたま岩槻区本丸=1.7 行田市本丸=1.7 鴻巣市吹上富士見=1.7 久喜市菖蒲=1.7 久喜市鷲宮=1.7 ときがわ町桃木=1.7 川口市青木分室=1.7 草加市高砂=1.7 桶川市上日出谷=1.7 幸手市東=1.7 杉戸町清地=1.7 さいたま北区宮原=1.7 さいたま中央区下落合=1.7 久喜市栗橋=1.6 吉見町下細谷=1.6 上尾市本町=1.6 和光市広沢=1.6 吉川市吉川=1.6 白岡市千駄野=1.6 熊谷市江南=1.6 行田市南河原=1.6 羽生市東=1.6 さいたま浦和区高砂=1.5 さいたま南区別所=1.5 深谷市川本=1.5 滑川町福田=1.5 嵐山町杉山=1.5 北本市本町=1.5 富士見市鶴馬=1.5 坂戸市千代田=1.5 鶴ヶ島市三ツ木=1.5 さいたま西区指扇=1.5</p> <p>1 熊谷市妻沼=1.4 本庄市児玉町=1.4 東松山市市ノ川=1.4 埼玉美里町木部=1.4 川越市新宿町=1.4 川口市青木=1.4 狭山市入間川=1.4 戸田市上戸田=1.4 八潮市中央=1.4 三郷市中央=1.4 蓮田市黒浜=1.4 毛呂山町中央=1.4 松伏町松伏=1.4 さいたま大宮区大門=1.4 熊谷市桜町=1.3 志木市中宗岡=1.3 新座市野火止=1.3 埼玉三芳町藤久保=1.3 川口市三ツ和=1.2 所沢市北有楽町=1.2 越谷市越ヶ谷=1.2 蕨市中央=1.2 朝霞市本町=1.2 伊奈町小室=1.2 越生町越生=1.2 さいたま桜区道場=1.2 秩父市近戸町=1.2 熊谷市宮町=1.2 本庄市本庄=1.2 川越市旭町=1.1 秩父市上町=1.1 深谷市岡部=1.1 上里町七本木=1.1 横瀬町横瀬=1.0 長瀬町野上下郷=1.0 鳩山町大豆戸=1.0 日高市南平沢=1.0 飯能市名栗=1.0 さいたま浦和区常盤=0.9 深谷市仲町=0.9 ときがわ町玉川=0.9 入間市豊岡=0.9 秩父市荒川=0.8 小川町大塚=0.8 埼玉神川町植竹=0.8 ふじみ野市福岡=0.8 ふじみ野市大井=0.7 皆野町皆野=0.7 東秩父村御堂=0.7 秩父市吉田=0.6 小鹿野町小鹿野=0.6 寄居町寄居=0.5 長瀨町本野上=0.5 埼玉神川町下阿久原=0.5</p>
		千葉県				<p>2 野田市鶴奉=2.4 成田市花崎町=2.3 印西市笠神=2.3 香取市役所=2.2 印西市大森=2.2 白井市復=2.2 香取市佐原平田=2.1 千葉中央区都町=2.1 野田市東宝珠花=2.1 成田国際空港=2.1 八千代市大和田新田=2.1 千葉花見川区花島町=2.0 千葉美浜区ひび野=2.0 千葉佐倉市海隣寺町=2.0 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷=2.0 香取市佐原諏訪台=1.9 香取市仁良=1.9 成田市中台=1.9 柏市柏=1.9 栄町安食台=1.9 東金市日吉台=1.8 山武市埴谷=1.8 千葉稲毛区園生町=1.8 千葉若葉区小倉台=1.8 船橋市湊町=1.8 成田市松子=1.8 柏市旭町=1.8 四街道市鹿渡=1.8 八街市八街=1.8 印西市美瀬=1.8 富里市七栄=1.8 旭市南堀之内=1.7 多古町多古=1.7 芝山町小池=1.7 香取市羽根川=1.7 千葉中央区千葉市役所=1.7 松戸市西馬橋=1.7 成田市役所=1.7 習志野市鷲沼=1.7 浦安市日の出=1.7 千葉美浜区稲毛海岸=1.6 神崎町神崎本宿=1.6 柏市大島田=1.5 市原市姉崎=1.5 我孫子市我孫子=1.5 山武市松尾町富士見台=1.5 千葉中央区中央港=1.5</p> <p>1 香取市岩部=1.4 九十九里町片貝=1.3 匝瑳市八日市場ハ=1.3 山武市蓮沼ニ=1.3 山武市蓮沼ハ=1.3 市川市八幡=1.3 成田市猿山=1.3 流山市平和台=1.3 浦安市猫実=1.3 酒々井町中央台=1.3 東金市東新宿=1.3 東金市東岩崎=1.3 銚子市若宮町=1.3 旭市高生=1.2 旭市萩園=1.2 旭市ニ=1.2 東庄町笹川=1.2 長南町長南=1.2 匝瑳市今泉=1.2 横芝光町宮川=1.2 横芝光町栗山=1.2 山武市殿台=1.2 千葉緑区おゆみ野=1.2 山武市松尾町五反田=1.1 松戸市根本=1.1 銚子市川口町=1.1 君津市久留里市場=1.1 一宮町一宮=1.0 鴨川市横渚=0.9 大網白里市大網=0.9 館山市長須賀=0.7 長柄町大津倉=0.7 木更津市太田=0.6 鴨川市八色=0.5</p>
		東京都				<p>2 東京千代田区大手町=2.0 東京渋谷区本町=1.8 東京杉並区高井戸=1.8 東京中野区中野=1.7 東京板橋区高島平=1.7 東京江戸川区中央=1.7 調布市西つつじヶ丘=1.7 東京文京区大塚=1.6 東京江東区越中島=1.6 東京中野区江古田=1.6 東京北区赤羽南=1.6 東京荒川区東尾久=1.6 東京中央区勝どき=1.5 東京港区南青山=1.5 東京江東区森下=1.5 東京北区西ヶ原=1.5 東京板橋区相生町=1.5 東京練馬区豊玉北=1.5 東京足立区伊興=1.5 東京足立区神明南=1.5 三鷹市野崎=1.5 小平市小川町=1.5</p> <p>1 東京千代田区麹町=1.4 東京新宿区上落合=1.4 東京品川区平塚=1.4 東京荒川区荒川=1.4 東京練馬区光が丘=1.4 東京江戸川区船堀=1.4 東京江戸川区鹿骨=1.4 武蔵野市吉祥寺南町=1.4 東大和市中央=1.4 東京千代田区富士見=1.3 東京中央区日本橋兜町=1.3 東京港区海岸=1.3 東京墨田区東向島=1.3 東京品川区北品川=1.3 東京大田区本羽田=1.3 東京世田谷区三軒茶屋=1.3 東京世田谷区成城=1.3 東京渋谷区宇田川町=1.3 東京足立区千住中居町=1.3 東京葛飾区立石=1.3 東京葛飾区金町=1.3 八王子市堀之内=1.3 町田市忠生=1.3 日野市神明=1.3 東京新宿区百人町=1.2 東京文京区スポーツセンター=1.2 東京江東区青海=1.2 東京江東区東陽=1.2 東京江東区枝川=1.2 東京大田区多摩川=1.2 東京練馬区東大泉=1.2 武蔵野市緑町=1.2 東村山市本町=1.2 国分寺市戸倉=1.2 西東京市中町=1.2 多摩市関戸=1.2 東京国際空港=1.1 東京中央区築地=1.1 八王子市石川町=1.1 東京港区白金=1.1 町田市森野=1.1 小金井市本町=1.1 東京新宿区歌舞伎町=1.1 国分寺市本多=1.1 清瀬市中里=1.1 稲城市東長沼=1.1 東京江東区亀戸=1.1 東京目黒区中央町=1.1 東京世田谷区中町=1.0 青梅市日向和田=1.0 東京豊島区南池袋=1.0 東京墨田区横川=1.0 東京墨田区吾妻橋=1.0 東京府中市白糸台=1.0 東京品川区広町=1.0 東京世田谷区世田谷=1.0 東京板橋区板橋=0.9 東京足立区中央本町=0.9 東京新宿区西新宿=0.9 狛江市和泉本町=0.9 武蔵村山市本町=0.9 東京大田区大森東=0.9 八王子市大横町=0.8 東京港区芝公園=0.8 東京杉並区阿佐谷=0.8 多摩市鶴牧=0.7 清瀬市中清戸=0.6</p>

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>神奈川県 2 横浜神奈川区神大寺* =1.8 横浜中区山下町* =1.7 横浜保土ヶ谷区上菅田町* =1.7 横浜港北区日吉本町* =1.7 横浜戸塚区鳥が丘* =1.7 横浜緑区鴨居* =1.7 横浜中区山吹町* =1.6 横浜旭区川井宿町* =1.6 横浜瀬谷区三ツ境* =1.6 横浜神奈川区広台太田町* =1.5 横浜中区山手町 =1.5 横浜緑区十日市場町* =1.5 横浜青葉区榎が丘* =1.5 川崎川崎区宮前町* =1.5 川崎宮前区宮前平* =1.5 川崎宮前区野川* =1.5 厚木市下津古久* =1.5 湯河原町中央 =1.5</p> <p>1 横浜青葉区市ヶ尾町* =1.4 寒川町宮山* =1.4 相模原緑区久保沢* =1.4 横浜鶴見区末広町* =1.3 横浜都筑区池辺町* =1.3 川崎中原区小杉町* =1.3 厚木市中町* =1.3 相模原緑区橋本* =1.3 横浜港南区丸山台東部* =1.2 横浜旭区上白根町* =1.2 横浜瀬谷区中屋敷* =1.2 綾瀬市深谷* =1.2 相模原南区相模大野* =1.2 相模原緑区大島* =1.2 川崎中原区小杉陣屋町 =1.1 藤沢市長後* =1.1 茅ヶ崎市茅ヶ崎 =1.1 座間市緑ヶ丘* =1.1 中井町比奈窪* =1.1 相模原緑区中野* =1.1 横浜磯子区洋光台* =1.1 横浜戸塚区戸塚町* =1.1 川崎幸区戸手本町* =1.1 横浜旭区今宿東町* =1.0 川崎川崎区千鳥町* =1.0 川崎川崎区中島* =1.0 川崎多摩区登戸* =1.0 川崎麻生区片平* =1.0 平塚市浅間町* =1.0 三浦市城山町* =1.0 大和市下鶴間* =1.0 愛川町角田* =1.0 清川村煤ヶ谷* =1.0 相模原中央区上溝* =1.0 相模原中央区水郷田名* =1.0 川崎高津区下作延* =0.9 秦野市曾屋 =0.9 相模原南区磯部* =0.9 川崎麻生区万福寺* =0.8 藤沢市朝日町* =0.8 横須賀市光の丘 =0.6 秦野市平沢* =0.5</p> <p>新潟県 2 見附市昭和町* =1.8 村上市岩船駅前* =1.6</p> <p>1 長岡市小島谷* =1.4 長岡市山古志竹沢* =1.4 長岡市中之島* =1.4 南魚沼市六日町 =1.4 新発田市中央町* =1.4 阿賀野市岡山町* =1.4 阿賀野市姥ヶ橋* =1.4 新潟北区葛塚* =1.4 新潟空港 =1.4 新潟秋葉区新津東町* =1.4 加茂市幸町* =1.3 阿賀町鹿瀬支所* =1.3 新潟西区寺尾東* =1.3 三条市新堀* =1.2 新発田市本町* =1.2 新発田市乙次* =1.2 聖籠町諏訪山* =1.2 阿賀町津川* =1.2 新潟中央区美咲町 =1.2 新潟江南区泉町* =1.2 新潟秋葉区程島 =1.2 新潟南区白根* =1.2 長岡市上岩井* =1.1 長岡市与板町与板* =1.1 刈羽村割町新田* =1.1 新発田市住田* =1.1 村上市片町* =1.1 弥彦村矢作* =1.1 長岡市東川口* =1.0 田上町原ヶ崎新田* =1.0 村上市山口* =1.0 村上市府屋* =1.0 村上市岩沢* =1.0 五泉市太田* =1.0 関川村下関* =1.0 阿賀野市山崎* =1.0 新潟中央区新潟市役所* =1.0 燕市秋葉町* =0.9 阿賀町豊川* =0.9 新潟東区下木戸* =0.9 三条市西裏館* =0.9 長岡市浦* =0.8 胎内市新和町 =0.8 長岡市寺泊敦ヶ曾根* =0.8 出雲崎町米田 =0.8 魚沼市須原* =0.8 南魚沼市塩沢庁舎* =0.8 燕市分水桜町* =0.8 村上市三之町* =0.7 三条市荻堀* =0.7 十日町市千歳町* =0.7 十日町市松代* =0.7 南魚沼市塩沢小学校* =0.7 新潟西蒲区役所 =0.6 魚沼市今泉* =0.6 村上市塩町 =0.5</p> <p>山梨県 2 忍野村忍草* =1.6</p> <p>1 甲府市下曾根町* =1.4 山中湖村山中* =1.4 富士河口湖町長浜* =1.3 南アルプス市寺部* =1.2 山梨北杜市長坂町* =1.2 甲府市相生* =1.1 甲州市塩山上於曾* =1.1 富士河口湖町船津 =1.1 甲府市飯田 =1.0 笛吹市境川町藤袋* =1.0 富士吉田市上吉田* =1.0 甲州市塩山下於曾 =0.9 上野原市役所* =0.9 上野原市上野原 =0.6 大月市大月 =0.5</p> <p>長野県 1 長野南牧村海ノ口* =1.3 佐久市中込* =1.0 諏訪市高島* =0.8 茅野市葛井公園* =0.8 軽井沢町追分 =0.8 御代田町御代田* =0.6</p> <p>静岡県 1 富士市吉永* =1.4 伊豆の国市長岡* =1.2 御殿場市萩原 =1.2 西伊豆町仁科* =1.0 西伊豆町宇久須* =0.9 伊豆市中伊豆グラウンド =0.9 東伊豆町奈良本* =0.8 富士宮市弓沢町 =0.8 小山町藤曲* =0.8 沼津市高島本町* =0.6</p>				
144	28 17 08	<p>福島県沖 36° 45.1' N 142° 13.9' E 22km M: 4.6</p> <p>福島県 1 郡山市湖南町* =0.6 天栄村下松本* =0.5</p>				
145	28 23 11	<p>熊本県熊本地方 32° 33.5' N 130° 42.3' E 6km M: 1.7</p> <p>熊本県 1 八代市鏡町* =0.5</p>				

●付録 2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <平成 28 年（2016 年）3 月～平成 29 年（2017 年）2 月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成 28 年（2016 年）											
3 月	74	29	10	2						115	
4 月	1798	891	335	100	10	5	3	2	2	3146	「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の地震活動（震度 7：2 回、震度 6 強：2 回、震度 6 弱：3 回、震度 5 強：5 回、震度 5 弱：10 回、震度 1 以上合計：3024 回） トカラ列島近海の地震活動（震度 4：1 回、震度 2：1 回、震度 1：11 回）
5 月	417	183	54	9	1					664	「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の地震活動（震度 1 以上合計：529 回） 薩摩半島西方沖の地震活動（6 日～）（震度 2：10 回、震度 1：4 回） 16 日 茨城県南部（震度 5 弱）
6 月	247	86	27	7	1		1			369	「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の地震活動（震度 5 弱：1 回、震度 1 以上合計：217 回） 16 日 内浦湾（震度 6 弱） 地震活動（震度 6 弱：1 回、震度 4：1 回、震度 3：1 回、震度 2：11 回、震度 1：22 回） 新潟県上越地方（新潟・長野県境付近）の地震活動（震度 4：1 回、震度 3：1 回、震度 2：5 回、震度 1：4 回）
7 月	174	71	33	5	1					284	「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の地震活動（震度 1 以上合計：113 回） トカラ列島近海の地震活動（震度 3：6 回、震度 2：6 回、震度 1：9 回） 伊豆大島近海の地震活動（震度 3：3 回、震度 2：8 回、震度 1：7 回） 27 日 茨城県北部（震度 5 弱）
8 月	155	66	12	4	1					238	「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の地震活動（震度 5 弱：1 回、震度 1 以上合計：111 回）
9 月	125	57	24	4	1					211	「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の地震活動（震度 1 以上合計：74 回） 26 日 沖縄本島近海の地震（震度 5 弱）
10 月	378	136	44	12			1			571	「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の地震活動（震度 1 以上合計：55 回） 21 日 鳥取県中部（震度 6 弱） 地震活動（震度 6 弱：1 回、震度 4：7 回、震度 3：26 回、震度 2：71 回、震度 1：175 回）
11 月	237	114	19	6	1					377	「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の地震活動（震度 1 以上合計：42 回） 鳥取県中部の地震活動（震度 3：1 回、震度 2：8 回、震度 1：24 回） 22 日 福島県沖（震度 5 弱）※ 1 地震活動（震度 5 弱：1 回、震度 4：2 回、震度 3：9 回、震度 2：55 回、震度 1：120 回）
12 月	204	74	21	4			1			304	平成 28 年（2016 年）熊本地震」の地震活動（震度 1 以上合計：44 回） 鳥取県中部の地震活動（震度 1 以上合計：18 回） 福島県沖の地震活動（※ 1 の周辺）（震度 4：1 回、震度 3：5 回、震度 2：7 回、震度 1：21 回） トカラ列島近海の地震活動（震度 4：2 回、震度 3：5 回、震度 2：12 回、震度 1：36 回） 28 日 茨城県北部（震度 6 弱） 地震活動（震度 6 弱：1 回、震度 4：1 回、震度 3：1 回、震度 2：8 回、震度 1：18 回）
平成 29 年（2017 年）											
1 月	98	42	9	4						153	平成 28 年（2016 年）熊本地震」の地震活動（震度 1 以上合計：32 回） 福島県沖の地震活動（※ 1 の周辺）（震度 4：1 回、震度 2：3 回、震度 1：6 回） 茨城県北部の地震活動（震度 2：4 回、震度 1：9 回）
2 月	85	44	13	2	1					145	平成 28 年（2016 年）熊本地震」の地震活動（震度 1 以上合計：18 回） 福島県沖の地震活動（※ 1 の周辺）（震度 3：1 回、震度 2：3 回、震度 1：6 回） 茨城県北部の地震活動（震度 3：1 回、震度 2：7 回、震度 1：8 回） 28 日 福島県沖（震度 5 弱）
平成 29 年計	183	86	22	6	1	0	0	0	0	298	
過去 1 年計	3992	1793	601	159	17	5	6	2	2	6577	（平成 28 年 3 月～平成 29 年 2 月）

注) 「記事」の欄には主に震度 5 弱以上を観測した地震、または震度 1 以上を 10 回以上観測した地震活動について記載した。

●付録 3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M別）の月別地震回数
 <平成28年（2016年）3月～平成29年（2017年）2月>

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
平成28年（2016年）								
3月	335	65	4			404	69	
4月	1244	161	21	3	1	1430	186	1日 三重県南東沖（M6.5） 「平成28年（2016年）熊本地震」の地震活動 14日 M6.5 15日 M6.4 16日 M7.3 （いずれも熊本県熊本地方）
5月	579	111	17	4		711	132	12日 台湾付近（M6.5, M6.4） 31日 石垣島北西沖（M6.2） 31日 北西太平洋（M6.1）
6月	448	86	10	1		545	97	24日 与那国島近海（M6.2）
7月	451	88	12			551	100	
8月	401	59	12	4		476	75	5日 硫黄島近海（M6.4） 20日 三陸沖（M6.4） 21日 三陸沖（M6.2） 26日 島島近海（M6.1）
9月	468	81	19	2		570	102	21日 島島近海（M6.5） 23日 関東東方沖（M6.7）
10月	522	79	15	2		618	96	21日 鳥取県中部（M6.6） 24日 北海道東方沖（M6.0）
11月	817	172	18	1	1	1009	192	22日 福島県沖（M7.4） 24日 福島県沖（M6.2）
12月	497	84	12	3		596	99	14日 マリアナ諸島（M6.3） 22日 マリアナ諸島（M6.5） 28日 茨城県北部（M6.3）
平成29年（2017年）								
1月	413	66	10			489	76	
2月	289	75	7			371	82	
平成29年計	702	141	17	0	0	860	158	
過去1年計	6464	1127	157	20	2	7770	1306	（平成28年3月～平成29年2月）

注) 日本及びその周辺：原則、北緯 20～49 度、東経 120～154 度の範囲。「記事」の欄には主に M6.0 以上の地震を記載した。

● 付録 4. 緊急地震速報の提供状況

平成 29 年 2 月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は 72 回であった。

震度 5 弱以上を観測し、緊急地震速報（警報）を発表しなかった地震

地震発生日時	震央地名	マグニチュード (M)	最大震度	予想最大震度
平成 29 年 02 月 28 日 16 時 49 分	福島県沖	5.7	5 弱	4

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報（予報）の最終報で発表した予想震度の最大値を示す。

平成 19 年 10 月～平成 29 年 2 月に発表した緊急地震速報の月別回数

年 \ 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 19 年 (2007 年)										0 (48)	0 (33)	0 (39)	0 (120)
平成 20 年 (2008 年)	0 (35)	0 (41)	0 (48)	1 (42)	1 (70)	3 (75)	2 (63)	0 (47)	1 (58)	0 (46)	1 (40)	0 (57)	9 (622)
平成 21 年 (2009 年)	0 (44)	0 (39)	0 (34)	0 (34)	0 (24)	0 (54)	0 (36)	2 (65)	0 (47)	1 (44)	0 (39)	0 (47)	3 (507)
平成 22 年 (2010 年)	0 (53)	1 (44)	1 (50)	0 (36)	0 (27)	0 (35)	0 (47)	0 (51)	1 (40)	1 (50)	0 (40)	1 (34)	5 (507)
平成 23 年 (2011 年)	0 (50)	0 (74)	45 (1191)	26 (770)	5 (425)	5 (304)	5 (248)	3 (239)	4 (188)	1 (163)	2 (135)	1 (136)	97 (3923)
平成 24 年 (2012 年)	2 (149)	3 (141)	3 (142)	2 (128)	1 (129)	3 (118)	0 (102)	1 (107)	0 (70)	0 (109)	0 (77)	1 (134)	16 (1406)
平成 25 年 (2013 年)	0 (81)	2 (99)	0 (53)	3 (103)	0 (91)	0 (83)	0 (102)	2 (97)	1 (61)	0 (80)	0 (93)	1 (67)	9 (1010)
平成 26 年 (2014 年)	0 (70)	0 (70)	1 (68)	0 (62)	0 (53)	0 (57)	2 (97)	1 (96)	1 (68)	0 (84)	1 (87)	0 (75)	6 (887)
平成 27 年 (2015 年)	0 (67)	1 (88)	0 (90)	1 (77)	3 (71)	0 (84)	1 (74)	0 (88)	0 (81)	0 (92)	1 (86)	0 (75)	7 (973)
平成 28 年 (2016 年)	1 (76)	0 (71)	0 (65)	20 (228)	1 (101)	2 (89)	0 (95)	0 (71)	1 (80)	3 (92)	2 (124)	1 (86)	31 (1178)
平成 29 年 (2017 年)	0 (77)	0 (72)											0 (149)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、() 内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。

● 付録 5. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震

平成 29 年 2 月に、長周期地震動階級※ 1 以上を観測した地震は 2 回であった。

平成 25 年 3 月～平成 29 年 2 月に長周期地震動階級 1 以上を観測した地震の月別回数
（平成 25 年 3 月 28 日の長周期地震動に関する観測情報（試行）※※の提供開始以降）

年 \ 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 25 年 (2013 年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成 26 年 (2014 年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成 27 年 (2015 年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成 28 年 (2016 年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成 29 年 (2017 年)	1	2											3

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級 1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
長周期地震動階級 2	室内で大きな揺れを感じ、物に掴まりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級 3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級 4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、平成 28 年 12 月号「付録 10. 長周期地震動階級関連解説表」を参照。

※※ 長周期地震動に関する観測情報（試行）に関する詳細は、地震・火山月報（防災編）平成 25 年 4 月号「特集 3. 長周期地震動に関する観測情報（試行）について」を参照。

1. 平成 29 年 2 月 19 日 18 時 19 分 千葉県北東部の地震

長周期地震動階級 1 以上を観測した地域・観測点

2017 年 2 月 19 日 18 時 19 分 千葉県北東部 北緯 35 度 43.8 分 東経 140 度 39.8 分 深さ 52km M5.4			
都道府県	地域	地点	長周期地震動階級
千葉県	千葉県北東部	多古町多古	1

長周期地震動階級 1 以上が観測された地域



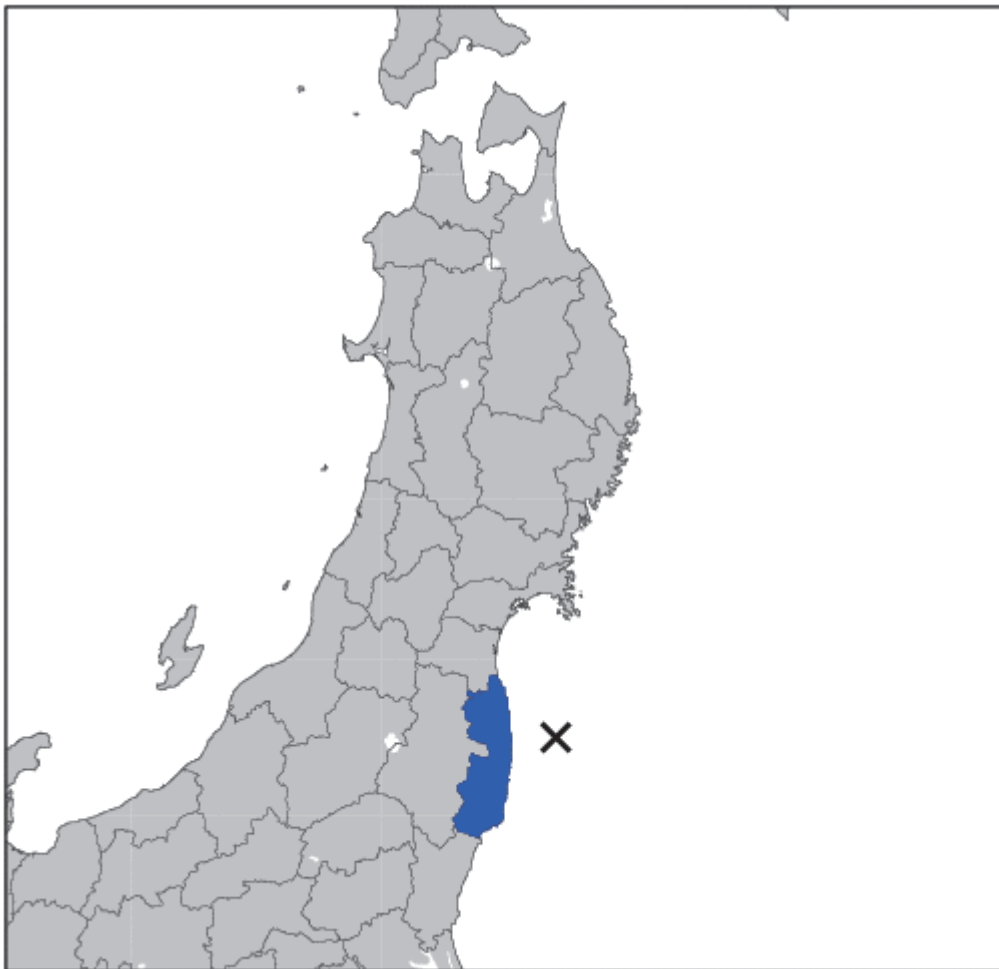
長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4

2. 平成 29 年 2 月 28 日 16 時 49 分 福島県沖の地震

長周期地震動階級 1 以上を観測した地域・観測点

2017 年 2 月 28 日 16 時 49 分 福島県沖 北緯 37 度 30.8 分 東経 141 度 22.0 分 深さ 52km M5.7			
都道府県	地域	地点	長周期地震動階級
福島県	福島県浜通り	浪江町幾世橋	1
福島県	福島県浜通り	南相馬市原町三島町	1

長周期地震動階級 1 以上が観測された地域



長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4

● 正誤表

平成 29 年 1 月号の地震・火山月報（防災編）に誤りがありましたので、正誤表を掲載します。

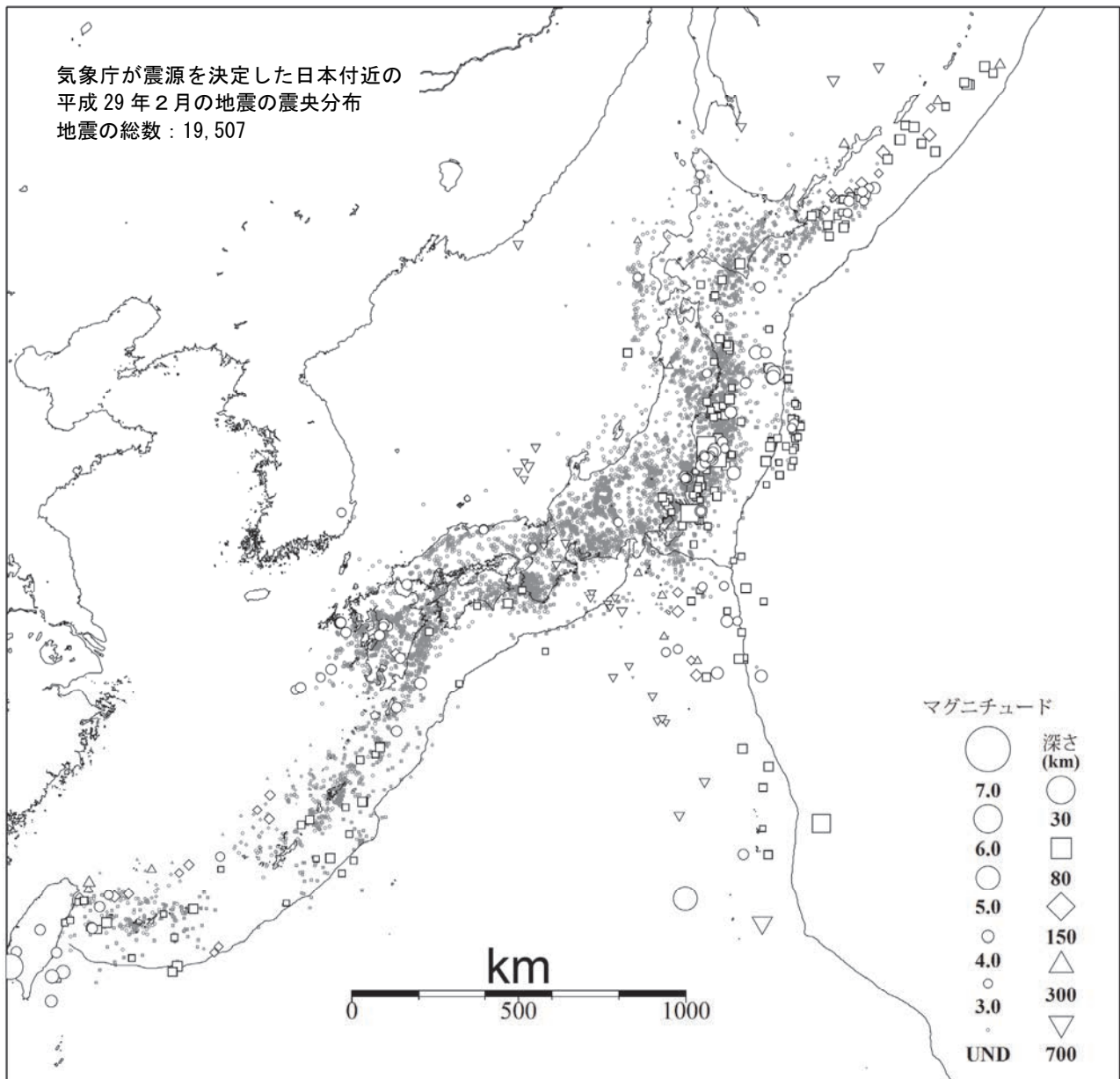
45 ページ

各火山の 1 月の活動解説

・薩摩硫黄島の噴火警戒レベルの記述（下線部を修正）

修正後	<p>薩摩硫黄島^{きつまいおうじま} [火口周辺警報（<u>噴火警戒レベル 2、火口周辺規制</u>）] ← 5 日に噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 2（火口周辺規制）に引上げ</p>
修正前	<p>薩摩硫黄島^{きつまいおうじま} [噴火予報（<u>噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意</u>）] ← 5 日に噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 2（火口周辺規制）に引上げ</p>

気象庁が震源を決定した日本付近の
平成 29 年 2 月の地震の震央分布
地震の総数 : 19,507



(M3.0以上の地震については白抜きで示す)